

はじめに

真理というものは、簡単に根づくものではありません。何度も何度も意識の中に打ち込んで、はじめて自分のものとすることが出来るのです。私が「繰り返し学ぶことが大切ですよ！」と口うるさく言うのは、繰り返し学ばなくては根付かないからです。それも実践の伴った学びです。根の浅い花は、風が吹けば飛んでしまいます。真理も同じで、知識で終わっては吹き飛んでしまうのです。実践が大切です。実践しなくては自分が変わらないのです。自分が変わらなくては、真理を学んだとは言えません。真理は科学です。自分が入ってこそ、科学と言えるのです。自分が入るという意味は、自分の力で原因を作り自分を変えろという意味です。宗教のように、拝んで何かを得るというものではないのです。その意味では、真理は自力です。そのためには、何度も何度も繰り返し学び、学んだことを何度も何度も実践することです。この書を読むにあたり、そのことを強調しておきたいと思います。まずは、私の書を何度も何度も読んでください。私の勉強会の動画を何度も何度も見てください。私のウェブサイトを隅から隅まで見てください。必ずあなたは変わります。

二〇一七年一月

かとう はかる

◎目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第1章 今週の真言集

第1集（2014年～2015年）・・・・・・・・3

第2集（2016年）・・・・・・・・42

第2章 更新集

第1集（2015年）・・・・・・・・127

第2集（2016年）・・・・・・・・184

第3章 アドバイス集

第1集（2011年）・・・・・・・・231

第2集（2012年）・・・・・・・・250

第3集（2013年）・・・・・・・・281

第4集（2014年）・・・・・・・・302

第5集（2015年）・・・・・・・・335

第6集（2016年）・・・・・・・・374

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・420

第1章 今週の真言集

第1集(二〇一四年～二〇一五年)

逆も真なり!

「逆も真なり、真も逆なり・・・」これは真理です。それは、真善美を枕とする宇宙において、完全以外何も無いからです。完全の中には、何の悪も、何の不善も、何の不完全もないのです。したがって、すべて善しです。すべて善しということは、逆も、真理だということです。二〇一四・一一・二一

多は一の表現、一は多の本源

多は一の表現、一は多の本源、形は意識の表現、意識は形の本源、ゆえに私は、多なるものでありながら一なるものであり、形あるものでありながら意識なるものであります。二〇二四・一二・二八

自由自在なる私たち

私たちはいつでも天使になれるし、いつでも悪魔になれるのです。それは、何でも作れる想念と、何でも想える自由意思を持っているからです。私たちは意識そのものなのです。意識そのものゆえに、不自由な存在ではないのです。私たちは、自由自在なる存在なのです。二〇一五・一・四

私たちは本質である

苦しみは、すべからく自分を肉体人間と思うところから生じております。自分を生命だと思えたら、すべ

ての不幸福災難苦しみから逃れられるというのに、今の地球人類にはそれが分からないのです。それは、形(肉体)を自分だと思つて、本質(生命)を自分だと思つていないからです。

本当の私たちは、本質そのものなのです。生命はすべての本質ですから、私たちは生命であるということです。二〇一五・一・一一

一なるものしか存在してない！

「この宇宙に一なるものしか存在してない！」という真理は、いかなるものも崩せない絶対真理であります。ならばあなたは、その一なるものではないでしょうか？ なぜなら、あなたは、今、現に存在しているからです。その一なるものを神と呼ぶなら、あなたは正しく神ではないでしょうか？ 一は神なのです。神は一なのです。ならば、あなたが神なのは当然ではありませんか？ 二〇一五・一・一八

宇宙の中心は自分

宇宙の中心は自分。ドラマの主人公は自分。原因の発芽は自分。全ては自分中心であります。お釈迦様が「天上天下唯我独存(尊)」と言われたのは、この宇宙に自分しか存在しないからです。

有限宇宙においては、中心点の一つしかありません。でも無限宇宙においては、中心点は無限に存在します。ゆえに自分は、宇宙の中心なのであります。二〇一五・一・二五

表と裏は一つ

表であるためには、まず裏でなくてはならない。裏であるためには、表でなくてはならない。なぜなら、表は裏なしには表になれないし、裏は表なしには裏になれないからです。

すなわち、人間であるためには、まず神でなくてはならない。神であるためには、人間でなくてはならない。人間は神なしに人間になれないし、神は人間なしに神になれないからです。ゆえに、人間である私は神であるし、神である私は人間なのであります。それは、表と裏は一つだからです。つまり、人間と神は一つだけ

らです。二〇一五・二・一

唯一の自分がコンタクトを取る

この宇宙で神とコンタクトの取れるのは、唯一自分しかおりません。なぜなら、この宇宙には自分の外誰もないからです。自分とは、神が「自」らを「分」けたのです。自分が自分とコンタクトを取るのです。神が神とコンタクトを取るのです。それが瞑想なのであります。二〇一五・二・八

自分は無くせない！

なぜ、自分を無くすことができないのでしょうか？ それは、自分の意識を無くすことができないからです。では、なぜ自分の意識を無くすことができないのでしょうか？それは、自分の意識の発露となっている、原因者の意識を意識できないからです。自分が意識できない意識を、どうして無くすことができますでしょうか？

私たちが、永久に神を求め続けねばならないのは、原因者の意識を永久に意識することができないからです。二〇一五・二・一五

理解できないモノは存在しない！

理解できなくては、目の前に何があっても見えないのです。理解できれば目の前に何もなくても観えるのです。

神は私たちの目の前に存在します。でも、理解できない者には存在していないのです。これが真理の奥深いところであり、難解なところなのであります。二〇一五・二・二二

想念は実現の鍵

「想念は実現の鍵です」人の幸・不幸は、すべて想念が鍵を握っております。その想念をあなたは持っているのです。それだけに、想念の使い方が問われるのです。この世の何を知らなくても、このことだけは知

って欲しいと思います。

人生は、すべて想念次第なのです。それは、何を思うか・・・だけなのです。二〇一五・三・一

自分が自分を傷付ける

他人が自分を傷付けることは絶対できません。また、自分も他人を傷付けることはできません。なぜなら、他人は実在しないからです。

自分を傷付けることができるのは、実在する自分の想念だけです。ゆえに、自分の想念の管理が重要になってくるのです。二〇一五・三・八

すべては我が意識の中にあり！

すべては我が意識の中にあり、我が意識はすべての中にあり、ゆえに我が意識が無くては、何も存在しないのです。何かが存在していること自体、我が意識の存在を証明しているのです。二〇一五・三・一五

最悪なのは何もしないことである

人生で最悪なのは、何もしないことです。人生で最良なのは、何にでも挑戦することです。

動かなければ原子核が増えませんが、動けば必ず原子核が増えます。この差はいずれ、魂の大きさとして、はっきり分かる時がくるでしょう。

原子も動いています。

空気も動いています。

水も動いています。

土も動いています。

どんな生き物も動いています。

動いていないモノなど存在していません。では、なぜ動くのでしょうか？ それは、動くことによって原子核が増えるよう仕組まれているからです。動くのが嫌だからと言って何もしない人は、いずれ大泣きすることでしょう。

二〇二五・三・二二

無限は絶対真理

この宇宙が無限なのは絶対真理です。ということは、この宇宙に一つのモノしか無いことになるでしょう。もし、二つも三つも何かがあるなら、宇宙は有限になり無限であるという絶対真理は崩れてしまうからです。ならば、この宇宙には、私しか存在しないことにならないでしょうか？ なぜなら、私は、今、現に、存在しているからです。二〇一五・三・二九

カルマは放っておいたら消えてゆく

カルマを無くそうと苦勞している人がいますが、カルマは放っておいたら消えてゆくのですから、あえて無くす必要はないのです。大切なのはカルマを無くすのではなく、新しいカルマを作らないことです。そのためには、常に良い思いを持つことです。

良い思いの一番は、神(生命)を想うことです。神を想っている時は、悪いことは思えません。悪いことを思わなければ、カルマは作られません。二〇一五・四・五

何を求めるべきか？

今、現実と真実の間で苦しんでいる人がおります。つまり、真実を得たいが、この世のことも捨てきれない！という人が・・・このような人は、良く考えて欲しいと思います。一体、本当に有るモノは何なのか？と・・・。

この世の、何を知っても、何を掴んでも、何を得ても、みな消えて無くなる幻です。でも真実は、永遠に無くならないのです。消えて無くなるものを追い求めるのか、永遠になくならないものを追い求めるのかは、賢いあなたなら分かるはずです。

さあ、人生の目的は何なのか？ 思い出してください。二〇一五・四・一二

神の恩情

この宇宙の最も厳格なところは、何事も原因と結果の法則に基づいて処断される点です。良い原因には幸せが・・・悪い原因には不幸せが・・・そこに一切、情け容赦はありません。しかし、神は、一つだけ温

情を示されました。それは、心から反省し「二度と過ちを犯さない！」と堅く心に誓ったとき、許される温情です。もし、その温情がなかったら、今、私たちは地球に存在していないでしょう。二〇一五・四・一九

理解力によって進展してゆく宇宙 パート1

宇宙は、理解力によって進展してゆくよう創られています。つまり、理解力が乏しかったら醜い世界が現れ(見え)、理解力が豊かだったら美しい世界が現れ(見え)るといわけです。今、地球人類の眼前に美しい世界が存在しますが、理解力が乏しいために、それが見えていないのです。

理解力に相応した世界が現れる、この宇宙の仕組の素晴らしさを知ってください。そうすれば、いかに理解力を高めることが大切か、分かって頂けると思います。二〇一五・四・二六

何が生きているのか？

何が生きているのでしょうか？ 形でしょうか・・・？ 意識(生命)でしょうか・・・？

形が生きていることはありません。意識(生命)が生きているのです。なぜなら、形は消えて無くなりますが、意識は永遠に無くなることはないからです。あなたは、消えて無くなるカゲロウを、生きているというのですか？

あなたの意識は、永遠に無くなることはないのです。だから、あなたの肉体が生きているのではないのです。あなたの意識が生きているのです。どうか、思い違いしないでください。二〇一五・五・三

付記…後戻りできない私たち

もし、サタンに惑わされ心が折れそうになったら、光のメロディー集「私は負けない！」を見てください。私たちはもう、後戻りできないのですから・・・。

自分を信じる

この道を疑うということは、最初にこの道を選んだ自分の眼力を疑うということです。自分を信じないで、一体あなたは何を信じるというのですか？

巧妙なサタンの手口に気付いてください！ あなたの思いのように見せかける、サタンの思いに気付いてください！ 二〇一五・五・一〇

あなたは幸せ者です

現実と真実の間で苦しんでいる学びの友人がおります。でもその苦しみは、熟した魂の勲章だと思っただけでしょう。ご覧なさい、現実(幻)に生きている人の何と多いことか……。彼らは、すぐに消える虚しい宝物を集めているのですよ。それに比べ、永遠の宝物を追い求めているあなたは、何と幸せなことか……。あなたの追い求めている宝物は、この世の宝物の無限倍の価値があるのですよ。無限倍ですよ。しかもこの宝物を手にしたら、あなたは永遠に苦しみに晒されません。それほど今あなたが追い求めている宝物は、価値があるのです。だから私は言うのです。“あなたは幸せ者ですよ！”と……。確かに今は苦しいかもしれませんが。でもそんな苦しみに負けないで、永遠の宝物を追い求めましょう。その宝物を手に入れた時あなたは、「ああ、私はやっていて良かった！ と感嘆の声を上げることでしょう。二〇一五・五・

騙されたと思って神を想い続けよう

騙されたと思って神を想い続けてください！ 間違はなく神に近づくことを、私は保証します。なぜなら、神を想っている時は、悪いことを想えないからです。悪いことを想わなければ、良い環境が与えられますから、なおいつそう神を想うことができますでしょう。そうなれば、雪だるま式に原子核が増えますので、急ピッチで神に近づくことができます。偉大なことを成し遂げるには、それ相応の苦しみが伴うものです。楽しんで宝物を得た人など一人もいないのです。何な事も辛抱が必要です。特に真理の探求には、根気が必要なのです。

どうか、騙されたと思って神を想い続けてください。きっと感謝できる時がやって来ます。二〇一五・五・二四

原子核は意識して大きくすることができます

理解力は意識して高められるものではありません。でも、原子核(魂)は、意識して大きくすることができます

ます。社会体験によって・・・、瞑想によって・・・、思索によって・・・。
原子核を大きくすれば自然と理解力が高められますから、まずは原子核が大きくなるのです。意識して原子核を大きくすることが先か？ 理解力を高めるのが先か？ もうお解りでしょう。まずは原子核を大きくすることです。原子核を大きくすれば、理解力も高められ、かつ自分の欠点も自然と無くなるのですから、これは一挙両得なのです。二〇一五・五・三一

人類の想念が加担している

この宇宙は、完全な神の意識によって創られ、完全な神の意識によって差配されています。それゆえに、この宇宙に不幸・災難・病気という不完全なものは存在しないのです。今地球に様々な悪しきことが起きているのは、人類のネガティブな想念が生み出した不幸で、神が作った不幸ではないのです。

皆さんは、地球で起きている不幸を他人事のように言っています。皆さんの悪しき想念が加担して起きているのです。皆さんはいつも何を思っていますか？ 良いことを思っていますか？ 悪いことを思っていますか？ 殆どの人が、ネガティブなことを思っているのではありませんか？ これでは、地球はたまった

ものではありません。どうか、地球の不幸を人のせいにしなくてください。もし人類が良い想念を持つようになったら、地球はそく理想の世界になるでしょう。

人類が健全な想いを持つようになったら、地球に不幸災難など起きようが無い！ ということに気付いてください。二〇一五・六・七

幸せの殿堂

- ・あなたが知識を得ている時、幸せの殿堂の基礎を築いているのです。
 - ・あなたが社会体験している時、幸せの殿堂の柱を築いているのです。
 - ・あなたが思索している時、幸せの殿堂の壁を築いているのです。
 - ・あなたが神を想っている時、幸せの殿堂の屋根を築いているのです。
- こうして少しずつ、幸せの殿堂が築かれてゆくのです。

幸せは誰かが与えてくれるものではありません。自分が与えるのです。二〇一五・六・一四

自分の中に無いものは出せない！

偽りのあなたは偽りしか語れず、真実のあなたは真実しか語れないのです。それは、自分の中に無いものは出せないからです。Aの品物しかない倉庫から、Bの品物が出せないのは当然でしょう。偽りの品物しか持たない者が、どうして真実の品物が出せるでしょうか？ ということです。

真実の品物は、この表現世界で様々な体験をすることによって自分の倉庫の中に積み上げられるのです。どんな痛みも苦しみも必要な在庫品なのです。痛み苦しみの在庫品を通して、真実を知るからです。ですから、偽物の在庫品が多いからと言って、嘆いてはなりません。その偽物の在庫品は、いずれ、ホンモノの在庫品に変わるのでから・・・。二〇一五・六・二一

チルチルミチルの話

自分が真理(神)そのものであると知った者は、もう外側に真理(神)を探し歩くことはないでしょう。しかし知らない者は、知るまで外側に真理(神)を探し歩くことでしよう。

チルチルミチルは、幸せの青い鳥を探しに旅に出ましたが、どんなに探し回っても幸せの青い鳥は見つかりませんでした。ガツカリして家に帰ってきたチルチルミチルは、ふとしたことから自分の中に幸せの青い鳥を見つめます。

この童話が示唆しているように、真理は外にあるものではありません。自分の中にあるのです。外に真理を探している人は、チルチルミチルの話を思い起こして欲しいものです。二〇一五・六・二八

自分を信じる

この宇宙は理解力によって進展してゆくようになってきています。だから、理解力の乏しい者は、今以上の高い宇宙は望めないのです。ではその者は、今の宇宙のまま甘んじなければならぬのでしょうか？ いいえ、そんなことはありません。神はどんな者にも進化の術を与えています。では、その術とは？・・・、

○神を信じることです。

○宇宙の法則を信じることです。

○宇宙の仕組みを信じることです。

なぜ、それほど信じることが大切かといいますと、信じなければ、実践しようと思わないからです。実践しなければ原子核が増えないわけですから、自分が変わらないのです。変わらなければ、真理を追求する気持ちが湧きませんから、今のレベル止まりになってしまうのです。

実践すれば原子核が増えます。原子核が増えれば理解力が高まります、理解力が高まればそのレベルの宇宙が眼前に展開してきます。そうなれば、真理を疑うことはなくなりますから、ますます実践しようという気持ちになるのです。だから私は、「信じることが大切である」というのです。

ただし、信じる前にその真理の真偽をトコトン吟味してください。吟味して吟味して確信が得られたら、以後、一切疑わないで信じることです。そして何よりも、信じた自分を信じることです。二〇一五・七・五

良い想念を使って黒字にしよう！

”いくら瞑想をしても手応えがない！”と嘆いているあなたに私はいいたい、「あなたは今、間違いない原因を作っている！」ということ。原因を作れば、必ず結果はやってきます。やれば必ず実現するの、宇宙の完全性なのです。これは因果の法則からして、絶対間違いないことです。

あなたは今日まで、自分の想念で自分の人生を作ってきました。今その結果を得ているのです。ですからその結果は、今日まで生きてきたあなたの人生の総決算です。もしかしたら、赤字になっているかも知れません。あるいは、黒字になっているかも知れません。どちらにしてもその結果は、あなたの想念の成績です。でもその成績を見て、人生行路の舵を切り直すことが出来るのです。これは有り難いことです。

さあ想念の偉大さを信じ、宇宙の法則の完璧さを信じ、神の完全性を信じ、さあ想念を良く使って人生を黒字にしましょう。一番は、神を想うことです。瞑想することです。さあ、瞑想を続けましょう！ 二〇一
五・七・一二

良心は知っている

あなたが、どんなに言い逃れしようと思っても、言い逃れできるものではありません。

あなたが、どんなに誤魔化そうと思っても、誤魔化せるものではありません。なぜなら、あなたの胸の内(心内)を本当のあなた(良心・神)が知らないはずがないからです。誤魔化した分、良心が苦しむだけです。

苦しみたくなかったら、良心に忠実に生きましょう。どんなに課題を先送りしても、いつか必ず越えねば

ならない課題なのですから……。二〇一五・七・一九

人間を知るしか無い！

一を知るには、多を知るしか無い！ 多を知るには、一を知るしか無い！ 絶対を知るには、相対を知るしか無い！ 相対を知るには、絶対を知るしか無い！

神を知るには、人間を知るしか無い！ 人間を知るには、神を知るしか無い！二〇一五・七・二六

因果の法則から逃れることは絶対できない！

一人ひとりが受ける結果は、一人ひとりが作る原因と寸分も狂うことはありません。

投げたボールは、必ず投げ返されるのです。良いボールを投げれば良いボールが、悪いボールを投げれば悪いボールが……。それも強ければ強いように、弱ければ弱いように……。

この因果の法則から逃れる事は絶対できないのです。だから私は、法則を知って欲しい！ 信じて欲しい！

い！守って欲しい！と願うのです。二〇一五・八・二

真に存在しているのは自分の意識のみ

今、あなたが苦しんでいるのは、自分の意識の中に様々な悪しき情報を入れるからです。自分の意識の中に悪しき情報を入れなければ、あなたに苦しみは無いのです。それは、あなたが天上天下唯我独存(尊)の主であり、主観宇宙の主だからです。

この宇宙に真に存在するのは、

- ・ 自分の意識を見ている意識のみ・・・
- ・ 自分の意識を感じている意識のみ・・・
- ・ 自分の意識を認識している意識のみ・・・

それ以外、真に存在しているものはありません。二〇一五・八・九

内と外は一つ

平和は外側に作るものではありません。内側に創るのです。なぜなら、内側(原因)の想念が外側(結果)の世界を作るからです。内と外は一つです。原因と結果は一つです。良い結果が欲しかったら、良い原因を創ることです。それは、想念を持っている自分にしかできないのです。想念は原因です。平和は結果です。二〇一五・八・一六

私たちは偉大な宝物をすでに持っている

私たちが持っている唯一の財産は、想念です。この財産は、どんな宝物よりも価値があるのです。なぜなら、思い次第で何でも手に入れることができるからです。覚者が「人はすでに救われている！」と言うのは、この想念を良い事に使えばみな幸せになれるからです。しかし残念なことに、人はその想念を悪用し苦しんでいるのです。

幸せが欲しかったら、想念のコントロールを上手にすることです。つまり、良い事を思い、悪い事は思わ

ないことです。良い思いの一番は、神を想うことです。

二〇一五・八・二三

付記…人間は、幸せがほしいと言ってお金や物や地位や名誉を追い求めています。幸せはすでに与えられているのです。なぜなら、想念という偉大な宝物がすでに与えられているからです。想念は何でも生み出す力を持っているのです。良いことを想えば良いことが・・・、悪いことを想えば悪いことが・・・人間が苦しんでいるのは、この想念の使い方が下手だからです。心配している時、人を憎んでいる時、愚痴を言っている時、つまり、ネガティブなことを想っている時は、すでに不幸を作っているのです。

なぜそのことが分からないのか？ それは想念が見えないからです。でも見えなくても、間違はなく良いことも悪いことも作っているのです。事実、今人間は苦しんでいるではありませんか!?・・・その苦しみは、想念を悪用した結果なのです。苦しい！ 苦しい！と言っている人は、自分の想念を悪用し自ら苦しみを作っていることに気付いてください。

人間はとうに救われているのです。偉大な想念を与えられて・・・その想念を良いことに使えば、この世に苦しむ人は一人もいなくなるのです。想念を良いことに使う一番は、神を想う瞑想です。瞑想すれば、原

子核を増やすと同時に自分の欠点も無くなる、さらに悪い原因を作らないという、三重のメリットが得られるのです。

どうか、想念の偉大さを知ってください。想念の偉大さを信じてください。それは、想念を創った神を信じて欲しいということでもあるのです。

何が生きているのか？

形で生きることが生きるというのか？・意識で生きることが生きるというのか？・・・

形は単なる意識の乗り物だから、形が生きることはありません。生きているのは、あくまでも意識です。冷蔵庫が、形のない電気によって動かされていることを知れば、私の言っていることが理解できるでしょう。心の底で理解できれば、もう形に(肉体に)囚われることもなくなるでしょう。二〇一五・八・三〇

私たちは井の中の蛙である

井の中の蛙は、目覚めて外に飛び出しても、また井の中の蛙なのです。また目覚めて外に飛び出しても、また井の中の蛙なのです。私たちは、永遠に井の中の蛙なのです。

なぜなら、宇宙には、知るべきことが無限にあるからです。でも、その井の中で体験したことは、決して無駄にはなっていないのです。それは、どんな体験もすべて、究極の幸せの泉の中に引き継がれてゆくからです。二〇一五・九・六

一なるモノが一なるモノを知ることができない！

一なるモノが一なるモノを知ることができないのは、一なるモノの中に居ては、一なるモノが分からないからです。すなわち、自分の中に居ては自分が分からないからです。

一なるモノが一なるモノを知るには、一なるモノが別モノになって知るしかないので。だから、一なる神は人間に化身して(別モノになって)、自分を知ろうとしているのです。

中に居て中に居ることが分からないのは、霊太陽の中に居ては、霊太陽が見られないからです。つまり、自分の中に居て自分は見られないからです。あなたは、自分を直接見たことありますか？ 無いはずですが、外に出て、はじめて自分が見られるのです。だから私たちは、この表現世界に出てきて本当の自分を知ろうとしているのです。

二〇一五・九・一三

理解力によって進展してゆく宇宙 パート2

「宇宙は理解力の高さによって進展して行く！」これは絶対真理です。

Aチャンネルしか持っていない人は、Aチャンネルの番組しか見られないのです。AチャンネルとBチャンネルを持つている人は、AとBの二つのチャンネルの番組が見られるのです。理解力が増せば、チャンネル数はドンドンが多くなってゆくわけですが、それは視野が広がったという意味です。

この意味を心の底で知った人は、もう外に真理を求め歩くようなことはなくなるでしょうし、もう外のものをも欲しがらなくなるでしょう。なぜなら、欲しいものは何でも自分の中から得られるからです。

理解力のない人は、そのモノが目に見え、耳に聞こえ、肌で感じられても、無いのです。理解力のある人は、そのモノが目に見えなくても、耳に聞こえなくても、肌で感じられなくても、有るのです。この宇宙は、理解力によっていくらでも開けてくるのです。

この意味の深さを、どうか知ってください。二〇一五・九・二〇

積極的な人になって欲しい！

神の本性は陽ですから、明るくて積極的な人は、神に近い人なのです。反対に、暗くて消極的な人は、神に遠い人なのです。神に近い人は、積極的に原子核を増やそうとするので成長が早いですが、神に遠い人は、あまり増やそうとしないので成長が遅いのです。ぜひ、積極的な人になって欲しいものです。二〇一五・九・

二七

法則の外には出られない！

孫悟空がお釈迦様の手の平から出ようと試みましたが、どんなことをしても出られなかったという話は、法則の外に出られないという比喩的な話です。なぜ法則の外に出られないかと言いますと、外に出ようと思ったら五感の警報装置が働き、塗炭の苦しみが与えられるからです。

この宇宙は法則で固められているのです。その牙城は、いかなるものも崩すことができないのです。もし崩そうとすれば、痛い目に遭うのが落ちだからであります。

二〇一五・一〇・四

なぜ人は神なのか？

なぜ人は神人なのかと言いますと、それは自分の意識を意識している自分の中に存在するからです。自分を意識している意識がなければ、自分も存在しないし、何も存在しないのです。ということは、その意識は全てを存在させている意識、つまり神意識ではないでしょうか？ 自分を意識している意識が自分の中にあるということは、自分は、つまり人は、神であるという証明なのです。

繰り返しましょう。自分の意識を意識している意識は、神なのです。そうでなければ、その意識は一体誰

なのか？・・・よく考えて欲しいものです。二〇一五・一〇・一一

自らを分けて知る宇宙の知恵

総合されたモノのままでは、総合されたモノを知ることにはできないのです。総合されたモノから離れてこそ、総合されたモノを知ることができるのです。つまり、元数一が様々な分数になることで、自分が元数一であることを知るのであります。白光が様々な色になることで、自分が白光であることを知るのであります。すなわち、神が様々な形になることで、自分が神であることを知るのであります。神はそのため、自分を分け人間を創造したのであります。自分とは、神が「自」らを「分」けたのです。だから人間は、神なのであります。

分けられたモノの中には、必ず分けたモノが入っているのです。分数の中には、必ず元数一が入っている、様々な色の中には、必ず白光が入っている、人間の中には、必ず神が入っている、ということでもあります。

二〇一五・一〇・一八

付記・・外側の者に何を言われようと、気にすることはありません。外側の者は実在しないからです。なぜ、

実在しない者の言葉に惑わされなければならぬのでしょうか？ なぜ、実在しない者のために心配しなければならぬのでしょうか？ それは、まだ真理が理解できていないからではありませんか？

私たちがすべきことは唯一つ、原子核を増やすことです。どうか自分を信じ、真理に生きてください。自分を信じないで、一体何を信じるというのですか？・・・。

悪は無い！ 不完全も無い！

真善美で固められている宇宙に、不完全なものは一つも無いのです。不完全なものが一つも無いということとは、悪なるものは一つも無いということです。だからそこには、人を恨むことも、憎むことも、怒ることも、あり得ないし、事件も事故も災害も病気もあり得ないのです。あるように見えているそれらの悪は、全て人の迷いから生まれた幻で、実際にあるものではないからです。実際にある悪なら無くなることはありませんが、実際にはない悪だから、人の迷いが解ければ消えてなくなるのです。だから、この宇宙に悪人は一人もいないのです。いるのは、善人ばかりです。だから、人を憎んでも恨んでもならないのです。

世の悪を見て憤慨したり、嘆いたり、嫌な気分になるのは、自分の中にまだ悪があるからです。自分の中

に悪がある内は、どうしても悪が見えるのです。世の悪はそのことを気付かせてくれているのですから、悪に目を背けるのではなく、自分の中にある悪を無くす努力をすべきです。

神が創られた完全なる宇宙に、本質的な悪があるわけがないのです。悪は善を知らしめるための悪ですから、それは悪ではなく善なのです。善の中には善の尊さは分らないのです。悪の苦味を知ればこそ、善の尊さを知ることができるのです。

悪の本質を心の底で理解できた人は、悪を見なくなるのです。それは、自分の中にもう悪が無くなったからです。神の目を備えた人とは、悪が見えなくなった人のことなのです。二〇一五・一〇・二五

自分しか無い！

“宇宙に一つのモノしか無い！”という言葉には、とても深い意味があります。では、どんな深い意味があるのでしょうか？

一つのモノしか無いということは、“自分しか無い！”いう意味です。なぜなら、今現に自分は存在しているからです。一つのモノしか無いなら、今存在している自分は、その一つのモノなのは当然ではありません

んか。ということは、この世に沢山のモノが存在していますが、それはすべて一つのモノであるということになり、その沢山のモノは、自分であるということになります。なぜなら、この宇宙には一つのモノしか無いからです。二〇一五・一一・一

内側に意識を向けることの大切さ・・・

私は常々、“外側に意識を向けるのではなく、内側に意識を向けて欲しい”と言っていますが、その重要さを知る者は少ないのです。外側の世界(物質世界・幽界)は、幻の世界です。そんな幻の世界に意識を向けても、そこからは何も得られないのです。得られるとしたら、闇だけ、虚しさだけ、迷いだけ、苦しみだけです。

それに比べ内側の世界(光の世界・意識の世界)は、真実の世界です。すなわち、エネルギーに満ち溢れた世界、光に満ち溢れた世界、幸せに満ち溢れた世界です。そこに意識を向ければ、エネルギーが、光が、知恵が、喜びが、入ってくるのです。だから私は、内側に意識を向けて欲しいと願うのです。

どうか、本当にある真実の世界に意識を向けてください。意識を向けるとは、瞑想をすることです。二〇

何が幸せをくれるのか？

この世の物・お金・地位・名誉・名譽・権力が、幸せを与えてくれるわけではありません。誰かが幸せを与えてくれるのでもありません。また、この宇宙の何処かに幸せの場所があるのでもありません。ましてや、肉体が幸せを与えるのでも、受け取るのでもありません。自分の想念が幸せを与え、自分の心が幸せを受け取るのです。

誰も想念を重要視しようとしませんが、想念ほど偉大なモノはないのです。あなたの人生は、想念が握っているのです。あなたの運命は、想念が握っているのです。あなたの健康は、想念が握っているのです。あなたの幸せは、想念が握っているのです。それは、良い想念を持つのか？ 悪い想念を持つのか？ 次第なのです。宇宙一の幸せ者になりたかったら、ぜひ良い想念を持ってほしいものです。二〇一五・一一・一五

神が人を産んだ！

自己完結型の宇宙には、一様の存在者しかいないのです。一様の存在者しかいないなら、今、現に存在している人間は、その一様の存在者なのは当然ではありませんか？その一様の存在者を神と呼ぶなら、「人間が神である！」というのも当然ではありませんか？

陽子が電子を産んだのです。

陽が陰を産んだのです。

光が影を産んだのです。

原因が結果を産んだのです。

神が人間を産んだのです。

一様の存在者が何かを生み出すには、自分がそのモノになるしかないのは当たり前で、何も不思議なことではありません。自分で生み出し自分で終わらせる自己完結型宇宙は、元数一を意味し、一様の神を肯定し、さらに人間が神であることを肯定しているのであります。二〇一五・一一・二二

出家とは？

出家した、仏門に入った、という人がいますが、外側だけ人間を捨てても、内側の人間を捨てない限り、「出家した！ 仏門に入った！」とはいわないのです。外側の格好などは、どうでもいいのです。本当の出家人とは、この世のしがらみや欲や情を捨て去った人のことで、それは家を出なくてもなれるのです。二〇一五・一一・二九

結果を生み出せる者だけが原因者になれる

この宇宙で確かなことは、結果を生み出すことのできる者のみが「原因なき原因者」になれるという真実であります。結果を生み出せない者が、どうして「原因なき原因者」になれるでしょうか？ 結果を生み出せないのは、原因者としての能力が無いからではありませんか？

神は結果を生み出せる偉大な存在者ですが、私たちも、結果を生み出せる偉大な存在者なのです。なぜなら、私たちには結果を生み出すことのできる偉大な想念力を持っているからです。だから私たちは、原因な

き原因者と呼ばれるに相応しい存在なのであります。ただし今の私たちは、原子核の量が少ないため、小さな結果しか生み出せない発展途上の「原因なき原因者」なのであります。二〇一五・一・二六

神がそのモノになった

神がモノを創る場合、神がそのモノになるしかないので。つまり、神自らが結果体であるそのモノになるしかないのです。なぜなら、この宇宙に神の他は何も無いからです。結果と原因のどちらが先か？という論争が無意味なのは、結果体と原因者は同じ神だからです。結果体と原因者が同じだと深く思えたら、どちらが先でも良くなるのです。

私はよく、意識がモノを生み出しているという言い方をしますが、原因者である神と結果であるモノが同じ神ならば、モノが意識を生み出していると言っても、何も不思議ではないのです。なぜなら、原因者(神)だけでは、原因なき原因者なる資格が無いからです。結果の生み出せない原因者など無意味です。結果を生み出してこそ、原因者の存在価値が生まれてくるのです。だから私は、結果体と原因者は同等の価値があるというのです。ならば、結果体(人間)が原因者(神)を生み出している、といっても言い過ぎではないでしょ

う。「結果をいじって原因を変える」(逆も真なり)の現代医療も、頷けるといいうものです。

結果体が結果体を作ることのできないことは分かっていますが、でも結果体がなくては原因者の存在も無意味なのであります。二〇一五・一二・一三

原因は見えない！

原因は見えずとも、結果は必ず見えます。痛みとして・・・苦しみとして・・・悲しみとして・・・だから私たちは、結果を見て反省し襟を正す(原因を正す)ことができるのです。これが、神の法の素晴らしところでもあります。痛みや苦しみは業の消えてゆく姿ですから、放おっておけばいいのです。掴んで離さないから、いつまでも苦しみが無くならないのです。

「ああ、今業が消えている！消えている！苦しみよ！ありがとう！」と感謝の思いで包み込むことです。そうすれば、どんな苦しみも癒えるのです。大切なのは、苦しいからといって業の上塗りをしないことです。二〇一五・一二・二〇

意識こそ自分である

意識を意識しているもう一つの意識があります。その意識は一体誰なのでしょう？ その意識は、未だかつて一度も自分から離れたことがないので。その意識こそ神であり、本当の自分ではないでしょうか？ そう・・・意識を意識している意識、その意識が本当の自分なのです。つまり、神なる自分なのです。だから、

意識を意識している自分を見ること・・・

意識を意識している自分を感じること・・・

意識を意識している自分を想うこと・・・

意識を意識している自分に生きること・・・

意識を意識している時は、本当に生きていくことになるのです。それは、実在している確かなものを意識しているからです。つまり、神を意識しているからです。二〇一五・一二・二七

第2集(二〇一六年)

幼い子もいずれ大人になる

この世には、様々な悪いことをする人が存在します。それはまだ幼いからです。運動経歴の浅い者が危険な運動をするように、肉体の運動経歴の浅い者も危険な運動をするのです。神の子であっても、幼いうちはどうしても悪を作ってしまうのです。しかし、幼い子も親になれば美しいモノを創るようになるのですから、今はそっと見守るしか無いのです。今人間は、自分が何モノなのか解らないのです。解らないから、悪いものを作っては苦しんでいるのです。でも、その人間も段々と知恵が増し、外側に色々な創造物を作るようになります。これは、人間が神の子だからです。でも神の子なら、内側に良いモノを作るようになって欲しいものです。二〇一六・一・三

付記・無いモノが、無いモノを生み出すことは絶対できません。無いモノは、有るモノが生み出すのです。

では、無いモノを生み出している人間は、有るモノということになるでしょう。その証に私たちは、病氣、事故、事件など無いモノを生み出しているではありませんか？ では、有るモノとは何ですか？ それは神です。ということは、人間は神であるということになります。そうです。人間は間違いなく神なのです。ただし、今はまだ原子核の量が少ないため、神の子の生き方ができないのです。でもいずれ大人になれば、神の生き方ができるようになるのです。

理解力によって進展してゆく宇宙 パート3

この宇宙の仕組みを創られた神の凄さは、筆舌に尽くしがたいものがあります。その一つが、「理解力によって宇宙は進展してゆく」という仕組みです。この意味はあまりにも深いため、理解するのは容易でないかも知れません。

でも、知ってほしいと思います。

理解力がすべてのモノを生み出しているのです。理解力がすべてのモノを存在させているのです。

すなわち、理解力が宇宙を生み出しているのであります。

したがって・・・

理解力があなたを存在させていることになるのです。

理解力が神を存在させていることになるのです。

理解力が理解力を生み出していることになるのであります。

このように、理解力がすべてを決めているのです。このことが心の底で解ったなら、もう現象の話は勿論、現象の質問もしなくなるであります。二〇一六・一・一〇

心の強い人とは？

サタン(自我・肉我)の常套手段は、人の気持ちを変えさせること、落ち込ませること、不安にさせること、心配させることです。そうすれば、人は気弱になりエネルギーが低くなるので、彼らは活動しやすくなるからです。これに打ち勝つには、心を強くすることです。つまり、原子核を増やすことです。原子核が増えればエネルギーが強くなるので、サタンに負けなくなるのです。

原子核を増やすには厭なことをやることですが、手短な方法としては、寒い朝勇氣を持って寢床から出ること、勇氣を持って冷たい水で顔を洗うこと、勇氣を持って寒風の中散歩すること、勇氣を持ってジョギングすることです。勇氣を持ってというのは、強い気持ちでという意味ですが、強い気持ちを持てば原子核が増えるのです。強い気持ちイコール強い意志だからです。

手短に心を強くするもう一つの方法としては、何事も面倒がらないですることです。それも腰軽にすることです。たとえば、いちいちしゃがんですること、いちいち踏み台を持つてきてやること、いちいち測りながらすること、いちいち戸を閉めに行くこと、いちいち出向くこと、それも厭わず繰り返し返すことです。確かに要領は悪いかも知れませんが、要領の悪い方が原子核を増やすことができます。これは小さな事と思うかも知れませんが、ものすごく心を強くすることができます。

病気は心の弱い人がなりやすいのです。気にしすぎる人、心配性の人、何でも悪く受け取る人、妄念を作り上げる人などは、心の弱い人なのです。心が弱いのはエネルギーが弱いからであり、またエネルギーが弱いから心が弱くなるのです。心の強弱とエネルギーの強弱は比例するのです。エネルギーは心であり、心はエネルギーだからです。

今、病気で苦しんでいる人は、ぜひ心を強くして欲しいと思います。薬を飲んで癒すのは他力ですから根

本治癒に結びつきませんが、心を強くして癒すのは自力なので根本治癒に結びつくのです。これは肉体的病気で苦しんでいる人は勿論、精神的病で苦しんでいる人にも言えることです。小さな事と思わず、日常生活の中で体を動かし、ぜひ心を強くしてください。二〇一六・一・一七

認めてやれる者だけが、原因者になれる！

「認めてやれる者だけが、原因者になれる！」、だから神は表現宇宙を創造し、それを認めることで原因者になろうとしているのです。ということは、今、人間が表現宇宙を認めているということは、人間は原因者である証ではないでしょうか？ つまり、人間が神である証ではないでしょうか？

私たちが存在できるのは、結果を認めて原因者になれる意識を持っているからです。ということは、自分の意識が宇宙(何かを)を認めたとき、すでに原因者になっているということです。

原因の原因は、意識される前の状態であります。しかし、意識される前の状態は、存在の範疇にないので何の意味もないのです。だから、自ら幻を創造して幻を認め、原因なき原因者になろうとしているのです。それは、永遠に幻を認め続けなければ、永遠の自分を維持できないからです。

「認められるものが無くては、原因者になれない！　つまり、認められるものがあるから原因者になれる！（認める者が存在できる！）」というのは、実に滑稽な話ではありませんか？　二〇一六・一・二四

中庸の自分を知る

もし姿形も無く、五感も無く、意識だけの自分なら、あなたは「自分」のことを何と思うでしょうか？　恐らく自分が解らないでしょう。だから神は、形の中に私たちを入れ、自我を持たせたのです。しかし、そのために私たちは、形に惑わされ本当の自分を見失ってしまいました。今、私たちが苦しんでいるのは、本当の自分を見失ったからです。でも、その苦しみの中から、必ず本当の自分を発見する時がきます。自我を持った自分が本当の自分を発見すれば、もう迷うことはなくなります。それは本当の自分と自我の自分の両方を体験し、中庸の自分を知ったからです。そうなれば、自分が宇宙を創り、自分が自分を創ったことの確信が得られるのです。

人間も、神も、宇宙も、何もかも、自分の意識が作り出した観念の産物にしか過ぎません。その観念の産物を生み出した意識の自分とは、一体何者なのでしょうか？　どこから来たのでしょうか？　どこ

これから生まれたのでしょうか？・・・疑問は尽きません。二〇一六・一・三一

絶対宇宙と相対宇宙は同等の価値がある

絶対という言葉は、対がない！ 相手がない！ という意味で、一つを意味する言葉ですから絶対宇宙は、確定された宇宙なのです。その絶対宇宙は、何もかも揃っている総合された宇宙ですから、無限の創造性と、無限の可能性と、無限の発展性が秘められているのです。ゆえに、真実の宇宙と言えるでしょう。対して相対という言葉は、対がある！ 相手がある！ という意味ですから、無数を意味する言葉になります。だから相対宇宙は、不確定な宇宙なのです。不確定なるがゆえに、確実な創造性も、確実な可能性も、確実な発展性もない非真実の宇宙、つまり幻の宇宙なのです。このように言うと、相対宇宙は存在価値が無いように思えますが、どうしてどうして絶対宇宙と同等の価値を持っているのです。なぜなら、不確定宇宙が無くては確定宇宙の存在が無いし、確定宇宙が無くては不確定宇宙が存在できないからです。この二つの宇宙の存在価値が真に高められるのは、不確定宇宙と確定宇宙が相俟って中庸宇宙に姿を変えた時です。私たちの目的は、その中庸宇宙に帰ることなのです。二〇一六・二・七

幻の話をしてても意味が無い！

よく幽界の話を書いたがる人がおりますが、意識の高さ(理解力の高さ)によって進展してゆく階層宇宙のことを、どうしてお話できるでしょうか？ 青と黄色の間には無限の色があるのですよ！ ドとレの間には無限の音があるのですよ！ 同様に、表現宇宙にも無限の階層があるのです。その無限の階層の話、どうしてできるでしょうか？・・・。私たちが知るべき話は、そんな幻の世界の話ではなく、真実の世界の話ではないでしょうか？・・・。

自分の宇宙しか無いと知った者(唯我独尊(存)の意味を知った者)は、もう幽界の話や、過去世の話や、物質化現象の話や、CFOの話などはしないでしよう。なぜなら、実在しない幻の話をしてても何の意味も無いからです。

この宇宙で本当に存在するのは、自分の宇宙だけです。なのに幻の話に惑わされるとは、どういう了見なのでしようか？ よく自省してほしいものです。二〇一六・二・一四

生き人とは？

今どんな苦しい環境にあらうと、そんな苦しみなど笑い飛ばしなさい。どうせ夢幻のドラマにしか過ぎないのでから・・・。この世のどんな出来ごとでも、みな消えて無くなる夢幻です。そんな夢幻のために心を痛めるなど愚かです。さあ、真実のために生きましょう！ 真実のために生きるとは、本当の自分に生きるという意味です。生命なる、神なる、自分に生きるという意味です。

夢幻に生きている者は、死人なのです。本当の自分に生きている者は、生人なのです。どうか生き人になつてください。二〇一六・二・二一

大山(お山)の大将

この表現宇宙に「ああだ！ こうだ！」と言える宇宙は無いのです。なぜなら、この表現宇宙は、どこまでも不確定な宇宙だからです。ゆえに普遍性もあり得ないし、再現性もあり得ないし、客観性もあり得ないのです。ただその中であって、一つだけ確かなことがあります。それは、今、自分と生きている意識・想い

です。これだけは、確かに存在しています。しかしそれ以外は、みな幻なのです。その自分と思っている意識が、どのような理解力を持ち、どのような確信に基づいて、どのような想念を使うかによって、自分の宇宙の中に独自の絵を描くことができます。事実、理解力の無い人間は、迷った想念を持ち、迷った確信に基づいて(自分を人間と誤解し)幻の自分の宇宙の中に様々な苦しみの絵を描いていますし、理解力のある覚者は、確かな想念を持ち、確かな想念に基づいた、真実の自分の宇宙の中に素晴らしい幸せの絵を描いているではありませんか。このように、真実の自分を知った者だけが、究極の幸せが与えられるようになってるのが、唯我独存(尊)の宇宙なのです。これは、「自分の思いだけが唯一真実である」と理解できた者だけに与えられる褒美と思ったら良いでしょう。

そうなのです。

この宇宙で確かなことは、今の自分の思いと理解力であり、その理解力から創られた宇宙だけです。その宇宙に、幸不幸があるわけではありません。理解力に基づいて作られた、幸不幸があるだけです。だから私たちは、理解力を高めてゆかねばならないのです。なぜなら、今の理解力に満足しては、幸も不幸も今の状態で留まってしまうからです。私たちは、理解力を高めて幸せの階段を上ってゆかねばなりません。だから私は、「幸不幸はその者の理解力が握っている」と言うのです。

まだ解っていない人がいるようなので忠告しますが、現象の中に真の幸せを見つけることは絶対できないのです。したがって、過去世の話やCTOの話や幽界の話やこの世の現象の話に興味のある者は、小山の大將になることはあっても大山(お山)の大將にはなれないのです。

さあ、理解力を高め、真実の自分を発見しようではありませんか。発見した者は、もう唯我独存(尊)宇宙の大山(お山)の大將なのです。さあ、大山(お山)の大將になって、高い山から下界を見下ろそうではありませんか。二〇一六・二・二八

自分の中に無いモノは出せない！

自分の家の中に無いモノは、どんなに家の中を探しても見付けることはできません。同様に、自分の心の中に無いモノは、どんなに自分の心の中を探しても見付けることはできないのです。したがって、心の中に無いものは出せないのです。どんなに優しさを表そうと思っても、自分の心の中に真の優しさが無かったら表わせないということです。たとえ表したとしても、それはみな偽善です。

同じように、自分の心の中に神がなかったら、神は現せないのです。では、どうすれば現せるようになる

か？ それは、自分で作るしかないのです。自分で作るしかないという意味は、自分の身で体験して作るしかないという意味です。すなわち、辛いこと、苦しいこと、悲しいこと、楽しいこと、嬉しいこと、感動的なことなどの社会体験をし、さらに瞑想して、思索して、原子核を増やすしかないということです。原子核が増えれば、理解力が高まります。理解力が高まれば、神の自覚が高まります。こうして自力で築き上げることによって、神を現せるようになるのです。だから、気の遠くなる人生体験が必要になってくるわけです。
拝み屋の付け焼き刃では、神は現せない！ということですよ。二〇一六・三・六

最後の審判

キリスト教で言われている「最後の審判」は、世の終わりに魂の選別がなされるという意味のようですが、この世に最後などあるわけではないのですから、信じてはなりません。たとえ一時それらしきことがあったにしても、選別は誰かがするのではなく自分自身が行うのです。といっても、もうすでに私の本を読んでいるあなたは、自分の理解力を持ってニセモノかホンモノか見分け選別したのですから、改めてする必要はないでしょう。

本屋さんに行つてごらんさい。精神世界の本や宗教の本がところ狭しと並べられています。またインターネットでも、そのたぐいの情報が飛び交っております。その中からホンモノを選ぶのは、砂の上に落とされたコンタクトレンズを探すくらい難しいでしょう。なぜなら、その殆どが自我で書かれたニセモノの本ばかりだからです。あなた達は、その中から私の本を選んだわけですから、それはそれは大変な選別をしたわけです。これは、自分を大いに褒めてやってみてほしいと思います。と同時に、その苦勞に報いるためにも、ぜひ真理を實にして帰つてほしいと思います。

これは外側の選別だけではなく、内側のニセモノとホンモノの選別についても言えることなのです。すなわち、自我(サタン)と真我との選別です。ぜひ、外も内も間違いない選別をしてほしいものです。二〇一六・三・一三

自己完結型の道場

あなたが出したモノは、どんなモノであろうと、必ずあなたのとこに返つてくるようになっていたのが、宇宙の法則(原因と結果の法則とエネルギー均衡の法則)の仕組みです。世の人々は、人から憎しみを受けた

といって腹を立てますが、それは自分が出していたからです。「私はそんな覚えはない！」という人がおられますが、原因を出していない人の所に結果が返ってくるわけがないのですから、間違ひなく自分が出していたのです。「おゝい！」と言った山彦は、必ず「おゝい！」と返ってくるのです。つまり、憎しみの「おゝい！」と言った山彦は、憎しみの「おゝい！」と言う山彦となつて返ってくるのです。自分の中にないモノが出せない理由は、自分の倉庫にない在庫品は出しようがないからです。

人の欠点は気づいても、自分の欠点はなかなか気づかないものです。だから気づかせるために、自分の欠点を人の欠点として見せられるのです。もしあなたが、人の欠点を見せられ嫌な気分になつたら、それは自分の欠点を見せられ嫌な気分になつたと思つてください。そう思えば、欠点を気づかせてくれた相手にも、宇宙の法則にも、感謝できると思います。

人の振りみて我が振り直せる仕組みは、自分を成長させてくれる有り難い仕組みですが、これは誰かが仕組んだのではなく、みな自分が仕組んだのです。

「自分で鏡を作り、その鏡に自分の姿を写して自分の欠点を見つけ、その欠点を修正し自分が成長してゆく」、正にこの表現世界は自己完結型の有り難い学習道場です。二〇一六・三・二〇

認識者と被認識者は同一の者である

認める人間がいなければ、認められる神は存在できません。だから、神は認識者である人間を創り、自分を認めてもらっているのです。その意味では、人間と神は相身互いの関係にあると思っていいでしよう。ゆえに、神が上位で人間が下位だと言ってはならないのです。いや、人間と神は同等なのです。つまり、人間イコール神、神イコール人間です。だから、私は堂々と、「人間は神である！ 神は人間である！」と断言するのです。

認識されない存在(神)は、どんなに偉大な存在であっても、存在の意味はないのです。認識されてはじめて、偉大さが誇示できるのです。しかもその認識者(人間)は、被認識者(神)自らがなっているわけですから、どちらが認識者になっても被認識者になっても構わないのです。つまり、神の立場から見たら人間は被認識者となるし、人間の立場から見たら神は被認識者になるだけです。二〇一六・三・二七

自分の想念が作るから有る

自分の想念が作らないものは無いのです。自分の想念が作るから、自分に返ってきて、有るようになるのです。この真理は、なかなか理解できないかもしれないかもしれませんが、信じられないかもしれませんが、でもこれは、間違いない真理なのです。良く自分の苦しみを他人のせいにする人がいますが、他人から与えられる苦しみなど無いのです。自分は原因者です。他人は結果体です。結果体が、どうして原因者に苦しみを与えることができませんか。もしできるなら先に結果があつたことになり、この宇宙の秩序は無茶苦茶になつてしまいます。神がそんな無秩序な宇宙を創られるわけがないのですから、良き結果も悪き結果もすべて自分の想念が作っているのです。ならば、良き結果が与えられるように良い想念を使おうではありませんか。

繰り返します。「自分の想念が作るから有る」のです。それは、あなたの内宇宙の出来ごとであると同時に、外宇宙の出来ごとでもあるのです。なぜなら、あなたの想念で幻まで作れるからです。あなたの想念は、内宇宙を牛耳っていると同時に、外宇宙も牛耳っているのです。それほど、あなたの想念の力は凄いと云うことです。

あなたが良い想念を使っている時は、白い息を吐いているのです。悪い想念を使っている時は、黒い息を吐いているのです。内宇宙を愛しいと思うなら、外宇宙を愛しいと思うなら、そして地球を愛しいと思うなら、ぜひ良い想念を使って欲しいと思います。二〇一六・四・三

神を認めないモノは存在しない！

「神を認めないモノは存在しない！」という理由を説明しましょう。

神が一番に望んでいることは、自分の存在を認めてもらうことです。自分だけ自分の存在を認めても、他に自分を認めてくれるモノがいなかったら、自分の存在はあり得ないからです。認めるモノがいて、はじめに認められるものが存在できるのです。「・・・認められるモノが存在できないのでは、認めるモノも存在できないのは道理である。認めるモノ⇕認められるモノ、認められるモノ⇕認めるモノである。だから、神を認めないモノは、存在しないのである。・・・」

神の存在を認められないモノが、自分の存在を主張するのは痴がましいというものです。神を存在させられないモノが、自分だけ存在させようと思うのは矛盾だからです。

人類が万物の霊長と言われる所以は、神を認められるところまで進化した生き物だからです。しかし人類の中にも、無神論者のような神を認めない人間もおります。ということは、彼らは存在しないことになりませぬ。なぜなら、先程も述べたように、神を認めないモノは、存在しないからです。

人類の中にも、神を認めない人間がいるわけですが、それはまだそこまでの理解力を持っていないからで

す。神は自分を認めて欲しくて人類を創ったのですから、その役割が果たせなくては、存在意味がないのです。私が理解力の大切さを訴えるのは、理解力が無くては、神を認めてやるのが出来ないからです。

もしこの宇宙に、神を認める生き物がいなかったら、宇宙の存在も神の存在も無かったでしょう。幸いなことに、あなた達のような神を認めてやれる者がおります。だから、宇宙も神も今存在できています。幸いなということは、あなた達が今「宇宙を、神を」存在させているということです。神を認めている者が神を存在させ、認められている神が認めている者を存在させているという相身互いの関係にあるのが、人間と神の間柄なのです。だから、神を認めない無神論者は、存在していないことになるのです。神を認める理解力を持った時、はじめてこの宇宙にその者が存在することになるのです。二〇一六・四・一〇

掴みどころのない現象の世界

この現象の世界は、有るようで無く、無いようで有り、無いようで有り、有るようで無い、「うなぎ」のような掴みどころのない世界です。それは、この現象の世界に確かなものは何一つ無いからです。しっかりと掴んでいたつもりが、いつの間にか手からすり抜けているのがこの現象の世界なのです。ということは、自

殺しようと悩むほどの世界ではないということです。あなたが今見て感じているモノ、あなたが今真剣に演じているドラマ、これすべて消えゆく夢幻なのです。そんな夢幻のために心を痛めるなど愚かです。だからといって私は、この世界を軽んじて良いといっているわけではありません。なぜなら、この世界で演じているドラマのすべてが、永遠に尽きない永遠に、色褪せない、幸せの味付け材料になっているからです。

私が言いたいのは、そんな夢幻のために悩まないでください！ということです。今あなたがやらねばならないことは、本当にあるモノに生きることです。本当にあるモノとは、あなたの意識です。あなたの意識は永遠になくならないのです。その意識を、永遠に尽きない、永遠に色褪せない、幸せの中に入れることが、人生の最大の目的なのです。家族のこと、仕事のこと、社会のことは、すべて幸せを得るための方便なのです。では、どうすれば幸せの中に入れるか？ ということですが、それは、「人類の夜明2・3・4」の書の中で述べているので、じっくりと読んでいただきたいと思います。

付記…一番大切なのは何なのでしょう？ 形でしょうか？ 意識でしょうか？ それは意識ではありませんか？・・・なぜなら、形は一時の自分ですが、意識は永遠の自分だからです。では、その意識が求めているものは一体何でしょうか？ それは永遠に尽きない、永遠に色褪せない、究極の幸せではありません

か？ 形がなくても、肉体がなくても、究極の幸せがあったらそれでいいのですから……。意識が本当の自分ですから当然でしょう。

人生の最大の目的は、究極の幸せの中に自分の意識を入れることなのです。あなたが今真剣にやっているこの世のことは、すべて究極の幸せを得るための方便であることを知ってください。二〇一六・四・一七

妄念を抱くとは？・・・

「妄念」という字を見ていただきしたいと思います。「妄」の字は、上に「亡」と書き下に「女」と書きます。下の「女」という字は、物質のことを意味し、この世の物質のことを表しています。上の「亡」は「死ぬ・消える」ことを意味し、これは幻のことを意味しているのです。「念」という字は、「今」の「心」と書き、自分の今の心の想いを意味しています。通して解釈すれば、妄念という字は、自分の今の心に「幻の物質を想い描く」という意味になります。想念は実現の母といわれるように、物質の妄念を抱けば波動が落ちるわけですから、苦しい人生になるのは当然でしょう。だから覚者は、妄念を抱いてはならないと、口うるさくいうのです。日本の漢字は、実に真理を的確に表現していると思います。

付記：物質とは、単にこの世の物だけのことを言っているのではなく、表現世界の諸々のことを言っているのです。つまり、人間社会の諸々のことを言っているのです。二〇一六・四・二四

心の醜さが、鏡に写し出されている

よく自分の苦しみを人のせいにする人がおりますが、人から与えられた苦しみなどありません。自分は原因者(光)です。人は結果体(影)です。結果体(影)が原因者(光)に、影響を与えることなど出来るわけがないのです。もし与えられるなら、先に結果体があることになり、この宇宙の秩序は無茶苦茶になってしまいます。

出すから、入るのです。エネルギー均衡の法則が働いている宇宙において、これは当たり前のことなのです。何でもそうですが、出さなければ入って来ないのです。凹が生まれるから、凸が入って来るのです。想念を出さなければ、凹が生まれるわけがないのですから、凸が入って来るわけがないのです。しかもこのエネルギー均衡の法則は、出した凹と同じ質の凸が入って来るようになってはいるのです。つまり、悪しき想念(凹)を出せば悪しきモノ(凸)が入り、良き想念(凹)を出せば良きモノ(凸)が入って来るようになってはいるのです。苦しみは、あくまでも自分の想念が生み出した結果なのです。このことは、病気に置き換えてみたら分

かりやすいと思います。

病気になった結果があったということは、その結果を作った原因が自分の中にあったということです。つまり、悪しき想念を出(凹)していたから、悪しき病気が返って来た(凸)のです。この表現世界は、見えない原因を見える結果として写し出す鏡のようなものなのです。見えない原因とは心(想念)であり、見える結果とはこの場合病気です。肉体は鏡なのです。人の心の醜さが、肉体の鏡に病気という姿で写し出されているのです。神は、見えない心(想念)の状態を、見える病気という状態で現わし、心の醜さに気づいてもらうとしているのです。これは、神の慈悲と言って良いでしょう。

これは、ゴミについても言えることです。今、地球環境は悪化の一途をたどっていますが、これは人類の心が汚れているからです。人類の醜い心が、地球環境の悪化という形で現れているのです。醜い心の社会からは、病気も、ゴミも、沢山生まれるのです。病気の多さとゴミの多さは、その星の進化のバロメーターになっているのです。やがて人類は、そのことに気付き心を正してゆくでしょうが、その時は、病気も、ゴミも、減ってゆくでしょう。二〇一六・五・一

神性を放棄してはならない！

どうしてご利益を求めてはならないかといいますと、自分の神性を放棄してしまうことになるからです。私たちは、鈍重で、汚く、無能な人間ではないのです。精妙な、美しい、全能な神なのです。私たちは元々神なのです。このままにして神なのです。これから神になるのではないのです。永遠の昔から神だったのです。ですから私たちには、偉大な能力が備わっているのです。その偉大な能力を持っている神が、どうしてご利益を求めるのですか？ それは大金を持ちながら、人にお金を恵んでくださいと言っているようなものです。それでは、偉大な神性を放棄してしまうことになりませんか？

私が一番に望むのは、自分の神性を心の底で知って欲しいことです。心の底で知ったら、偉大な神の能力が蘇ってきます。そうになると、この世のご利益など求めなくなりません。人間だと思っから、チツポケなご利益を欲しがるのです。どうか、自分の神性を傷付けなください。二〇一六・五・八

実際に有るものだけが、実際に有る

実際に有るものだけが、実際に有るのです。この言葉を、心の底で噛みしめて欲しいと思います。では、実際に有るモノとは何でしょうか？ それは、永遠に無くならない本質のことです。その本質のことを、生命とも、神とも、意識とも、エネルギーとも、呼んでいるのです。その本質が、形を生み出しているのです。でもその形は、実際に有るものではないのです。なぜなら、一時の存在だからです。一時の存在という意味は、幻であるという意味なのです。見えるモノ、触れるモノは、みな幻なのです。見えない、触れない、永遠に無くならない本質が、実際に有るモノなのです。ということは、消えて無くなってしまふ人は、幻と言うことになるでしょう。そう・・・人は幻なのです。

実際に有るものは本質です。その本質が、想い、考え、言葉を話し、行動しているのです。ということは、今考え、言葉を話し、行動している人は、実際に有る本質ということになるでしょう。人の形はしていますが、その実体は本質なのです。だからあなたは、間違いなく生命であり、神であり、意識であり、エネルギーなのです

誰もが、形に惑わされて本当の自分を見失っているのです。さあ、目覚めましょう。あなたは、本当に有る本質なのですから・・・。二〇一六・五・一五

私たちは何を学ぶべきか？

私たちは、宇宙がどうなっているか？ 幽界ってどんなところか？ 高級霊って何なのか？ 宇宙人って何なのか？ そんなことを学ぶ必要はないのです。なぜなら、そんなモノはみな幻だからです。幻を学んで、一体何の益があるのでしょうか？ 私たちは、本当に有るモノだけ学べば良いのです。では、本当に有るモノとは何でしょうか？ それは、永遠に無くならない意識です。その意識は、自分が持っているわけですから、自分を学べば良いのです。では、自分の何を学べば良いのでしょうか？ それは、「自分(意識)は何を求めているか？ 何を欲しているか？」ということ学ぶことです。

私たちの意識は、何を欲しているのでしょうか？ それは、幸せではないのでしょうか？ それも、永遠に尽きない、永遠に色褪せない、幸せを欲しているのではないのでしょうか？ では、その幸せを得るためには何が必要でしょうか？ 肉体が必要でしょうか？ 形が必要でしょうか？ 物やお金が必要でしょうか？ 地位や名誉や権力が必要でしょうか？ 高等数学が必要でしょうか？ 宇宙人やUFOを知る必要があるのでしょうか？ 幽界を知る必要があるのでしょうか？ 宇宙の謎を知る必要があるのでしょうか？ 必要なのは、原子核(魂)を大きくすることだけではないのでしょうか。原子核(魂)を大きくすれば、自動的に幸せが得

られるからです。

原子核(魂)を大きくするには、

・社会体験をすることです。

・瞑想をすることです。

・思索をすることです。

この三つの方法については、本でも、勉強会でも、詳しく述べているので見て欲しいと思います。

この宇宙で最も確かなことは、本当に有るモノだけが本当に有るといふ真理です。本当に有るモノとは、永遠に無くならない意識であり、その意識が感じる永遠に無くならない幸せなのです。意識も幸せも、永遠に無くならないのです。永遠に無くならないがゆえに、永遠に無くならない幸せは、永遠に無くならない意識に感じてもらいたいのです。永遠に無くならない意識は、永遠に無くならない幸せだけが欲しいのです。

私が外側の現象を嫌うのは、外側のモノからは、決して幸せは得られないからです。幸せは意識が感じるのですから、意識が直接幸せを受け取ったら良いのです。だから、肉体も必要ないし、形も必要ないのです。意識と幸せの間に、何も挟む必要はないということです。このことが解った人は、もう肉体に囚われること

がなくなるし、外側の何モノも欲しがらなくなるでしょう。二〇一六・五・二二

絶対真理を支える絶対真理

「この宇宙には、たった一つの神しか存在しない！」というのは、絶対真理です。この絶対真理を念頭に、何かが存在するための絶対条件を考えてみましょう。

「何かが存在するためには、その何かを認めてくれる認識者が絶対必要です。つまり、神が存在するためには、神を認めてくれる認識者が絶対必要なのです。この絶対条件も真理なのです。なぜなら、認めてくれるモノが存在しなくては、認められるモノは存在できないからです。でも良く考えてみてください。「この宇宙にはたった一つの神しか存在しない！」という絶対真理があるならば、神を認めてくれる認識者が他に存在できるはずがありませんか？ もし他に認識者が存在するなら、「この宇宙にたった一つの神しか存在しない！」という真理は崩れ去ってしまうからです。これは神にとって実に困ったことです。なぜなら、前述したように、「神が存在するためには、神を認めてくれる認識者が絶対必要だからです。」

神は悩んだ末、次のような苦肉の策をみだしました。それは、自分の分身を創り、その分身から自分を

認めてもらうという方法でした。そのためには、分身に自分と同じ能力を持たせ、かつ客観的立場に立たせる必要があったわけです。しかも、神の記憶を持ったままでは意味が無いので、分身から記憶を奪う必要があったのです。そういうわけで神は、分身に自分と同じ能力を持たせ、かつ記憶を奪い、さらに客観視できる立場にして、表現宇宙に送り出したのです。その時点で、神と分身は同等の立場になったのです。

人がなぜ神なのか？ それは、神と同じ能力を持つ認識者だからです。

← 神(原因者)・・・認識する者 ↓ ↓ ↓ 人(結果者)・・・認識される者

← 認識する

→ 神(結果者)・被認識者)・・・認識される者 ↑ ↑ ↑ 人(原因者)・・・認識者

→ 認識し返す

人が存在しなくては神が存在できない、神が存在しなくては人が存在できない、この相身互いの関係にあるのが神と人なのです。だから私は、「人と神は対等である！」というのです。これが、絶対真理を支える絶対真理の必要な理由なのです。二〇一六・五・二九

原子核が増えた証し

神は見えませんが、でも見えない神が信じられてこそ、はじめて真の信仰者といえるのです。病に犯された娘が、こんなことをいっていました。「病気を治してくれたら、神様を信じます」と……。これでは神を試していることになりませんから、真の信仰者とはいえないのです。とはいえ、やはり何か目に見える形で信じたのが人間でしょう。毎日瞑想していても、何の変化も起きないようでは、「本当に原子核が増えているのか？」と疑いたくなるのも無理ないからです。悲しいことですが、私たちは目に見える変化がなくては、なかなか信じられないのです。でも、社会体験をし、瞑想をし、思索をすれば、間違いなく原子核は増えるのです。

・家庭や職場でトラブルが少なくなったのは、原子核が増えた証しではありませんか？

- ・憎しみや恨みの感情が薄れたのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・現象に囚われなくなったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・以前より衣・食・住にこだわらなくなったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・以前より悩みや心配が少なくなったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・以前よりお金や物や地位や名誉に執着しなくなったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・環境が良くなったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・波動が敏感に感じられるようになったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・嫌なことをやるのが苦にならなくなったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・以前より行動的になったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・友人や隣人などの付き合いが減ったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
 - ・この世の楽しみにのめり込まなくなったのは、原子核が増えた証しではありませんか？
- このように真理を求めている人は、実際に目に見える形で変化が起きているのです。もし、「最近あなた変わったわね」と人にいわれたら、原子核が増えた証しですから大いに喜んでください。たとえ何の変化が起きなくても、間違いない未来に向けて布石を打っているのですから、ぜひ真理を求め続けてほしいと思います。

変化の体験

神の自分を自覚すれば変性変容が起きることは、これまで何度も述べてきたところですが、この変性変容の程度は自覚の深さによって違ってくるのです。浅い自覚には小さな変化が．．．、深い自覚には大きな変化が．．．神の自覚には際限がないので、変化も際限なく起き、際限なく続くのです。その意味では、学んでいる皆さんは、間違いなく変化が起きているはずですが、ただ変化の程度が少ないため、なかなか実感できないだけです。でも、原子核を増やす三つの方法を実践していれば、間違いなく変化は起きるのです。その証拠に、最近学びの友の中に「自分の身」で変化を体験した人が何人か出ています。これは、私の言っていることの正しさを示す貴重な体験と言えましょう。「自分の身で」という表現をしたのは、私たちの身体(環境)は神の表現媒体として創られたものですから、自分が神の分身だと気付けば、そく身体(環境)に変化が現れるようになっていくからです。

では、変化を実体験した学びの友のメールをご披露することにしましょう。きっと、他の学びの友の励み

になると思います。

メールを頂いた「Aさん」の体験談(本人の了解済み)

日々の生活において、「社会体験」「瞑想」「思索」を続けていますが、ずっと、親指の腱鞘炎と右腕の痛みが取れずにおりました。仕事が縫製業で指・腕を酷使する作業をしております為、半ば職業病と諦めておりました。ところが、一週間くらい前から鉄線で体をぐるぐる巻かれ締め付けられるようなひどい痛みとしびれが起こり、精神がおかしくなりそうな状態になりました。「こんなにも神に意識を向けているのに、なぜこんな痛みが起こるのだろうか？」と疑問に思い思索をした所、「真剣に瞑想しなさい！」という答えが返ってきたのです。そこで「吾神なり！」の瞑想を八時間ほど真剣にしたところ、痛みが少し和らぐと伴に自分の足りなかった部分にも気づくことができたのです。

かとうさんの書かれた「病で苦しんでいる人の為の小冊子・最新のオーディオブック版」を何回も聴きました。おかげで、病気に対して間違った認識をしていたことに気づきました。たとえば、瞑想をして痛みが減るということは、この痛みは元々無い物だという気づき・神が作られたこの身体は、使えば使うほど強靱・健全になるという気づき・使えば使うほどに進化・成長していくという気づき・肉體細胞を支配している生命に全託していれば、自然と蘇生・修復してくれるという気づき等々・・・本当に目から鱗が落ち

る思いでした。私の場合、毎日の仕事で指や腕を酷使しているから痛くなっても仕方ないと諦めていたこと自体が間違いだったのですね。また痛みがあるので、ストレッチをしたり運動をしたり、痛みを無くそうと自我の自分が躍起になっていたのも間違いだったのですね。「私の意識も神の意識であり、この肉体細胞一つ一つも神の意識核で作られている」のだとストンと腑に落ちた瞬間、「あー私は全て神から出来ているんだ!!」という想いが込み上げ、感動！感動！感動！の波が押し寄せてきたのです。そして「なーんだ！私って神以外の何者でもないんだ！」と可笑しくなって一人でクスクス笑ってしまいました。それと同時に、涙がポロポロとこぼれて止まらなくなりました。「私は神だった!」「私は神の意志と意識で出来ている!」この想いが胸の中を熱く・優しく包み込んで涙が止まらないのです。仕事中心だったので、涙を拭うのが大変でした。

この身体を神に全託し、迷いや不安を全て捨て、神の力を心から信じるように切り替えたなら、あんなにあった痛みがピタッと治まってしまいました。もう、指も腕も痛くないのです。時々電気が走るような感覚もあります、「幻が騒いでいるねー」と受け流していたらそれもすぐに無くなりました。今は本当に楽なのです。

自分が問題を提起し、自分の想念が痛みを作って自分の過ちに気付かせ解決した、貴重な体験をさせても

らいました。全て自己完結型の宇宙なのです。今回の体験で、魂が大きく成長出来たと実感しております。日々原子核を増やす小さな努力は、必ず変性変容をもたらすということも実感できました。かとうさんの教えの通りでした！

これからもこつこつと努力を続けていきます。これから先仕事で身体を酷使しても、もう怖いことはありません。使えば使う程に私の身体は進化・成長して強靱になっていくのですから・・・完全なる神が作った完全な身体ですから100%全託します。」

このAさんの体験は、「自分が神である！」と気付くことによって身に变化の起きた貴重な実例です。気付くと、自覚とは、紙一重なのです。これは当人の心の微妙な味わいなので、自覚と気付きの違いを判断することは出来ません。でも、準覚状態になったため起きた変化であることは確かです。「自分が神である！」と自覚した深さの程度は、本人にも分らないのです。でもAさんが体験した身の変化は、普通の意識状態では起きようのないことです。このように日々原子核を増やしていれば、間違いなく変化が起きてくるのです。

神は完全です。偉大な力を持っているのです。私たちは、その神によって創られた分身なのです。病気になるわけがないのです。私たちの身体は、ものすごい許容量と潜在能力を持っているのです。だから使

えは使うほど頑健になるし、使えば使うほど働くようになるのです。こう思ってください。

「完全な神によって運営されている身体は、完全な働きしかできないのだと・・・だから自分の肉体は、健全・健康・完全なのだ・・・」二〇一六・六・一二

見える物(現象)から離れなさい！

私たちが、真に望んでいるモノは何でしょうか？ それは究極の幸せではないでしょうか？ その究極の幸せを得るためには、形から、見える物から、現象から、離れなくてはならないのです。なぜなら、見える物、聞こえるもの、感じるモノ、つまり現象はみな幻だからです。幻を追いかけ、どうして幸せが得られましようか？ しかし私たちは、気の遠くなる年月、見える世界で生きてきたために、どうしても見える現象を追いかけてしまうのです。

この宇宙に、どうして見える物と見えないモノがあるのでしょうか？ それは、価値あるモノが何かを知るためです。例えばこの社会の人々は、お金や宝石や美術品などが価値あるモノだと思っています。そう思うのは、それらのモノがあれば幸せになれると思っっているからです。でも、本当にそれらのモノが幸せにし

てくれるでしょうか？　いいや、それらのモノは、幸せの媒体であって、実際に幸せにしてくれるのは心です。幸福感というのは、心が受け取って得られるからです。では、お金や宝石や美術品に価値があったのでしょうか？　心に価値があったのでしょうか？　心に価値があったのです。お金や宝石や美術品は見えませんが、心は見えないのです。ということは、本当に価値のあるモノは見えないモノであるということになるでしょう。では私たちは、何を大切にすべきでしょうか？　見える物でしょうか？　見えないモノでしょうか？　見えないモノですね。すなわち、「意識・魂・心・想念」です。世の人々は、見える物(現象)に目が狂わされ、このことを忘れていっています。

さて私たちは、価値あるモノは見えないモノであることを知りました。では、その見えないモノは、この宇宙に幾つ有るのでしょうか？　見えないモノは、一つしか無いのです。でも、言葉にしてみたら沢山の見えないモノがあるのです。例えば、キリストも、ブツタも、見えない、生命も、無限も、永遠も、愛も、エネルギーも、意識も、魂も、心も、想念も、見えない、その見えない総代表を、私は神と呼んでいるのです。だから、言葉が違うからといって、見えないモノを違うモノだと思ってはならないのです。宗教戦争してはならない理由は、見えないモノは同じ一つの神だからです。

幸せは見えないのです。神は見えないのです。物質は見えるのです。これで、この宇宙に、どうして見え

る物と見えないモノがあるのか、また私がどうして現象を嫌うのかも分かったでしょう。本当の幸せは、遠くにある見える物の中にあるのではなく、手よりも足よりも近くにある見えない心の中にあるのです。

付記・確かに見えないモノは幸せの大元ですが、その見えないモノは見える物と対になって存在しているのです。つまり、見えるすべてのモノは、一つの見えないモノによって、つまり神によって存在させられているのです。ということは、すべてのモノの中に幸せがあるということになるでしょう。それは、表を見るか(物質・現象界・幽界・を見るか)、裏を見るか(意識・魂・心を観るか)で、幸せにも不幸せにもなるという意味なのです。二〇一六・六・一九

想念を正しく使って欲しい！

「想念は実現の母である！」という言葉、もう一度噛みしめて欲しいと思います。

何度も言いますように、想念は何でも生み出すのです。何でも実現させるのです。その想念を私たちは持たされているのですから、私たちはすでに救われているのです。こんな凄い宝物を持たされているというのに、人類はその宝物を正しく使っていないのです。想念を正しく使ったら、戦争も、事件も、事故も、病氣

も、災害も、一切無くなってしまふのです。もう、防災費も、軍事費も、保険をかける必要も、医療費を払う必要も、規則も、法律も、警察も、検事も、弁護士も、裁判官も、刑務所も、何も要らなくなるのです。しかし悲しいことに、今の人類にはそれが解らないのです。「ならば教えればいいじゃないか!」と言うかも知れませんが、こればかりは教えて解るものではないのです。なぜなら、どんなに良い事を教えても、受け皿がなければ受け取ることができないからです。だから私は、受け皿の備わった人達に向けて言っているのです。この更新集を見ている人は、その受け皿の備わった人達なのです。

どうか、想念の凄さを再認識してください。そして、あなた達だけでも良いから、想念を正しく使うようにしてください。それが人類に、地球に、宇宙に、貢献することになるのですから……。勿論、正しい想念を使っていれば、自分も、家族も、幸せになれるのは当然です。

付記・近年、台風・豪雨など、水の被害が多くなっていますが、なぜ多くなっているのでしょうか？

「物質」の象徴的存在として「水」があります。その水の被害が多くなっているということは、人類が物質に偏っているためである、と受け取れないでしょうか？ そうなのです。自然界は「あなた達は物質に偏り過ぎていますよ!」と警告しているのです。二〇一六・六・二六

すべては同じ一本の糸

ここに一本の糸があったとしましょう。その糸は、本源の宇宙(真実の宇宙・絶対宇宙)においては見えな
いため、存在しているように思えないのです。でも見えなくても、思えなくても、その糸は間違いなく存在
しているのです。なぜなら、見えないのが真実の証だからです。真実は見えません。でもそれでは存在
意味が無いので、神は波動を下げて見える無数の糸にし、表現宇宙に放出したのです。だから、この表現宇
宙には、波動の違う無数の糸が存在しているのです。例えば、クオークも、中性子も、陽子も、電子も、分
子も、細胞も、名前は違うが同じ一本の糸です。今後新しい素粒子が発見され色々な名前がつけられるでし
ようが、どんな名前がつけられようと、みな同じ一本の糸の現れに過ぎないことを忘れてはなりません。

神も、仏も、生命も、エネルギーも、光も、同じ一本の糸の現れです。キリストも、ブツタも、アラームも、
みな同じ一本の糸の現れです。土も、細菌も、ソマチットも、花も、犬も、人間も、みな同じ一本の糸の現
れです。当然、白人も、黒人も、黄人も、赤人も、緑人も、同じ一本の糸の現れです。だから、形や名前や
性質が違うからといって、差別したり敵対したりしてはならないのです。わざわざ探査機を飛ばして宇宙の
塵を拾ってくる必要がないのも、地球の塵も、宇宙の塵も、みな同じ一本の糸の現れに過ぎないからです。

真理について論議してならないのも、どんな論議の対象物も、みな同じ一本の糸の現れに過ぎないからです。人類は名前に囚われ、何が大切なのか見失っているのです。大切なのは名前を知ることではなく、真実の中身を知ることです。その真実は、一つしか無いのです。すなわち、一本の糸しか無いのです。神しか無いのです。だから私は、沢山のモノを知る必要はない、たった一つの神を知れば良いと言うのです。二〇一六・

七・三

「今」を正しく生きることの大切さ

私たちは、「今」を感じています。この「今」が有る事実は、誰も否定できないでしょう。「今」が大切です！と私が言うのは、「今」しか無いからです。つまり、「今」が原因点だからです。ということは、「今」は永遠に有り続けるということです。

これは、下の数式が証明してくれているのです。この数式が成り立つのは、原因と結果の法則が、この宇宙を支配しているからです。こういうことです。

「今」が有るのは、過去にも「今」が有ったからです。過去の「今」の原因なしに、「今」の結果は有り得ないわけですから、因果の法則が支配している宇宙においてこれは当然でしょう。ということは、次の未来にも、次の次の未来にも、いや、永遠の未来に「今」が有ることになります。これは、過去・現在・未来が一つだから言えることなのです。これを、因果の法則における三位一体といいます。しかし、三位一体ではありませんが、「今」がすべてなのです。なぜなら、今しか実在しないからです。つまり、今が原因点だからです。ではこの「今」を、「あなた」に置き換えてみましょう。

$$\text{無限時間} \times \frac{1(\text{今})}{\text{無限時間}} = 1(\text{今})$$

今「あなた」がいるということは、過去に「あなた」がいたからです。ということは、次の未来にも、次の未来にも、いや、永遠の未来に「あなた」がいることになります。これは、今「あなた」が存在している事実が有る限り当然なのです。このように「あなた」は、永遠に有り続けるのです。永遠に有り続けるがゆえに、今正しく生きなければならぬのです。なぜなら、今正しく生きなければ過去を悲惨な過去にし、未来も悲惨な未来にしてしまうからです。

過去は変えられないと思っていますが、今正しく生きることによって変えられるのです。なぜなら、今正しく生きられるのは、過去で学んだ成果ですから、その過去は良い過去に変わってしまうからです。しかし、あなたが今正しく生きなければ、過去で学ばなかったわけですから、その過去は悲惨な過去で終わってしまうのです。ということは、未来も悲惨な未来が待っているということです。今正しく生きることがいかに大切か、これで分かっていただけだと思います。

何でもそうですが、今何かが有る、今何かが起きている、ということは、過去でその原因を作っていたからです。これは、良いことでも悪いことでも同じです。その今は、未来を作っているわけですから、今正しく生きることが大切になってくるのです。今正しく生きれば、あなたは間違ひなく幸せになれるのです。今正しく生きればという意味は、今正しい信念を持って生きれば、という意味なのです。これは、因果の法則

が保証してくれるのですから間違いないのです。さあ法則を信じ、今正しい想念を持って生きましょう。二〇一六・七・一〇

付記…どんな良いことも悪く受け取れば、悪くなるのです。どんな悪いことも良く受け取れば、良くなるのです。それは、実際に有る真実のみが有るからそう言えるのです。真実の中に悪は無いのです。ならば、どちらに生きた方が賢いでしょうか？

あなたは肯定人ですか？ それとも否定人ですか？・・・

瞑想の二文字から瞑想の意味を探る

なぜ聖者(覚者)は瞑想をするのでしょうか？ その理由を瞑想という文字から探ってみましょう。「瞑想」の「瞑」とは、左辺に「目」右辺に「冥」と書きますが、左辺の「目」は見るという意味で、右辺の「冥」とは見えないという意味です。だから「瞑」とは、見えないモノを観るという意味になります。ここで「観る」という字を使ったのは、見えないモノを見るには、想いで観るしかないからです。

瞑想の「想」の上辺の「相」とは、真相(実相)のことを意味し、下辺の「心」は言うまでもなく人の心を意味しています。だから「想」とは、「真相」は「心」の中にあるという意味になります。したがって「瞑想」の二文字を通して解釈すれば、「心の中にある真相」を「想いで観る」という意味になります。このように、心の中にある真相を想いで観るのが瞑想なのです。

心の中にある「真相」とは、「神・生命・宇宙」のことですが、その真相を知るには、想いで実感するしかないのです、大昔より瞑想が行われてきたのです。

瞑想の極意は、想いでなぞることです。いつも言うことですが、今だけが実在です。その実在の今を「われ・か・み・な・り」の想いでなぞれば、想いは創造の力ですから、神を現すことができるのです。つまり想いで原因を作れば、必ず結果が現れるということです。この瞑想は地球だけでなく、無限の波動圏の中で(宇宙のいたるところで)行われているのです。

瞑想している時は生きており、この世の事を思っている時は死んでいると言われるのは、「神・生命・宇宙」を想っている時は、本当に有るモノに生きているが、それ以外の時は、本当に無いモノに生きているからです。この言葉には、深い、重い、意味が込められているのです。二〇一六・七・一七

付記：この宇宙には、実際に有るモノ（真実）のみが有るのです。この意味の深さを知って欲しいと思います。知れば、夢から目覚められるでしょう。

真に賢い者とは？

- ・ 真に賢い者とは、私（本当の自分）の前で正直に振る舞えるようになった人のことです。
 - ・ 真に賢い者とは、私（本当の自分）の前で素直に振る舞えるようになった人のことです。
 - ・ 真に賢い者とは、自分の幼さ、愚かさを知った人のことです。
 - ・ 真に賢い者とは、自分の無能さを知り、謙虚になった人のことです。
- この宇宙は無限ゆえに、無限に知るべきことがあるのです。その無限のほんの一部を知って得意になっている人は、何も知らない人です。覚者が謙虚なのは、永遠に知り得ない宇宙の無限性を知ったからです。どうか増長しないでください。あなたの得た知識なんか、ゴミにも当たらない小さなモノなのですから……、それも体験の伴わない知識を得ただけのことなのですから……。二〇一六・七・二四

付記…偶然が有るなら、神も偶然に存在していることになるでしょう。そうなれば、我々も偶然に存在していることになるし、何もかも偶然に存在していることになります。そんな無秩序な宇宙に何の意味があるのでしょうか？

純粹さが大切

やってあげたいから、やってあげるのです。してあげたいから、してあげるのです。そこに微塵の成算も入ってはなりません。純粹に、純粹に、清く、清く、「ただ世のため人のため！」と思いやってあげることです。その純度が高ければ高いほど、あなたは神人としての素晴らしい働きができるでしょう。

私たちは、間違いなく神人なのです。神の代弁代行者なのです。それは、私たちの本性（意識）が神だからです。どうか、神人として神の代弁代役を果たしてください。では私たちは、どのような代弁代役を果たせるのでしょうか？

(一) 何をやるにも、神が思い、神が話し、神が行っていると思いやることです。そう思いながらやれば、その思い、その言葉、その行為は、神の表現になります。つまり、その思いは素晴らしい発明・発見を

生み出し、その言葉は多くの人の心を揺さぶり、その行いは人の手本となるのです。

(二) 神を想い瞑想することです。

神を想う瞑想は、身体を浄化し、地球を浄化し、宇宙を浄化します。神を想う瞑想は、雑念を一点に集約させ心を穏やかにします。神を想う瞑想は、あなたの欠点を無くします。神を想う瞑想は、原子核を増やします。

このように、純粹に、清く、神の代弁代行役に徹すれば、素晴らしい神の表現ができるのです。さあ、純粹に、清く、神を想い、話し、行動してください。それは、どこへ行く必要もないしお金もかかりません。あなたの今の環境の中で、できるのです。その貢献度は、ボランティアの比ではないのです。二〇一六・七・三一

私の独り言

私は姿形の無い意識だけの存在です。だから私は、私を知らないまま今日まで生きてきました。一体意識の私って、何だろう？ 一体意識の私は、何処から来たのだろうか？ 一体、いつ生まれたのだろうか？

いや、私は生まれた覚えがない。だから死んだ覚えもない。気がついたら、私は存在していたのです。いやその言い方は、正しい言い方ではありません。「気がついたら」という言い方は、「生まれた時は」と言うことになるからです。私は、私の存在を永遠の昔から知っていたのですから、生まれたという言い方は正しくないでしょう。永遠の昔から私を知っていたということは、永遠の昔より私はいたということですから、いつもいたということです。そう、私のいない時はなかったのです。私には、初めはなかったのです。だから終わりもないのです。私は、ずっと生き通してきたのです。そんな私が、私のことを知らないで今日まで生きてきたのですから、不思議と言えば不思議な話です。

では、もう一度問いかけてみましょう。一体意識の私は、何者なのでしょうか？ 一体何処から来たのでしょうか？ しかし、どんなに問いかけても答えは返ってきません。いくら考えても、いくら思索しても、分からないのです。多分、永遠に意識の私のことは分からないでしょう。でも、意識の私のことは分からないでも、これだけは分かっています。私が唯一欲しいのは、幸せであることを……。それも、永遠に尽きない、永遠に色褪せない、究極の幸せが欲しいことを……。それで良いのです。なぜなら、幸せ以外、私は何もいらぬからです。二〇一六・八・七

付記：私が知りたいのは、私の意識を生み出したのは「何か」？ ということです。どうか皆さんも、私の意識を生み出した「何か」を探してください。

エネルギー均衡の法則が魂を成長させてくれる

この宇宙は、均衡を保とうとするエネルギーが支配していますので、均衡が崩れば必ず穴埋めさせられます。例えば、やれば必ずやりかえされます。奪えば必ず奪い返されます。与えれば必ず与え返されます。この宇宙に、一方通行は無いのです。エネルギーは出した分、必ず返ってくるようになっていのです。これは原因と結果の法則が裏支えているため間違いなく行われるのです。だからこそ、私たちは成長してゆけるわけです。

良いことをすれば良いことが、悪いことをすれば悪いことが返ってくるのは、因果の法則からして間違いないわけですが、それだけで終わらないのがこの法則の凄いとこころなのです。つまり行ったことには、必ず悪いリスクと良いリスクが付いてくるのです。例えば、大掃除をすれば家は綺麗になりますが、その代わりに着ているものが汚れたり、腹が空いたり、疲れたりします。これは悪いリスクです。遊園地帰りの親子が、

電車の中でコックリコックリする風景を良く見ますが、あれも楽しみみの後にやってくる悪いリスクの一つです。何かをすれば、必ずリスクを背負うのです。目に見えないリスクもありますが、それは分散されて目に見えないか、先延ばしされているかで、いつか必ずお返しがあるのです。このように考えてください。

大掃除をすれば家は綺麗になりますから、これは良いことです。でも肉体は疲れますから、これは悪いことです。でも筋肉が強くなりますから、これは良いことです。でも腹が空きますから、これは悪いことです。でも原子核が増えますから、これは良いことです。「良いことが悪いことにつながり、悪いことが良いことにつながり、また良いことが悪いことにつながり、悪いことが良いことにつながる」このエネルギー均衡の法則が、魂を成長させてくれるのです。

神が一番に望んでいることは、魂の成長です。苦楽を交互に体験しながら成長するのは、進化のプロセスなのです。神は、エネルギー均衡の法則を通して私たちの魂を成長させようとしているのです。二〇一六・八・一四

付記…何でもそうですが、馴れてしまうとそのモノの良さが分からなくなるのです。だから増長してしまうわけですが、これは大変もったいないことです。真理もそうです。私のウェブサイトもそうです。最初に味

わった感動も、馴れてしまうと薄れてしまい、反発心さえ起こってくるのです。

- ・あなたのあの感動の喜びは、ウソの喜びだったのですか？
- ・あなたが流したあの感動の涙は、ウソの涙だったのですか？

神は我が子に出来ないことをさせるわけがない！

私が一番感心するのは、神は出来ないことをさせて私達を悟らせようとしていない点です。「今の今、ただ神を想い続けなさい！ そうすれば神を自覚できますよ！」と神は言っているのです。全能の神が、私達に出来ないことをさせるわけがないのです。もし難しいことをしなければ悟れないなら、神は全能で無くなってしまう。全能の神なら、子供でも大人でも、女でも男でも、頭の良い人でも悪い人でも、貧しい国の人でも豊かな国の人でも、悟れる仕組みを用意してくれているはずですよ。

そうです。悟るのに難しい理論も、技も、何も要らないのです。今の今、ただ神を想うだけです。ただ、続けるか、続けないか、やるか、やらないか、だけです。でも殆どの人は、忍耐力なく止めてしまいます。それでは、実が実る前に手放してしまうのですから、実実が得られるわけがないのです。「継続は力なり！」

です。何も変化が起きないからといって、諦めないでください。

今の今しか実在しないのです。その今の実在を使って神を想い続けられ、間違ひなく神の自覚が得られるのです。神は、こんな簡単な方法を用意してくれているのです。これは、我が子を愛するがゆえの神の計らいです。さあ、今神を想い続けましょう。二〇一六・八・二一

付記：「神が我が子に出来ないことをさせるわけがない！」と言うのは、私達の日々の生活においてもやることなのです。神は私達に、難しい生き方をしなさいとは言っていないのです。今あなたが思ったことを素直に実行しなさい！ と言っているだけです。たとえそのことでおかしなことになったとしても、それは成長のためにそうなった必然ですから、決して失敗したとは思わないことです。どんな道も大道につながっているのです。「光のメロディー・・・真理を求めている人へ捧げる曲(人生の道)」を見てください。あなたの選んだ道は、みな正しかったのですから・・・。

心から悔改めたら全ての罪は許される

今までどんな凶悪な罪を犯していた者であっても、心から悔い改めたら（良心に生きるようになったら）、全ての罪は許されるのです。“私はもう悪いことを一切やらない！ 私は今から良心に生きる！”と堅く誓った瞬間、今までの自分ではなくなるのです。なぜなら、人間の自分から神の自分に戻ったからです。良心は神の心です。実在する心です。その心に生きるようになった瞬間、自我の自分は存在しなくなるのです。今まで悪いことをしていたのは、実在しない自我（サタン）の自分だったのです。実在しない自我（サタン）の自分に罪があるわけありませんから、決して肉体を罰してはならないのです。ということは、この宇宙に罰するモノなど一つも無いということです。

真我人間とは、良心に生きるようになった人間のことです。良心には一点の汚れも無いのです。よく心が汚れているといいますが、汚れた心など一つもありません。ただ心の周りに、ゴミが付着しているだけです。ですから改心しゴミを落とせば、そく真心に戻るのです。ゴミとは、迷いのことなのです。迷いは実在するものではありませんから、迷いを取ればそく真我の自分に戻れるのです。迷いを取る作業が、反省・懺悔なのです。

私が死刑に反対するのは、改心したその瞬間に罪人はいなくなるからです。いない罪人を殺すなど大きな罪です。迷いが罪人を作っているのです。憎むべき相手は、罪人ではなく迷いなのです。ですから、「迷いを憎んで人を憎まず」です。どうか迷いを取っ払ってください。それは、真理を知ることによって取っ払えるのです。「無知こそ最大の罪である！」と覚者がいうのは、真理を知らなければ、どうしても迷って罪を犯してしまうからです。どうか、罪人のいないことを知ってください。二〇一六・八・二八

付記…昨日まで体の調子が良かったのに、今日急に調子が悪くなったという人は、間違はなくネガティブな波動にやられています。つまり、サタンにやられています。その時は、真理を求める気持ちも弱くなっているはず。ぜひ、そのことに気付いてください。気付いたら、「サタンよ見破ったぞ！ サタンよ退け！ サタンよ出てゆけ！ 出てゆけ！ 出てゆけ！」と、何度も心の中で叫んでください。もし、どこかに痛みがあったら、「想わない！ 想わない！ 想わない！」と思ってください。「想わない！」と思うだけで結構です。きっと痛みが和らぐでしょう。体の調子が良くなったら、瞑想してください。

進化の決め手は幸福度である

この宇宙には、様々な進化の度合いを持った星が存在しますが、その星がどれだけ進化した星か判定する基準はあるのでしょうか？ あります。それは、その星に住む人たちがどれだけ高い理解力を持っているかが判定基準です。では、その理解力の高低は、どのようにして判定するのでしょうか。その判定基準は、幸福度です。低い理解力によって創られた世界の幸福度は低く、高い理解力によって創られた世界の幸福度は高いのです。でも、その幸福度は通常比べることはできません。それは当人だけが知る幸福の高さだからです。でも、現象の世界においてその幸福度は、平和という形では見ることはできるのです。心の幸福度は、必ず形として現れるようになっていくからです。幸福度の高い星は、平和なのです。幸福度の低い星は、争い事が多いのです。地球惑星に戦争が絶えないのは、地球人類の幸福度が低いからです。つまり、理解力が低いからです。

私たちはこれまで、何万転生も輪廻を繰り返してきましたが、その輪廻においてどれほど成長したか知る決め手は、やはり理解力の高さなのです。多く輪廻を繰り返した人の理解力は高く、少ない輪廻を繰り返した人の理解力は低いのです。当然、理解力の高い人の幸福度は高く、理解力の低い人の幸福度は低いでしょ

う。このように進化の決め手は、理解力であり幸福度なのです。

もし、あなたが自分の進化度を知りたかったら、幸福度の高低で推測してください。それは、あなただけが知る幸福度です。誰とも比べることはできません。でも、それで良いのです。

このように幸福の平等性はどこまでも貫かれており、これが主観宇宙の素晴らしいところであり、神の愛の素晴らしいところなのです。幼い魂も、熟した魂も、神の目から見たら同じなのです。でも宇宙は、たしかに進化してゆくのです。それは意識に飽きがあるからです。飽きる意識を持っている宇宙は、進化し続けるしか無いのです。幸福を得て得ても飽きがくる意識は、その上の幸福を求めてゆかなくては満足できないからです。この満足できない幸福の欲求が、私たちの魂を進化させてゆくのです。二〇一六・九・四

付記…神とは幸せのこと・生命とは幸せのこと・チルチルミチルは、幸せの青い鳥を探しに旅に出かけました。でも、いくら探しても幸せの青い鳥は見つかりませんでした。がっかりして家に帰ってきたチルチルミチルは、ふとしたことから幸せの青い鳥を自分の中に見付けます。つまりチルチルミチルは、幸せは外の世界にあるのではなく、自分の心の中にあったことを知ったのです。

幸せは、心の平安がもたらすのです。その心の平安は、自分が「神であり生命である！」と心の底で思え

た時に訪れるのです。人間を自分だと思っている限り、真の平安はやってきません。自分が永遠に傷つかない、永遠に死なない、永遠に無くならない、神である、生命である、と思えた時に、不動の平安が得られるのです。

神とは、幸せのことだったので。生命とは、幸せのことだったので。本当の自分とは、幸せのことだったので。「人生の目的は、本当の自分を知ることである！」という意味は、「人生の目的は、真の幸せの中に入ることである！」という意味だったので。

失敗は無い！

あなたは、真理を学んでいるのに何も成長していないかと思っているかもしれませんが、あなたは間違いない成長しています。なぜなら、今あなたがここに来て、この真理を学んでいること自体、成長している証だからです。

永い転生において、あなたはこの真理に出会うまで、どれほど苦難の人生を歩んできたと思いますか？それはそれは、大変な苦難の人生を歩んできたのですよ！そして、ついにこの真理に出会えたのです。そ

して、今その真理を自分のものにしようとしているのです。もし今学んでいる真理がマガイモノなら、あなたの過去の人生は失敗の人生になるのです。失敗の人生にしたくなかったら、今の真理を学び続けてください。

あなたは、ここまで導いてくれたあなたの守護霊を信じないのですか？ この真理を選んだあなたの眼力を信じないのですか？ 自分の守護霊を信じないで、自分の眼力を信じないで、何を信じるというのですか？ どうしても信じられないなら、下の数式だけは信じてください。この数式は、神に失敗はないという数式です。

神が創られた宇宙に失敗は無いのです。この数式は、あなたに失敗が無いことを保証してくれているのです。たとえば失敗のように見えても、それは成功のための失敗ですから成功なので

す。
さあ、自分を導いてくれた守護霊を信じ、そして、この真理を選んだ自分の眼力を信じ、自覚の境界線を超えてください。二〇一六・九・一一

付記…私は新しく来た学びの友に良くこう言います。「勉強会に来なくてもいいから、原子核

$$\text{無限時間} \times \frac{\text{失敗0}}{\text{無限時間}} = \text{失敗0}$$

を増やす三つの方法を実践してください！」と……。勉強会に来て私の話を聴いている時は、波動が高いのでやる気になりますが、波動が落ちると、どうしてもやる気を削がれてしまうものです。何せ、外にも内にも真理を阻むサタンがいるのですからね……。

私たちの中には、二人の自分がいるのです。一人は自我の自分、つまりサタンの自分です。もう一人は真我の自分、つまり神なる自分です。本当は真我の自分しかないのですが、周りの悪的波動にやられるとサタンが頭をもたげ邪魔をしてくるのです。それも、光が強くなればなるほど闇も強くなるため、よりサタンが活発化するのです。知花先生は、良くこうおっしゃっておられました。「サタンにやられなかつたら、悟るのは案外と簡単なですよ！」と……。それほど、サタンは大敵なのです。何せ、自我の思いを真我の思いにさせられてしまうのですから……。それも気づかない巧妙な思いにして……。それほど真理を得ることは難しいのです。

もし簡単に真理が得られるなら、とつくに地球は理想の世になっていたでしょう。簡単に得られないから、今もって喘ぎ苦しんでいる人達が絶えないのです。でも、いつまでもそんな地球にしておいてはなりません。一日も早く、サタンに脅えることのない地球にしたいものです。

何事も真心を持ってやる

何事も真心を持ってやれば、必ず相手に伝わります。あなたの心は、全ての人の心とつながっているのです。形を見れば別々ですが、本源においては一つなのです。ですから、真心を持ってやれば、必ず相手に伝わるのです。

この宇宙には、一つの寛大な心しか無いのです。一つの寛大な魂しか無いのです。つまり、一つの意識しか無いのです。あなたの心は、宇宙の心と一つなのです。ですから思ったことは、一瞬にして宇宙に伝わるのです。

いくらやってあげても相手に伝わらないという人は、真心を尽くしてやっていないからです。「いいえ私は、真心を尽くしてやっています！」と、言うかも知れませんが、でも、どんなに形上一生懸命やっても、少しでも不純な思いがあれば、相手に伝わらないのです。これは真理も同じなのです。

不純な動機で、しかも生半可な気持ちで真理を求めても、神に通じないのです。私の恩師である知花先生は、「心を尽くし、魂を尽くし、精神を尽くし、神を求めなさい！」とおっしゃっていただきましたが、神は純なお方ですから、真心を持って真理を求めなくては神に伝わらないのです。

どうか、真心を持って事に当たってください。必ず、相手に、神に、伝わります。二〇一六・九・一八

付記…これだけは言っておきます！ 「真剣に真理を求めている人の前に、神は絶対石や岩は置かない！」と・・・。

余計なことを考えないようにしよう！

余計なことを考えないようにしよう！ という意味は、余計な情報を発信しないようにしよう！ という意味です。この宇宙は、考えたこと(想ったこと)が実現する仕組みになっています。皆さんも体験あると思いますが、余計なことを考えれば、余計な情報を発信するようになります。余計な情報を発信すれば、余計な情報を受け取るようになりますから、まずは余計なことを考えるようになります。こうなると、平安な心は維持できません。私達は、情報を多く受け取れば受け取るほど雑念が膨らむようになっていくのです。余計なことを考えなかったら、余計な情報を発信しませんから、余計な情報が入ってこなくなります。つまり、余計な原因を作らなければ、余計な結果はやってこないということです。

世の人々は、余計な情報を発信します。余計な情報を発信すれば、余計な原因を作るわけですから、それに見合った余計な結果がやって来ます。良い情報を発信するのでしたら良いでしょうが、殆どが悪い情報ばかりです。だから悪い結果がやってきて、自分が苦しめられるのです。家族間の諍い・企業間の諍い・国家間の諍いなど、この世のすべての諍いは、余計なことを考えるから起きるのです。できるだけ余計なことを考えないようにすることです。そうすれば、余計な情報を受け取らなくなりますから、心穏やかになるのです。

みなさんは、何が欲しいのですか？ 平安が欲しいのではありませんか？ 心穏やかでありたいのではありませんか？ 心穏やかでありたいのなら、出来るだけ外側の情報をシャットアウトすることです。そして、神に意識を向けることです。二〇一六・九・二五

付記…意識は実に不思議な習性を持っています。どんな習性かといいますと、動いたモノに向かうという習性です。例えば、何かが動いたら意識は動いたものに移動するのです。この宇宙がなぜ創造されたかといいますと、神の想念が動いたからです。神の想念が動いた時点で、意識がその動いたものに向かって移動したのです。意識はエネルギー(素材)そのものですから、動いた想念にエネルギーが移動して、想念通りのモノ

が創られたわけでは

この意識の習性(原理)を利用したのが瞑想です。瞑想は想念を動かして行います。例えば「吾神なり！」と想念すれば、その想念に向かってエネルギーが移動し、想ったモノ(神)を創造するわけです。神は創られません、エネルギーが原子核(生命核・魂)を増やすのです。前述したように意識はエネルギー(素材)そのものですから、そのエネルギーが想念したモノを創るわけです。

孤独ではない！

「真理をやり始めたら孤独になった！」という学びの友がおります。

確かに、自分の理解力の中においては孤独に感じます。なぜなら、解って貰える人がいないからです。でも、それは仕方のないことなのです。また、それで良いのです。

理解力だけは共有できないのです。自分の理解力は自分だけのものです。人と付合せることができないのが、理解力なのです。だから、誰も自分の理解した世界に入れることはできないのです。それは当然です。自分しかないからです。

自分しかない処に孤独は無いのです。いやむしろ、安心なのです。心が穏やかなのです。満ち足りております。それは、何もかもが自分だからです。すべてが自分だからです。二〇一六・一〇・二

付記…私は宇宙の仕組みを知ったから偉いと思っている人は、何も知らない人です。この宇宙には、知るべきことが無限にあるのです。覚者が偉ぶることがないのは、宇宙の深さを知ったからです。「知っても、知っても、知り尽くせない！」と解った覚者は、謙虚にならざるを得ないのです。皆さんも、どうか謙虚になってください。

自分のための人生である

この宇宙は一つです。一つは全体であり、全体は一つなのです。その一つが自分なのです。だから、誰のための人生でもありません、すべて自分のための人生です。ですから、他人の成長を考える必要はありません。自分が成長したらそれで良いのです。自分が成長したら他人も成長するからです。

今起きている出来事は、すべて自分の成長のために起きているのです。ゆえに、苦しいからといって人の

せいにしてはならないのです。すべて自分が連れてきたのです。それは、自分が成長したいからです。

自分のことは、自分が良く知っているのです。自分にどんな欠点があり、どんな課題を克服しなければならぬかは、自分が良く知っているのです。だから自分の成長に必要な、人を、物を、環境を、自分が用意して連れてきたのです。

この宇宙は、自分が成長するために自分が用意した学びの舞台です。自分が用意した舞台ですから、その舞台に登場する、人も、物も、環境も、全部自分が用意したのです。

人のための人生ではなく、すべて自分のための人生であることを知ってください。二〇一六・一〇・九
付記…私たちは間違いなく日々成長しております。さあ、眠る前にこう思ってください。

「私は今日も成長した！ 私は今日も成長した！ 私は今日も成長した！」と・・・。

翌朝起きたら、こう思ってください。

「私は今日も成長する！ 私は今日も成長する！ 私は今日も成長する！」と・・・。

思ったことは必ず実現します。それは、時間の中に居るからです。時間の中に居る限り、私たちは間違いなく成長するのです。

何事も思いが先に立つ

想念は実現の母です。これは、何度言っても言い過ぎることはありません。思えば必ず実現します。それも、強く思えば強く実現し、弱く思えば弱く実現するのです。

世の中には、心にドロドロしたものを持ちながら、世の成功者と言われる人たちがおりますが、彼らは欲念が強いからこの世の物を引き寄せることができたのです。つまり、世の成功者と言われる人たちは、ただお金や地位や権力を引き寄せる念力が強いと言うだけで、人格とは関係ないのです。だから、世の成功者を人格者と呼ぶのは、正しくないのです。生命核(魂)を大きくした人が、人格者なのです。ですから、正しくは「命格者」と呼ぶべきでしょう。

「身・口・意」という言葉がありますが、「身・口・意」の真の意味は、何事も思いが先立って実現されるという意味です。思って、言葉になって、行為になるのです。この世は波動が荒いため、思ってもすぐに実現しませんから、思いが言葉や行為に結びついていいると思えません。意識界(幽界)は波動が精妙なため思ったらすぐ実現するのです。しかし波動の粗いこの世でも、何度も思えば間違はなく実現します。事実、病気・事件・事故・テロ・戦争・自然災害などは、思いの産物ではありませんか？ だからイエス様は、想

いに対して「汝姦淫するなかれ！」と戒められたのです。「私は何度も思ったが実現しなかった！」という人がおりますが、それは未だ結果が降りていないだけで、いずれ必ず実現するのです。例え今生実現しなくても、来生以降何らかの形で実現するのです。

「私は思いと裏腹な言葉が話せません」と言う人がおりますが、そんな芸当は絶対できません。裏腹な思いを持っていても、話す瞬間正常な思いを持ち正常な言葉を語っているのです。また「私は言葉は汚いが、心はきれいだ」という人がおりますが、そんなことも絶対ありません。悪い思いを持っているから、悪い言葉が出てくるのです。例え褒め言葉を語ったとしても、腹の底に悪意を持っていれば、おべんちゃらに聞こえるのです。だから、褒められても嫌な気分になるのです。

この世では、思いの伴わない行為があります。反射運動がそうです。思わなくても体が勝手に動く現象です。何度も何度も身体に覚えさすことによって生まれる条件反射的行為ですが、それは肉体細胞自体に意識があるためで、アスリートはこの条件反射をうまく運動に利用しているわけです。しかしこれも、身体に何度も覚えさす段階で思いが関わっているわけですから、やはり思いがしているのです。

このように、すべて思いが先立っての話なのです。二〇一六・一〇・二三

付記：身口意という言葉があります。この身口意の「身」とは行為のこと、「口」とは言葉のこと、「意」とは想いのことです。「身」も「言葉」も五感で捉えられます。でも、「意」は五感で捉えられません。だから、どうしても「意」を軽視してしまうのです。でも、この三つのうちで一番大切なのは、「意」です。なぜなら、身を動かすのも、言葉話すのも、想いがやっているからです。原因(想い)あつての結果(言葉や行為)です。「想い」は原因次元なのです。「言葉や行為」は結果次元なのです。結果は原因なしに生まれないのです。でも、人間は「意」を軽視し、平気で悪い想いを持ちます。それは想念の恐ろしさを知らないからです。私が「想念が全てですよ！」と口うるさく言うのは、「意」だけが真実だからです。言葉も行為も現象で、真実では無いのです。何が最も大切な、この際もう一度考えてみてください。

靈性の進化を遂げて行く私たち

この宇宙には、全く波の無い靈から波動の粗い物質的靈まで、様々な種類の靈が存在します。本当は、全く波の無い靈しか存在しないのですが、それでは表現ができないので、神は波動を下げ物質的靈を創造されたわけです。私たちは、その全く波動の無い靈(神)から出てきた靈(神)の子供たちです。ですから私たちは、

靈性の進化を遂げ波の無い靈神の世界に帰って行かなければなりません。

世の中には、沢山の物を集めている人たちや、部屋に鉢物を置いたり、植物を置いたり、猫や犬を飼っている人たちがおりますが、私たちはそんな波動の粗い物から、一日も早く抜け出さなくてはならないのです。なのに、懐かしいからと言って、波動の粗い鉢物や植物や動物を身近に置いていて良いでしょうか？ 部屋の飾り物として置くなら良いでしょう。でも観賞用として、或いはベットとして置くのはいかなるものでしょうか？

物質は波動が低いのです。靈は波動が高いのです。どうか波動の高い靈(神)を意識して生きてください。私たちは、靈性の進化を遂げるために生まれてきたのですから・・・。二〇一六・一〇・三〇

付記：「靈」とは、巷間で言われている「崇の靈」とか、「迷いの靈」とか、「動物靈」とか、そんな幽靈(幽界の靈)ではないのです。「靈」とは、神です。創造主です。生命です。意識です。光です。エネルギーです。

「靈性の進化」とは、神の子である人間が、元の「神の靈」に帰る進化のことなのです。どうか「靈」を誤解しないでください。

全部自分が創っている

皆さん、よく考えて見てください。どうして自分がいるのですか？ どうして相手がいるのですか？ 自分がいるからではありませんか？ 勿論、自分がいなかったら自分もいないし、相手がいないのも当然です。一体、自分なしに何かあるのですか？ 一体、自分なしに何が始まるのです？ 自分抜きでは、何も始まらないのですよ！ ということは、自分がすべてのモノを生み出しているということです。つまり、自分が自分を創り、相手も創っていると言うことです。

“いいえ、自分がいなくても相手はいますよ！”と、あなたは言うかも知れません。でも、自分がいなかったら、相手がいるかいないかどうして分かるのですか？ 自分がいなくなった瞬間、相手がいなくなっているかも知れないのですよ！

そうなのです。自分抜きでは、何もあり得ないのです。親も、子も、友だちも、地球も、宇宙も、全部自分が創っているのです。と言うことは、自分が創造主であると言うことです。お釈迦様が言われた「天上天下唯我独尊(尊)」の意味を噛み締めてほしいものです。

宇宙の存在を証明できるのは、自分しかないのです。自分抜きでは、何も証明できないのです。だから、

自分が存在していた時には宇宙が存在していたし、宇宙が存在していた時には、自分が存在していたのです。自分は、宇宙の存在を認めてやれる唯一の存在者なのです。と言うことは、「自分は神である」ということです。だから、自分と言う字は「神が(自)らを(分)けた」と書くのです。

勝手に相手がいると思っってはなりません。相手は、自分が創った相手なのです。自分が連れしてきた相手なのです。自己完結型宇宙が成り立つのは、自分しかいないからです。一しか無いからです。(下の数式が、自分しかいないことを証明している)

一しか無いなら、自分しかいないなら、すべての物は自分で創造するしかないでしょう。つまり、自己完結型宇宙に成らざるを得ないわけです。二〇一六・一一・六

付記…永遠の昔より宇宙が存在していると言っても、そのことを認める者がいなくては、単なる観念論にしか過ぎません。ですからどうしても、意識を持った認定人(判定人)である人間が必要なのです。

$$\text{無限時間} \times \frac{1(\text{私})}{\text{無限時間}} = 1(\text{私})$$

吾真理なり！

真理とは、不変不動永遠不滅なるモノです。何が起きようが、絶対変わりようのないモノが真理です。その真理は、この宇宙に一つしかありません。では、一つしか無いモノとは何でしょうか？ それは意識です。意識は、この宇宙に一つしか無いのです。意識は、絶対無くならない不変不動永遠不滅なる真理なのです。その意識のことを、神とか、仏とか、生命とか、キリストとか、ブツタとか呼んでいるだけです。

対して非真理とは、必ず無くなるモノです。どんなに見えても、触れても、必ず無くなるモノが非真理です。それは、本当に無いからです。ということは、この世も、幽界も、必ず消えてなくなりまますから非真理（幻）と言うことになります。今私たちは、非真理の世界にいるのです。幻の世界にいるのです。

このように真理とは、永遠に無くならない意識です。ということは、私たちは、真理ということになります。なぜなら、私たちは、意識を持っているからです。私たちは、意識そのものなのです。

「吾真理なり！」

「吾真理なり！」

「吾真理なり！」です。二〇一六・一一・一三

付記…私たちは、真理を得るために生まれてきたのです。学校に行くのも、仕事をするのも、家庭を持つのも、すべて真理を得るための方便です。お金も、財産も、地位も、名誉も、真理を得るための方便です。方便のために悩み、方便のために苦しまないでください！　どうか、本当の自分を知ってください。意識の自分を知ってください。それも頭で知るのではなく、心の底で知ってください。心の底で知ったら、至福感に満たされます。その人は、もうこの世の何も欲しがらないでしょう。

付記…あなたの周りから、毎日 沢山の人たちが消えています。勿論 あなたも、いつか必ず消えてしまいます。人間だけではありません。花も、木も、犬も、猫も、あなたが住んでいる街も、国も、この地球でさえも、いつか必ず消えてしまいます。どうして消えてしまうのですか？　それは、本当に無いからではありませんか？　その本当に無いモノのために、どうしてあなたは、命を削ってまで生きようとするのですか？　本当に有るモノのために生きましょう。本当に有るモノとは、意識です。どうか、本当に有るモノと本当に無いモノの識別をしてください。

私たちは、靈性の進化を遂げてゆかねばならない高貴な靈の子です。その高貴な靈が、グルメに夢中になり、快樂に溺れ、物欲に明け暮れている、実に動物的生き方だと思いませんか？ 一般人は仕方ないとしても、真理を学んでいる私たちは、一日も早くそのような生き方から卒業しなければなりません。では、どのような日常生活が望ましいか、考えてみることにしましょう。

○人生の目的を見失わないこと。

私たちは、本当の自分を知るために生まれてきました。この大目的を見失っては、何のために生まれてきたのか分かりません。私たちは、「私は神の子である！」と心の底で思えるようになるために生まれてきたのです。

○今の今を大切に生きること。

「私は神の子である！」と心の底で思えるようになるためには、瞑想は欠かせません。そのためには、今の今を大切に生きなければなりません。今の今を大切に生きるとは、神を想うこと、生命を想うこと、つまらんとらを想うことです。日常生活の何をやるにも、「神がやっている！」と思いつながらやることです。

○原因と結果の法則と陰陽の法則を守ること。

原因と結果の法則と陰陽の法則を守るのは、求道者として当然の義務です。真理を学んでいる者なら、この法則を常に胸に秘めて生きなければなりません。

○正しい想念を持つて生きること。

想念は実現の鍵です。あなたの成長は、想念次第なのです。

想念については、これまでクドいほど述べていますのでここでは触れませんが、今まで学んだことを何度も復習してください。どうか、想念を良いことに使ってください。良いことの一番は、神を想うことです。良い思いを持つことです。すなわち、瞑想をすることです。

○家族との生活は、情愛と感情を克服する学びの一環です。つまり、情に流されずかつ情を失わずの情と、敵しからず甘からずの愛を家族を通して学ぶことです。

○終わった過去のこと、まだ来ない未来のことをくよくよ考えないことです。先読みしないことです。妄想を抱かないことです。余計なことを考えないことです。

○嫌なことから逃げないこと。

与えられた嫌なことから逃げないことです。嫌なことを追いかけなさいと言っているではありません。

やって来たら逃げないでやりなさいと言っているのです。

○人事を尽くしたら、後は天に委ねること。

やるだけのことをやったら、くよくよ考えたり、心配したりしないで、待つことです。神は、最善を尽くした者を見捨てるわけではないのです。今やらねばならないことを淡々とこなすことです。

○中庸の生き方をする事。

この世は、すぐに旅立たねばならない腰掛けの世界です。そんな腰掛けの世界で、命を削ってまでやることなど一つもないのです。ほどほどに、中庸を守って生きてください。五十歩百歩の生き方をしてください。

・食事もほどほどに

・セックスもほどほどに

・運動もほどほどに

・睡眠もほどほどに

・楽しみもほどほどに

・お金もほどほどに

・衣食住もほどほどに

・清潔感もほどほどに

・教育もほどほどに

・仕事もほどほどに

・慣習・風習・習わし・仏事や神事や祭事もほどほどに

・情報のやり取りもほどほどに(余計な情報のやり取りをしないこと)

・近所付き合いもほどほどに

・友達同士の付き合いもほどほどに

○一生懸命やること。

ただし、やるときには一生懸命真心を込めてやることです。一生懸命やっていたら、周りの人たちも見習い一生懸命やるようになります。一生懸命やっている姿は輝いています。その輝いている姿を、周りの者に見せることです。特に自分の家族の者に見せることです。一生懸命やれば原子核は間違いなく増えます。

○腰軽になること。

体を動かせば動かすほど、原子核は大きくなります。つまらないことでも良いですから、体を動かすことです。腰軽は、サタンに勝つ一番の方法なのです。

○繰り返すことを嫌がらないこと。

真理というものは、一度や二度で身につくものではありません。何度も何度も繰り返すことで身につくのです。何度も何度も読むことです。何度も何度も聴くことです。何度も何度も見ることです。何度も何度もやってみることでです。繰り返すことを嫌ってはなりません。面倒かもしれませんが、手間を掛けることです。手間を掛ければかけるほど成長するのです。

○この世の物を愛玩しないこと。

私たちは、鉱物 植物 動物と進化を遂げ、やっと自我の持つ人間まで成長してきましたのです。それだけ苦しい進化の過程を踏んできたということです。なのに、懐かしがって鉱物や植物や動物などの愛玩物を身近に置いていては、進化の妨げになります。愛玩するのは、懐かしいからです。家の中にそのような愛玩物を置けば波動が落ちるのです。私たちは、一日も早く波動の低い物質から波動の高い霊に上り詰めねばならないのです。

○その他、日常生活で守らねばならないこと。

- ・ 買い貯めしないこと。
- ・ 物を寝かさないうで使ってやること。

- ・できるだけ歩くこと、できるだけ動くこと。
- ・互いに環境を守り合うこと。
- ・親切心でやってあげ相手の学びを奪わないこと。
- ・やるなら、相手の成長を考えやること。

○ 以上、望ましい日常生活をピックアップしてみました。どうか参考にしてください。二〇一六・一一・二

付記…魂が成長すれば、守るべき内容も厳しくなっていくでしょうが、安心して下さい！ 成長した魂にとって、その厳しさも、そう厳しいとは思えなくなるのですから・・・。

私(自分)しかない！

全てが私なのです。この、大宇宙、大自然、鉱物、植物、動物、人間、全てが私なのです。空気、水、土、全てが私なのです。創造物の全てが私なのです。なぜなら、私が全ての創造物を創りその中に居るからです。

私は全てのすべて有りてあるものです。私に恨み言を言う人も、罵声を浴びせる人も、嫉妬する人も、みな私なのです。

私の中に私が居るのです。あなたの中に私が居るのです。すべてのモノの中に私が居るのです。そして、私の中に私がおり、私の中にあなたが居るのです。私の中にすべてがあるのです。だから何も、誰も、批判できないのです。すべて私の責任です。

痛みの中に私が居るのです。苦しみの中に私が居るのです。悲しみの中に私が居るのです。勿論、感動の中にも、喜びの中にも、幸せの中にも、私は居るのです。

私は自由に何でも創造できるのです。何処にでも行けるのです。

私には生がないのです。だから死もないのです。私は永遠不滅の存在です。無限の存在です。私には限定が無いのです。だから私は自由です。自由なるがゆえに、完全なのです。

私には失敗はないのです。たとえ失敗に見えても、それは成功のための失敗ですから成功なのです。という事は、どこまでも完全であるということです。私に不完全はないのです。この宇宙が今日まで存続してこられたことが、それを証明しているのです。

私のいない時はないのです。私のいない宇宙は無いのです。私抜き宇宙など無いのです。私抜きのドラ

マなど無いのです。

だから私が私を愛するのです。

だから私が私を慈しむのです。

だから私が私を労うのです。

私の中の私です。

私の中の私です。

私しかいないのです。二〇一六・一一・二七

業の輪廻を断ち切るには？

私はよく言います。過去世の人の業をあなたが背負うことはない、魂に背負ってもらったら良いと……。たしかに、その通りです。でも、実際に今苦しいのです。今痛いのです。放っておけるでしょうか？ではどうすれば、過去世の業の苦しみから逃れられるか、実例を参考に考えてみましょう。

・実例 1

私は神経質な母親の想念の影響を受け、幼い時からとても胃腸が弱かったです。大人になってもその影響は続き、時々下痢などをしていたのです。でもある時、母親の暗示が胃腸を弱くしていたことに気付いたのです。私はそれ以来、下痢が起きてもその下痢を良く受け取るようにしたのです。つまり、「ああ今、業（暗示）が消えている！消えている！消えている！」と違って、業の上乗せをしなかったのです。業というのは現象（幻）ですから、放つといったら消えて無くなるのです。でも痛みや苦しみがあるため、どうしても新たな業を作ってしまうのです。

痛くても、苦しくても、これは業の消えている姿だと思って心配しないことです。痛んだら、苦しくなったら、「今業が消えていっている！嬉しいな！嬉しいな！」と思うことです。悪く思うことが一番良くないのです。心配や悩みが、一番良くないのです。

・実例2

ある学びの友から、大変嬉しいお便りをいただきました。その学びの友は、自分の息子から暴力を受け悩んでいたのです。その息子さんは、生まれた時から父親になつかなかったらしいのです。そんな息子を好きになれるわけがありません。ですから、何かにつけて厳しく当たってきらいなのですが、そのため大きくないと暴力を振るうほどになったというのです。私は、彼にこうアドバイスしました。

「あなたは過去世において、その子と敵対関係にあったため、お互いに好きになれないという業を持ち合っているのです。その業を解消するには、子供さんから何をされても言われても、甘んじて受けることです。ここが一番肝心なところです。たとえ息子さんからどんな仕打ちを受けても、ああ！ 今業が消えている。嬉しいことだ！ 良いことだ！」と思うことです。決して怒らない、憎まない、恨まない、悲しまない、惨めにならない、腹を立てないことです。どんな仕打ちをされても、業が消えていっていると思えば腹が立たないはずですよ。これが業の上乗せをしないコツです。業の上乗せをしなければ、つまり悪い原因を作らなければ、苦しい結果はやってきません。腹を立てれば業の上塗りをしてしまうわけですから、業の輪廻から抜け出すことは出来ません。

これは大変努力のいることかもしれませんが、強い意志を持って実行すれば間違いなく息子さんは変わります」と、私はアドバイスしたのです。

彼は私のアドバイスを聞き入れ実行したわけですが、半年ほどすると息子さんの態度が少しずつ変わってきたといえます。そして一年たった今は、息子さんと和やかに話せるほどになったということです。これは何も不思議な事ではありません。悪い原因を作らなければ、悪い結果が生まれずのは当然だからです。

私たちの想念は、一度に二つのことは思えないように出来ています。良いことも悪いことも思えない

のです。この想念の性質を、カルマの解消に利用することです。つまり、常に神を想うことです。神を想っている時は、悪いことは思えないわけですから、カルマを消していることになるのです。

繰り返します。現象は実際には無いのです。実際に無い現象が、実際に有る意識(想念)に影響をあたえることなど出来ないのです。現象に惑わされ悪想念を抱くから、苦しみがやってくるのです。病気の苦しみも、息子の嫌な態度も、みな現象です。現象に惑わされ悪い原因を作るから、悪い結果がやってくるのです。想念は実現の鍵です。想念ほど恐ろしく、また頼もしいものはないのです。この想念の偉大さを知ったら、恐ろしくて悪い想念など持てなくなるでしょう。

どうか、想念の偉大さと因果の法則の偉大さを知ってください。常に「私は悪い原因を作らない！ 私は悪い原因を作らない！」という思いを持ち、実際に悪い原因を作らないようにしてください。私の言ったことを実行すれば、間違はなく苦境を乗り越えることができます。原因と結果の法則は間違いありません。最後に、苦しい原因を作らなければ苦しい結果はやって来ない！ ということを強調しておきたいと思います。二〇一六・一・二四

付記…なぜ業は痛みや苦しみを残して消えるのか、その謎をはっきりさせたいと思います。業というものは

現象であつて、實在しているものではありません。人の悪想念が作った現象(幻)ですから、放おつておいたら消えて無くなるのです。でも何も残さず消えていったのでは、悪想念が病氣の原因であることに気付いてもらうことができません。そこで神は、業が消える時に痛みや苦しみを合図として残してゆくよう仕組まれたのです。でも人間は、痛みや苦しみの意味が解らないため、心配したり、恐怖したり、悩んだりして、再び病氣を引き起こすという業の輪廻を生み出しているわけです。この業の輪廻から抜け出すには、痛み苦しみは業が消える時に残す合図だと思ふことです。

業を消そうと思つても、なかなか消せるものではありません。消す必要はないのです。悪い原因を作らなかつたらいいのです。つまり、「この痛みや苦しみは業の消えてゆく合図だから」、「良い事だ！嬉しい事だ！嬉しい！嬉しい！嬉しい！」と思ふことです。そうすれば、痛みや苦しみは不思議に消えて行きます。神は業を消すこんな簡単な方法を用意してくれているのです。ただ、信じて良い想念を持つことができますかどうかです。

第2章 更新集

第1集(二〇一五年)

願望が叶えられる世界

私たちが住んでいるこの表現世界は、自分の願望が必ず叶えられる世界です。それは良し悪しに関係ないのです。すなわち、良いことを願えば良いことが、悪いことを願えば悪いことが・・・ということ、自分が願望しないことは絶対叶えられないということです。なぜなら、原因を作らなければ結果はあり得ないからです。私たちは、映画を見たいと思えば映画館に行きます。旅行に行きたいと思えば旅行に行きます。お金持ちになりたいと思えば、お金持ちになるのです。ただその願望がどれだけ強いのか、つまりどれだけ強い原因

を作っているから、実現の程度が違ってくるだけです。

人に騙されるのは、自分の中に人を騙したい思いがあるからです。人に憎まれるのは、自分の中に人を憎む思いがあるからです。人に殺されるのは、自分の中に人を殺したい思いがあるからです。自殺するのは、自分の中に死にたい思いがあるからです。すべて自分の願望の現れです。でも痛みや苦しみがくるまで、自分がそのような思いを持っていることに気づかないのです。

想念は見えませんが、見えない状態では想念の働きが分かりません。それでは想念の学びができないため、私たちはこの表現世界で自分の思いを実現させ、想念の偉大さや恐ろしさを学んでいるのです。この表現世界が学びの道場といわれるのは、願望したことが実際に実現し、それを肌で実感することによって、自分がどのような思いを持っていたか気付くことができるからです。気付けば当然、良い願望は育てようとするでしょうし、悪い願望は捨てようとするでしょう。しかし残念なことに人類は、その想念の偉大さをまだ知らないのです。だから想念を悪く使って、苦しんでいるのです。今地球上に沢山悪しきことが起きているのは、多くの人が悪しき想念を使っているからです。

このようにいうと、”私は何も悪いことは想っていませんよ！”という人がおります。では、その人にはお聞きしたい、あなたは、一日何を思っていますか？と・・・。過去を悔んだり、未来を憂いた

り、今を悩んだり、人を憎んだり、恨んだり、嫉妬したり、怒ったり、心配したり、イライラしたりして生きていくではありませんか。或いは、妄想で自分を傷付けたり、人を傷付けたり、しているではありませんか。特に政治家たちは、敵対政党の人たちや敵対国の人たちと、想念で喧嘩し合っているのです。想念で喧嘩し合っているということは、すでに争いの原因を作っているわけですから、いずれ闘争や戦争に発展するのです。

戦争も、病気も、事件も、事故も、自殺も、自然災害も、すべて人類の想念の作品です。それは願望したからです。原因を作ったからです。この表現世界は、願望を写しだす鏡のような世界なのです。願望したことは、いずれ必ず表現世界の鏡に写し出されるのです。今あなたに悪しきことが起きているなら、自分の悪しき思いが鏡に写し出された結果だと思ってください。

人類が想念の働きを知り、多くの人が想念を良いことに使うようになったら、地球はそく聖なる星になるでしょう。どうか想念の偉大さを知ってください。 ” 願望は必ず実現する！ ” ということを知ってください。二〇一五年一月一日

付記…弱腰になってはなりません。

良いと思ったことは、何でもやってみましょう。
人生において最悪なのは、何もしないことです。
人生において最良なのは、何かをすることです。

表裏一体

普通、表裏一体という言葉は、「表と裏は一体である」という意味で使われていますが、でもこの言葉には、文字で表せない深い意味が込められているのです。では、どのような深い意味が込められているのか考えてみましょう。

表と裏の境目の無いのが表裏一体の言葉の意味ですが、境目がないということは分けられないということですから、それは、表と裏は一つであるからです。どこからが表で、どこからが裏だといえないのが、表裏一体の正体なのです。しかし、一体ではあるけれど、表は実際にあるし、裏も実際にあるのです。表が裏に変わることもしなければ、裏が表に変わることありません。表は永遠に表のまま存在するし、裏は永遠に裏のまま存在します。つまり、表はどこまでも表であるし、裏はどこまでも裏なのです。

その表は、裏がなくては存在できないし、また裏は、表がなくては存在できません。どちらが無くても存在できないのが、表裏一体の正体なのです。だから裏も表も、厳然として存在しているのです。厳然として存在しているけれど、それはあくまでも一つとしてです。どこを見るかで、表にもなり裏にもなるだけです。なぜこのようにクドクドいのかといいますと、一つのものしか無いという真理の意味を、心の底で知ってほしいからです。

この宇宙は、絶対宇宙(裏)と相対宇宙(表)によって成り立っています。それは二つで一つなのです。絶対宇宙も別にあつて、相対宇宙も別にあるわけではないのです。この二つは表裏の関係にあるのです。絶対宇宙(裏)も相対宇宙(表)も厳然と存在しているけれど、それは一つとして存在しているのです。一つしか無いから、宇宙は無限であり永遠であり完全なのです。二つのものがあるなら、宇宙は有限であり無常であり不完全です。一つしか無いという意味は、そういう意味なのです。だから、宇宙は一つしか無いのです。もし二つあるなら、宇宙は無限でも、永遠でも、完全でもなくなり、宇宙は存在できないからです。一つゆえに、宇宙は永遠に存在できるのです。

例えば、善もあり悪もあるなら、二つのものがあることになり、それでは無限でも永遠でも完全でもなくなり、表もあつて裏もあるなら、二つのものがあることになり、それでは無限でも永遠でも完全でもな

くなります。それでは一つしか無いという真理は崩れ、この宇宙は消滅しなくてはなりません。二つのものがあるということは、善もあり悪もあり、表もあり裏もありということですから、宇宙は不完全になつてしまふのです。不完全な宇宙は、存在できないのです。今、現に宇宙が存在していること自体、一つの宇宙しか無いことを証明しており、宇宙の完全性を証明しているのです。

一つしか無い宇宙において、何かが存在しているということは、その何かは無限であり、永遠であり、完全でなくてはならないのです。その何かは、一つの現れだからです。だから何かが存在していること自体が、無限であり永遠であり完全である証になるのです。ゆえに、今、あなたが存在していること自体が、無限であり永遠であり完全である証になるのです。一つのは、無限なのです。一つのは、永遠なのです。一つのは、完全なのです。表裏一体の言葉を深く突き詰めれば、そこに到達するのです。だから私は、表裏一体のことをクドクドと説明するのです。

繰り返します。表裏一体とは、一つのものしか存在しないという意味です。ということ、人間は、その一つのものではありませんか。つまり神ではありませんか。なぜなら、今、人間は現に存在しているからです。何せ一つのものしかないのですから・・・。神しかないのですから・・・。今、現に存在している人間は、神であるはず。私が「人間神の子」と断言するのは、この表裏一体の理論がちゃんと証明してくれ

ているからです。二〇一五年一月一五日

天が生み出した命は、天の手によって帰すべき

死刑制度はあってはならないことです。人間が生み出した命なら、人間の手で天に帰してもいいかもしれませんが、命は天が与えてくれたものですから、天の手で帰するのが道理なのです。なぜ、「天寿」という言葉があるのでしょうか？ 天によって生み出された命だからではないでしょうか。その意味でも、天寿を全うさせることが、天に対する礼儀なのです。

本来、生も死も人が関わってはならないことなのです。時がくれば誰でも死ぬのですから、わざわざ人の手で殺す必要はないからです。考えてみてください。死刑執行命令を出す法務大臣の心情を・・・、死刑執行員の心情を・・・それは心穏やかではないはずです。人為法によって人が人を殺すなど、とんでもないことです。なぜなら、創られた者が創られた者を裁く権利はどこにもないからです。また、人為法には、間違いが多いからです。唯一、人を裁けるのは、自分の中におられる神だけです。その方が、間違いがないからです。

神がおられるなら、死刑制度が許されていいはずはないのに、地球にはいまだに、死刑制度というものがあります。では、神はなぜ、地球人類に死刑制度を許しているのでしょうか？ それは、今の地球人類には必要だからです。神に顔を背けている幼い魂には、死を直視させることが必要なのです。どんなに神を信じない者であっても、死を目前にすれば、死に対して疑問を持つようになるでしょう。「死んだらそれでお終いのだろうか？ 人は死んだらどうなるのだろうか？ 人生って一体何のためにあるのだろうか？ 神はいるのだろうか？」と・・・なかには、神に許しを請う者も出てくるかもしれませんが。苦しい時の神頼みをする者も出てくるかもしれません。どんな極悪人も死を目の前にすると、神に顔を向けざるを得なくなるのです。

がん患者に対する宣告も同じです。今の医者には、がん宣告を避けているようですが、それでは魂の成長のためには良くないのです。厳しくても、宣告してやるのが愛だと思えます。本人はショックかもしれませんが、ガン宣告されることによって必ず人生の思索をするようになるはずで、死を直視させることほど、魂を成長させることはありません。どうでしょう。何も疑問を持たずに死ぬのと、疑問を持って死ぬのとでは、どちらが魂の成長のためになると思いますか。

本当は、死刑制度などあってはならないことです。でも、今の幼い地球人類には、必要不可欠な制度なの

です。ただし、死を直視させなくても神に顔を向けるようになった暁には、死刑制度は廃止すべきでしょう。神を直視するようになった者のお尻を叩く必要がないからです。

今、この世で起きているどんな出来ごとでも、魂を成長させるために必要な試練なのです。今の地球人類には理解できないかもしれませんが、いつかきつと合点のゆく日があるでしょう。「そうか、そのために必要な試練だったのか!」と・・・。二〇一五年二月一日

大もなければ、小もない（神もいなければ、人間もない）

皆さんは、大きなモノもあって小さなモノもあるといいますが、この宇宙には大きなモノも小さなモノもないのです。あるのは、たった一つのモノだけです。ただし、その一つのモノは一つのモノだけでは、一つのモノでいられないのです。もう一つのモノと相対させて、はじめて一つのモノは一つのモノになれるのです。だから宇宙は、もう一つのモノ(相対宇宙)を創って、その一つのモノの存在を明らかにしているのです。それも、同じモノを創ったのでは比較できないため、違うモノを創って際立たせて、存在を明らかにしているのです。

大だけでは大はないのです。小だけでは小はないのです。大は小と比べて大になり、小は大と比べて小になるのです。だから宇宙は、大を持ってきて小を明らかにし、小を持ってきて大を明らかにしているのです。この宇宙には、もともと大小などないのです。あるのは、たった一つのモノだけです。その一つのモノを大にしたのは、小を持ってきたからです。小にしたのは、大を持ってきたからです。要するに比べたから大小が生まれただけで、別に大小があったわけではないのです。大も小も一つの同じモノなのです。これを神と人間に当てはめてみると、神と人間の関係がはっきり解ると思います。

もともとこの宇宙に大小がなかったように、神と人間もなかったのです。そこには、たった一つのモノがあっただけです。そのたった一つのモノを神と呼んでいるだけです。しかし、たった一つのモノだけでは、一つのモノの存在はあり得ないので、宇宙はもう一つのモノを持ってきたのです。それが人間です。このことからいえることは、初めから神があったわけでもなく、初めから人間があったわけでもないのです。違うモノを相対させたから、神が生まれ人間が生まれただけです。神だけでは神になりえないのです。人間だけでは人間になりえないのです。神と人間を相対させて、はじめて神は神となり、人間は人間となるのです。もし神だけなら、神とは思わないでしょう。もし人間だけなら、人間と思わないでしょう。神と人間を相対させて、はじめて神であった、人間であった、と解るのです。白板の上に白墨で絵を書いても分からないよ

うに、神の上に神を描いても分からないのです。だから分かるように、宇宙は人間を持ってきたのです。大が、大であるためには、小を持ってこなくてはならないのです。その大を神と呼び、その小を人間と呼んでいるだけです。だからといって、大が小より優れているわけではないし、劣っているわけでもないのです。なぜなら、大がなければ小はないし、小がなければ大はないからです。だから私は、大と小は同じ価値があるということです。つまり、神と人間は同等の重さがあるということです。神が存在しなければ、人間は存在しないのです。人間が存在しなければ、神は存在しないのです。繰り返します。

この宇宙には、もともと神も人間もいなかったのです。たった一つの存在者がいただけです。小を持ってきたから大になったように、人間を持ってきたから神になっただけです。神だけなら神はないのです。甘いものだけなら甘いものはないのです。一つのモノだけなら、一つのモノはないのです。このことを、しっかり理解して欲しいと思います。二〇一五年二月一五日

痴呆症は必要悪？

「痴呆症は必要悪である」というと、そんな馬鹿な！と思われるかもしれませんが、これは本当の話なのです。神は完全です。その完全なる神が、意味のない痴呆症を与えるわけがないのです。痴呆症には、二つの目的があるのです。

一つは、地球をこれ以上悪想念で汚させない目的です。

今地球の周りは、悪想念でいっぱいです。それは、多くの人が、悪想念の垂れ流しをしているからです。これ以上悪想念の垂れ流しをされたのでは、地球は持ちません。だから神は、垂れ流しにストップを掛けるために、痴呆症を用意したのです。ポケ老人を見てください。何の心配も、何の悩みもない顔をしています。左脳の機能が失われると、悪想念（心配・恐怖・憎しみ・怒りなど）が持てなくなるのです。神は、左脳の機能を失わせ、人生の悩みから開放すると同時に、悪想念の垂れ流しを止めようとしているのです。

もう一つは、真理を知らしめるための目的です。

私たちは、「本当の自分を知るため」、つまり「神を知るため」に生まれてきました。しかし、殆どの方は、この世のことに夢中になり、神を知ろうとしません。知ろうとしないどころか、多くの人が神を否定し

ています。これでは、この世に生まれた意味がありません。そこで、どうしても神に顔を向けられない唯物的な人たちのために、「痴呆症」という病気を用意したのです。

痴呆症という病気は、前述したように左脳の機能が失われる病気です。左脳の機能が失われると自我が弱まるため、これまで頑なに真理を否定していた人が、素直に耳を傾けるようになるのです。頭のおかしい人に真理の話をして無駄ではないか？と思われるかもしれませんが、その反対なのです。

左脳は物質的なものを重んじる脳です。右脳は精神的なものを重んじる脳です。左脳の働きが鈍くなってくると、今まで抑えられていた右脳の働きが活発化してくるため、真理の受け入れられる土壌が整うのです。痴呆症になると、徘徊したり、物を集めたり、物を隠したりする、おかしい行動を取るようになりますが、これも神を求める右脳の働きによるのです。彼らは、神探しを、何かをすることで紛らわせているのです。紛らわせているわけですから、そんな人に真理の食べ物を与えれば、むさぼるように食いつくのです。頭がおかしいと思わず、真理を植え付ける絶好のチャンスだと思つて、真理の話をしてあげてください。自我は聴いていなくても、魂はしっかりと聴いているのですから・・・。

このように痴呆症は、真理に顔を向けさせるための神の計いなのです。もし、この計らいがなければ、魂の進化は相当遅れるでしょう。どうか、わけの分からない人だと思わず、真理の話をしてあげてください。

うつろな瞳の向こうで、魂はしっかり聴いているのですから……。二〇一五年三月一日

悪の本質を知れば、悪は見えなくなる！

よく世の悪を見て、嘆いたり、怒ったり、嫌ったり、する人がおりますが、その人は自分の中に悪があるから、世の悪が見えて仕方がないのです。自分の中に悪がなければ、世の悪は見えないのです。その証に赤ちゃんは、泥棒を見ても笑っているでしょう。それは、赤ちゃんの中に悪がないからです。私たちは、悪を見せられることで、自分の中にある悪に気付かされるのです。その意味では、世の悪は反面教師の役割を果たしているといえるでしょう。

この宇宙は、「真・善・美」によって整然と運ばれています。整然と運ばれているがゆえに、宇宙は延々と存続してこられたのです。もし、この法則がなかったら、とくに宇宙は消滅していたことでしょう。「真・善・美」とは、法則のことです。法則ゆえに、「真・善・美」から離れば痛みや苦しみがやってくるのです。私たちが、偽りや不善や醜いものを見せられると嫌な気分になるのは、「真・善・美」から離れば、痛みや苦しみがやってくることを、本能的に知っているからです。では、どうしたら悪を見ずにすむのでし

よいか？ それは、悪の本質を心の底で知ることです。

この宇宙に、本質的な悪などありません。完全なる神が悪を創るわけがないからです。悪は悪ではなく善なのです。悪の本質を知れば、悪は善に変わってしまうのです。覚者は悪の本質を知っているため、悪を見なくなるのです。悪というのは、善の裏返しなのです。神の目を持った悪を見なくなるといわれるのは、どんな悪も善たらしめる悪として見られるからです。善たらしめる悪は善なのです。このことを心の底で知れば、悪は見えなくなるのです。ですから、悪の体験がないから悪が見えない赤ちゃんと、悪の本質を知って悪が見えない覚者とは、根本的に違うのです。

世の人々は、苦しみを悪と見ます。でもそれは、成長のために必要な悪ですから善なのです。苦しみがなかったら、自分の中にある悪に気づかないので成長できないのです。私が苦しんでいる人を見て平気でいられるのは、苦しみの背後に成長があることを知っているからです。このようにいうと、苦しんでいる人は怒るかもしれませんが、それは苦しみの本質を知らないからです。

・ 苦しみの本質は進化なのです。

・ 苦しみの本質は成長なのです。

苦しみの中に成長の種があります。苦しみは、人を大きく成長させてくれるのです。また、苦しみは、

業(原因)を解消している姿でもあるわけですから、これは良いことなのです。私が殺すより殺される方が良いというのは、殺される(結果)ことで業(原因)の解消がなされるからです。もし、私が戦場に兵士として駆り出されたら、空鉄砲を持って一番先に殺されに行きます。殺す方より殺される方が、罪作りをしないですむからです。考えても見てください。罪の上塗りをすると、罪を解消するのと、どちらが賢い生き方だと思いますか・・・。

世の中には、一生懸命「業」を無くそうとする人がおりますが、「業」は罪の上塗りさえしなければ、原因と結果の法則が自動的に消してくれるのですから、無くす必要がないのです。すべきことは、今の今良い原因を作ることです。良い原因を作るとは、「身・口・意」の実践です。すなわち、良い想いを持ち、良い言葉を口にし、良い行いをすることです。良い想いの筆頭は、神を想う瞑想です。さらに、ポジティブな想いを持つことです。

悪(苦しみ)は、善たらしめるための悪ですから、嫌わなくてください。そのような見方ができれば、人を責めず、世を責めず、運命を責めず、神を責めず、また、自分を責めないですみます。どうか世の悪(苦しみ)を嘆かないでください。また、自分の中にある悪を嘆かないでください。

嘆く時間があるなら、身・口・意の実践をすることです。瞑想をすることです。二〇一五年三月一五日

付記：「どうしたら、悪を見ずにすむのでしょうか？」

この質問は、

- ・どうしたら、不完全を見ずにすむのでしょうか？
 - ・どうしたら、コップを見ずにすむのでしょうか？
 - ・どうしたら、分数を見ずにすむのでしょうか？
 - ・どうしたら、物質を見ずにすむのでしょうか？
 - ・どうしたら、闇を見ずにすむのでしょうか？
 - ・どうしたら、相対を見ずにすむのでしょうか？
 - ・どうしたら、人間を見ずにすむのでしょうか？
- と同じ質問なのです。
- ・悪の本質を知れば、悪は見えなくなるのです。
 - ・不完全の本質を知れば、不完全は見えなくなるのです。
 - ・コップの本質を知れば、コップは見えなくなるのです。
 - ・分数の本質を知れば、分数は見えなくなるのです。

・物質の本質を知れば、物質は見えなくなるのです。

・闇の本質を知れば、闇は見えなくなるのです。

・相対の本質を知れば、相対は見えなくなるのです。

・人間の物質を知れば、人間は見えなくなるのです。

本質は善であり、完全であり、ガラスであり、元数であり、エネルギーであり、光であり、絶対であり、神でありますから、心の底で本質を知れば、悪も、不完全も、コップも、分数も、物質も、闇も、相対も、人間も、見えなくなるのは当然なのです。悪が見えなくなるということは、一しか見えなくなるということです。ですから、一である神の自覚に結びつくのです。

今に生きる

私たちは、今の今にしか生きられないようにできております。人生で足跡を残せるのは、今の今のみなのです。その今をみなさんは、どのように生きていますでしょうか？ 殆どの人が、過去を悔い、未来を憂い、今の生事や雑事に生きていてのではないのでしょうか？ これでは、大切な今を逸してしまいます。とはいっ

ても、肉体を持っている限り、この世のことを否定するわけにはゆきません。でも、この世のことに生きるにしても、せめて次のような生き方をして欲しいのです。

・「真・善・美」を犯さない生き方をする事。

・何事もやるなら、心を込めてやる事。

・集中してやる事。

・今やらねばならないことを後回しにしない事。思った時が最善の時であると思い、今すぐやる事。つまり、腰軽になる事。

・嫌なことを率先してやる事。

・繰り返すことを嫌がらない事。

・何事も良く受け取る事。

・ポジティブに、前向きに、希望を持って生きる事。

このように生きれば、間違いなく魂を大きくすることができます。ぜひ、意識してやってください。勿論、今の今を神に生きられたら、これ以上素晴らしい生き方はありませんが・・・。二〇一五年四月一日

見えないモノこそ 真実なるもの！

この宇宙には、一つのモノしか有りません。一つのモノしか無いということは、見える物も見えないモノも、その一つのモノであるということです。見える物も有って見えないモノも有るなら、二つのモノが有ることになり、一つのモノしか無いという真理は崩れてしまいます。

見える物も見えないモノも、同じ一つのモノなのです。見える物は見えないモノであり、見えないモノは見える物なのです。見えていても見えていなくても、それは同じ一つのモノ・・・ただ、五官で感じられるか感じられないかだけの話です。しかし、実際に有るのは見えないモノです。なぜなら、見える物は必ず消えて無くなるからです。ということは、消えて無くなるモノは幻であるということです。そもそも、この表現宇宙そのものが消えて無くなる幻ですから、幻の中に存在するモノが常在することは不可能なのです。

この宇宙は、見えないモノがベースになっています。見えないモノの中に、見える物が浮いているのです。それは、海の上に氷が浮いているようなものです。氷が融ければ海に帰るように、見える物が融ければ、見えないモノに帰るのです。それは、見えないモノから生まれた見える物だからです。見えないモノから生まれた見える物は、いつか必ず見えないモノに帰るのが定めなのです。

・海から生まれたモノは、海なのです。

・見えないモノから生まれたモノは、見えないモノなのです。

・宇宙から生まれたモノは、宇宙なのです。

・神から生まれたモノは、神なのです。

海が神なのです。見えないモノが神なのです。宇宙が神なのです。私たちは、「その海から」「その見えないモノから」「その宇宙から」生まれたのですから、私たちは間違いなく神なのです。だから私は堂々と、「私は神である！」と大宣言するわけです。

私たちが求めるべきものは、見える物ではありません。永遠不滅の見えないモノ、すなわち真実です。どんなに過去世のことを知ったって、幽界人に会ったって、物質化できたって、UFOに乗ったって、それはみな現象ですから、夢を見ているようなものなのです。私たちは、一日も早く見える物から抜け出さねばならないですよ！なのに現象に囚われていては、本末転倒になりかねません。どうか真実に目を向けてください。真実を探し当ててください。見える物に時間を使うほど、愚かなことはないのですから・・・。

現象に時間を使っている人は、死んでいる人です。神の自覚を得ることに時間を使っている人は、生きています。そのことを私は、声を大にしていきたいと思えます。二〇一五年四月一五日

想念の偉大さを、もう一度噛み締めて・・・

殆どの人が、想念を軽んじて使っています。それが、どれほど自分たちを苦しめているかも知らないで・・・この宇宙は神の完全な想念で創られていますので、本来この宇宙に苦しいことが起るわけがないのです。人間が想念を悪用するから、苦しいことが起こっているだけです。

次に掲げる悪しきことは、すべて人類の悪想念が原因で起きているのです。

一、世の中には、“なぜ私は、こんな不遇な環境のもとに生まれ、苦しまねばならないのだ！”と嘆いている人がおります。その人は、その苦しみが誰かのせいになったと思っっているのです。だから、親を恨み、人を恨み、世を恨み、神まで恨んでいるのです。しかし、誰もその人を苦しめていません。苦しめているのは本人自身です。つまり、その人の悪想念が、不遇な環境を呼び寄せ苦しんでいるのです。

二、今、多くの人が病気で苦しんでおります。その病人は、偶然に病気になったと思っっているのです。だから、人に憐れみを乞うようなことをいうのです。本来この宇宙に病気など無いのです。なぜなら、私たちの肉体細胞を支配しているのは、完全意識の生命だからです。完全意識で支配されている肉体に、病気など

起きるわけがないのです。私たちが、憎み、恨み、怒り、心配、恐怖、イライラなどの想念を持つから、細意意識を弱め(生命力を弱め)病気になるだけなのです。私たちの想念が健全であれば、病気などになるわけがないのです。特に精神を病んでいる人は、特に想念の持ち方に注意しなければなりません。※詳しくは「病で苦しんでいる人の為の小冊子(最新版)第3章究極の治療法」を読んでください。

三、事故や災害やテロに巻き込まれ、苦しんでいる人がおります。これみな、人類の悪想念が生み出した悲劇です。「想念は実現の母」といって、想念は何でも生み出すのです。悪い想念を持てば悪いことを・・・良い想念を持てば良いことを・・・すべて想念の作品です。

四、今、地球では腐敗が急激に進んでいます。人の想念が陰に傾けば、エネルギーのバランスが崩れるため、腐敗が進むのです。陰的想念というまでもなく、ネガティブな想念のことです。昔は今よりも、食べ物の日持ちがしたのです。しかし、今は、当時に比べ腐敗のスピードが増しています。これは、農薬や化学肥料の使用による、エネルギーの低下も原因の一つですが、賞味期限に神経質になっている人の想念が、腐敗に拍車をかけているのです。人の想念がポジティブであれば、これほど腐敗は進まないのです。

五、気象異変がますます深刻化しています。火山の噴火や地震も頻繁に起きるようになっていきます、その規模も拡大しています。すべて、人類の悪的想念が関与して起きている異変です。自然界が人類の想念に

添う動きを示すのは、誤ちに気付いてもらいたいからです。「あなたたちは、そのような悪悪の想念を持つてはいけませんよ！」自然界はそのようにいつているのです。

六、人の悪想念は、空気を汚し、水を汚し、土を汚しています。近年、春になると花粉病が蔓延しますが、昔も花粉は飛んでいたのです。でも、花粉病などありませんでした。それは、今より空気が澄んでいたからです。要するに、空気の汚れが陰陽のバランスを崩し、花粉病を生み出しているのです。さらに、「そろそろ花粉が飛ぶ季節になる」といういらぬ情報が悪想念を膨らませ、花粉病に拍車をかけているのです。これはアレルギー病にもいえることで、この食べ物を食べたらアレルギー病になるというネガティブな情報が、神経質な想念にさせ病気を重くしているのです。たしかに、物理的要因がないわけではありません。でも、その物理的要因も突き詰めれば、人のネガティブな想念が作っているのです。

七、世間には凶暴な犬がおりますが、これは飼い主の悪想念の影響を受けているためです。近年、犬や猫が糖尿病になったり、歯槽膿漏になったり、風邪を引いたりするようになりましたが、これも人間の悪想念の移入によるのです。花や木も、扱い主の想念の影響を受けて育ちます。優しく扱うと、長持ちして美しく咲いてくれます。邪険に扱うと、あまり長持ちしません。想念の持ちようで、このように植物や動物にも影響を与えてしまうのです。

八、よく子供のことを心配する親がおります。子供がちよつと家に帰るのが遅くなると、何かあったのではないかと心配し、ちよつと咳をすると、風邪を引いたのではないかと心配します。この心配の想念が、どれほど子供に悪影響を与えているのか、親は知らないのです。世の人々は、心配してやる事が良いことだと思つています。また、心配される方もそれを望んでいます。ひどい人になると、「やはり、私の心配が当たつた！」と、あたかも預言でも当たつたかのように人がおります。そう思つたから、そうなつたのです。

想念の影響が端的に現れるのが、スポーツ競技です。アスリートの気持ち明るくなれば、自分たちの都合の良い方へボールが転がり、暗くなれば、都合の悪い方へ転がります。だからスポーツ競技では、連勝連敗がつきものなのです。私たちの普段の生活においても、悪いことが起きれば悪いことが続けて起こり、良いことが起きれば良いことが続けて起きる、といったことが良く見られます。すべて想念がやつていゝことなのです。

九、人のアクビにつられ、自分もしたくなつたり、人のクシャミにつられ、自分もしたくなつたりすることがよくありますが、これは外側の現象につられ、自分の思いが動くからです。よく柳の木を幽霊と見間違え冷や汗をかくことがあります。これは想念が肉体に影響を与える顕著な例です。心配すれば、胃が痛み

ます。恐怖すれば、心臓の動悸が激しくなります。憎んだり怒ったりすれば、腎臓や肝臓の機能が低下します。病気は、すべて想念の作品なのです。

十、パソコンや携帯電話が真つ盛りの地球では、毎日のように悪想念が垂れ流しになっています。このまま悪想念の垂れ流しが続けば、地球は破壊されてしまうかもしれません。事実、テロ、暴動、事件、事故、病気、自殺、自然災害が増大しているではありませんか。人間は、あまりにも想念の管理がずさん過ぎます。

このように人類の悪的想念が、個人に、自然に、地球に、悪い影響を与えているのです。想念は創造の力です。想念は何でも作れるし、何でも破壊できるのです。想念ほど頼もしく、また恐ろしいものはないのです。この世の悲劇という悲劇は、すべて人類の想念が生み出しているのです。だから、正しい想念の管理が問われるのです。もし、想念の正しい管理ができれば、上記に書いたすべての災いは、雲散霧消してしまうでしょう。

正しい想念の管理とは、建設的な思い、積極的な思い、前向きな思い、希望溢れる思い、すなわち、ポジティブな思いを持ち続けることです。ポジティブな思いの一番は、神の想いです。神を思っている時には、悪いことは思えません。悪いことを思わなければ、病気にもならないし、事件や事故にも遭わないのです。これは原因と結果の法則によるものですから間違いないのです。

今日から、どんな悪しき話題も、良い話題に変えてしましましょう。どんな悪い話題も良く受け取れば、良い話題に変えられるのです。これは考え方ひとつなのです。一例として、家族の誰かが怪我をしたとしましょう。「これは業が消えている姿だから、良いことなのだよ！ あるいは、この怪我のお陰で注意する事を覚えたのだから、これは良いことなのだよ！」とポジティブに捉えれば、どんな悪しき話題も良い話題に変えられるのです。

私たちは、自由意思によって何でも思えるのです。その自由な思いを、どうぞ良いことに使ってください。良いことに使えば、幸せになれるのですから・・・。二〇一五年五月一日

思い立った時が最良の時である

「思い立った時が最良の時である！」というのは真理であり、とても大切な生き方の一つです。今、思い立ったのは、必要だから思い立ったのですから、これは必然なのです。ですから、すぐに実行に移せば良い結果が得られるのです。思い立ったことを後回しにすれば、思いを引きずって生きなければなりませんから、今やっていることもうまくゆかないのです。「心残りは良くない！」といわれるのは、心残りなことを抱え

ていては、目の前のことに集中できないからです。特に、嫌なことを後回しにすればするほど、気になって目の前のことに集中できなくなりそうです。思い立った時にやってしまえば区切りがつくため、心にしこりを残さないのです。さらに、今やれば原子核が増えるため、一步高い環境に変わるのです。一步高い環境に変われば、一步高い体験ができるため、原子核が倍に増えるのです。後回しにすれば、今の環境の体験しか出来ないため、同じ量しか原子核が増えないのです。これは数学の自乗と同じなのです。

億劫がる想いは、サタン(自我・肉我)の思いなのです。逃げ腰の想いは、サタンの思いなのです。腰軽な想いは、天使(真我・神我)の思いなのです。積極的な想いは、天使の思いなのです。誤解しないで欲しいのは、出来ないことを今しなさいと言っているではありません。今その場で、今出来ることをしなさいと言っているのです。思いを残しながら、集中した瞑想などできません。晴れやかな気分になって瞑想してください。

腰軽な癖をつければ、気持ちの強い、意志の強い、自分になります。どんなことにも負けない、どんなことにも挫けない、強い自分になります。ぜひ、腰軽な人になってください。二〇一五年五月一五日

外側の世界を変える必要はない！

外側の世界を変えようなど、傲慢というものです。なぜなら、外側の世界は結果次元だからです。結果をいじくりまわしても、絶対変えることはできないのです。では、どうすれば良いか、それは原因を変えることです。つまり、自分の宇宙を変えることです。

外側の世界は、内側の宇宙の反映です。原因宇宙の反映が結果の世界なのです。一人一人が自分の宇宙を変えることで、その反映である外側の世界は変わるのです。外側の世界は川下なのです。内側の宇宙は川上なのです。川上を綺麗にすれば、黙っていても川下は綺麗になるのです。どうか原因を良くしてください。あなたがどんなに外側の世界を良くしようともがいても、自分の宇宙が良くならない限り、外側の世界を良くすることはできないのですから・・・。

今、地球人類は、皆で自分の心を見ているようなものなのです。つまり、自分の心の写し絵を見ているようなものなのです。自分の宇宙がゴチャゴチャだから、地球もゴチャゴチャなのです。あなたの宇宙のゴチャゴチャを変えれば、ゴチャゴチャな地球も変わるのです。だから相手を変えたければ、自分を変えれば良いと私はいうのです。

よく人の欠点を指摘する人がおりますが、相手の欠点が気になるのは、自分の中に同じ欠点があるからで

す。でも、そのことに気付かない内は、どうしても人を責めるのです。人を責めれば相手からも責められますから、そこではじめて自分の中に同じ欠点があることを気づくのです。ということは、相手は自分の欠点を気付かせてくれた恩人だということです。

いつもいうように、この世に偶然というものはないのです。あなたの前に嫌な人が現れたのは、意味合っ
て現れたのです。その嫌な人は嫌な人でなく、あなたの中にある嫌な部分を気付かせるために現れた恩人な
のです。その人との出会いは、自分の欠点を発見する絶好の機会なのです。嫌な人を嫌な人で終わらせては、
自分に成長はありません。この宇宙は完全です。完全宇宙に偶然は無いのです。人と人との出会いは、すべ
て意味合っ
てなされているのです。その意味を自分の成長に結びつけることです。

人の欠点を見せられるには、見せられる理由がちゃんとあるのです。それは、人の欠点を見て自分の中に
ある同じ欠点に気付きなさい、という理由です。気付いて直せば、もうその欠点は見せられなくなります。
私も相手の欠点を見せられることがあります。私はあまり気にならないのです。気にならないのは、私に
とってあまり重要でないからです。つまり、この世界が幻だと知れば、この世のことに拘ることがなくなる
ため、あまりこの世のことを重要視しなくなるのです。重要視したり、拘ったりするのは、まだこの世のこ
とが本当にあると思っ
ているからです。

たしかに、私も人にこうして欲しいと願うことはあります。でも、その願いは希望であり、ぜひそうして欲しいという強いものではないのです。なぜなら、そうしてもらっても、そうしてもらわなくても、どちらでも良いことだからです。この世は幻ですから、「ねばならない！」ということは一つもありません。そんな幻のことに、目くじらを立てるほど愚かなことはありませんから、私は拘らないのです。そのような考えに立てば、人の欠点が見えなくなるのです。たとえ見えても、気にならなくなるのです。気になるのは、まだ自分の中に同じ欠点(課題)があるからです。あなたにその欠点が無くなれば、相手にその欠点を見なくなります。ぜひ、人の振り見て我が振り直してください。人の欠点を捕まえていては、自分の宇宙を汚してしまいます。これは自分の宇宙にとって大損です。

外側の世界(相手)を変えようとする暇があるなら、どうか自分の欠点を直してください。そうすれば、あえて外側の世界(相手)を変える必要はなくなります。二〇一五年六月一日

付記…皆さんは、とても大事なことをやっているつもりですが、この世の事はみなお遊びなのですよ！ そんなお遊び事に、目くじらを立て、悩み、苦しむなど愚かです。よく考えてみてください。この世の何を成しても、残しても、みな消えてしまう幻なのですよ！ この世は、本当の自分を知るためにあるのです。こ

の世のどんな事も、自分を知るための方便(手段)です。その方便に目くじらを立て、争っているのが人類なのです。そんな方便のために自分の宇宙を汚すくらいなら、そんな方便は捨てたら良いのです。方便は目的ではないのですから、無くなったって、失ったって、痛くも痒くもないのですから・・・。この世に真に問題になる問題など、一つもないのです。肉体が無くなったって、地球が無くなったって、それはみな幻なのですから・・・。でも、心は永遠に無くなりません。永遠に無くない心を問題にしましょう。どうか感情的にならないでください。そして、方便が大切か？ 目的が大切か？ 良く考えてみてください・・・。遊びましょう！ この世の事はみな幻なのですから・・・。悩み苦しむ価値の無い世界なのですから・・・。本気にならないでください。お遊びだと思ってください。何が無くなるうと、何が起ころうと、どうせ消えてしまう幻なのですから・・・。そう思えば、気楽に生きられます。もう目くじらを立てる必要はなくなります。

想念の活用の仕方

想念には、偉大な力が秘められています。その想念を有効に使わない手はありません。では、その想念の有効な使い方を教えましょう。

【一】

自分の心が不安や心配や苦しみに襲われた時、次のように想ってください。

「私の心が」平安とやすらぎに満たされますように・・・

「私の心が」光に満たされますように・・・

【二】

愛する人に、親しい人に、すべての人たちに、次のように愛念を送ってください。

「誰々さんの心が」平安とやすらぎに満たされますように・・・

「誰々さんの心が」光で満たされますように・・・

「すべての人たちの心が」平安とやすらぎに満たされますように・・・

「すべての人たちの心が」光で満たされますように・・・

【三】

地球に、宇宙に、次のように愛念を送ってください。

「地球が」光で満たされますように・・・

「宇宙が」光で満たされますように・・・

想念は実現の母ですから、目には見えなくても間違いない思いは届きます。どうか想念を大いに活用してください。二〇一五年六月一五日

言葉のやりとりは、すべてアドバイスである

エネルギー均衡の法則に支えられている宇宙に、一方通行のアドバイスはありません。アドバイスした人も、アドバイスされた人も、共に学んでいるのです。こういうことです。

アドバイスしたということは、エネルギーを出したということです。出したエネルギーは、エネルギー均衡の法則に基づいて必ず相手から帰ってくるのです。それも、被アドバイス者の思いのこもったエネルギーが帰ってくるのです。ですから、意識して受け取れば、被アドバイス者の心情が分かるのです。

オウイと叫んだ山彦は、向こうの山にぶつかってオウイと帰ってきます。でも、そのオウイは、ただのオウイではないのです。何かを学んで帰ってきたオウイなのです。

私がこのようにいうのは、私がアドバイスしている時、必ず被アドバイス者から何かを学んでいるからです。私はアドバイスしながら、相手の心情(エネルギー)を探り、その心情の動きから、アドバイスするヒントを得ているのです。だから私は快くアドバイスするし、アドバイスされることも嫌わないのです。

エネルギーは一つです。そのエネルギーは、自分と相手との間を行き来しながら、思いの交換をしているのです。私がおしゃべりを否定しないのは、おしゃべりから何かを学べるからです。ただし、何も受け取らないおしゃべりは、単なる雑談になってしまいますので注意が必要です。言葉のやりとりは、エネルギーのやり取りなのです。出した言葉の中には、必ず思いのエネルギーが込められているのです。言葉を交わしながら互いに相手の思いを汲み取れば、自分も学べるし相手も学べるのです。だから言葉のやりとりは、すべてアドバイスだということです。

今日から、話し相手から何かを学んでください。もしかしたら、相手の欠点から自分の欠点が見付けられるかもしれません。あるいは、相手の心の微妙な動きを通して、今まで気付かなかった、自分の良い点が発見できるかもしれません。神は完全です。意味のないことは成されないので。意味あってその人と話すことになったのですから、そのチャンスを無駄にしないことです。二〇一五年七月一日

真の信仰心とは？

私の本を読んだ人は、自分が神であることは知識では知ったと思います。でも、どこまで神の確信がいているのかは疑問です。単に頭で知っただけでは、絵に書いたポタモチなのです。つまり、自分に何の変化が起きなくては、何の意味もないのです。

世間には「奇跡を見せてくれたら神を信じる」という人がおりますが、こういう人は真の信仰者にはなれません。例えば、物質化現象を見せられ「この宇宙には不思議な事がある、やはり神はいるのか?」、と思ったとしましょう。その人が、奇術師と同じ物質化現象を見せられたら、「何だ! あれは奇術だったのか! やはり神などいないのだ!」と途端に信仰心が崩れてしまうのです。

現象で築かれた信仰心は、現象で簡単に崩されるのです。現象で築かれた信仰心は、付け焼き刃なのです。だから私は、現象を嫌うのです。真の信仰心の持ち主とは、何も見せられても見せられなくても揺らがない信仰心を持った人のことです。渋柿を焼酎で熟成させたのでは、本当の旨味は出せないのです。時間を掛けじっくりと熟させた柿が、本当の旨味を出すのです。信仰心も同じなのです。二〇一五年七月一五日

付記…世の奇術者は、意識せずサタンの手先になっています。どんなにサイババさんがホンモノの物質化現象を見せても、彼らがいる限り単なる奇術で終わってしまうのです。それが、サタンの付け目なのです。つまり、真実から大衆の目を逸らすことが、サタンの目的なのです。

サタンが一番恐れるのは、大衆の眼前で真実が披露されることです。大衆が神を信じるようになったら、自分達の居場所がなくなってしまうからです。だから彼らは、必死になって物質化現象をニセモノに見せかけるのです。

同化とは

この地球では、異質のモノが一つに溶け合う、合体する、融合することを同化するというっているようですが、これは誤りです。なぜなら、この宇宙に異質のモノはあり得ないからです。同じモノ同士だから、同化できるのです。異質のモノは、同化できないのです。

人間はもともと生命だから、生命と同化することができます。つまり、人間はもともと神だから、神と同化することができます。

この宇宙に、異質のモノは一つもありません。みな一つの神から出てきた兄弟姉妹です。形は違っても、その本質はみな神なのです。みな神なるがゆえに、愛し合うことができ、許し合うことができます。私が大も小も無いというのは、一つしか無いモノは比べることができないからです。二つのモノがあるならば、比べられるので大小がありますが、一つのモノしか無いから比べることができないのです。

意識を一点に集中してみてください。どんなに集中しても一点の中に収まりきれないはずで、意識を無限大に拡大してみてください。どんなに拡大しても拡大しきれないはずで、それは一つのモノしか無いからです。すなわち、一つの意識しか無いから、一点の中に収まりきれないし、無限大に拡大しきれないので、一つのモノしか無い宇宙は、無限なのです。無限は一つである証であり、一つは無限である証なのです。

だから、唯一の意識を持つあなたは、一つであり、無限なのです。一なるモノは、無限なるモノは、神しかおられませんので、あなたは神そのものであり、神はあなたそのものなのです。

一つのモノが、一つに同化するのです。神が神に同化するのです。人間が神に同化するではありません。一つの神が一つの神に同化するのです。このことが心の底で理解できたら、あなたは神と同化できるでしょう。なぜなら、あなたはもとも神そのものだからです。二〇一五年八月一日

認識するとは？

私たちは、先に何かがあるから認識できると思っていますが、一つの意識しか無い宇宙において、認識に先立って何かが存在することはあり得ないのです。つまり、原因なしに先に結果が存在することはないということです。

意識を持っている認識者は、すべての本質であり原因者です。原因者あつての形です。今、形が認識できるのは、原因者(認識者)である本質が、形の中に宿ってその形を生み出しているからです。形の中に認識者がいなければ、つまり本質がなければ、認識される形は生まれませんから当然です。だから先に認識

者がおり、その認識者が認識することで形が生み出されるわけです。認識される形は、認識されてはじめて存在できるのですから、認識に先立って形が存在するわけがないということです。認識者(原因者)である皆さんがいなければ何も無いというのは、原因者がいなければ、結果である形はあり得ないからです。

認識がすべてを創っている宇宙において、認識されないものは、どんなに目の前にあっても無いのです。例えば、私が友達に「おおい！」と手を上げて、友達の視線が美人に釘付けになっていたら、その友達にとって私は存在していないのです。

でも今見ている山が、どうしても自分が作ったとは思えない、山が先にあってそれを自分が認識しているとは思えない。それは、自分が作った記憶が無いからです。記憶が無いのは、創造主と自分を別けてしまっているからです。私たちが創造主の元に帰れば、つまり、創造主と一体になれば、創造したことを思い出すのです。

皆さんが山を作った覚えがないというのは、まだ創造主と自分との関係が理解できていないからです。でも理解できなくても、創造主と皆さんが一つなのは間違いないのです。皆さんは、海水の一滴なのです。その一滴が大海に帰れば、大海そのものになるのです。大海そのものになったら、大海のすべての創造過程が分かるのです。私たち分身(海水一滴)は、いつか必ず本源である創造主の元に帰るのです。本源である創造

主の元に帰ったら、この宇宙のすべての創造過程が分かるのです。

これを理解するには、原子核を多く集めるしか無いのです。さあ、社会体験を通して、瞑想を通して、思索を通して、原子核を多く集めましょう。二〇一五年八月一五日

本当にあるモノしか無い！

本来この宇宙には、絶対も相対も無いのです。大も小も無いのです。有るのは、本当に有るモノだけです。この宇宙で本当に存在するのは、本当に有るモノだけ・・・。

絶対宇宙は相対宇宙が有るから有るのです。相対宇宙は絶対宇宙が有るから有るのです。つまり、絶対宇宙は相対宇宙が有る時に有り、相対宇宙は絶対宇宙が有る時に有るのです。大は小が有る時に有り、小は大が有る時に有るのです。絶対も相対も大も小も、一つだけでは有りようがないのです。二つが一つに融合された時、本当の有るモノが生まれるのです。すなわち、絶対宇宙にも相対宇宙にも偏らない、中庸宇宙に留まる意味を知った時、本当に有るモノが生まれるのです。いや、生まれるのではなく、もともとそれしか無かったです。それだけが有ったのです。

私たちが相対宇宙で様々なことを学ぶのは、中庸宇宙に留まる意味を知るためです。私たちはすでに、絶対宇宙のことは知り尽くしているのです。だから相対宇宙を知り尽くすことで、中庸宇宙に留まる意味を知るので。留まる意味を知るとは、中庸宇宙に留まることで、永遠に尽きない、永遠に色褪せない、幸せの中に入ることができるという意味です。

本来この宇宙には、神も人間も無かったです。本当に有るモノだけが、永遠の昔より有ったのです。でも、それでは宇宙の存在の意味がないので、宇宙は人間を創り、その認識を通して、宇宙の永遠性と無限性と完全性と全能性を誇っているのです。私たちは神でも人間でもない、永遠の昔より有った、「本当に有るモノ」だったのです。二〇一五年九月一日

付記：「神も人間も無かったです。本当に有るモノだけが、永遠の昔より有ったのです。」このようにいうと、神をマントラにしている皆さんは戸惑うと思いますので、次のように言葉を変えてください。「神も人間も無かったです。中庸の神だけが、永遠の昔より有ったのです。」

どうか引き続き、神という言葉をマントラに使ってください。以前よりも深みの帯びたマントラになるでしょう。

類は類を呼ぶ法則と同性愛との関係

陰陽の法則は、宇宙の根本法則です。しかし類は類を呼ぶ法則は、表現世界のみ必要な自然の法則で、絶対世界には不要な法則です。なぜなら、絶対界には二つのものが無いからです。一つしかない世界に異質のものはあり得ないわけですから、類が類を呼ぶ法則が不要なのは当然でしょう。では、類が類を呼ぶ法則のある表現世界で、同性愛は許されて良いのでしょうか？ いいえ、許されません。なぜなら、類は類を呼ぶ法則の背後には、陰陽の根本法則が働いているからです。

光と影は、絶対切り離せないのです。物質とエネルギーは、絶対切り離せないのです。つまり男と女は、絶対切り離してはいけません。切り離せば危険物になるからです。例えば、酸素は水素と結びついて水という安定した状態になっています。アルカリは酸と結びついて中性という安定した状態になっています。陰と陰・陽と陽が結びついていては、光が生まれません。つまり、新しい命が(子供が)誕生しないのです。陰と陽がバランス良く結びつくことによって、光が生まれ、新しい命が誕生するのです。離れていては、与えられた役割が果たせないのです。

陰と陰・陽と陽が結びつくのは偏りなのです。偏りは不調和です。大変危険なのです。類が類を呼ぶ法則は、表現世界の波動の秩序を保つ上では必要ですが、根本的秩序を保つ上では必要ないのです。その意味では、類が類を呼ぶ法則は、あくまでも陰陽の法則の後に付いてくる付属的な法則と考えるべきでしょう。同性愛が許されないのは、このような理由からです。

でも神は、同性愛も許しています。なぜ許しているかといえば、同性愛に偏ることで痛い目に遭い、真の愛が何かを知るようになるからです。幼い子には、体験が必要なのです。宇宙の理を心の底で知るには、許されないことも体験する必要がある、ということなのです。二〇一五年九月一五日

自我（サタン）を退散させる秘訣

サタンとは、自我のことです。弱い自分のことです。その自我にやられているかどうか見破るには、自我の特徴を知る必要があります。特徴を知り、見破ることができれば、自我はコンコンと退散してゆくしかありません。

では、自我はどのような特徴を持っているのか、考えてみることにしましょう。

- ・ 自我は、身体を動かすことが大の苦手です。
- ・ 自我は、敵しいことをするのが嫌いです。
- ・ 自我は、集中することが嫌いです。
- ・ 自我は、我慢することが嫌いです。
- ・ 自我は、繰り返すことが嫌いです。
- ・ 自我は、消極的です。後ろ向きです。ウジウジしています。臆病者です。
- ・ 自我は、協調性がありません。
- ・ 自我は、反対したり、否定したりがります。
- ・ 自我は、判断力が鈍いです。見分けることが苦手なのです。
- ・ 自我は、明るいとところが嫌いです。肉体は闇ですから光を嫌うのです。
- ・ 自我は、清いものが嫌いです。
- ・ 自我は、五感を喜ばしがりません。
- ・ 自我は、楽なことが好きです。怠け者なのです。
- ・ 自我は、感情的です。すぐに怒ります。憎みます。恨みます。妬みます。誹ります。嫉妬します。

・自我は、欲望的です。肉欲・金銭欲・物欲・地位名誉権勢欲など、あらゆる欲望が強いのです。

・自我は、心配症です。悪く受け取ります。クヨクヨします。悔やみます。自分を虐めます。

・自我は、嘘をつきます。騙します。陥れます。人の苦しみを見て喜びを感じます。

・自我は、甘えん坊です。すぐに人を頼ろうとします。人に憐れみを乞います。人に心配されたいのです。

親のすねをかじって生活している人は、みな自我にやられているのです。

・自我は、「真善美」を嫌います。すなわち、「真・誠・信」「善・正義・道理・法則」「美しさ・清さ・浄さ」を嫌うのです。

・自我は、真理の話を嫌います。

・自我は、わざわざ物事を難しくします。簡素簡潔なことが嫌いなのです。自我は必要以上に時間を掛けたりします。整理整頓が苦手です。当然、不衛生な環境になるでしょう。

・自我は、ひねくれた考えを持ちます。素直でないのです。

・自我は、自己顕示欲が強いのです。自分を良く見せたいのです。人に認めてもらいたいのです。自分の成果を誇示したいのです。ですから、もったいぶります。

・自我は、人を責めたりします。人を攻撃するのが好きなのです。気がすむまで相手を許しません。

- ・自我は、自分の弱みや欠点を指摘されると腹を立てます。
- ・自我は、争い事が好きです。すぐに騒ぎ立てます。小さな問題も、わざわざ大きくします。

書き切れないのでこのくらいにしておきますが、自我は全てにおいて偏った性質を持っているのです。だから、躁と鬱が交互にやってくるような特徴を見せるのです。

このような性質が自分の中にないか、一度確かめてください。

自我の一番苦手なことは、身体を動かすことです。私が運動を勧めるのは、自我の一番の弱みを突くためなのです。その弱みを突くことができたならば、他の弱みも総崩れになってしまうでしょう。

なぜ彼らは身体を動かすことが苦手かといいますと、動かすと原子核が増えるからです。ですから、サタンの弱みを突きたかったら運動を始めて下さい。はじめは軽い運動から、徐々に強い運動に、最後はフルマラソンをやるくらいまで挑戦してみてください。運動をして、汗をかいた後のあの爽やかさ、清々しさ、みなさんも体験があると思います。汗をかくとなぜ爽やかになるかといいますと、老廃物が汗と共に体外に出るからです。余分な脂肪も燃やします。身体から老廃物が出ると波動が高くなるので、身体が軽くなるのです。

さらに運動が良いのは、手足の筋肉が多く酸素を取り込むため、体内エネルギーが高くなるからです。酸素は宇宙エネルギーの一種ですから、酸素を多く取り込めばエネルギーが高まるのです。エネルギーが高まるということは、光が多くなるということですから、光に弱いサタンは退散するしかありません。運動選手に心身共に健康な人が多いのは、エネルギーを多く取り入れ、サタンを入れる隙間を与えないからです。

このように身体を多く動かせば、精神的にも肉体的にも健康な人になるのです。今サタンで苦しんでいる人は、まず身体を動かすことから始めて下さい。運動が生活の一部になれば、サタンと無縁な人になるでしょう。

最後に、真理の探求をお勧めします。サタンにやられやすい人は、私の本を読んでください。光のメロデー集を見てください。勉強会の動画を見てください。特に勉強会の動画は効果があります。自我は、本当の自分を知られることが恐ろしいのです。だから、真理の話聴きに行こうとすると邪魔をします。瞑想したくなくなるのも、サタンの仕業です。サタンは弱い自分を様々な方法で誘惑し、真理を求めさせないようにするのです。繰り返します。サタンとは自我のことです。弱い自分のことです。サタンにやられるのは、自分が弱いからです。どうか弱い自分に負けない、強い精神力の持ち主になって下さい。二〇一五年一

〇月一日

特注・・サタンにやられ気分が落ち込んだ時には、汗をかくぐらい体を動かしてください。間違いない気分が明るくなります。

審美の目

私はこれまで、この世のことは五十歩百歩やれば良いと思っていました。ですから、あまり自分の車の洗車をしなかったのです。そのためか、私の車に鳥が糞をしてゆくのです。それも、ますますひどくなるのです。

皆さんは、汚いゴミ入れと綺麗なゴミ入れの、どちらにゴミを捨てますか。汚いゴミ入れの方ですね。鳥も同じように、汚いものの方に糞をします。私はこの体験から、自然界に審美の目（五十歩百歩のルール）があることに気付かされたのです。

では自然界は、私たちにどのような審美の目を持ちなさいといっているのか、今の地球の現状から探ってみることにしましょう。

今地球では、空気が汚れ、水が汚れ、土が汚れ、人の心まで汚れています。自然界の審美の目から見たら、

これは明らかに五十歩百歩のルール違反です。だから、自然災害が増え、戦争やテロなどの争いごとが増え、事件や事故が増え、自殺が増え、病気が増えているのです。

では自然が望んでいる審美の目とは、どのような目なのでしょうか？

それは中庸の目です。足ることを知る目です。偏り過ぎない目です。私たちは、腹いっぱい食べられたら、それ以上食べ物はいりません。寒さをしのげたら、それ以上着る物はいりません。大の字になって寝られたら、それ以上空間はいりません。

これが、自然界が望む審美の目なのです。

人生の目的は何でしょうか？・・・

お金やモノを多く持つことですか？・・・

地位や名誉を得ることですか？・・・

そうではないはずですよ。

人生の目的は、本当の自分を知ることです。本当の自分を知るために、沢山のお金やモノはいりません。勿論、地位や名誉も不要です。私たちは、お金や物や地位や権力があれば幸せになると思っていますが、返って多く持てば持つほど不幸せになるだけです。本当の自分を知るためには、心の穏やかさが必要なのです。

自然界の審美の目は、私たちにそのことを教えてくれているのです。二〇一五年一〇月二五日

想念の偉大さを再認識しよう！

近年、糖尿病や歯槽膿漏にかかる猫や犬が多くなっていますが、本来、完全な生命が宿っている鉱物や植物や動物に、そんな病気があるわけがないのです。ペット病は、人間の悪想念の移入によって起きています。念病です。いかに人間の想念が偉大か、このことから分かります。想念にしてからです。言葉による影響はさらに大きいでしょう。

よくテレビで「花粉が飛びますので気をつけてください！」とか、「風邪が流行っていますので気をつけてください！」とか言いますが、あれほど社会に悪害をもたらしている言葉はありません。その語っている者が、社会的地位が高ければ高いほど、社会に与える影響は大きいのです。

例えば医者とは、この社会で高い地位を占めています。もしその医者が、ネガティブな言葉で患者に接するとしたら、患者の命を縮めるほどのダメージを与えてしまうのです。よく「あと何ヶ月しか生きられませんか」「などと死の宣告をする医者がいますが、寿命を握っているのは、医者ではありません。肉体の中に宿

っている生命力です。

人の言葉に惑わされ、自分の心(宇宙)を汚してはなりません。自分の心(宇宙)の管理者は自分自身です。その自分を信じてください。自分を信じるとは、自分の想念を信じるという意味です。想念を正しく使えば、絶対悪いことは起きません。人の言葉に惑わされ悪想念を持つから、病・事故・事件などの災厄が起きるのです。すべて自己責任です。

人が不幸を決めるものではありません。人が人生を決めるものではありません。医者が寿命を決めるものではありません。すべてその人の想念が決めるのです。どうか、自分の想念力を信じてください。想念は実現の母です。良いことを思えば良いことが・・・悪いことを思えば悪いことが・・・。ぜひ、想念を正しく使ってください。二〇一五年一月一日

生命力を信じよう！

大自然をご覧なさい！ 見事に調和が取れています。それは、全ての自然物の中に生命が生きて働いているからです。その証に、自然界に病気というものはありません。不調和な人間界にだけ病気があるのです。

生命は宇宙をも創造する偉大な力を持っているのです。その偉大な生命が、私たちの肉体の中で生きて働いているのですから、本来病気になどなるわけがないのです。しかし残念なことに人間は、心配、恐怖、怒り、憎しみ、恨み、など様々なネガティブな想いを持ちます。そのネガティブな想いが、肉体細胞の生命力を弱め病気にしているのです。

・あなたの肉体は、偉大な生命力によって支配されているのです。

・あなたの肉体は、生命力に満たされて光り輝いているのです。

・あなたの肉体は、それはそれは神々しく光り輝いているのです。

・あなたの肉体は、まるで水晶のように一点の汚れもないのです。

・あなたの肉体は、完璧な働きをしています。

さあ、「私の肉体は生命力に満たされて光り輝いている！」と思ってください。

「生命力を信じなさい！」

「生命力に任せなさい！」

「生命力に委ねなさい！」

自分で生きようとしなさい。自分で生きようとするれば、どうしても力んでしまいます。それでは、

生命力が働いてくれませんか。肉体のことは、生命力に任せましょう。生命力に委ねましょう。所詮、あなたが生きることなどできないのですから・・・。そうなのです。肉体のことは、肉体を管理している、生命に任せてしまえば良いのです。こんな気楽な生き方はありません。任せるという意味は、

・病気のことを考えないようにするという意味です。

・必要以上に食べ物に気を使わないという意味です。(中庸を守れば良い)

・必要以上に肉体に気を使わないという意味です。(中庸を守れば良い)

気を使うのは、「病気にならないだろうか？」と心配しているからです。それでは、病気を掴んでいるようなものですから、かえって病気になるのです。肉体のことを色々考えるのは、自分で生きようとしているからです。そんな生き方をしている限り、生命力は働いてくれません。生命はこう言うでしょう。「そんなに私が信じられないなら、自分で勝手に生きてください！」と・・・生命は気を悪くしてしまうかもしれないよ！・・・。

今日まで無事に生きてこられたのは、生命が肉体を維持・管理・運営していたからです。あなたが生きていたわけではないのです。さあ今日ただ今から、肉体のことを考えないようにしましょう。肉体のことは生命に任せましょう。その代わり、良い想念を持つようにしましょう。良い想念の一番は神です。神の想いは、

思いの中でも最高級品です。ぜひ、神を思うようにしましょう。二〇一五年一月十五日

相対的体験を通して進化する私たち

どんなに人を口で諭しても、諭されるものではありません。また自分も、人から諭されるものではありません。体験のみが、人を諭してくれるのです。その体験内容は、糾える縄のようにすべて裏返しです。

例えば、

- ・ 乱暴したから、乱暴されたのです。
- ・ 苦しめたから、苦しめられたのです。
- ・ 虐めたから、虐められたのです。
- ・ 殺したから、殺されたのです。

“私はそんなことをした覚えはない！”と言われるかもしれませんが、それは過去世の記憶が無いからです。エネルギー均衡の法則で支配されている宇宙に、一方通行というものは無いのです。エネルギーを出したから、必ずエネルギーが帰ってくるのです。それも、同じ強さの同質のエネルギーが帰ってくるのです。

ですから、今自分を苦しめている人は、過去世の自分を見ていると思つたらいいでしょう。

神が考えられた進化の歩みは、すべて相対的体験を通して行われるようになっていきます。光は、光だけでは進化できないのです。幸せは、幸せだけでは進化できないのです。闇を体験して、苦しい体験をして、進化するのは、ですから、今苦しいからといって自暴自棄になつてはなりません。進化のために必要な苦しみだと、良く受け取ってください。

一本の縄では、強いワラジはできないのです。二本の縄を交互に編むことによって、強いワラジができるのです。つまり、裏返しの体験を交互にすることによって、中庸の強い自分に成長するのです。私たちが男と女を交互に体験するのも、中庸の自分に成長するためです。だから私たちは、過去世において男と女の体験を交互にしてきたのです。今、女性の方は、前生、男だったと思つたら良いでしょう。今、男性の方は、前生、女だったと思つたら良いでしょう。これは九〇パーセント以上の確率で間違いありません。ただし、何らかの理由で学びきれない場合は、同性を二度三度体験することもあります。世の中には、性同一障害という心の病がありますが、その人は同性を続けて二度三度体験することによって、形は男(女)でありながら女(男)のような心を持つようになるのです。これは慣性の法則が働いたためで、何も不思議なことではありません。同性愛も同じです。同性が二度三度続くことで、同性を愛する異常な心が生まれるのです。

このような心の病が増えているのは、物質文明が末期に近づいている証なのです。なぜなら、物質文明は同性愛と同じ偏りから生まれているからです。人類は、一日も早くそのことに気づかねばならないでしょう。

二〇一五年一月一日

失敗は成功のもと

過去どう生きたかが大切なのではなく、今どう生きるかが大切なのです。今どう生きるかとは、今を真実に生きるという意味です。今を真実に生きれば、過去の失敗は失敗で無くなるのです。いや、失敗どころか、成功になるのです。なぜなら、今真実に生きられるようになったのは、過去の失敗から学んだからです。反対に、今の今を真実に生きていない人は、過去どんなに成功だと思っても失敗になるのです。なぜなら、今真実に生きられないのは、過去で学んでいなかったからです。学びのない過去は、失敗なのです。でもその失敗も、失敗ではないのです。失敗から必ず学ぶからです。だから「失敗は成功のもと」と言われるのです。

完全は成功からは生まれません。失敗から生まれるのです。神が創られた完全宇宙に、失敗などある

わけがないのです。何事もポジティブに考えてください。きっと、やる気が湧いてくるでしょう。二〇一五年一月一日

第2集(二〇一六年)

あなたは何が欲しいの？ パート1

皆さんは、何が欲しいのですか？ 学者の皆さんも、政治家の皆さんも、教育者の皆さんも、一般人の皆さんも、何が欲しいのですか？ お金ですか？ 物ですか？ 地位や名誉や権力ですか？

それは、幸せではありませんか？

お金や地位や名誉や権力があれば幸せが得られると思うから、そういうものを必死になって追い求めるではありませんか。でも、よく考えてみてください。幸せはお金や物で得られますか？・・・地位や名誉や権力で得られますか？・・・得られるなら、大王様はみな幸せになっているはずですよ。でも、いつの時代の大王も、「虚しい！ 空しい！ むなしい！」といってこの世を去ります。これまで幸せをあの世界に持ち帰

った、大金持ちも、権力者も、大王もいないのです。なぜなら幸せは、お金や物や地位や名誉や権力で得られるものではないからです。幸せは、意識状態なのです。では本当にそうなのか、実験してみましょう。

ここに、お金や財や地位や名誉があれば幸せが得られると主張する若者(A)と、心が得る手段であると主張する若者(B)がおりました。二人は幸せについて論争しましたが、いくら論争しても結論が得られません。そこで、どちらの主張が正しいか試すために、Aには使い切れないほどのお金と権力を与え、Bには日々生きたりだけのお金と、真理を与えました。二人はそれぞれ、自分の信条に基づいた人生を歩みはじめます。この二人が、五十年後再会しました。その時の二人は、八〇才くらいになっているはずです。

さて、生き生きとした顔で現れたのは、Aでしょうか？ Bでしょうか？ そしてこの二人の口から出てくる言葉は、どのような言葉でしょうか？ 想像してみてください。二〇一六年一月一日

付記…思いついた時が、最良の時です。

思いついた時にやりましょう！

腰軽になりましょう！

明るく明るく朗らかに・
何ごとも良く受け取り・
神を想い・光を想い・
日々生活しましょう！

悩むことなどありません。

どっちに転んだって、この世は夢幻なのですから・・・。

自分は変わらない！

私たちは、自分のことを肉体だと思っています。その肉体を自分だと思っている自分は、小さな肉体を自分の住処として生きているのです。その自分の意識が成長し、地球を体として持つようになったら、地球を自分だと思って生きるようになるのです。更に意識が成長し、太陽系を自分の身体として持つようになったら、太陽系を自分だと思って生きるようになるのです。更に意識が成長し、銀河系を自分の体として持つよ

うになったら、銀河系を自分だと思って生きるようになるのです。しかし、どんなに体が大きくなっても、自分は何も変わらないのです。

私たちは神の意識核を集め、鉱物・植物・動物・人間へと成長してきましたが、自我を持つようになった人間以降の自分は、単に大きな体を纏うようになっただけで、自分は何も変わっていません。違う点といえば、意識核が大きく成長した分、理解力が増し創造能力が大きくなった点です。だから、“自覚の境界線を超えたら自分が無くなるのではないか？”といった心配はしないでください。

今人類は、肉体人間を自分として生きていますが、やがて地球を体に持ち、太陽系を体に持ち、銀河系宇宙を体に持ち、大宇宙を体を持つところまで進化して行くことでしょう。しかし、どんなに大きな体を持つようになっても、自分は何も変わらないのです。つまり私たちは、今の意識状態を保ちながら自分を感じているのです。二〇一六年一月十五日

業を掴んではならない！

今、痛み苦しんでいる人たちに進言したいと思います。その痛みや苦しみは(事故・災難・病気など)、自分が過去に放った悪想念の結果であると……。でも、そう悲観することはありません。なぜなら、その痛みや苦しみは業の消えている状態だからです。業は、放って置いたら消えてゆくのです。業が消えてゆくのは、業自体は生きてはいないからです。業を作り、業を生かしているのは、人の想念なのです。その想念を絶てば、業は力を失い、消えてゆくしかありません。業の消滅を次のように考えたら、そう悩むこともないでしょう。

たとえば今、自分の倉庫(心)に100個の在庫品(業)を抱えていたとしましょう。今日10の痛み苦しみがやってきたら、10個の在庫品(業)がはけたと思えばいいのです。たとえ一度に50の痛み苦しみがやってきたとしても、50個分の在庫品(業)がはけたのですからそれは良いことなのです。注意点は、新たな在庫品(業)を抱えないようにすることです。多くの人が痛み苦しみから抜け出せないのは、業の上塗りをするからです。たしかに痛み苦しみがくれば、どうしても業の上塗りをしてしまうものです。でも、それに打ち勝たねば、いつまでも業の輪廻から抜け出せないのです。では打ち勝つためには、どうすればいいのでしょうか?…。それは、「この痛みや苦しみは業の消えている状態だから有り難いことだ!」と思うことです。つまり、

痛みや苦しみがやってくる度に、「一つ業が消えて行った！ ああまた一つ業が消えて行った！ 有難うございます！ 有難うございます！」と思うことです。そのように思えば、痛みや苦しみは半減します。

事故・災難・病気などの不幸は、過ちを気づかせる警告ですから、気づいて生き方を正したら業は消えてゆくのです。業の上塗りさえしなければ……。この業の上塗りさえしなければ、ということがとても大切なことなのです。

業の上塗りをしないためには、今の今を正しく生きることです。今の今を正しく生きるとは、良いことを思い続けることです。その良い想いの一番が、神を想うことなのです。二〇二六年二月一日

宇宙数学

○認識者が存在しない場合は、被認識者も存在しないから、宇宙は存在しない。
すなわち、

$$\begin{aligned} & (\text{被認識者}) \times (\text{認識者}) \parallel (\text{宇宙} \cdot \text{神}) \\ & (0) \times (0) \parallel (0) \end{aligned}$$

です。

ただし、これでは宇宙は「無」になってしまうので、この状態はあり得ません。

○認識者が存在する場合は、被認識者も存在することになるから、宇宙は存在する。

すなわち、

(被認識者) × (認識者) ≡ (宇宙・神)

(1) × (1) ≡ (1)

です。

認識者と被認識者は1対で存在するので、認識者1が存在する限り、被認識者0ということはあり得ないのでです。

被認識者の1は、仮数(分数・幻数・陰・相対)であり、認識者の1は、実数(元数・真数・陽・絶対)です。宇宙の1は、中数の1であり、中性・中庸の宇宙という意味です。

したがって、この中数の1は、実数の1よりはるかに進化した、偉大な1となっているのです。生ぬるい湯に浸かっていた時の神の子と、荒野に出て鍛えあげられた神の子の、どちらが強い神の子になっているか

は、言わずもがなでしょう。

では、被認識者が複数存在する場合、宇宙はどうなるのでしょうか。被認識者の数だけ宇宙は存在するのでしょうか？

いいえ、どんなに被認識者が沢山存在していても、1つしか宇宙は存在しません。なぜなら、被認識者は認識者1から生まれた分身だからです。

すなわち、

(被認識者) × (認識者) ∥ (宇宙・神)

(2) × (1) ∥ (1)

であり、

(被認識者) × (認識者) ∥ (宇宙・神)

(100) × (1) ∥ (1)

なのです。

2も100も分数で、実数1の分身です。

客観的に見たら、被認識者の数だけ宇宙が存在するように思われますが、被認識者と認識者は1対で存在

するので、宇宙は1つしか存在しないのです。客観視できるのは、被認識者と認識者が独立して存在する場合ですが、そんな見せかけは永遠にはあり得ないので、宇宙は1つしか存在しないのです。

この宇宙には、一様の認識者しか存在しません。しかし、それでは認識者の存在はあり得ないので被認識者を創り、その被認識者を通して認知してもらうことで、認識者の存在を確かなものに行っているのです。

仮数は実数から生まれた幻で、実在している数字ではありません。ということは、認識者しか存在しないことになり、それは1であるということになります。だから、人間は神であり、神は人間なのです。二〇一六年二月十五日

運命を良くするには？

運命とは「命」を「運」ぶと書きます。「運命は変えられない！」という人がおりますが、私たちは命の当人ですから、自分で運命をどうにでも変えることができます。ただし、この世に生を受けると、どうしても迷いの糸を絡ませてしまうため、自分で運命を変えられない状態にしまいます。それも、一生や二生の糸の絡みあいではないので、元の状態に戻すには相当の時間と手間がかかります。ですから、「運命

は変えられない！」という誤解を招いてしまうわけです。では、絡みあった糸を解きほぐすには、どうすれば良いのでしょうか？ それは、法則に違わない生き方をする事です。法則とは良心のことですから、良心に沿った生き方をしていれば、糸の絡みは解きほぐされ、良い方向に運命が展開して行くのです。運命が良くなった状態とは、糸の絡みが少なくなった状態を言うのです。それは誰かがするのはありません。自分の力でするのです。私たちは生命ですから、それができるのです。具体的には、家庭を中心に社会体験をすることです。瞑想をすることです。思索をすることです。

「仏」という字は、解ける(ほどける)という意味ですが、これは絡みあっていた迷いの糸が解ける(ほどける)という意味です。迷いの糸が解ければ、知恵が増します。判断力が増します。理解力が高まります。気づきが起きます。環境が良くなるので、より自由になります。だから、運命は間違いなく良くなります。今運命が良くないと悩んでいる人は、ぜひ原子核を増やしてください。原子核を増やせば迷いの糸が解けるため、間違いなく運命は好転してゆきます。二〇一六年三月一日

必然性の確かさ

私が神に頭を垂れる一番の理由は、神が創られた必然性の完璧さです。しかもこの必然性は、すべて自分の成長に結びついた必然なのです。この宇宙で展開されているできごとを、良く観察してみてください。すべて進化のための必然であることが分かります。親和力によって塵が集合し新星が誕生するのも必然、月食や日食が起きるのも必然、木星や土星が枯れた星になるのも必然、人類が経済活動をして地球資源を食い潰すのも成長のための必然です。宇宙の出来事で、成長に結びつかない必然は一つもないのです。ですから、あなたにもし何かが起きたら、これは自分の成長のために必要な必然だと考えてください。

この宇宙に偶然と言うのは、一つもないのです。雪が降ったのも必然です。車がスリップ事故を起こしたのも必然です。電話が話し中なのも必然です。あなたが腹を立てたのも必然です。今そう思えないのも必然です。そう思えたのも必然です。人に騙されたのも必然、騙したのも必然です。欲に誘われ、やってはならないことをやったのも必然です。でもその必然は、みな良いことだったのです。なぜなら、どんな必然も自己成長に結びついていた必然だからです。それは誰かが与えたものではありません。与えたのも自分、体験したのも自分、その体験によって成長したのも自分、全部自分が与えたのです。すなわち、自分の成長に必要な必然を自分が与え、その必然によって自分が目覚め自分を成長させてゆくという、自己完結型宇宙におけ

る必然なのです。これは、この宇宙に一つのモノしか無いから、つまり自分しかないから、自己完結型の学びにならざるを得ないわけです。でも、それも必然なのです。もしあなたが、自己完結型の必然性を心の底で理解できたら、もうあなたに一抹の不安も無いでしょう。二〇一六年三月一五日

あなたは何が欲しいの？ パート2

あくせく働いているあなた、一体何が欲しくてあくせく働いているのですか？・・・

お金が欲しくて？・・・、物が欲しくて？・・・、地位や名誉が欲しくて？・・・

そうじゃないでしょう。幸せが欲しいからではありませんか？

世の人々は、お金で幸せが買えると思っております。だから、朝早くから夜遅くまで躍起になって働いてお金を稼いでいるのです。でも、未だかつてお金で幸せを買った人は一人もいないのです。もし、お金で幸せが買えるなら、大王や大金持ちはみな幸せになっているはずですが、でも大王も大金持ちも、みな「虚しい！虚しい！虚しい！」と言ってこの世を去ります。

幸せは肉体が感じるのではなく、意識が感じるのです。幸せとは、意識状態なのです。だから私たちは、

形(肉体)に囚われる必要はないのです。形を持たなくても、幸せは得られるのです。どうでしょう。肉体を持っていないと不自由ですよね！ 煩わしいことも沢山ありますよね！ 移動するには、乗り物に乗せねばならないし、汚れるから、風呂にも入れねばならないし、お腹がすくから、食べ物も食べさせなくてはならないし、第一、肉体は弱いから病気になるし怪我もします。でも本当の私たちは、そんな不自由で弱い肉体ではないのです。本当の私たちは、自由奔放な生命意識なのです。生命意識ですから、お金も物も地位も名誉も必要ないのです。必要なのは、「本当の自分は生命意識である！」と考えることだけです。どうか肉体から出て、意識で幸せを満喫してください。二〇一六年四月一日

見えない生命体を自分の身体として生きよう！ パート1

私たちは紛れもなく生命(神)なのです。でも、どうしてもそう思えない、それは気の遠くなる年月、様々な体の中で生きてきたからです。そのため、私たちは、体を持っていなくては自分だと思えなくなつたのです。では、体を持ちましょう。どんな体を？ それは生命体という体です。意識体という体です。私たちはこれまで、鉱物・植物・動物など様々な体を纏って生きてきました。が、それらの体はいずれも見える体でし

た。でも生命体という体は、見えません。意識体という体は、見えません。でも見えなくても、間違いない自分の体なのです。それは、見えない体という体です。見える体だけが体ではないのです。宇宙では、見えない体こそ本当の体なのです。神が宇宙を自分の身体として生きているように、私たちも、生命を自分の体として生きることができるのです。なぜなら、意識したものが自分の体になるからです。知花先生が、私たちは意識している通りのもので、それ以上でも以下でもないとおっしゃられたのは、意識が体を生み出すからです。意識は何でも作れるのです。どんな物の中にも入れるのです。長年形の中で生きてきたため、形が無くては自分だと思えなくなっただけです。どうしても、体がなくては自分だと思えないなら、こう思ってください。見えない生命体という体を纏ったのだと……。意識が認めれば、見えなくても自分の体になるのです。私たちは鉱物の体を纏っていたときには、鉱物だと思っていたのです。植物の体を纏っていたときには、植物だと思っていたのです。動物の体を纏っていたときには、動物だと思っていたのです。今人間の体を纏って人間と思っただけのように……。生命体も意識体も見えませんが、それは見えない体を持った生き物なのです。その生き物の中に入ったら、即、自分の身体になるのです。

私たちは、見えない意識体なのです。見えない生命体なのです。見えない意識体が何かを纏い、見える自分になっただけです。すなわち、花の中に入って花になり、猫の中に入って猫になり、人間の中に入って人

間になっただけです。私たちは、人間の中に入り人間だと錯覚している生命なのです。花の中に入り花だと錯覚していたように……。猫の中に入り猫だと錯覚していたように……。生命体の中に入って、生命だと錯覚したらいいのです。いいえ、生命こそ本当の私たちなのです。

人間の身体を纏っていれば、様々な厄介なことが起きます。例えば、移動するのに乗物が入用になります。汚れるので風呂にも入れなければなりません。腹がすくので食物も食べさせなくてはなりません。そうなる、排泄しなくてはなりません。また、寒さから身を守るために着物を着せなくてはなりません。家も必要になります。でも意識体なら、そんなことをする必要も、そんなに物も必要なくなるのです。さあ、生命体を自分の身体にしましょう。それは、自分の本性に目覚めれば、即、そのようになるのです。二〇一六年四月十五日

自分しか存在しない!?

この宇宙に一なるモノしか存在しないという真理は、動かしようのない真理です。ならば、この宇宙に自分しか存在しないことになりませんか？ なぜなら、今、私は現に存在しているからです。今、何かが存

在しているということは、その何かは一なるモノの現れなのは当然でしょう。何せ、宇宙には、一なるモノしか存在しないのですからね。だから私は堂々と、私しか存在しないと公言するのです。もし、私もあり何かもあるなら、二つのモノがあることになり、一なるモノしか存在しないという真理は崩れてしまうからです。私が、私の他に何もないと公言するのは、自分の他に何かを認めれば、一なるモノしか存在しないという真理を否定すると同時に、自分の存在も否定することになるからです。さらに言えば、この宇宙に一なるモノしか存在しないということは、自分しか存在しないということであり、それはすべてのモノは自分であるということになるのです。なぜなら、すべてのモノは、その一なるモノの現れだからです。

では、この真理を、神に置き換えて考えてみましょう。

この宇宙に神しか存在しないという真理は、動かしようのない真理です。ということは、私は神であるということです。なぜなら、今、私は現に存在しているからです。もし、私が神でないならば、この宇宙に神しか存在しないという真理は崩れてしまい、宇宙は消え去ってしまうでしょう。この宇宙に神しか存在しないということは、自分しか存在しないということであり、それはすべてのモノは自分であるということなのです。ならば、細菌は私です。虫は私です。花は私です。鳥は私です。馬は私です。山は私です。川は私です。海は私です。地球は私です。宇宙は私です。すべては私です。これは、一なるモノしか存在しないとい

う宇宙においては、当然のことであって何の不思議もないのです。「私は神ですよ！」と堂々といえるのも、この宇宙に神しか存在しないからです。すなわち、私しか存在しないからです。二〇一六年五月一日

毎日が父の日であり母の日である

六月の第三日曜日が父の日、五月の第二日曜日が母の日と決められているようですが、本当は毎日が父の日であり母の日なのです。なぜなら、お父さんやお母さんには、日々感謝してもしきれない恩があるからです。お父さんとお母さんがいなかったら、今の自分はあり得ないのです。物を送る必要はありません。心の中で「お父さんありがとう！ お母さんありがとう！」と想えばそれで良いのです。どうしても感謝の気持ちを形で表したいなら、白抜きの「愛」の一字の中に「ありがとう！ありがとう！ありがとう！」とたくさん書いた色紙を贈ってください。「ありがとう！」の文字を赤や青など数色で書くと絵模様となりますので、どんな高価な絵より価値ある贈り物となるでしょう。その場合、心から「ありがとう！」の想いを込めて書いてください。それも、「ありがとう！」の字数が多ければ多いほど良いでしょう。想いは実現の力です。きっとあなたの想いが、お母さんやお父さんに届くでしょう。どうか試みてください。

この感謝の気持ちは、天の父にも地の母にも表して欲しいと思います。天なる父は母なる大地を創造し、そこに種を撒きました。その種が実り人となったのです。私たちは、天と地が生み出した愛の結晶、愛の子供たちなのです。だから、天の父と地の母に感謝するのは当然でしょう。どうか、天の父と地の母に「ありがとうございます！」の感謝の想いを届けてください。二〇一六年五月一五日

見えない生命体を自分の身体として生きよう！ パート2

私たちの本性は、見えない生命なのです。でも、どうしてもそう思えないのです。それは気の遠くなる年月、様々な形の中で生きてきたために、形がなくては生きていると思えなくなっただけです。

形の中で生きることだけが、生きることではないのです。いやむしろ、形の無いモノの中で生きることが生きることなのです。覚者が「肉に生きるは死なり、肉に死んでこそ真に生きるモノとなる！」というのは、形を持って生きていると「生・老・病・死」があるし、不自由だからです。でも私たちは、どうしても形が無くっては生きていると思えないのです。では、形を持ちましょう。どんな形を？ それは見えない形です。こう思ってください。見える形もあるけれど、見えない形もあるのだと・・・その見えない形をしている

のが、生命体なのです。神が見えない宇宙を自分の身体として生きてるように、私たちも、見えない生命を自分の身体として生きていたら良いのです。それは、「汝の見るもの受け継がん！」と言われるように、思ったモノが自分の身体になるからです。どうか常識を変えてください。見える形もあるけれど見えない形もあると言うことを……。その見えない形をしているのが、生命体であり、本当の私たちなのです。

身体を持っていれば、様々な物が必要になります。例えば、食べ物が必要です。着る物が要ります。家が要ります。でも生命体なら、そんな物は要りません。さあ、融通無碍なる生命体を自分として生きましょう。

そうすれば、もう何も要らないのですから……。自由自在に生きられるのですから……。二〇一六年六月一日

すべて自分を成長させるための必然である

神が創られた必然性の働きの目的は、すべて私たちの成長のために用意したものです。その必然性の働きは、必然性の働きによるのです。そしてその必然性の働きも、また必然性の働きによるのです。どこまでも、必然性の働きによるのです。それは、すべての必然が完璧で無くてはならないからです。

この宇宙で起きている出来ごとを、良く観察して見てください。すべて私たちを成長させるために起きている必然であることが分かります。その働きに、一つの無駄も、齟齬も、間違いもないのです。だからもしあなたが何か起きたら、その出来ごとが何を含み持った必然なのか考えて見てください。すべて、自分を成長させるために起きた必然であることに気付かされるでしょう。

一例・・・

「あなたが風邪を引いたのも必然、その風邪が隣の同僚に感染したのも必然、その同僚が一週間会社を休んだのも必然、そのために自分が毎日深夜まで残業させられたのも必然、そのために自分が重い病気になったのも必然、その病気によって人生の思索をさせられたのも必然、そのお陰で真理に目覚めたのも必然です。」

私の人生を振り返ってみても、すべて必然によって運ばれてきたことが分かります。

二例・・・

「北海道の片田舎に日本男子として生まれたのも必然、その片田舎で子供時代天真爛漫に過ごしたのも必

然、隣町の高校に入学したのも必然、その町の役所に就職したのも必然、その職場で有給休暇が沢山取れたのも必然、その沢山の休暇を利用し大阪に遊びに行ったのも必然、そのお陰で大阪の人と結婚したのも必然、また大阪に引越したのも必然、そこで人生の荒波にもまれたのも必然、それによって妻子を亡くしたのも必然、そんな苦悩の中から真理に目覚めたのも必然です。」

三例・・・

「昨晚、同僚と飲みに行ったのも必然、そのために妻に頼まれていた買い物をおぼれたのも必然、翌朝雪が降ったのも必然、忘れていた買い物をおぼれたのも必然、帰り道に犬を避けるために急ブレーキをかけスリップ事故を起こしたのも必然、そのために大怪我をして入院したのも必然、その入院中に人生をおぼれたのも必然、そのお陰で真理に目覚めたのも必然です。」

紹介した三つの例えは解りやすいですが、例えば、電話の話し中も必然、メールのやり取りで争いを起こしたのも必然、投資話に乗って人に騙されたのも必然、犬に吠えられ肝を冷やしたのも必然、石に躓いて転んだのも必然、電車でスリに財布をすられたのも必然・・・これらの必然は真理に関係ないように見えますが、

突き詰めてゆけば間違はなく自分を成長させるために起きた必然なのです。

この宇宙に偶然と言うのは、一つもないのです。「神は完全である」と私が断言するのは、どんな出来ごとでもすべて魂を成長させるために起きた必然だからです。だから私は、必然の完璧さに頭を垂れるのです。どんな苦しい出来ごとでも、悲しい出来ごとでも、すべて自分を成長させるために起きた必然なのです。それは、全部自分がしているのです。すなわち、自分で自分に苦しい人生を与え、その苦しきによって自分が目覚め、真理を探求して自分を成長させて行くという、自己完結型宇宙がそうしているのです。自分しかいない宇宙だから、自分を成長させるためには、自分が自分に課題を与え、その課題を自分が克服して自分が成長してゆく、自己完結型にならざるを得ないわけです。勿論、それも必然です。あなたの人生が、必然によって運ばれていることを知り、それがみな自分の成長に結びついていると解ったら、どんな課題に出会っても不安を抱くことはないでしょう。なぜなら、その課題が克服出来るか出来ないか知っている自分が、自分に与えた課題だからです。「不動心になった人」とは、この理解のいった人のことなのです。二〇一六年六月一日

真実と現実を見分ける目を持つとう！

見える、聞こえる、触れる、味わえる、臭える、すなわち五感にかかるものはすべて幻です。なぜなら、五感そのものが幻だからです。幻の五感で幻を見聞きしても、それは幻に過ぎないのです。もし五感が永遠になくならないなら、私は五感にかかるものを真実だと認めましょう。でも五感は一時的に存在しているだけで、いつか必ず無くなってしまいますのです。無くなってしまふものが、真実であろうはずがありません。

真実とは何でしょうか？ 現実とは何でしょうか？ 真実とは永遠に無くなるもの、現実とは必ず無くなってしまふモノです。何千億年・何兆億年存在しようと、無くなるモノは真実ではないのです。宇宙は無限時間の中にあるのです。無限時間の中の一兆億年など、一瞬なのです。ましてや私たちの住んでいる地球は、どんなに長く存在しても何百億年程度です。その地球の中における人類の文明も、せいぜい数万年維持できれば良い方です。更に人の命は、どんなに維持できても百数十年程度です。その百数十年程度の命を守ろうとして、競い、闘い、奪い、戦争までしているのが人類なのです。それは、真実と現実の見分けができないからです。

この表現宇宙は幻です。地球も幻です。幽界も幻です。夢も幻です。幻覚も幻です。詐欺師の言葉も幻です。柳を幽霊と見間違ったのも幻です。木の切り株を熊と見間違ったのも幻です。蜃気楼も幻です。カゲロ

ウも幻です。UFOも幻です。物質化現象も幻です。この世の現象は、すべて幻なのです。幻の世界で起きていることは、すべて幻なのです。私たちは生まれて死ぬまで、ずっと幻の中で生きています。いいえ、死んだ後も幻の中で生きています。そしてまた幻の中に生まれ、幻の中で生き、幻の世界に帰って行くのです。あなたは、こんな幻の輪廻をいつまで繰り返すつもりですか？

幻の中で味わう幸せは一時です。必ず色褪せ失ってしまいます。あなたは、そんな一時の幸せで満足できますか？ 永遠の私たちは、永遠の幸せでなくては満足できないのです。その幸せは、真実を知れば得られるのです。どうか真実を知ってください。そうすれば、幻の輪廻から抜け出し、永遠に尽きない、永遠に色褪せない、幸せの中に入ることができるのですから・・・。

私たちは、永遠に無くならない「神・生命」なのです。すなわち、永遠に無くならない「意識」なのです。その意識は、永遠に尽きない、永遠に色褪せない、幸せを欲しているのです。どうか、真実と現実を見分ける目を持ってください。

二〇一六年七月一日

寂しい人に

私たちが寂しいと思うのは、分離観念を持っているからです。自分と他のモノとの間に溝を作り、一人になっているから寂しいと感じるのです。でも、どんなに一人だと思っても、私たちは一つのモノと一緒にいるのです。一つは、私たちを含めた沢山のモノの集まりなのです。つまり、一つは無限のモノの集まりなのです。一つは無限なのです。無限は一つなのです。

一つのモノしか無いとは、自分を含めた沢山のモノと一緒にという意味です。なぜなら、すべてのモノは無限の現れだからです。すなわち、自分の現れだからです。だから本当は、寂しいわけではないのです。どうか、すべてのモノは自分だと思ってください。そう思えば、寂しくありません。事実あなたは今、一つのモノと一緒にいるのですから・・・。永遠の昔より一つのモノと一緒にだったし、今も一つのモノと一緒にだし、未来も一つのモノと一緒にいるのです。あなたは、一つのモノから離れたことがないので。その一つのモノは、あなた自身です。すなわち、あなたの意識です。言い換えれば、神です。生命です。一つのモノは、あなたの分身なのです。どうか、あなたの着ているモノに話しかけてってください。あなたの乗っている車に話しかけてやってください。あなたの周りにあるモノに話しかけてやってください。きっと、喜んでくれるでしょう。

一人で晩酌をしたくなるのも、寂しさを紛らわすためです。赤暖簾を潜りたくなるのも、夜の街を徘徊したくなるのも、寂しさを紛らわせるためです。でも、そんなことをしても、寂しさは無くなりません。それよりも、すべてのモノは自分の分身だという思いを強くすることです。

一つは無限なのです。無限の中に二つは無いのです。もし、ここからここまでが私で、ここからここまでがあなたで、と二つに分けてしまえば、それは有限になるのです。それでは、宇宙は有限になってしまいません。そんな宇宙はあり得ないのですから、一つはあくまでも無限なのです。ということは、今存在しているあなたは、その一つのモノであり無限ではありませんか。沢山のモノがあるように見えますが、それはすべて同じ一つのモノであり無限なのです。だから、寂しいわけがないのです。

もし寂しくなったら、

・私はすべてのモノである！

・すべてのモノは私である！

と思ってください。

この宇宙に一樣の神しかおられません。だから、神様は寂しいだろうと思うかもしれませんが、一樣の神は無限ですから、寂しいことはないのです。あなたも、一であり無限の存在ですから、寂しいはずはないの

です。二〇一六年七月一五日

私たちは何を信じて生きていきたいのか？

私たちは一体、何を信じて生きていきたいのでしょうか？ お金？ 物？ 財産？ 地位？ 名誉？ それとも、天皇？ 総理大臣？ 科学者？ 宗教家？ 学校の先生？ 会社の社長？ お父さん？ お母さん？ 兄弟姉妹？ 友達？……。いいえ、私たちが信じるべきものは想念です。なぜなら、実在するのは想念のみだからです。この宇宙確かなことは、想念のみが実在するという真理です。私たちは、その想念を持っているのです。私たちは、今日までその想念を使って、何から何まで実現させてきたのです。事実、想念を使って友達を得、想念を使って伴侶を得、想念を使って学校に入り、想念を使って会社に入り、想念を使って収入を得、想念を使って自動車や家を得、また想念を使って病気になる、想念を使って事故に遭い、想念を使って災害に遭うなど、人生の全てを想念によって作り上げてきたではありませんか。

今人類が、政治・経済・宗教・テロ・戦争、環境問題などの苦しみに喘いでいるのも、正にその想念を悪用していることなのです。それは、想念の働き、想念の性質、想念の力量などを知らないからです。人類は、

自分たちの想念で、自分たちを追い詰めていることに気付いていないのです。それは、想念の力を信じていないからです。

一般人に言っても分かって貰えないでしょうから、せめて学んでいる皆さんだけでも想念の偉大さを信じてください。どうか、想念を良いことに使いましょう。きっと、実りある人生を送れることでしょう。二〇一六年八月一日

私は神である！

「あなた」は、神なのです！ 意識なのです！ あなたの意識が、今あなたを感じていること自体が、神である証だからです。これは、天地がひっくり返っても間違いないことなのです。さあ、「私は神である！」と宣言しましょう。

ここで「あなたは、」という言葉を使ったのは、「あなたを」、人間として見たからです。でも本当のあなたは、神ですから、「私は」という言葉に置き換えなくてはならないのです。

この宇宙に「二人称」など無いのです。つまり、「あなた！」なんて無いのです。この宇宙には、「二人

称」だけが有るのです。つまり、「私」だけが、「神」だけが、有るのです。二〇一六年八月一日

付記…私が神である根拠は、

下の数式が証明しているのです。(1を私に置き換えてください)

この宇宙に存在しているのは神のみです。神しか存在しないなら、神は1であるということですから。これは絶対崩せない真理です。

今、私は存在します。これは紛れもない事実です。ということとは、私は1であるということになります。その1は神ですから、私は神であることにならうでしょう。

今**1(私)**がある限り、**1(私)**は永遠にあり続ける

無限とは、「限」りが「無い」という意味です。では、限りの無いモノは、宇宙に幾つあるでしょう？

$$\text{無限時間} \times \frac{1(\text{今})}{\text{無限時間}} = 1(\text{今})$$

それは、1つしか無いはずですが。もし無限が2つも3つもあるなら、それは無限でなくなってしまうからです。良く考えてみてください。ここからここまでがあなただ、ここからここまでが私だと分けられる宇宙は有限になりませんか？ 分けられない宇宙だから無限なのです。それも、永遠に無くならない1つの無限宇宙です。なぜなら、宇宙は無限時間の中に存在するからです。

つまり

この1は、永遠に無くならない1なのです。下の数式が成り立つのは、今現に1があるからです。今1がある限り、その1は永遠に存在するのです。このことを次の視点から考えてみましょう。

今1があるのは、前(過去)に1があったからです。なぜなら、今1を作った原因が過去になくして、今の結果の1はあり得ないからです。ではその前の1は、何が生み出したのでしょうか？ その前に1があったからではありませんか。そして、その前に1があったのも、その前に1があったからです。つまり、永遠の昔より1があったから、今の1があるということです。ということは、今1があるということは、今後も永遠に1はあり続けるということです。

$$\text{無限時間} \times \frac{1(\text{今})}{\text{無限時間}} = 1(\text{今})$$

これを、私に置き換えてみましょう。

今私が存在しているのは、過去に私が存在していたからです。では、その前の私は、何が生み出したのでしょうか？ その前の私が生み出したものではありませんか？ そして、その前の私も、その前の私が生み出したはずです。つまり、永遠の昔より私が存在していたから今の私が存在し、今後も永遠に存在し続けるということなのです。このように断言できるのは、原因と結果は絶対切り離せないからです。つまり、過去・現在・未来は切り離せないからです。だから私は、今人間がいるということは、永遠の昔より人間がいたし、永遠の未来にも人間がいると断言するのです。それは、1しかないからです。1しか無いから、原因と結果は1つであり切り離せないのです。1の中には分離はないのです。

これは、1しか無いなら今しか無いという根拠にもなるのです。1の中には、過去・現在・未来は1つとしてあるのです。それは、過去もその1であり、今もその1であり、未来もその1だからです。今がある限り、過去と未来はアナログ的につながっているわけですから、同じ延長線上の1になるのです。

今があるのは、過去があったからです。過去があれば、必ず今があるのです。今があれば、必ず未来もあるのです。つまり、今という結果があるのは、過去に原因があったからです。その過去の原因は、必ず未来の結果を生むのです。その未来の結果は、さらに未来の原因となりさらに未来の結果を生むのです。これを

因果の法則における三位一体といい、この宇宙に貫かれている崩しようのない真理です。しかもこの三位一体は、永遠に途切れることはないのです。なぜなら、宇宙は無限であり永遠だからです。

復習しましょう。

今がある限り、今は永遠にあり続ける

今1がある限り、1は永遠にあり続ける

今私がある限り、私は永遠にあり続ける

今があるのは、過去に今があったからです。

今1があるのは、過去に1があったからです。

今私があるのは、過去に私があったからです。

ということは、未来にも今があり、1があり、私があるということです。

この宇宙が無限であり永遠なのは、今のみがあるからです。
この宇宙が無限であり永遠なのは、1のみがあるからです。
この宇宙が無限であり永遠なのは、私のみがあるからです。

私たちが知るべきことは、1しか無いということです。1しか無いということは、私しか無いということであり、その私は永遠にあり続けるということです。なぜなら、今私は現に存在しているからです。今私が現に存在している限り、私は、過去・現在・未来に亘って存在し続けるということです。ならば私は、何でしょう？ 宇宙であり神ではありませんか？ 二〇一六年九月一日

私を知ることが永遠にできない！ パート1

一体私は何なの？ 誰なの？ どこから来たの？ どこへ行くの？ 私は、私を知りたい……。私が何者なのかを知りたい……。

でも、どんなに探しても私を知ることができない？ なぜ知ることができないのだろうか？ それは、私

がいつ誕生したか分からないからです。私は生まれた覚えがないのです。だから死んだ覚えもないのです。気がついたら、私はいたのです。だから私は、誕生日を知らないのです。

私は永遠の昔からいたのです。そして永遠の未来にもいるのです。私に生死が無いから、生い立ちが分からないのです。生い立ちが分からないから、素性も分からないのです。生い立ちも素性も分からない私を、どうして知ることができるとでしょうか？

では私は、私を永久に知ることができないのでしょうか？ そうです。私は私を永久に知ることができないのです。でも、それで良いのです。なぜなら、私を知ったその途端、私は無くなってしまふからです。知ったということは、そこまでという意味です。終わったということです。終わりは、終結・完結・有限を意味します。有限という意味は、個であるという意味です。個は必ず無くなるのです。私は、そんな無くなる存在になりたくありません。だから私は、私を知らなくて良いのです。知らなければ、無限の存在でいられるからです。無限の存在者であれば、無限の幸せが体験できるのですから……。

ここで言っている私とは、肉体の私ではありません。魂の私です。生命の私です。神の私です。誤解なきように……。二〇一六年九月一五日

時間とは？

時間の「時」とは、意識のこと、エネルギーのことです。また意識は神しか持っていないから、「時」は神でもあるのです。すなわち、絶対宇宙そのものが「時」なのです。一方、時間の「間」とは、空間のこと、物質のことです。物質は表現宇宙のことですから、私たちが住んでいるこの相対宇宙が「間」なのです。

さて、この「時」と「間」は、切り離しては存在できません。2つが1つに合わさって、はじめて「時間」は存在できるのです。だから時間は、表現宇宙だけにある特殊なモノなのです。私たちは肉体(間)を持ち、意識(時)を持っていますので、私たちは「時間」そのものであるということです。ゆえに私たちは、「小宇宙」と呼ばれるのです。この時間の中にいる限り、私たちは何をしなくても熟成することができるのです。よく「何事も時間が解決する」と言われますが、時間は何でも熟成させる力を持っています。私たちが、この表現宇宙に肉体を持って出てくるのは、時間の中で魂を熟成(進化成長)させることができるからです。

時間は読むことができません。読んだ瞬間過ぎ去ってしまうからです。空間がある限り、今・今・今……の時を刻々と生み出しています。時は尽きることがないのです。だから時は無限なのです。無限ということ、時は永遠に続くということです。

下の式を見てください。

この数式は、「今」しかないことを示す基本中の宇宙真理です。「今」しかないということ、1しか無いということです。なぜなら、無限が2つに分けられるなら、有限になってしまいうからです。無限は分けられないのです。分けられないから、1なのです。

今、私たちは、「今」という時を感じています。この「今」がある事実は、誰も覆すことはできないでしょう。でも、この「時」は、見えないし触れないから感じることも掴むこともできません。辛うじて「時」を感じられるのは、「時」をなぞれる意識だけです。意識がなくては「時」もないのです。私が「時」は意識であるというのは、意識だけが「時」を感じる(なぞる)ことができるからです。言い換えれば、時は意識がなぞることによって生まれてくると言ってもいいでしょう。そして人間が「時間」であると言うのも、「時」が意識であり「間」が肉体であるからです。だから「時間」を持つ人間だけが、瞑想できるのです。人間そのものが時間そのものだから、瞑想が有効なのです。

瞑想が有効なのは、意識(想念)は創造の力であり、その意識によって時をなぞることができからなのです。時はアナログなのです。デジタルでは時を捕まえることはできないのです。

$$\text{無限時間} \times \frac{1(\text{今})}{\text{無限時間}} = 1(\text{今})$$

なぜなら、「今」と思った瞬間、もう過去になっているからです。過去と今と未来をなぞれる意識のみが、アナログの時を捕まえることができます。物語が生まれるのは、アナログの時の中で意識がなぞれるからです。ということは、意識は、過去・現在・未来の橋渡し役をしていることになるでしょう。つまり今という「時」は、「間」がある限り、永遠にあり続けるということです。時間とはそういう性質のものなのです。二〇一六年一〇月一日

付記：命の時間は平等です。セミの命は短いと思いますが、それは外側(形)を見ているからです。命の時間は、みな平等なのです。なぜなら、その生き物の時間の濃さは、どんな命の中でも同じだからです。人間が感じている時間単位は、人間の意識が作り出した時間単位で、すべての生き物に共通した時間単位ではないのです。意識は、一瞬の時の中で無限の体験が出来るのです。だから、時の短さや長さは、命にとって関係がないのです。

セミがひと夏の短い命の中で体験する時の濃さは、人間が100年かけて体験する時の濃さと同じなのです。その命が体験している中身は、時の短さや長さで測れるものではないからです。だから、カゲロウの数日の短い一生も、セミのひと夏の短い一生も、人間の100年の一生も、命にとっては同じなのです。カゲロウも

セミも短い時の中で人間と同じ濃さの体験をしているのです。カゲロウやセミだけではありません。一瞬に消え去る素粒子も、短い時の中で人間と同じ濃さの体験をしているのです。つまり、すべての生き物たちは、平等な時の濃さを体験し、魂を熟成させているということです。

勿論、熟した魂は高度な内容の体験をするし、未熟な魂は低度な内容の体験をします。でも、その命によって時の濃度(量)はみな同じなのです。

一つしか無い！

この「一つしか無い！」という意味が心の底で解ったら、すべての謎が解き明かされるのです。つまり、この宇宙の仕組み、神の仕組み、本当の私(自分)の正体が解るのです。

一つとは、「他は無い！」「多は無い！」「それしか無い！」「又・亦・復複・は無い！」「分けられ無い！」すなわち、「絶対」であると言う意味です。

そこから導き出される答えは、「今 私たちが見ているすべてのモノは、その一つのモノである」と言う答えになるでしょう。一つのモノしか無いなら、どんなに形が違っていてもその一つのモノであるはずです。

と言うことは、私はその一つのモノであると言うことになります。なぜなら、今私は現に存在しているからです。と言うことは、私の目に見えているものすべてが、私であると言うことになります。何せ、一つのモノしか無いのですから・・・。

この宇宙には、様々な名前の付いているモノがありますが、一つのモノしか無いなら、名前が違っていても一つのモノであるはずで、と言うことは、「神」も一つの名前で表されて良いでしょう。そうです。神は「一」なのです。「二」は神なのです。神は「一」の別名です。神は「一」で表されるのです。

だから、すべてのモノは神なのです。ならば、人間も神ではありませんか？　だから、「私もあなたも神なのは」当然なのです。人類同士争ってならないのは、みな同じ神だからです。だから「神の名」で争わないでください。「神の取り合い」をしないでください。何もかもが神なのですから・・・。どうか神の名に惑わされなくてください。すべては神なのですから・・・。

この宇宙は、一つの宇宙なのです。一つの宇宙の中に、たった一つの宇宙が有るのです。一つの中に全てが有ると言う意味です。

・ 真実も、幻も、一つです。

・ 小さいモノも、大きいモノも、一つです。

- ・重いモノも、軽いモノも、一つです。
- ・上下左右も、一つです。
- ・右巻きも、左巻きも、一つです。
- ・あちらも、こちらも、そちらも、どちらも、一つです。
- ・見える物も、見えないモノも、一つです。
- ・白も、黒も、赤も、青も、一つです。
- ・甘いモノも、辛いモノも、一つです。
- ・悪い臭も、良い臭いも、一つです。
- ・悪い感触も、良い感触も、一つです。
- ・善も、悪も、一つです。
- ・美も、醜も、一つです。
- ・過去、現在、未来も、一つです。

すべては一つだから、何一つ違うものは無いのです。

このことが心の底で解つたら、死も、生も、一つであることが解るので、あなたは心穏やかに生きられる

でしょう。それは、この宇宙に「一つの意識しか無い」からです。

二〇一六年一〇月一五日

付記：繰り返しすることほど大切なことはありません。これだけは、学びの友に言っておきたいと思います。真理の学びは、一度や二度で定着するものではないのです。何度も何度も繰り返しすることによって定着して行くのです。ですから、何度も何度も読むことです。何度も何度も聴くことです。何度も何度も探ることです。何度も何度も想うことです。

真剣度に比例して得られる真理

真理というものは、求める人の真剣度によって得られるモノが違うのです。あなたは、どれほど真剣に真理を求めていますか？

経済的に豊かになりたいから？・・・病気を治したいから？・・・家族の幸せを願って？・・・そんなご利益主義で真理を求めても、得られるモノは少ないのです。ましてや、真理を駆け込み寺として使ったり、

あるいは慰め道具として使ったりしては、自分を変えることなどできないのです。趣味としてやるならそれで良いかもしれませんが。でも、本当に自分を変えたいなら、真剣にやっつけて欲しいものです。神は親身になって、私たちを幸せの世界へ導こうとしているのですから、私たちも真剣に求めなくてはならないのです。

よく、「邪魔が入って真理が求められない！」という人がおりますが、真剣に真理を求めている者の前に、どうして神は障害物を置くのでしょうか？ 気紛れな求め方をしているから、神(真我の自分)は障害物を置くのです。真剣に神を求めれば、必ず環境が変わります。変わらないのは、真剣度が足りないからです。「自分は本当に真剣に真理を求めているのか？」一度自分に問いかけてみてください。と言っても、苦しい求め方ではなりません。神は苦しんでまで真理を求めなさいとは言っていないのです。今の環境の中で一杯の求め方をしたら良いのです。魂の熟成度がみな違うのですから、求め方も違って良いのです。ただその中であって、どれ程の真剣さが込められているか？ それを問うているのです。人生の目的を見据えられた人なら、自ずと真剣度が違ってくると思います。

理解力はそう簡単に増すものではありません。真理を求め続け、原子核が大きくなれば、自然と理解力が増します。そうすれば、私の言っていることの意味が解るようになります。どうか、焦らないでください。

一步一步前進してください。二〇一六年一月一日

付記・神が望んでいること・・・それは、今やらなければならないことを、真心を込めてやることです。そして、余った時間を有効に使って瞑想することです。神は、それ以上のことを望んでいません。この「真心を込めてやってあげなさい！」と言う意味は、「一生懸命やりなさい！」という意味なのです。一生懸命やっていると、不純な思いは一切入っていません。この純粋な思いでやってあげることが、「真心を込めてやる！」の意味なのです。社会においても、家庭においても、一生懸命やることです。これは、瞑想にも当てはまることなのです。つまり、神を想う中に不純なものが一切入っていない状態が、真心を込めて瞑想している状態なのです。「経済的に豊かになりたい！ 病気を治したい！ 家族を幸せにしたい！ 自覚の境界線を超えたい！」そんな不純な思いでやっているのは、真心が籠もらないのです。なぜなら、不純な思いそのものが雑念だからです。雑念は波動が低いのです。そんな低い雑念で瞑想しているのは、思いが神に届かないのです。一生懸命やっている状態は、光が支配している状態なのです。一生懸命やっている人の姿を見ると感動するのは、光を見せられるからです。一生懸命やっているときの瞑想は、光が支配している素晴らしい瞑想になっています。何か欲しいから瞑想するわけではありません。瞑想したくて、瞑想をするのです。

何事も続けなければ成就しません。何も変化が現れなくても続けることです。一生かけてやり続けること

です。短期間で結果を求めてはなりません。欲望的雑念は大敵です。雑念を無くすには、連続的祈り(重ねる瞑想)が効果的です。どうか純粹な気持で瞑想してください。

※真理を学び疑心暗鬼になっている人は、サタンにやられていることに気付いてください。

自己完結型宇宙パート1

自己完結型宇宙とは、この宇宙に「1しか存在しない!」「私しかない!」という数式から導き出される理論です。

私は、下の数式の深みを知って欲しいのです。

今1があり私がいるということは、紛れもない事実ですね。ということは、過去にも1があったし、私もいたということです。過去に1が、私が、いなければ、原因を作らないわけですから、今1があることもないし、今私がいることもないからです。ということは、未来にも1があるし私もいるということです。今の1が、今の私が、未来の原因を作っているからです。無限時間の中に1があり私がいるということは、永遠の過去にも永遠の未来にも1があるし、私もいるという証なのです。

$$\text{無限時間} \times \frac{1(\text{私})}{\text{無限時間}} = 1(\text{私})$$

この数式は、それを示しているのです。このことが心の底で理解できたら、なぜ自己完結型宇宙の理論が成り立つのかも解ってもらえると思います。自分しかいないなら、自分で自分を成長させるしかないのは当然でしょう。つまり、自分が成長するために必要な、人・物・環境は、自分で用意するしかないということです。そうならざるを得ないのは、もともと主観宇宙(唯我独存)の主だからです。

自分の周りに存在する、人・物・環境は、みな自分が連れてきたのです。その人は、みな自分のために演技してくれている役者さん達です。彼らは、時には嫌なことを言い、時には嫌なことをしますが、それは自分が頼んで演技してもらっているのです。だから、決して役者さん達を罵ったり怒ったりしてはならないのです。また、その役者さん達の成長を望む必要もなければ、責任を感じたりする必要もないのです。なぜなら、役者さん達も同じ自己完結型宇宙を持っているからです。つまり、役者さん達から見たら、私は役者さん達の宇宙に連れてこられた演技者なのです。彼らは、私を通して成長するのです。このように自己完結型宇宙は、自分も、相手も、それぞれの宇宙の中で成長させる仕組みなのです。二〇一六年十一月一日

形の無いのが幸せ

形の有る状態は終わりの有ることを意味し、無い状態は終わりの無いことを意味します。形の有るモノは消えるのです。形の無いモノは消えないのです。誕生したモノは必ず消えるのです。誕生しないモノは絶対消えないのです。初めが有るということは、終わりが有ることを意味しますから、それは生と死のある限定された状態です。限定は有限なのです。無限定は無限なのです。つまり形が有ったら、その形が限定してしまうから、それは有限になってしまうのです。形が無いのは何の限定もないから、それは無限になるのです。有限は必ず消えますから、無い状態なのです。無限は消えませんから、有りの状態なのです。だから形の無いのが何でも有りの状態であり、形が有るのは何も無い状態だと言うわけです。

形の世界が苦界だと言われるのは、限定された不自由な世界だからです。形のない世界が天国だと言われるのは、限定されない自由な世界だからです。限定(有限)は苦しいのです。無限定(無限)は楽しいのです。私たちは形の有るモノが幸せをくれると思っていますが、形の有るモノからは幸せは絶対貰えないのです。なぜなら、前述したように、形の有るモノは必ず消えて無くなってしまふからです。幸せは、永遠に無くならない意識が、永遠に無くならないモノの中で体験する味わいです。だから「形の無いのが幸せ！」という

わけです。

すでに創られた世界は限定された世界ですから、何も生み出せない絶望の世界です。何も創られていない世界は無限定の世界ですから、何でも生み出せる希望の世界です。だから、形の有る世界は不幸せな世界で、形の無い世界は幸せの世界だと言うのです。つまり、形が有るということは無いということですから不幸せで、形が無いということは有るということです。だから私は、形の世界(物質界・幽界)を嫌い、形の無い意識(神・生命)の世界を好むのです。次のような例えで考えれば、なお解ってもらえるでしょう。

画家の思いの中に絵の構想があるとします。その思いの中の絵の構想は、無限の可能性と発展性のある生きた状態です。でも描かれてしまえば、可能性も発展性もゼロになってしまいます。そこには、一時の幸せはあっても、永遠の幸せ感はありません。つまり、描かれる前の絵の構想は、無限の可能性と発展性を秘めた楽しい状態ですが、描かれた後の絵は、可能性も発展性もゼロになってしまう虚しい状態というわけです。

真の幸せは、形の無いモノの中から生まれくることを知ってください。

二〇一六年二月一日

第3章 アドバイス集

第1集(二〇一一年)

真理は全人類のもの

真理は誰のものでもありません。全人類のもので、人類一人ひとりの中に真理が組み込まれているからです。というより、私たちそのものが真理だからです。真理とは、永遠不滅不変不動の絶対実在です。私たちの意識は、正に永遠不滅不変不動の絶対実在です。私たちの意識は、永遠の昔からあったし、今もあるし、未来永劫あるのです。でも人類はそのことを知らず、肉体が自分だと錯覚しているのです。だから、生・老・病・死に苦しめられているのです。さあ、本当の自分を知ってください。真理を求めてください。それが、

私たちの唯一の人生目的なのですから……。二〇一一・一・一六

神と思えない自分？

あなたは、自分が神であるということは知識的には知りました。でも本当に自分が神だとは思えない、いや思えられない、そんな自分がいるではありませんか？ でも、自分が神であることを、知識的に知っただけでも凄いですよ！ あなたは、生き神様と心ゆくまでお話したいと願っているようですが、あなたはいつも神とお話していたのですよ！ それどころか、今日まで神と共に苦楽を共にしてきたのですよ！ なぜなら、あなた自身が神であり、あなたの周りの人達も神だからです。ただ神の自覚が無いだけです。私がおなたを神と呼ぶのは、肉体のあなたの事を言っているのではありません。あなたの中で生きている「生命」のこと、「意識」のことを神と言っているのです。あなたが、今自分と思っている意識そのものが神だからです。でも今のあなたは、自分のことを人間だと思い違いしていますね、だから「生・老・病・死」に苦しめられ、心穏やかに生きられないのです。と言っても、神の自覚を得るのは容易なことではありません。なぜなら、私たちは気の遠くなる年月、人間として生きてきたからです。人間と思えば、人間以上の生き方が

できないのです。神と思えば、神以下の生き方ができないのです。私たちが何度も肉を持って生まれくるのは、自分を神だと心の底から思えるようになるためです。

もしあなたが、神と思えるようになりたいなら、瞑想してください。神の自覚を得るには、瞑想以外ありません。瞑想について詳しく知りたいなら、「人類の夜明2・・・自分を変える瞑想」を読んでください。

二〇一一・一・二三

想いの無駄遣いをしてはならない！

昨日話したことで誤解してもらいたくないのは、今の仕事を止めたり生活を変えたりしなさい！ と言っているわけではありません。ポディーを持っている限り仕事は必要ですし、周りの人たちとの付き合いも必要です。第一生活の基盤が無くては、真理の追究どころではありません。私は、できるだけ「想いの無駄使い」をしないで欲しいと言っているのです。

殆どの人は、一日二十四時間この世の事を思っています。この世は幻の世界ですから、この世の事を思っている人は、みな幻に生きていくことになるのです。これでは想いの無駄遣いになってしまうのです。私が

願うのは、時間の許す限り「生命を・神を・霊を」想って生きて欲しいと言うことです。これなら、想いを正しく使っていることになります。

瞑想を難しく考えないでください。「想うこと、意識することが」、瞑想なのです。思うことは、歩いていても、電車に乗っていても、風呂に入っているでもできますから、やる気になればいくらでもできるはずです。「生命を・神を・大霊を」想っている時は、実際に生きているのです。その実際に生きている時間を、今までより増やして欲しいのです。

「想念は実現の母」ですから、思ったことは必ず実現します。これは私の体験から言って間違いありません。多く思えば思うほど、充実した一日になります。その充実した一日が積み重なれば、充実した一生になります。その人は、この世に生まれてきた目的を果していることになります。どうか充実した人生にしてください。それは、思いを「生命に、神に・大霊に、」向けることでできるのです。二〇一一・二・一八

文字や言葉で伝えられない真理

失礼ですが、もしあなたが知識欲を満足させたいだけなら、私があなたに与えるものは何もありません。

なぜなら、不純な動機（欲望）は真理を閉ざしてしまうからです。でも自分を変えたいと思うなら、お手伝いすることは沢山あると思います。ただしそのためには、真剣に真理を求めてください。まずは、私の本をすべて読んでください。すべて読み終え、それでも真理を追究したい思いが変わらないなら、困難な真理の旅も続けられるでしょう。ただし「真理」は、言葉や文字から得ることはできません。もし言葉や文字で得ようとするなら、大変な誤解を招くでしょう。言葉や文字で得られないから、未だに地球に理想世界がやってこないのです。

もしあなたが、心の底で真理が理解できたら、今のあなたの人生観・世界観・宇宙観は、根本から変わってしまうでしょう。それどころか、あなたの肉体そのものを変わってしまうでしょう。これまで多くの覚者達が、真理を伝えようとしてきましたが、言葉や文字で伝えられないだけに、高い理解力を持った数少ない人にしか伝わらなかったのです。真理が理解できたら世の中が一変するということに、残念ながら今の地球ではそれができないのです。それほど、今の地球人類に真理を理解させることは難しいのです。それは、真剣に真理を求める人がこの地球に少ないからです。あなたのように真剣に真理を求めている人は、今の地球では貴重なのです。それだけに私は、一生かけて真理を追求し続けて欲しいと願うのです。二〇一一・三・二

自分を信じる

本当のあなたは、あなたの気持をすべてご存知です。決して出来ないことを望んでおりません。ですから、今やれることを精いっぱいやれば良いと思います。真理を追求する人の少ない中で、あなたのように真剣に求める人がいるのは希望が持てます。私も今やれることを精いっぱいやりますので、あなたも精いっぱい真理を求め続けてください。

今私がやらねばならないのは、自分自身を成長させることです。自分が成長すれば、少なからず人に影響を与えることが出来ます。共に強い志を持って精いっぱいやりましょう。

魂の向上に、仕事や時間など、一切関係ありません。勿論、職業や、年齢や、性別や、人種などとも関係ありません。ましてや、儀式や形式や知識なども全く関係ありません。関係するのは、真理を追求する姿勢（熱意）だけです。どうか、真剣に真実を追求してください。その思いが強ければ強いほど、真実の扉は開かれるでしょう。そのためには、大いに疑問を持つことです。私のウェブサイトを讀まれ、どうか沢山疑問を持ってください。私のウェブサイトにつながったのは縁あってのことです。縁は、必然によって結ばれているのです。必然を信じてください。この宇宙が、必然によって運ばれていることを信じてください。そ

の縁が、進化の緒になっている必然さも信じてください。二〇一一・四・二

夫婦の調和の大切さ

「病で苦しんでいる人への小冊子」でも書いているように、十四歳以下の子供の病気の殆どは、親に対する警告です。これは、私の体験から言っても間違いありません。何がいけないのか？ 夫婦で反省してみてください。一般的には、次のような場合に病気になるやすいです。

- ・ 夫婦の調和を欠いている場合。（夫婦喧嘩など・・・）
- ・ 夫婦の生活が乱れている場合。
- ・ 子供のやりたいことを親が抑えている場合。
- ・ 無理な生活(要求・親の期待)をさせている場合。
- ・ 子供に愛情を注いでいない場合。
- ・ 子供を平等に愛していない場合。

以前、子供のしつけについて質問されましたが、どのように子供と向き合えば良いか、どのように子

供を育てたら良いかは、母親の立場にあるあなたが考えることです。なぜなら、その立場にない人がアドバイスすると、とんでもない方向へ導き兼ねないからです。ただ一つだけ言えることは、あなたが神に意識を向けている限り、必要なアドバイスはあなた自身から与えられます。あなたの思いとして・・・。

子供は親の背中を見て育つものです。親が正しく生きていけば、何も心配する事はありません。それに子供達には、それぞれ守護霊が付いているのですから任せておいたら良いのです。私がすべて答えを出すなら、あなたの学びの材料を奪っていることになるわけですから、あなたの成長の邪魔をすることになります。悩んで考えることも必要なのです。良く考え、自分に聴いて、自分の中から答えを見付けてください。二〇一
一・五・二〇

病は身から出た錆

病気は身から出た錆であることは確かです。なぜなら、宇宙の法則（原因と結果の法則）に間違いはないからです。宇宙が必然により運ばれていると言われるのは、この法則が完璧に行き届いているからです。もしこの宇宙に偶然があるなら、人は一秒たりとも安心して生きられないでしょう。幸い偶然はないので、人

は安心して生きられるのです。と同時に、自分の生き方に対しての責任も問われるのです。事故や病気で苦しんでいる人は、責任を背負って生きている人たちです。つまり、自分が犯した過ちに（原因に）対する結果を、苦しみという形で償っているのです。

でも悲観的にならないでください。苦しみがあればこそ、私たちは大きく成長できるのですから……。大病になった後、人が変わったと言われるのは、病気から大切なことを学んだからです。

病気で死ぬ人と病気から生還する人がおりますが、どちらも良いのです。長命が幸せか？ 短命が幸せか？ などはどうでも良いからです。重要なのは、その人生で何を学んだかだけです。

人の生き死には、生命だけが知っています。生命は完全ですから、どのような死に方をして、それは良いことなのです。一番大切なのは、人間とは何か？ 人は何のために生まれてくるのか？ など、人生の意味を知ることです。地球人類は、それを今苦しみを通して学んでいるのです。病や事故は、学びのための方便です。

肉体は朽ち果てますが、生命は永遠です。永遠の生命が私たちですから、どうか永遠の目で人生を見てください。二〇一一・六・一三

すべての物は生きてゐる

私のメッセージを読んでいることを念頭にお答えしたいと思います。すべてのものには生命が宿っております。ということは、空気も生きております。水も生きております。石も生きております。お米も、魚も、鶏も生きております。もちろん、あなたが殺しているドバトも生きております。私たちは、日々生き物を殺して命を永らえているのです。もし殺してならないと言うなら、私たちは死なねばなりません。私たちはこの世で生きている限り、殺さないでは生きてゆけないのです。殺すことが悪いのではなく、どのような動機で殺しているかが重要なのです。よく遊びで魚釣りをしたり、遊びで狩猟をしたりしている人がおりますが、その人たちは大変な罪を犯していることになるのです。それは動機が不純だからです。

私たちを生かしている生命は、私たちの中にあるだけでなく、すべてのものの中にもいます。その生命がどのような意識状態で殺しているか、知らないわけではないのです。もしどうしても必要な殺しなら、彼らは喜んで私たちの犠牲になってくれます。それは自分だからです。

仕事で魚を殺したり牛や豚を殺したりしている人がおります。あなたもドバトを仕事で殺しています。仕事で殺さなければならぬのは、正しい動機なのです。勿論、殺さないで良いならそれに越したことはありません。

ませんが、今のあなたの立場でそれは無理なのでしょう。ならば、あまり心を痛めないことです。仕事としてはつきり割り切ることです。もしどうしても心が許さないなら、「ハトさんどうか私の生命の中に帰ってください」と祈ることです。

あなたは生命です。ドバトの中に宿っている生命も同じ生命です。一つの生命からさまざまな形が生まれただけです。どうかあまり心を痛めないでください。心を痛めることの方が罪です。なぜなら、神を、生命を、痛めることになるからです。二〇一一・六・二〇

数では無い質である

もう十数年前になりますが、ある講演会で主催者の方が、

「人を集めるために、知花先生の講演テープをラジオで流したいと思うのですがよろしいでしょうか？」と先生に訊ねたことがあります。そのとき先生はこう言われました。

「止めてください！ 私は数を求めているのではなく、質を求めているのですから」と・・・。こうも言われました。

「数にこだわらるなら、私はとくに物質化現象を起こして人集めています。でもそれでは、真剣に真理を学んでいる人たちの邪魔になるのです。」と・・・。

たしかに、現象に興味のある人たちが沢山集まってきたのは、真剣に学んでいる人たちの邪魔になってしまおうでしょう。先生は、それを避けたかったのだと思います。ですから先生は、「真剣に真理を求める人、一人が良いのです」と言っておられました。それほど真剣に真理を求めている人は少ない！と先生は言いたかったのだと思います。

私のウェブサイトに、「私の使命は、可能性のある人を発掘し、自覚の境界線を越えるお手伝いをすることです。」と書いてありますように、私は今そのような人を探しているのです。あなたがその一人になってください。二〇一一・七・一五

自覚が大切

何が大切かといえますと、生命を思い続けること、意識し続けること、そして生命そのものになり切ることです。真理を学んでいる人の中に、「私は自分が生命であることに気づいた！」と言う人がおりますが、

その気付いた状態が自覚した状態なのか？　ただ頭で知った状態なのか？　というところが重要なのです。自覚した状態になるのは、そう簡単にできるものではありません。自覚の意味そのものさえ、伝えることが難しいのですから・・・。

正しい自覚の状態を言葉や文字で伝えることはできません。でも、変性変容が起きる事で知ることが出来ます。もし、「生命そのものになり切れたら」、細胞が震えてきます。内的光が見えてきます。気持ちの良い状態になります。吸う空気がおいしくなります。その他にも、

- ・胸が熱くなります。
- ・言葉にエネルギーを込めて話せるようになります。
- ・人を癒せるようになります。
- ・病気になることはありません。
- ・あまり食べる必要が無くなります。
- ・あまり眠る必要が無くなります。

生命の自覚を持つことは、そう簡単にできるものではありませんが、私たちはもともと生命ですから、その能力は誰でも持っているのです。だから、希望をもって生命を求め続けることができるのです。求め続け

ている内に、自覚がどのようなものか解る時がきます。今は、生命を思い続けてください。急がないでください。焦らないでください。まずは真理を求め続ける続けることです。二〇一一・八・二

人生の目的を知ることの大切さ

多くの人が、人生に疑問を持ちながら生きております。「人は何のために生まれてくるのか？ 人生の目的は何なのか？ 今の生き方で良いのか？ 等々・・・」

あなたも今日までの人生において、様々な苦悩を背負い生きてきたと思いますが、その苦悩があったればこそ、真理の道に入って来られたのだと思います。私もそうでした。妻を亡くし子供を亡くし、深い悲しみを背負いながら、人生の意味を発見しようと懸命に生きてきたのです。幸いなことに、私は偉大な師に出会うことができ、その師の教えを実践することによって、本当の自分を発見することができました。この発見は頭で知ったのではなく、心の底で知ったホンモノです。ホンモノですから、疑いようがないのです。

今それを、メッセージとしてインターネットで発信しております。真理は言葉や文字で伝えられないことは知っておりますが、真実を発見する叩き台にはなると思っていますので、最後まで読んでください。無駄な人

生にするか？ それとも価値ある人生にするか？は、あなたが今後どう生きるかにかかっています。真理の追究の場は、自分の心の中です。ですからお金はかかりません。いかに真剣に、いかに根気よく、追及するかだけです。ぜひ、価値ある人生にしてください。

勿論、瞑想は必要ですが、瞑想は自分の心の中です。自分から、自分の取り組み方次第なのです。自分が神であり宇宙ですから、あくまでも自分が中心なのです。自分がなかったら、何も無いのです。真理を外に求めても得られないのは、自分が主体者だからです。自分の心の中に宇宙の秘め事のすべがあるのですから、自分の心を探れば良いのです。常に意識を自分の心に向け、自分と対峙してください。二〇一一・九・一〇

ホンモノを見分ける目を養おう！

真理を飯のタネにしている人にホンモノはおりません。知花先生が講演会費を取るようになったのは、実験設備費が必要になった二〇〇〇年以降のことです。それまでは、夜八時と朝六時の二回の講話をしていましたが、一円のお金も取っていませんでした。それを先生は、十数年間続けたのです。あなたは、真偽を見

分ける目が備わっていると恐れられますので騙されることはないと思いますが、あなたの理性が許さない話は信じないでください。たとえ、私が言ったことであってもです。ぜひ、しっかりと理性の目を見開いて、本者が偽者か識別してください。

世の中には、不思議な現象を見せて人を集めている宗教がありますが、現象で培われた信仰は、現象で崩されてしまいます。でも、自分の理解力で培われた信仰は絶対崩れません。外は幻です。内は真実です。内側に生命が、神が、おられるのです。その生命から、神から得た真理は間違いないのです。瞑想も同じです。内側(生命・神)に繋がった瞑想は危険がありませんが、外側(幽界)に繋がった瞑想は大変危険です。瞑想は大切ですが、一歩間違えば大変なことになってしまいますので十分気を付けてください。二〇一一・一〇・

二一

汝の見るもの受け継がん！

大霊の心境になれば、(自覚ができれば)、一瞬にして病など消えてしまうのですが、なかなかその心境になれないのが人間です。だから私たちは、瞑想して自覚できるよう努力しなければならないのです。でも

自覚できないまでも、病から生還する確実な方法があります。それは宇宙の法則を実践することです。

宇宙の約束事に、「汝の見るもの受け継がん！」という法則があります。これは、意識したものは何でも受け継ぐという意味です。つまり、良いものを見れば(意識すれば)良いものを受け継ぎ、悪いものを見れば(意識すれば)悪いものを受け継ぐという意味です。あなたは病気のこととは意識しなかったかもしれないが、病気と同じ波動を持つ悪い事を意識したために病気になったのです。勿論、病気は複雑な原因が絡んでなるものですから、一概に言い切れませんが、あなたの意識が作った病気であることだけは間違いないのです。では、どうすれば良いのか？ それは宇宙の法則を逆手に利用することです。要するに、良いものを意識し続けることです。良いものとは、神のこと、生命のこと、大霊のことです。「うれしい！ たのしい！ ありがとう！」という思いでも結構です。もし良いことを意識し続けることができたら、何の治療もしなくても病から生還できるでしょう。これは私が保証します。というより、これは白隠和尚が証明してくれているのです。彼は肺結核になりましたが、神に一心集中することで病から生還できたのです。つまり、良いものを見続けたことで生還できたのです。

もうひとつ、神は真剣に真理を求めている人を決して見捨てることはないと言っています。その証拠に、人生の思索をしている人が痴呆症になった例はありません。これはある精神学会の統計が証明しています。

どうして神が、真理を追究している人の頭を狂わすと思いませんか？　と言うことは、神は真剣に真理を追究している人を殺すことは絶対しないと言うことです。その意味では、あなたの真理を追究する真剣な姿勢が問われているのかもしれませんが。

たしかに、病気のことを意識してならないと言われても、なかなかそうはいかないかも知れません。意識してならないと言われれば言われるほど意識してしまうからです。意識しないためには、神に、生命に、大靈に、意識を向けるしかないのです。つまり、多く瞑想するしかないのです。

私は現代医療を否定しているわけではありません。必要なら受けて良いのです。ただ私は、宇宙法則の絶対性を知ってほしいだけです。病気など本当は無いのですから・・・。二〇一一・一二・八

真理はどんな薬より勝る

真理は言葉や文字で伝えられないため、今のような争い多い地球になっていくのです。この世に無い臭いや味を人に伝えられないように、真理も言葉や文字で人に伝えることはできないのです。ただ私の体験談を聞いて、目覚めのきっかけにしてもらいたいだけです。

人類の夜明2と3を最後まで読んでください。その中に、あなたの疑問を解くカギのすべてが書かれてあります。この二冊の本は、読めば読むほど生命核(原子核・魂)が大きくなるようプログラムしてあります。これは信じられないかもしれませんが、肉体を脱いだ時はつきりと分かります。ですから、何度も何度も読んでください。それも字ずらだけ読むのではなく、意味を理解して読んでください。真理を深めれば、様々な意識の変化が起きてきます。勿論、理解力の深さによって身体にも良い影響が現れてきます。これは、どんな薬より勝るのです。お金もかかりません。何処へ行く必要もありません。何の修行もありません。ただ、続けることが難しいと言えば難しいかもしれません。でも、あなたは何のために生まれてきたのですか？ この世の幻に溺れるために生まれてきたのですか？ 眞実を知りたいために生まれてきたのですか？ どのような生きても一生です。ならば、眞実に生きた方が賢いではありませんか？ なぜなら、この世のことに生きてもみな消えて無くなる幻だからです。眞理に生きたら、永遠に無くならない宝物を得ることになるのです。どうか眞実に生きてください。そうすれば、体調も良くなります。

神に意識を向けている人は、本当に生きているのです。この世の物に意識を向けている人は、生きているように死んでいるのです。意識は実在するものですから、神に、生命に、意識を向けている人は、眞実に生きていくことになるのです。でも多くの人は、肉体に意識を向けているのです。それでは、生きていても生

きていることにならないのです。

どうか、私の書いた真理を読み瞑想を続けてください。そうすれば、あなたの今生の計画は達成されるはず。何の変化が起きなくても、やり続けることが大切です。どうか根気よくやり続けてください。二〇
一一・一二・二六

第2集(二〇二二年)

真理は目覚めの特效薬

この宇宙は、苦しめば苦しむほど魂が成長するようにできております。だからイエス様は、「苦しむ者は幸いなり、その者は神の国を見るであろう！」と言われたのです。私たちは神の子です。神は私たちの親です。その親が子に苦しみを与えるのは、愛するがゆえです。それは目覚めさすためです。苦しみや悲しみは薬だと思ってください。私もその薬を飲んで目覚めたのです。今までの生き方が悪かったからと言って、

自分を卑下しないでください。自分をさげすまないでください。神に意識を向けるようになったあなたの人
生は、これからが本番なのですから・・・。さあ、真理に生きてください。

私が現代医療を否定しないのは、神を信じない人には唯物的な治療法が必要だからです。この世に病気の
治療法が沢山用意されているのは、病気になった人の意識の高さによって治療法を選択する自由を神が認め
ているからです。だから私は、決して医者にかかるなども、薬を飲むなども、手術をするなども、言いませ
ん。本人の意識の高さが選ぶのですから、それで良いのです。ただし、病気はエネルギー不足から起きてい
るのですから、エネルギーを高めてやれば病気は治るのです。白隠和尚が自力で病気を治すことができた
は、神に一心を集中しエネルギーを高めたからです。また一心集中することで、病気を忘れることができ
からです。このことから言っても、病気はエネルギー不足から起きていることは間違いないのです。エネ
ルギーを落としているのは、自分のネガティブな思いですから、自分に責任があるのです。真理を学び宇宙の
仕組みを心から信じられたら、ネガティブな思いは持てなくなりますから、それは根本治療になるのです。
私たちは、人間とすることによってエネルギーを落としているのです。心の底から、私は生命だ！ 大霊だ！
と思えたら(自覚できたら)、エネルギー人間になるのです。私とその生き証人です。

私も目覚める前までは、人間のクズでした。妻を自殺に追いやり、子供を病気にし、それでも遊びほけて

いました。それでも自分を変えようとしないうから、今度は自分自身が痛い目に合ってやっと目覚めたのです。人生をやり直そうと決意してからは、死ぬ覚悟で自分を変えようと努力しました。嫌なことに挑戦し始めたのは、その時からです。嫌なことに挑戦し始めると、周りの環境が変わってきました。経済的にも楽になってきました。子供たちも健康を取り戻しました。この時私は、「本当に神が存在するのだなあ」ということを心から知ったのです。つまり、原因と結果の法則の確かさを知ったのです。悪い生き方をすれば悪いことが与えられ、良い生き方をすれば良いことが与えられという因果の法則を、まざまざと体験されたのです。

たしかに、この世で生きることは大変です。嫌なこともあれば、嫌な人も沢山います。でも、それを承知の上であなたは生まれてきたのです。それもあなたのお母さんに、私の母になってくださいとお願いしてです。なのにお母さんを苦しめては、お母さんが可哀そうではありませんか？

なぜ私たちは、こんな苦しい世に生まれてくると思いますか？ それは魂を大きくするためです。魂は苦しめば苦しむほど大きくなるようになっていくのです。だから肉体は苦しんでいても、魂は喜んでいられるのです。魂は大きくなることを望んでいるのです。なにに逃げていては、魂の要望に応えられないではありませんか？ このまま逃げていては、私と同じように今度は自分自身が痛い目に合いますよ！ そ

うなる前に、生き方を変えましょう。さあ、勇気を持って嫌なことに挑戦してください。自分を変えてください。二〇二二・一・三

純粋な動機で求めること

今日までの人生において、どのような不調和な思いで生きてきたか反省することは、大変良いことです。でも、自分を虐めたり蔑んだりしてはいけません。今あなたに一番必要なのは、どれほど真剣に真理を求めるか？ その姿勢です。病気を治したいから真理を求めるのでは、動機が不純です。心の底から、真理を求めたい！ 本当の自分を知りたい！ といった純粋な動機で求めてください。

人生の目的は、本当の自分を知るためです。もし真剣に真理を求めるようになったら、病気は自然と消えてゆきます。清潔になったところにハエやゴキブリが必要なくなるように・・・人生の目的に目を向けるようになった人に、病気は必要なくなるからです。どうか、真剣に真理を求めてください。あなたの魂は、それを望んでいると思います。

私のウェブサイト「人類の夜明2・・・真実を探し求めている人へのメッセージ」と「人類の夜明3・・・真

実はひとつ」を何度も読んでください。そうすれば、膨大な生命核を増やすことができます。信じられないかもしれませんが、肉体を脱いだ時はつきり分かります。ただし、字ずらだけ読むのではなく、意味を噛み締めて読んでください。二〇一二・一・一七

自分が自分を変える

私はアドバイスするだけです。やるのはあなた自身です。あなたは、あなたの宇宙の主ですから、あなた次第なのです。私があなたを変えるわけにはゆかないのです。あなたがやらず、誰がやるのですか？ 真理は自力なのです。他力では何も変わらないのです。あなたがやるしかないので。本当に自分を変えたいなら、真剣に真理を学ぶことです。

私は四十歳の時に、自分を変えようと大決心しました。私はその時、本当に死ぬ覚悟で自分を変えようと思ったのです。どんな嫌な事にも挑戦しました。自分の良心に恥じないよう懸命に生きました。曇りひとつ無い生き方をしたのです。あなただっけとできます。強い勇気と、強い意志を持ってください。「今日只今から命がけでやる！」という大決心をしてください。あなたの守護霊がどんなに助けたくても、あな

だが弱気になって行動を起こさなくては助けられないのです。

アセンションなどありません。あれは夢幻の話です。本当のあなたは幻の世界に生きているのではないのですよ！ あなたの神我は、真実の世界で生きているのですよ！ あなたは肉体が自分だと思っから苦しむのです。あなたは永遠不滅の魂なのですよ！ その魂であるあなたは、どんなことが起ころうと傷つくこともなければ、死ぬこともないのです。一番恐ろしいのは、あなたの弱気な心です。ネガティブな心です。私がこうしてどんなにあなたに言っても、あなたが本気にならなくてはどうしようもないのです。

大決心して自分を変えてください。そのためには家から出て、嫌なことに挑戦することです。人に頼ってはいけません。外側のモノがあなたを変えることはできないのです。内側のあなたの心が、あなたを変えるのです。本当に有るのは、あなたの心だからです。二〇一二・二・一〇

もともと神である

神は完全です。ですから神の世界に、悩みや苦しみなどの不完全はありません。神は、常に明るく、朗らかで、さわやか、前向きです。私たちの思考は神のエネルギー(力)によって生まれています、その力を悪

用(悪い想念に使っている)しているのが人間なのです。想念は何でも具現する力を持っていますから、悪く使えば不幸となって我身に返ってくるのです。思考を生み出す力は神のエネルギーによっていますが、その思考をどのように使うかは私たちの自由意志に任せられているのです。例えば、悪く使えばサタン(自我)の思考になり、良く使えば神の思考になります。自我の思考となるか、真我の思考となるかは、使い方次第なのです。つまり、包丁を料理に使えば善となり、人殺しに使えば悪となるようなものです。いかに想念の使い方が大切か？ このことから分かかって頂けると思います。どうか想念を良く使ってください。良く使えば、あなたはそく神です。なぜなら、あなたはもともと神だからです。

あなたは神だから思考できるのですよ。思考できること自体が神である証しなのです。どうか、あなたの神性を汚さないでください。誤解しては困りますので言い添えますが、私たちの意識はもともと神意識から来たものですから、本来自我意識というのはいりません。自我意識というのは、未熟な魂の持ち主から生まれた迷いの意識です。多くの人が苦しんでいるのは、実際には自我意識を悪く使い、宇宙の法則を犯しているからです。熟した魂の持ち主は、宇宙の法則を犯すことがないけれど、未熟な魂の持ち主は、宇宙の法則を犯して自ら苦しい人生を送っているのです。いかに魂の熟成度が大切か、分かかって頂けると思います。どうか、原子核「意識核・生命核・魂」を増やしてください。そのためには、原子核を増やす三つの方法

を実践してください。そうすれば、間違ひなくあなたの魂は大きくなり、神に近い思考ができるようになります。幸せな人生を送るためにも、ぜひ原子核を増やしてください。二〇一二・三・一

私と考える意識そのものが神の意識である

「自分の意識が神だとなかなか思えない？」と誰でも言います。長いこと人間と生きてきた私たちには、仕方のないことかも知れませんが、でも私たちは、間違ひなく神なのです。今私は？と思っている、思えている、その意識そのものが神だからです。ただ、なかなかそう思えない、だから思えるようになるまで瞑想するしかないのです。「私は神である！」と思い続けてください。いつか必ず、心の底から「私は神である！」と思える日がやってきます。その時あなたは変わります。

瞑想とは、神を想う、単純作業です。どうか私の言うことを信じ、思い続けてください。たとえ今生想えるようになれなくても、決して無駄になることはないのですから・・・。

ネガティブな思考は、肉体を自分だと思い違いしているところから生まれた迷いの思考です。そんな迷いの思考は無視してください。と言っても、その思いさえも神の力を利用して作った思いですから、あなたが

神なのは間違いないのです。あなたが思い(意識)を持っていなかったら、そんな思いさえ浮かんでこないのですから……。だからあなたは神なのです。

人間だと思っている限り、これからも様々な迷いの思いが湧いてくるでしょう。それを無くすには、心の底から神だと思えるようにならなくてはなりません。だから、どうしても瞑想が必要になるのです。あなたが無意識に今人間だと思っているくらい、無意識に神だと思えるようになるまで神を想ってください。瞑想してください。二〇一・三・三〇

意識は無くなることはない！

誰もが死んだら意識がなくなると思っています。でも、肉体は無くなっても意識は決してなくなることはないのです。なぜなら、意識こそ実在するものだからです。肉体は単なる意識の乗り物に過ぎず、本当のあなたは意識そのものなのです。意識こそ、本当のあなたなのです。ですから、死んだら別な意識になるのではなく、今のあなたの意識状態でそのまま生き続けるのです。これは、私の霊的体験から言って間違いありません。

意識は、魂に属するもので脳に属するものではありません。なぜ眠ると意識が無くなるかといいますと、意識の持ち主である魂が肉体から離れて行くからです。眠っている時、肉体は意識の抜け殻になっているのです。では、肉体から離れた魂はどうなるかといいますと、ほとんどが幽界に行つて色々な体験をしております。でもその体験記憶は、通常肉体に持ち帰ることはできません。だから朝目覚めても、幽界での記憶がないのです。魂が肉体に戻つても、その記憶は魂にだけ刻まれ脳には刻まれないのです。このことから言つても、私たちの本性が魂であつて肉体でないことが分かるでしょう。肉体は単なる魂（意識）の表現媒体なのです。

脳の記憶は脳細胞に刻まれたものですから、時間と共に失われますし、肉体が無くなれば完全になくなつてしまいますが、魂は生き通すので魂の記憶は永遠に残るのです。本当の自分は永遠に生き通す魂です。意識です。

このように私たちの意識は、寝ていても、起きていても、肉体が無くなつても、決してなくなることはないのです。どうか、意識は永遠であることを知ってください。二〇一二・四・一六

眞実を探し求める人こそ偉人です

私のウェブサイトを「人類の夜明2・眞実を探し求めている人へのメッセージ」と「人類の夜明3・眞実はひとつ」に私の体験したことのすべてが書いてありますので、ぜひ読んでください。読み方としては、第一書と第二書を始めから終わりまで読み終えた時を一サイクルとし、年間三サイクル以上読み終えると、膨大な原子核(魂)が増えるようプログラムしてあります。ただし、心して、噛みしめて、読んでください。はじめは難しいと思いますが、何回か読んでいくうちに色々な気付きが生まれると思います。その気付きが魂を大きくするのです。

私たちは、「本当の自分を知るため」に生まれてきました。そのためには、どうしても魂を大きくし理解力を高めなくてはなりません。その方法として昔から瞑想があったわけですが、瞑想はなかなか難しく一般向きではありません。勿論、瞑想ができればそれに越したことはありませんが、まずは宇宙の仕組みを知ることから始めてください。そして、なぜ私たちは魂を大きくしなければいけないのか？なぜ本当の自分を知らなければいけないのか？その理由を納得して受け入れられる自分になってください。それから瞑想に取り組んでも遅くはありません。

これは人生の一大事業です。いや、魂の永遠の一大事業です。これまで何万転生も重ね苦勞してきたのは、この事業を完成させるためです。この世の物を集めている人に偉人はおりません。真実を求める人こそ、偉人なのです。どうか偉人になってください。それは何処に行く必要もなければ、お金もかからないのです。あなたのやる気一つで出来るのです。

私のウェブサイトを最後まで読み終える人は稀です。理解できず、途中で止めてしまう人がほとんどです。それほど真理の追究は難しいということです。どうか価値ある人生にするためにも、私のウェブサイトを読み続けてください。二〇一二・五・一五

焦ってはならない！

真理を聴いただけで神を信じられるようになる人など、この世に一人もおりません。何度も迷い、何度も苦しみ、何度も痛い目にあい、やっと神を信じられるようになるのです。でもそれでも、まだ付け焼き刃の信仰です。肉体の死を神に完全に委ねられる気持ちになって、はじめて本心から神が信じられたと言えるのです。そのような気持ちにもなってもいないのに、身を信仰に委ねるのは自殺行為です。だから私は、病院

も、医者も、薬も、手術も必要だと言うのです。中途半端な気持ちで、神に身を委ねないでください。あなたが薬や手術が必要だと思うなら、どうかその思いに従ってください。決して恥ずかしいことはありません。病院で治療を受け、どうしても治らない場合、それから神に身を委ねても遅くは無いのですから……。

心は安心を求めています。だからクスリを使ったり手術をしたりすれば、安心感が生まれ自己治癒力が活性化し治ってしまうのです。これをポリシボー効果といい、現代医療のほとんどはこの効果を利用していきます。(医者はこのことを解ってやっているわけでは無いが……)

人間として生きていく限り、肉体の痛みに心が負けてしまうのは仕方のないことなのです。どうか自分を責めないでください。

神の意図が何なのかは、今のあなたには解らないかも知れませんが、いつか解る時がきます。あなたの求道の旅は、それから始まって遅くはないのです。どうか、焦らないでください。二〇一二・六・一四

神の愛は完全である

まず私が最初に言いたいことは、神の愛は完全であるということです。神の愛が完全であるということは、

これまで歩んできたあなたの人生は無駄ではなかった、間違いでなかった、ということ。もし無駄な人生だったら、神は完全でなくなってしまう。

神は、あなたの苦しみも、悲しみも、みなご存じです。知りながら手を下さなかったのは、その苦しみや悲しみの中に、魂を成長させる材料が沢山あったからです。人生の目的は、幸せな家庭を持つことでも、大金持ちになることでも、名を上げることでもありません。魂を大きく成長させることです。それは、平々凡々の人生を歩んでいたのでは得られないのです。波乱万丈の人生であればあるほど、大きく魂を成長させることができるのです。もしあなたに何の苦しみも悩みも無かったら、はたして人生に疑問を持ったでしょうか？ 私のウェブサイトにとどり着いたでしょうか？ 私に質問を寄せたでしょうか？ 多分、何の疑問も持たないまま人生を終えていたことでしょう。

神の愛の完全性を信じてください。この確信が深まれば、この後どのような人生が待っているかと、決めたじろぐことはないでしょう。それどころか、勇気を持って、希望を持って、歩めるでしょう。

私のウェブサイトの中に、あなたの知りたい答えがすべてあります。少し難しいかもしれませんが読んでください。二〇一二・六・二五

神はすべてご存知である

私のウェブサイトを読み、あなたのようなメールをいただくことがあります。私はその方たちに、どのようなお話をすればよいのか時々戸惑うことがあります。というのも、神をどこまで信じておられるのかによってお話しする内容が違ってくるからです。神は全能です。その神は私たちの中におられるのです。ですから、あなたの苦しみを神は知らないはずはありません。知りながら手を下さないのは、真理を求めているあなたの魂の更なる成長を願っているからです。たしかに、肉体的苦しみを持ちながら神を求めるのは大変なことです。でも良く考えてみてください。肉体的苦痛はこの世限りのものです。でも私たちの魂は永遠です。永遠に生きとおす魂の成長のためには、この世の肉体的苦しみは必要不可欠なのです。もしあなたが健康で何一つ悩みが無かったら、果たして真理を求めようとしたでしょうか？ 私のウェブサイトにたどり着けたでしょうか？ どんなに幸せな人生を送っても、真理に目を向けない人生など何の意味もないのです。

人生において一番大切なことは、本当の自分を知ることです。真理を知ることです。これ以外人生の目的は無いのです。この言葉は、あなたのように熟した魂だから言えることで、一般人に言っても分からないことです。いつも言うことですが、神は小学生に大学生の問題は与えません。大学生だから難しい問題を与

えるのです。とはいっても、体が苦しくてはこんな言葉も慰めにしかなりませんね……。

私はこの頃、このように思っています。私は七十を越えた老人で、十分人生を堪能してまいりました。もうこの世に何の未練もありません。早く自分の故郷(天上界)に帰りたいたいと思っております。この世が幻であること知ってから、その気持ちは強まるばかりです。でもまだ生かされているのは、何かまだやり残していることがあるからだと思います。神は不必要なものは誕生させません。また必要ないものを生かしておくこともありませぬ。もし私がやるべきことをやり終え、もう何もやることがないなら、明日にでも引き上げられることでしょう。そうなったら、私は笑みを残して帰ります。もしあなたが天に引き上げられるなら、それは今生やるべきことをやり終えたからだと思います。まだ生かされるなら、やるべきことがまだあるからだと思ってください。あなたは、肉体ではないのです。誰の誰ペエではないのです。本当のあなたは生命なのです。神なのです。肉体が無くなっても、今の意識を持ち続けて生きとおす生命なのです。ただそう思えないから、心配し、恐怖し、この世の苦しみから抜け出せないのです。

私はこの世が幻であることを知りました。だからこの世に何の未練もないし、恐怖したり心配したりすることもありません。いつでも呼ばれたら、喜んで天に帰ります。またその方が幸せなのです。あなたも、私と同じことを言える人になってください。

「私は真理を学ぶために厳しい人生を歩んでいるのだ！」そのような気持ちになれるまで深く真理を追究してください。二〇一二・七・四

私の使命

私の言っていることを理解してくれる人はあまりいません。それほど真理を理解してもらうのは容易ではないのです。お釈迦様もイエス様もそれで悩まれたわけですが、私の恩師である知花敏彦師も同じ悩みを持っていました。真理は、文字や言葉で伝えられるものではないからです。ですから、今日伝えられている仏教も、キリスト教も、必要な部分が抜き取られた抜け殻の真理です。理解できないから抜き取られたのでしようが、それほど真理を伝えるのは容易なことではないのです。私も同じ悩みを持っているわけですが、私の真の使命は真理を広めることではなく、後々の人の為に真理を書き残しておく事です。勿論、バトンタッチする使命もあります。真理は言葉や文字で伝えられるものではありませんが、それを知ってあえて残そうと思うのは、地球の未来を考えてのことです。地球はもうすぐステップアップします。その時私の残したものが、きっと役立つはずです。

未知のものを開拓するには先駆者が必要です。また青写真を残しておくのも必要です。私はその青写真を残そうと思ってやってまいりました。今は解ってもらえないかも知れませんが、いつか必ず解ってもらえる時が来ると思います。それで良いのです。二〇一二・八・一

自分が設定してきた人生

宇宙の仕組みを知ることとは、とても大切なことです。なぜなら、心の不安を解消できるからです。でも頭で知っても、心の底で理解しなければ真の安らぎは得られません。ですから、今あなたに必要なのは慰めの言葉ではなく、実際に自分を変える真理だと思います。前にも言ったように、あなたが今生の計画が厳しく設定しているなら、今の悩み苦しみは簡単に無くなりません。やはり、苦しい人生体験が必要です。そこが、厳しいと言えは厳しいところです。

今私に言えることは、できるだけ私の本を読んでもらうことです。納得できるまで読んでもらうことです。そして本当の自分が生命である事を、できるだけ深く知ることです。勿論、瞑想もしてください。

瞑想の簡単な方法を教えましょう。

軽く目を閉じ、「私は生命である！」でも良いですし、「私は光である！」でも良いですから、時間あるごとに想ってください。心の底で思えたら、不安や悩みは軽くなりませう。心が落ち着くので、体も楽になります。私たちの本性は生命ですから、生命に目覚めたらどんな禍も吹き消すことができるのですが、なかなか目覚めないのが人間です。だから、みな四苦に苦しんでいるのです。でもあなたは、知識的ではありませんが、自分が生命であることを知りました。これは、今生の計画を半分以上クリアした大変な偉業です。自分の人生に誇りを持ってください。自信を持ってください。今死んでも悔いのない偉業を成し遂げたのですから……。

そう思えば、「生きても善し！ 死んでも善し！」と神に命を委ねることができるはずですよ。

神を信じてください。神は絶対無駄な人生は与えないのですから……。

あなたは私のことを先生と呼んでいますが、この宇宙に先生と呼べるのは神しかおりませう。なぜなら、先生とは、「先」に「生」まれたものと書き、それは神以外ないからです。ですから私のことを先生と呼ばないでください。二〇一二・八・一二

人生の目的

過去を悔やみ自分を責める人がおりますが、人生で一番大切なのは、気づいた後どう生きるかです。今までの人生の目的が分からなかったから、悔みを残す迷った生き方をしてきたのです。人生の目的が分からなくて、迷うのも無理はありません。無目的な人生ほど虚しいことは無いからです。でも今日あなたは、人生の目的を知ったのです。あなたの人生はこれからです。

人生の目的は、本当の自分を知ることです。私たちは肉体ではないのです。私たちの本性は永遠に生きとおす生命です。肉体は生命の乗り物です。生命が肉体の中に入って肉体を動かしているのです。殆どの人は、脳が物事を考えていると思っておりますが、そうではないのです。物事を考え、行動に移しているのは、生命なのです。だから、肉体が死んでもあなたは死ぬことは無いのです。肉体を脱いでも、今と同じ考えを持って生きるのです。なぜ、そのようなことが言えるのか疑問に思うでしょうが、これは私が体験したことだから言えるのです。

この宇宙には、人間の知らないことが無限にあるのです。地球人類が持っている知識など、宇宙の知識から見れば無いみたいなのです。いずれ人間が生命であることが、科学的に立証される時がくるでしょう。

どうか、今の社会常識に囚われないでください。人生の目的は、金持ちになることでも、偉くなることでも、家庭を持つことでもないのです。「本当の自分が何なのか知ること」です。これ以上の目的はありません。私たちは今まで何度も何度も人間として生まれてきましたが、それは本当の自分を知るためだったのです。ただその記憶がないために、多くの人が人生の目的を見失い、右往左往しているのです。

自分を卑下しないでください。目覚めるまでは誰もが迷った生き方をするのです。私もそうでした。目覚める前までは、人間のクズでした。でも私は目覚めたのです。目覚めたら、過去の悪しきことはすべてご和算になるのです。どうかあなたも目覚めてください。過去を悔やんでも仕方がありません。大切なのは、これからどう生きるかです。もしあなたが、何も知ろうとせず人生を終えたら、それこそ地団太を踏んで悔しがることでしょう。でもあなたは、今何かを発見しようとしています。光に向けて進もうとしています。これは素晴らしいことです。

どうか本当の自分を知ってください。良い人生にするか悪い人生にするかは、これからの生き方次第なのですから……。そのためには、私の本を読んでください。少々難しいかもしれませんが、熟読してゆけば、人間が何なのか、自分が何なのか、何をすべきか、分かっていただけだと思います。ぜひ、良い人生にしてください。二〇一二・九・一八

因果の法則を知ることが大切である

周りの人たちが物質に翻弄されている中で真理を追究するのは、なかなか難しいものです。でもあなただけでなく、できるだけ神に意識を向け生活してください。子供たちに真理を教えるのは難しいかもしれませんが、電話でもお話したように、因果の法則だけは教えた方が良いでしょうと思います。「良いことをすれば良いことが、悪いことをすれば悪いことが、」この法則は絶対的法則ですから誰も逆らうことはできません。逆らえば必ず苦しみがやってきます。何を信じなくても、この法則だけは信じるよう子供たちに教えてください。決して曲がった道に入らないと思います。原因と結果の法則については、私の書いたものの中に頻繁に出ていますので、良く読んで理解してください。

あなたのお母さんとの縁の関係は、この世を去れば解消されるかもしれませんが、魂の縁は解消されるものではありません。他の兄弟が私の書いたものを理解してくれなくても、あなただけは理解してください。これは意識の高さの違いがあるので、解ってもらっては至難の業です。でも、あなたは理解できています。これは魂の長い歴史によるあなたの魂の成果です。どうか、今後も真理を求め続けてください。二〇二二・

全て魂の糧になっている

非情な言い方かもしれませんが、今苦しみの中から色々と学んでいるのです。神は決して意味のない苦しみは与えません。たとえ肉体が死んでも、必ず魂の成長につながっているのです。ですから、どうか神を信じてください。宇宙の法則を信じてください。そして、神にすべてを委ねてください。神は決して悪いようにはしないのですから……。楽しかったこと、嬉しかったこと、苦しかったこと、悲しかったこと、あなたの人生で体験したどんなことも、みなあなたの魂の糧になっているのです。何一つ無駄な人生など無いということです。ですから、すべての人に感謝してください。すべての物に感謝してください。そして神に感謝してください。

勿論、肉体は物質ですからいずれ消えて無くなってしまいます。でも肉体は無くなっても、私たちの意識（生命）は永遠に無くなることはないのです。ただ場面が変わるだけです。神を信じ、神にすべてを委ねれば、もう何も恐れることはありません。神は必ず良きようにしてくれます。

どうか神に意識を向けてください。どうか神を想ってください。

あなたも私も誰も彼もが、いずれ肉体を脱ぐ時がきます。ただ早いか遅いかだけです。でも生命が本当の

自分なので、肉体が無くなっても何も心配することはないのです。このことを、あなたに分かってもらいたいです。今、私の書いたものを動画にしてくれている人がおります。一度見てください。きっと何か感ずるものがあると思います。「人類の夜明」で検索すれば見られると思います。偽物もありますので、間違わないよう注意して見てください。二〇一二年・一〇・一五

苦しみは成長の糧

厳しい言い方ですが、人は苦しまなければ変わらないものです。あなたも、あの苦しい病気をしたから変わったではありませんか？ まあ、これからも苦しいことは沢山あるかもしれませんが、その時は「この苦しみは自分を成長させてくれる！」と良いように受け取ってください。そうすれば、どんな苦しみも乗り越えられると思います。あなたの友達のアさんの苦しみも、決して無駄にはなっていません。これは私が保証します。

平々凡々の人生を歩むより、波風の多い人生を歩む方が魂の成長は早いのです。前にも言ったように、苦しいことを乗り越えるには強い決心が必要ですが、その決心が原子核を増やのです。だから、苦しみは良い

ことなのです。

殆どの人は、自分のことを肉体人間だと思っています。あなたの思考は、その肉体人間を前提にして生まれた思考で、本当の自分から生まれた思考ではありません。ですから、私がどんなに説明しても理解できないでしょう。真理が言葉や文字で伝えられない、と昔から言われてきたのはそのためです。人間の本性は意識「生命」そのものです。肉体はその意識「生命」の乗り物です。あなたは今意識を持っていますね。その意識そのものが、本当のあなたなのです。意識は姿形がありませんので見えません。本当のあなたは姿形がありませんので見えません。その姿形の無い見えぬモノを、どうして理解させることができるでしょうか？ 本当の自分を知るには、つまり意識の自分を知るには、意識の奥深くに潜り込み実感するしかないのです。真理は思考を超越した域にあり、知識で知ることができないからです。唯一それを成してくれるのが、瞑想という方法です。ただし、この瞑想も簡単に会得できるものではありません。でも、もしあなたが一生をかけて真理を会得したいと思うなら、できるだけお手伝いしたいと思います。多くの人が真理をかじっただけで終わるのは、真理を得る難しさもありますが、真理を求める真剣さが足りないからです。まずは、どこまで真理を追究する気概があるのか、それを私に見せてください。それにはまず私の書いたものを熟読し、理解を深めることです。もうお分かりと思いますが、真理は言葉や文字で伝えることはできません。そ

の人自らが、自分の中から得るしかないので。しかも、人それぞれ魂の遍歴が違いますから、何年かかって自分のものにできるかは誰にも分かりません。ただいえることは、私の体験を参考にし、自分なりに真理を極めることはできると思います。あなたは、私の書いたものをすべて読んでくださいましたでしょうか？もし最後まで読んで心から納得されたなら、あなたは偉大な魂です。それほど、私の書いたものを理解できる人は少ないのです。もし真剣に真理を極めたいと思っておられるなら、どうか私の書いた本を何度も何度も読んでください。二〇二・一〇・一七

神の計らい

私たちは、本当の自分を知るために生まれてきました。人生の目的はそれしかないので。その目的を果たさずに帰るとすれば、あなたは大変な悔いを残すでしょう。今地球人類は、100人が100人とも本当の自分を知らず、ただ肉体を維持するため日々躍起になって生きています。何の疑問を持たない人はそれで良いのですが、あなたのように疑問を持っている人は、そのような生き方をしていたのでは苦しいでしょう。

私は今インターネットで真理を発信しておりますが、言葉や文字で伝えるには限度があり、今は理解できるだけに止まっています。あなたにお願いしたいのは、とりあえず、私の書いたものを全部読んでください。膨大な量なので日数がかかるとは思いますが、ゆっくりと時間をかけ読んでください。多分、あなたの疑問の半分は解けると思っています。

あなたはまだ、この宇宙の仕組みを理解していません。今の苦しい心の状態にしているのは、あなた自身です。それはあなたが自分のことを、人間だ！ 肉体だ！ と思い込んでいるからです。本当の自分を知れば、その苦しみは途端に喜びに変わります。これは体験した者でなければ分からないでしょう。

本当のあなたは、自由で、無限で、全能な、生命そのものなのです！ でも頭で知っただけでは、その境地になれないのです。だから魂を大きくする必要があります。どちらにしても、このようなことを言葉や文字で簡単に伝えられるものではありません。多分、あなたにお会いしてお話しても、すぐに解つてもうことはできないでしょう。でも、今の苦境から脱したいなら、真剣に真理を求めなくてはなりません。あなたにその覚悟がありますか？ 苦しいと嘆いているだけでは、何の進歩もありません。やってみることで。挑戦してみることです。たとえば目に見える成果が得られなくても、布石を打っていればいつか必ず実ります。これは私が保証します。

人生の目的は、本当の自分を知るためにあるのです。なのに何もしないで帰ったのでは、悔やんでも悔まされません。というより、また再び苦しい世界に生まれてこなければならぬでしょう。私の書に出会ったことは、課題を克服して帰りなさいという神の計らいと受け取ってください。どうかその計らいを無駄にしないでください。二〇一二・一〇・二二

疑問は自分を成長させる

「ご主人と結婚しなければならなかったのは、生まれる前にすでに約束していたからです。「夫婦になって、互いにいたらぬところを学び合いましょう！」と納得づくで生まれてきたのです。でも頭を意識はそのことを知りませんので、不幸な結婚生活を送ってしまう人が多いのです。でも魂同士は、そのことをちゃんと知っているのです。学びの内容によって、仲睦まじく一生送る夫婦もいれば、喧嘩しながら一生送る夫婦もいるのです。でも、それもみな学びの一環なのです。悩み苦しめば疑問を持ちます。その疑問が自分を大きくしてくれるのです。疑問を持ったから、あなたは私に繋がったではありませんか？ 悩みも苦しみもない人は、疑問を持つことが少ないので、自分を成長させることができないのです。その意味では、あなたは

幸せ者です。

肉体はこの世限りのものです。でも私たちの本性は、永遠に生きとおす生命なのです。生命が本当の自分で、肉体は生命の乗り物なのです。だから、大切にすべきは肉体ではなく生命です。死んだら骨をどうこうしてほしいと願うのは、肉体を自分だと思っているからです。骨はただのカルシウムですから、そんなものに執着を持つてはなりません。お釈迦様は、死んだら骨を砕いて川か海に捨てなさいと言っておられます。だから、骨のことで悩まないことです。どちらの墓に入れようが、どうせカルシウムなのですから……。それよりも大切にすべきは、自分の意識です。心です。自分の心を平安にする真理を学ぶことが大切です。もし旦那さんを憎んでいるなら、許してやってください。その人がいなかったら、あなたは学べることも学べなかつたのですから……。相手は反面教師です。いや、自分を学ばせてくれる先生です。だから感謝すべきです。そのような心が持てるようになったら、あなたの人生は大成功です。

私の書いたものを読んでください。あなたの知りたいことがすべて書いてあります。膨大な量なので、少しずつゆっくり噛みしめながら読んでください。二〇一二・一一・二六

求道の旅は細くて長い

真理を追究してゆくことは、本当に大変なことなのです。なぜなら、頭で知っても実際に心の底で知らなければ、何の変化も起きないからです。人間を四苦から解放できない教えは、本当の教えではないのです。お釈迦様やイエス様の教えが、学問宗教や儀式宗教になってしまったのは、一番大切な部分が切り捨てられ伝えられたからです。お坊さんも牧師さんも、みな頭でつかちの知識人です。何も解っていないのです。そんな人たちから教えを受けるのですから、社会が良くなるわけがありません。真理は観念的なものではないのです。実際に変化が起きる現実的なものなのです。心の底で知ったら、本当に自分が変わるのです。変性変容が起きて、心身ともに変わってしまうのです。このように言っても分かって頂けないと思いますが、真理は頭で終わるものではない、ということだけは知っておいてください。

ハイヤーセルフとか高次元の存在とか、名前に惑わされなくてください。私たちは宇宙に一樣しか存在しない同じ「生命」なのです。あなたが今「わたし」と思える意識そのものが、本当の自分なのです。ただ長いこと、「人間」と思い違いすることで、本当の自分を見失っただけです。このように言っても分かってもらえないと思いますが、要するに言葉や文字で伝えられないのが真理なのです。

本当の自分と交信するためには「瞑想」が必要です。でもその瞑想の仕方、文字や言葉で教えることはできないのです。私の本の中に「瞑想」について書いてありますから、それを熟読してください。大体の概略は掴めると思います。

何が足りないか分からないとおっしゃいますが、真理はそう簡単に得られるものではないのです。全人類の殆どが、本当の自分を知らず生きているのですよ！ 今すぐ解ろうと思う方が無理なのです。だから私は、焦らないで下さいということです。

八 求道の旅は、細くて長い旅です。どうか焦らず、根気よく、着実に進んでください。二〇一二・一二・二

知識は悟りにあらず

先日送ってくれたメールの波動はザラザラとした波動でしたが、今日送ってくれたメールの波動は、スー
トとしたとても良い波動でした。私が外側の物から遠のいてほしいと願うのは、外側の物に良い波動のもの
は無いからです。あなたが物の中に自分を感じているときは、内側のものを感じているのです。つまり、本
当の自分(生命)を物の中に感じているのです。だから波動が良いのです。とても良いことなので、今後も続
けてください。

あなたの本性は間違いなく生命です。常に本当の自分、つまり生命の自分を意識してください。瞑想が
苦手なら、物の中に自分を感じても良いのです。瞑想は、本当の自分(生命)を意識することなのですから……。

お願いしたいのは、今まで持っていた知識をできるだけ捨てることです。「知識は悟りにあらず」です。
あなたは哲学者になつてはなりません。科学者になつてください。科学者とは、宇宙の法を知る者です。一

つの法を知れば、もう何も知る必要がないのが、宇宙の法です。簡素・簡潔・単純・が宇宙です。どうか頭の中を白紙の状態にして、真理を求めてください。二〇一三・一・二

生き物とは？

あなたは生きるということについて、どのように考えていますか？ 命ということについて、どのように考えていますか？ 命とは意識のこと・・・、生きるということとは意識があること・・・、形のあるなしにかかわらず、意識を持っているものはみな命であり、みな生き物なのです。人間だけに意識があると思っ
ていますが、どんな物にもみな意識があり生きているのです。石ころ一つ、花一輪、ガラス一カケラ、原子一個、みな意識があり生きているのです。現代科学は物質の中にエネルギーが同居していることを認めていますが、このエネルギーが命であり意識なのです。意識はエネルギーそのものなのです。だから、どんな物の中にも命があり意識があるのです。

テレビが働いているのではなく、電気エネルギーが働いているのです。冷蔵庫が働いているのではなく、電気エネルギーが働いているのです。

同様に、人間という形が生きているのではなく、意識エネルギーが人間を生かし働かせているのです。ということとは、意識(エネルギー)は永遠に無くなりませんから、私たちも永遠に無くなりたくないということです。無くなるのは形(肉体)だけで、エネルギーは、命は、永遠に無くなりません。つまり、私たちは永遠に死なないということです。ではその永遠に無くなりたくない意識を持つ私たちは、どのように生きればよいのでしょうか？ いかにか心に心穏やかに生きられるか？ 幸せに生きられるか？ これに尽きるのです。そのためには、本当の自分を知らねばなりません。これは知識だけで解決できる問題ではないのです。意識の本源にながらなくては解決できない問題なのです。これは人生の大問題なのです。だから、本当の自分を心の底で必要があるのです。

人生の目的は、家族を養うためでも、名声を得るためでも、財産家になるためでもありません。真実を知るためです。言い換えれば、永遠の幸せを手に入れるためにあるのです。この世の物は、時と共に消え去る無常なものです。この世の物で何一つ永遠の物は無いのです。そんな物を追いかけて、心穏やかになれるはずがありません。でも真実を知れば、永遠の幸せを手に入れることができます。といっても、知識で知っただけではダメなのです。心の髄の髄で知らなくてはなりません。どうかあなたの人生を、真実を知るために使ってください。

私の書いたものの中に、あなたの知りたいことのすべてが書いてあります。どうか熟読してください。二〇一三・二・五

自分を汚してはならない！

外側から何か入ろうとしても、決して自分の屋敷に入れてはなりません。入れれば屋敷が汚されてしまいます。あなたの意識は、あなた以外使えないのです。あなたの自由意思で使える偉大な財産です。その財産を、ネガティブに使わないでください。どんなことを言われようが、無視すれば心を汚すことは無いのです。汚さなければ、あなたの心は光で満たされます。どうか光のバリヤで自分の心を包んでください。それは神を想うだけで出来るのです。一にも神、二にも神、三にも神です。どうか神を想い続けてください。あなたは真正正銘の神なのですから・・・。何にも犯されない神なのですから・・・。この世の悪の手の届かないところに止め置かれた神なのですから・・・。

あなたは唯我独存の神なのです。あなたは宇宙の大王なのです。主です。絶対なる者です。ですから、誰にも、何にも、遠慮はいらないのです。何もへりくだる必要はないのです。自分を卑下することは無いので

す。そのようなことをすればエネルギーを低下させるだけです。

あなたは神なのですから、堂々と神の宣言をすれば良いのです。強い気持ちを持ってください。尊大になってください。「私は神なんだ！」そう叫んでください。そうすればエネルギーが強まり、生命力が活発化します。もうネガティブな想いに犯されることはなくなります。今までは自分のネガティブな想いが、生命力を弱めていたのです。その想いが取れた今、モリモリと生命力が湧き出しています。もう何者にも止められません。その生命力に身を委ねましょう。二〇一三・二・二一

一つの意識

瞑想の一番大切なことは、自分の意識を本当の自分に止めることです。それは時空を超越しています。何処という場所を意識してはダメなのです。良く丹田に意識を持って行きなさい、眉間に意識を持って行きなさい、と言う人がおりますが、その時点でもう意識をこの世に置いているので自我瞑想になるのです。意識を置くべきところは、神のいる深いところです。絶対世界です。それは場所ではなく、意識状態なのです。あなたの意識しているところに神がおられ、本当の自分がいるのです。そこに意識を置いて、そこにいる自

分が「吾神なり！ 吾生命なり！」と想い続けるのです。瞑想は、文字や言葉で伝えられるものではないのです。瞑想は、それほど難しいのです。でもやっていたら、必ずコツが掴めます。泳ぐことも、自転車に乗ることも、やり続けていけば、いつか必ず泳げるようになるし乗れるようになるのです。何でもそうですが、やり続けなければ掴むことはできません。だから、やってみる事です。

あなたの意識と私の意識は同一の意識です。ただ、別々な形だと思ふことによつて意識を分けてしまつていただけです。私の意識をあなたの意識の中に置けば、そこには一つの意識しかなく、同じ波動の状態なら共鳴し合うことができます。

何度も言うようですが、真理は知識では得られません。あなたも私も、今までも神の世界にいたし、今もいるし、未来永劫いるのです。そこから真理を引き出すしかないので、それは啓示として、天啓として、そこに触れて引き出すしかないので、沢山の知識を持つていては、啓示は降りてこないのです。なぜなら、既成概念で固まっている波動の低いところには降りてこられないからです。知識はこの世のものですから、波動が低いのです。波動の低い意識を持つていては、波動の高いものは同調してこられないのです。あなたの波動を高めてこそ、高い啓示は同調してこられるのです。その波動を高める作業が瞑想なのです。

今あなたがやらねばならないのは、原子核(生命核・魂)を増やす作業です。原子核が増えれば、間違った

く波動は高まります。

そのためには、

一、嫌なことに挑戦することです。「決心は原子核を増やす」

二、本当の自分に意識を止めること、つまり瞑想することです。

この二つを実践すれば、間違いなく原子核は増えます。

焦らないでください。真理の道は細くて長い道なのですから・・・でもあなたは、今その道に乗ろうとしていくのです。これはあなたの魂の歴史上において、大変な出来事なのです。どうか道を間違えないようにしてください。周りにはみなサタンばかりです。色々な誘惑が来ます。それに惑わされないようにしてください。

追伸・・・有意義な一日にするためには、「神を・生命を」想い続けることです。何を見ても、その中に「神を・生命」を観ることです。その時には、あなたは白い息を吐いています。この世のことを考えている時には、黒い息を吐いています。私は常々、一般人の中にそれを見ているのです。誤解しては困りますので言い添えますが、私は、厭なことをこちらから貰いに行きなさいとは言っているわけではありません。与えられた場合、逃げないでやりなさいといっているのです。多くの人は、厭なことがやってくると逃げてしまい

ます。それでは、自分を大きくすることができません。必要だから与えられるのですから、これは天意です。なのに逃げていたのでは、天意をまっとうすることができません。

先日お話した、「本当の自分を知った者は、もう何も知ろうとしないし、何も求めようとしなくていいよ！」という意味は深いのです。それは、自覚の境界線を超えてはじめて解ることです。それまでは、大切にしておいてください。二〇一三・三・二八

生命力を信じよう！

昔の医者には、風邪をひいても「玉子酒でも飲んで休んでいけば治る！」とあって、注射もしなければ薬もくれなかったものです。それだけ自然治癒力(生命力)を信じていたからです。しかし今の医者には、すぐに注射を打ち、薬を飲ませます。だから最近の子供たちは、すぐに風邪をひくし病気になるのです。

私たちは偉大な能力を持った神です。あなたの中には偉大な治癒力が備わっているのです。どうかその治癒力を信じ、その治癒力に身を委ねてください。「私には偉大な治癒力が備わっている。その偉大な治癒力が一時も休まず働いている！」と思い、信じ、治癒力に身を任せてください。後は、神を想い続けることで

す。片時もネガティブな想いを心の中に入れてください。どんなに疑っても、あなたが神なのは間違いないのですから・・・。

死ぬも、生きるも、神の御心です。現に今、若者や年寄りなど沢山の人たちが死んでおります。私たちは何万回も死を体験してきたのです。死を恐れてはなりません。あなたの本性は、神です。生命です。あなたは決して死ぬことは無いのです。もしあなたが今生計画してきた課題をやり遂げたのなら、天に上げられるかもしれません。まだやり遂げていないなら、必ず生かされます。どうか生も死も神に委ねてください。どちらにしても、生ある限り神を求めてください。神を信じ、神を想ってください。こんなことが言えるのは、真理を求めているあなただからこそです。二〇一三・四・一

瞑想の基本は想うこと

「私」とは、宇宙に一つしかない意識のことです。「私」と意識している私が、本当の「私」です。その「私」を理解しやすいマントラに置き換えて「吾神なり！」と思うのが瞑想です。本当は、「私」の理解が心の底で出来れば、マントラは「私」「私」「私」・・・だけで良いのです。「私」の理解ができないか

ら、理解しやすい他のマントラに置き換えているだけです。マントラの意味を深く知れば、マントラの自覚が深まるように、「私」の意味を深く知れば、(理解が深くなれば)「私」の自覚も深まるのです。でもその「私」の理解がなかなかできないのです。だから理解しやすい「神とか、生命とか、無限とか、光とか、」他の言葉をマントラに使っているのです。

本当の私を深く知ってください。そうすれば、「私」「私」「私」……だけのマントラで深く入れます。もしできなくても、「神を、生命を、無限を」思っている時は間違いなく真実の世界にあります。その積み重ねが魂を大きくするし、未来の布石になるのです。瞑想を言葉や文字で伝えられたら良いのですが、それができないところに瞑想の難しさがあるのです。でも、やり続けることです。やり続けていけばコツが掴めます。自分なりの瞑想を作り上げて良いのです。瞑想のやり方に決まりはないからです。瞑想の基本はマントラを想うことです。それ以上でも以下でもないのです。

一般人のほとんどは、今の時を幻の世界のことに使っています。でも瞑想しているあなたは、今の時を真実の世界に使っているのです。これは凄いことなのです。どうか真実の世界に意識を止める瞑想に時間を使ってください。その人は、生きています。この世の雑事に時間を費やしている人は、死に人です。どうか生き人になってください。二〇一三・五・一五

自分の中に師がいる

この宇宙の仕組み、神の意図、つまり「真理」を言葉や文字で伝えられるなら、今のような地球にはなっておりません。伝えられないから、争いがあり、事件や事故があり、自然災害があり、病気があるのです。

本来真理は、単純で矛盾が無く、子供にも分かる易しいものなのです。でもその易しい真理を、文字や言葉で伝えられない難しさがあるのです。もし単に言葉や文字で伝えるとすれば、必ず疑問や誤解が生まれるでしょう。ですから誤解を避けるためには、直接会ってお話するしかないのです。それでも理解させることは難しいのです。もしあなたが真剣に真理を追究したいと思われるなら、私の話を何度も聴いてください。今インターネットで発信している私のメッセージを、すべて読んでください。読んで心から納得できたら、真理の追求の意欲も増すと思います。

折角のチャンスですので、あなたの質問に少々お答えしたいと思います。私たちには、偽物の自分(偽我)と本当の自分(真我)が存在します。本当は真我の自分しかいないのですが、肉体を自分だと錯覚している人には、二人の自分がいるのです。その偽我の自分が本当の自分を惑わして、苦しみを作っているのです。もし、本当の自分を心の底で知ることができたら、苦しむことはなくなり、でも残念なことに、心の底で

知ることが大変難しいのです。瞑想が必要なのは、そのためです。その瞑想も、言葉や文字で伝えることができないのです。昔から覚者の悩みは、言葉や文字で真理を伝えることができない点でした。私もその点において、苦勞しております。でも師は自分の中におります。疑問に思ったことを自分に問いかけてみてください。自分の中から答えが得られます。私たちはもとと神ですから、自分の中から答えが得られるのです。あなたがどんなに人間だと錯覚しようとして、あなたは紛れもなく生命の子、神の子なのです。あなたの中には、偉大な能力が潜在しているのです。そのことを忘れないでください。二〇一三・六・二六

補色の瞑想についてパート1

私が補色についてお話したのは、この宇宙は二つで一つであるということを知ってほしいためでした。

- ・ 見える物は見えない本質で作られているのです。
- ・ 物質はエネルギーという本質で作られています。
- ・ 人間は生命という本質で作られています。

本質は見えませんが、その見えない本質が神であり、生命なのです。

赤を見ても青は見えません。しかし、赤の背後には青があるのです。つまり、見える物の背後には、かならず見えない本質があるのです。このことを、補色を通して知ってほしいのです。

私たちの目は、見える物しか見えないようにできていますが、理解力で見れば見えないモノも観えるようになるのです。つまり、心眼(理解眼)によって物の背後にある本質を観ることができるようになります。生命の自覚、神の自覚が持てるようになるのです。補色は、心眼を開く一つの方法なのです。誤解しないように言い添えますが、補色を観る訓練をすれば心眼が開かれるではありません。補色を観る訓練は、あくまでも背後にあるものが何なのかを知るための訓練です。赤は赤だけで赤にはならないのです。赤の反対側に青があつて赤になるのです。つまり、見える物だけでは見える物になれないのです。見えないモノが反対にあつて、見える物になれるのです。見える物は見えないモノ(本質)から生まれてくるからです。見えないモノ(本質)が無くては見える物はありません。その見えないモノ(本質)は、色や形がありませんから理解力によって観るしかないので。心で理解して、はじめて見えないモノ(本質)が観えるようになるのです。観えるようになるといっても、本質には色や形がありませんから、目で見えるわけではありません。心で理解することによって、納得することによって、ああそうか！と気付く、発見する、自覚すること、観えるという意味なのです。その見えない本質のことを、神とか、生命とか、霊とか、エネルギーとか、

呼んでいるのです。目で何かを見ている時は、形の世界を見ているわけですから、それは心眼とはいわないのです。この辺が非常に理解のしづらいところです。神の自覚を得る難しさが、このことから分かって頂けると思います。人間という見える物は、見えない神という本質によって存在させられている。つまり赤という見える物は、見えない青という本質によって存在させられている、という理解を得るための訓練が補色の訓練なのです。このこと誤解なきように・・・二〇一三・七・一

補色の瞑想について。パート2

「背中の奥の奥の一点に意識を置き、その自分が「我神なり！」の瞑想をしてください！」といっても、なかなか意識を置くことができないでしょう。そこで、補色を利用した方法を先日お話しました。復習してみましょう。

一円玉くらいの大きさの赤色紙を白紙の上に置きます。数秒間赤丸を見つめた後、目をずらすと白紙の上に青丸が残像として写ると思います。これは赤色の反対側には必ず青色があるということ、つまり見える物の反対側には必ず見えないモノがあることを示唆しているのです。次に、同じように赤丸を見つめた後目を

つぶると、瞼の奥に青丸が残像として現れると思います。その残像を本当の自分と考え、その残像の私が「我神なり！」の瞑想をしていると考えれば、意識が置きやすくなると思います。できるだけ意識を奥に持って行った方が良いので、瞼に写った残像の青丸の奥の方に意識を持っていってください。これを何度か続ければ、背中との奥の一点に意識が置けるようになると思います。

この実験は、やって見る価値があると思いますので、ぜひ試してみてください。二〇一三・八・一六

幸福度

この宇宙には、あなたの宇宙しかないのです。このことがどれだけ理解できるかによって、幸福度が決まってくるのです。ですから幸福度は、あなたの理解力次第というわけです。この宇宙には人間の思考で理解できないことが無限にあるのです。幸福度もその一つです。なぜこのような問題を提起したかと言いますと、私たちの最終目標は究極の幸せを手にすることだからです。

幸せの高さは、すべての人に当てはまるわけではないし、一ヶ所に留まるわけでもありません。宇宙が理解力によって進展してゆくように、幸せも当人の理解力によって進展してゆくのです。人の幸せを羨んでは

ならないというのは、外から量れるものでも、比べられるものでも、知れるものでもないからです。幸せは、人それぞれの心の中の出来事です。だから、どのような幸せを感じているかは誰も分からないのです。ただ一言えることは、幸せは外から与えられるのではなく、自分で持つてくるしかないとことです。では、どうしたら幸せを自分で持つて来られるかということですが、それは本当の自分を知るしかないのです。

今あなたは、人間だと思っていますね。人間だと思っている限り、色々な苦しみがあります。か弱い肉体を自分だと思えば、平安な心は維持できないからです。でも、人間では無く生命だと思えば、生命は病気にもならないし、傷付くことも無いし、老いることも無いので、心は平安になるのです。苦しみも、悲しみも、悩みも、心配も、人間だと思うから生まれるのです。それでは幸せになれるわけがありません。

幸せは、理解力が作るのです。つまり、いかに本当の自分を知るかです。それも心の底で知るかです。繰り返しします。幸せは、誰かが、何かが、与えてくれるものではありません。あなたがあなたに与えるのです。それは、あなたが自分をどう理解するかです。幸せになりたかったら、本当の自分を理解してください。それも、心の底で理解してください。その理解の程度によって、あなたの幸せは膨らみます。どうか、幸せは自分の理解力が持つてくることを知ってください。二〇一三・九・二〇

魂の成長に必要な苦しみ

残念ですが、あなたを助けることはできません。助けられるのは、唯一あなた自身です。あなたの幼い時からの境遇は、聞けば聞くほどかわいそうに思います。でもその境遇は、あなたが選んできたのです。このようなことをいっても、信じてもらえないかもしれませんが、あなたの魂にとって、その境遇での体験は必要だったのです。今は辛いかも知れませんが、その辛いことがあなたの魂の糧になっているのです。

この宇宙で無意味なことは何一つ起きません。必要だから起きるのです。それはすべて、自分を成長させる為に必要な出来事です。厳しい人生体験をしている人ほど、早く成長して帰れるのです。これは目に見えないし、肌で感じられないことですから、信じてもらうしかありません。

私たちの故郷は、この世ではありません。生命の世界です。生命の世界は、幸せいっぱいの世界です。そこに私たちは、いずれ帰るのです。あなたは肉体ではなく、生命なのです。このことを知るのには容易ではありませんが、これは間違いないのです。ではなぜ、このような地獄の世界に出て来なければならなかったのでしょうか？ それは、この世で色々な体験をしなければ、生命の自分を思い出せないからです。私たちは、気の遠くなる年月人間として生きてきたために、生命の自分を忘れてしまったのです。人間として生きれば

罪を犯しますから、色々な苦しみがやってきます。今のあなたの苦しみは、因果応報と言って、これまでのあなたの生き様に対しての結果なのです。でもこれは、生命の自分を思い出すために必要な苦しみですから、悪いことではないのです。顕在意識では分からないかもしれませんが、あなたの魂はそのことを知っています。

もしあなたが今の境遇から抜け出したいなら、私の本を何度も読み理解を深めてください。本の中に、色々なヒントが書かれてあります。そのヒントを参考に、人生を変えてください。どのように変えるかは、私の本をヒントにしてあなた自身が考えてください。私の本を良く読めば、きっと分かると思います。二〇一三・一〇・二八

神の実態を知る

何事も科学的に考えてください。神棚はただの木で作られた物質です。そんな物の中に、神がおられるわけがありません。ですから、神棚に手を合わせても何の意味もないのです。

私たちは意識を持っています。この意識こそ、神なのです。知花先生が自分の中の神を礼拝しなさいとい

うのは、私たちの意識が肉体の中に存在するからです。意識は神の別名なのです。全人類が意識を持っているわけですから、全人類が神の子であるということです。その神は一樣しかおられませんので、すべての人間は同じ神の子であるということです。だから宗教によって神が違うのはおかしいのです。

あなたは今意識を持っていますね。ということは、あなたの中に間違いなく神がおられるということです。ただ肉体を自分だと思いいていた観念が、神を見失わせていただけです。

あなたは間違いなく、神です。私も、間違いなく神です。いや万象万物すべて神なのです。なぜなら、神の意識がすべての物の中に存在しているからです。神は神秘的な存在ではありません。手よりも足よりも身近な存在です。

「人類の夜明3・・真実はひとつ」の中に神について書いてありますので、良く読んでください。特に、「神の独り言」の中に詳しく書いてありますので、良く読んでください。世の人々は神の名前の取り合いをして争っています。神は、この宇宙に一樣しかおられないのです。一樣の神が様々な形を取っているだけです。だから、すべてが神なのです。だから、神の名に囚われないでください。神はエネルギーです。生命です。意識そのものです。この大宇宙を動かしている力です。どうか、神の実態を知ってください。二〇一三・

人間は宇宙の縮図

あなたは誤解しています。あなたの心臓は、ペースメーカーが動かしているものではありません。機械が一定のパルスを送り、脈動を助けているだけです。あなたの心臓は、宇宙の心臓と繋がっているのです。その証拠に、死んだ幽界人の心臓も動いております。私は、死んだ妻の心臓の鼓動を知っております。あなたの心臓は、肉体の心臓だけではないのです。

宇宙そのものが鼓動しているのです。その鼓動は原子一つ一つの中でも、幽体の中でも、肉体の中でも動いているのです。あなたそのものが、宇宙であるという意味です。人間は宇宙の縮図なのです。これは体験した者でなくては解りませんので、信じてもらおうしかありません。

肉体を持って生きている限り、自然の法則から逃れられませんから、病気になっても仕方がないのです。誰でもいつか病に倒れ、死ぬのです。でもその病気から何を得たか、何を気付かされたか、それが大切なのです。もしあなたが心臓病になっていなかったら、真理を追究する気持ちにならなかったかもしれないかもしれません。あなたは真理を追究するために、わざわざそのような病気になる計画を立て生まれてきたのかも知れないのです。人生の目的は、本当の自分を知るためです。本当の自分を知ろうとしている人は、どんなに病氣

になっただけでも健康な人なのです。真理を知ろうとしない人は、どんなに健康でも不健康な人なのです。真理は、語れば語るほど疑問も誤解も生まれるものです。真理は文字や言葉で伝えられないからです。真理は単純ながら、奥深さがあるのです。くれぐれも誤解のないよう注意してください。二〇一三・一二・二

宇宙も鼓動をしている

あなたの心臓は死んだわけではありません。機能が低下しただけです。今ペースメーカーを外しても動くはずで、その心臓を動かしているのは何だと思えますか。宇宙の心臓なのです。もし宇宙の心臓の働きから切り離されたら、どんなに強力なペースメーカーをつけても、あなたの心臓は止まってしまうのです。あなたの寿命は、自然法則を超えたところでコントロールされています。たしかに、自然法則によって物質の働きは左右されています。でもそれを超越した命の働きがあります。

あなたが若い時から心臓病を患ってきたのは、あなたの過去生における原因と、今生における意識の持ち方が原因です。どんな病も、みな意味あつてなっているのです。それを人は業と呼びます。でも私は、それを悪いことだと思いません。なぜなら、どんな悪的な業も、すべて悟りの糧になっているからです。病

気があるから、気付けるのです。苦しみがあるから、発見できるのです。平々凡々の人生では、何の疑問も持たないまま一生を終えてしまうでしょう。それでは、生まれてきた意味がないのです。

今あなたがペースメーカーをつけ生きているのは、生きるべき意味があるからです。臓器移植によって生き永らえている人達も、生きるべき意味があるからです。私が現代医療を否定しないのは、医療技術が魂の成長にいろいろな意味で貢献しているからです。二〇一三・一二・二四

第4集(二〇一四年)

自分の宇宙をしっかりと管理しよう！

私たちは、みなそれぞれ自分の宇宙を持っております。その宇宙の管理者は、自分自身です。平安な宇宙にするか、苦しい宇宙にするかは、自分の宇宙をどう管理するかで決まるのです。では、どのように管理すれば苦しみが生まれませんか考えてみましょう。

あなたも気付いたように、あなたが人に騙されたということは、あなたが以前同じようなことを人にやっていたということです。原因と結果の法則は絶対的法則ですから、これは間違いありません。あなたがそれに気付く心から反省すれば、騙されたことによって原因は消えたわけですから、二度とそのような騙しに合うことは無いでしょう。もし、騙されたことを恨んだり憎んだり怒ったりしたら、業の上乗せをしたわけですから、また同じ目に合うでしょう。ですから騙されたことを損と思わないで、勉強代だと思ってください。騙した人を恨むのではなく、気付かせてくれた恩人だと思って感謝しましょう。人を憎めば、自分の宇宙を汚すことになるのですから、それは自分の宇宙の管理が下手だったことになります。恨みも憎しみも怒りも、自分の宇宙を汚します。汚した分、自分の身に振りかかってくるのが法則ですから、不幸になるのは当然なのです。自分の宇宙を汚さないでください。食べ物を出されても、食べなければ腹を壊すことはないのです。食べるか食べないかは自由意志ですから、悪い食べ物は食べないことです。それが、自分の宇宙を管理するコツです。

この宇宙には様々な幻が漂っており、否応なしに自分の宇宙に入ってこようとします。でも、その幻を自分の宇宙に入れるか入れないかは、自分の自由意志で出来るのです。嫌なものを入れるから、自分の宇宙を汚すのです。自分の宇宙を清くするか汚すかは、自分次第なのです。つまり、良く受け取るか、悪く受け取

るか、無視するか、受け入れるかは、自分の意志次第なのです。

今の不幸は、すべて過去生の償いだと思ってください。今のあなたの不幸は、あなたを真理に結びつけるための守護霊の策略かもしれないのです。もし平々凡々の人生なら、何の疑問も持たないまま、一生を終えていたかもしれないのです。今生真理に出会えたのは、不幸な人生のおかげだと思ってください。そのように良く受け取れば、自分の宇宙を明るくすることができるのです。

私がいつも、「過去を生きた過去にするか、無駄な過去にするかは、今どう生きるかで決まるのですよ！」と言います。あなたが、もし今真理を求めようと思っているなら、過去において真理を学んでいた結果ですから、それは生きた過去になるのです。今真理に目を叛けているなら、過去において真理を学んでいなかった結果ですから、それは無駄な過去になるのです。生きた過去にするためにも、どうか真理を求め続けてください。

この世の物はみな消えて無くなる幻です。でも真理は永遠に無くならない宝物です。あなたは、永遠の宝物を得るために生まれてきたのですから、いつまでもこの世の物に執着しないでください。日々生きられるだけのお金があれば良いのですから・・・。

本当のあなたは、永遠不滅の生命です。その生命を自分として生きてください。二〇一四・一・九

何が幸せなのか？

あなたは、何を見て金持ちは幸せで、無い者は不幸せだと思っているのですか？それは物質的豊かさを見て、そう思っているのではありませんか？本当に、お金や物を多く持っている人が幸せなのでしょう？

世の中には沢山お金を持っているために、かえって苦しんでいる人たちが沢山おられます。

お金を持っていなくても、幸せな人もおられます。私の知人で大金持ちがおられますが、いつも家族間でケンカが絶えず、また病人も出ており、としても幸せとは思えません。私などは、お金を持っていなくても誰よりも幸せです。私は、世界中で一番幸せだと思っています。それは心が平安だからです。

幸せって、心が決めるもので、お金や物の多寡が決めるものではありません。どうか幸せについて、研究してみてください。私のメッセージの中に、幸せについて書いてある箇所がありますので、読んでください。

きつと納得されるはずですよ。 二〇一四・二・二八

肉体保持は方便

あなたは、人間は死ぬものと思っただけですが、死ぬのは肉体だけで、本当のあなたは死なないので。このことは本の中に書いてあります。あなたはその所をまだ読んでいないのですね。「人類の夜明2・

3」の中で、人間の本性は生命である、と詳しく書いてありますので読んでください。私たちは、そのことを知るために生まれてきたのです。人生の目的は、本当の自分を知るためです。本当の自分を知るためには、肉体維持が必要なので、学校へ通い、仕事をして、生活の糧を得ているのです。でもそれは、あくまでも肉体を維持するための方便で、目的ではないのです。人生の目的は、あくまでも本当の自分を知ることです。私たちは、肉体ではなく生命なのです。これは、私が実際に体験していることです。だから、間違いありません。私は嘘を付いているわけではありません。体験した事実を語っているのです。

人生の目的を果たすためにも、ぜひ私の書いた本を読んでください。二〇一四・三・三

この世は幻

幽界は幻の世界としてはあります。私たちが今生きているこの物質世界も幻の世界です。なぜなら、形ある物はみな消えて無くなる幻だからです。あなたの肉体も、親兄弟の肉体も、地球でさえも、いつか必ず消えて無くなります。だから、形ある世界はみな幻だと言うのです。でも私たちの意識は、永遠に無くなりません。それが本当の私たちです。その永遠に無くならない意識のことを、私は生命と呼んでいるのです。このことは、今の社会では受け入れられておりません。科学者は、脳が意識を生み出していると考えているからです。あなたが科学者の言っている事が本当と思うなら、これ以上お話ししても無駄です。でも、私の言っていることが本当と思うなら、どうか私の本を読んで勉強してください。

私の本を読んでいただけたら、この世のどんな出来事も、みな消えて無くなる幻であることが理解していただけると思います。あなたの肉体も無くなります。あなたの家も無くなります。三十年もたてば、故郷の街並みも姿を変えます。山も川もいつか姿を変えます。地球だって、いつか必ずなくなります。無くなるのは、この世は本当に有る世界ではないからです。ということは、幻だということです。

この世の出来事が幻なら、そんな幻に心を痛めては損ではありませんか？ なぜなら、心を痛めれば肉体

までも痛めてしまうからです。世の中には、この世の事に心を痛め自殺している人がおられますが、それはテレビドラマを見て心を痛め自殺しているようなものです。そんな愚か人が、世の中には沢山いるのです。心の底で真理を知ったら、そんな愚かなことはしなくなります。あなたも心の底で真理を知ったら、もうこの世の事に悩まなくなるでしょう。だから私は、真理を心の底で知って欲しいと願うのです。

あなたの宇宙(心)の管理者は、あなた自身です。幸せな宇宙にするか、不幸せな宇宙にするかは、あなたの自由意思でできるのです。嫌なことを自分の宇宙(心)に入れないことです。

楽しくなることだけ自分の宇宙(心)に入れてください。その人は、宇宙(心)の管理の上手な人です。そのよ
うな人のことを、賢人というのです。

外側のどんな出来事も、みな幻です。そんな幻を自分の屋敷(宇宙・心)に入れて、自分の屋敷を汚さない
てください。どうか、自分の心の管理を上手にしてください。賢人になってください。そのためには、真理
を熟知することです。どうか私の書いてある真理を、納得できるまで読んでください。二〇一四・四・四

人の人生を羨んではならない！

あなたは、不細工に生まれ自分のことを不幸だと思っているようですが、それはあなたが望んでそのような肉体を持ったのです。なぜなら、容姿端麗で幸せな家庭に生まれては、人生に疑問を持つことができないからです。人生の目的は、結婚することでも、子供を産むことでも、良い家庭を持つことでも、良い仕事をすることでも、お金持ちになることでもありません。そんなモノはこの世限りのモノで、肉体を脱いだから置いてゆかねばならない虚しいモノです。でも魂は、永遠に持ち続けるモノです。死ねば無くなるこの世のモノを追い求めるか、それとも永遠に無くならない真理を求めるかは、利口な人なら分かるはずです。あなたの魂は、そのことを知っていて、厳しい環境を選んできたのです。ということは、あなたの魂はそれだけ熟した魂だということです。多くの人は、この世の一時の幸せを追い求め、永遠のために生きておりません。彼らはあの世に帰って、きつと地団駄を踏むことでしょう。あなたはそのような人になってはなりません。早く死んであの世に帰りたいなどと思わないでください。なぜなら、まだこの世で学ばねばならないことが沢山あるからです。学ばねばならない事とは、人生の目的を知ることです。つまり、本当の自分を知ることです。知ったら、自分を変えることです。自分を変えるには、この世の様々な体験が必要なのです。

この学びは、本を読んで解決できる問題ではありません。一生をかけて学ばねばならない大問題です。二〇一四・四・二五

何事も良く受け取る

前世で罪を犯していない人など、一人もおりません。罪を犯していたから、みな生まれてきたのです。天皇様もそうです。総理大臣もそうです。イエス様やお釈迦様だってそうだったのです。私もそうです。ただ、その罪をどれだけ無くして帰るかが重要なのです。

あなたは、何でも悪く受け取る癖がありますが、その癖も罪なのです。どうかその悪癖を直してください。どんなに前世罪を犯していても、それに気づき直して行けば罪は消えてしまうのです。だから私は、反省が必要だと言うのです。人類の夜明2の「自分を変える瞑想」の中に、反省の仕方が書いてありますから、ぜひ読んでください。

神は決して越えられない苦しみは与えません。今あなたに苦しみを与えられているとしたら、その苦しみを超えられる魂の持ち主だと神が判断したからです。ならば、神の期待に応えようではありませんか。

あなたの想念が、あなたの人生を決めるのです。想念は実現の母だからです。だから何事も良く受け取ってください。どんな苦しみも、みな自分の魂の糧になっていると良く受け取り、無理せず与えられた課題を克服してください。幸せは自分の想念が持ってくるのです。良い想念を持てば幸せが・・・悪い想念を持てば不幸が・・・あなたは今日まで、自分の境遇を嘆き、ネガティブに生きてきたから苦しんできたのです。どんなに苦しい境遇に生まれても、その境遇を逆手にとつて自分を成長させれば、黒石を白石に置き換えられるのです。世の中には、そのように生きている人達が沢山あります。あなただけに与えられた苦しい境遇ではないのです。私の境遇は、あなたより悪かったです。でも私は、それを乗り越えたのです。だから私は、あなたにも乗り越えてもらいたいと願うのです。

人生は、お金持ちになることでも、結婚して良い家庭を築くことでもありません。自分の心を平安にするコツを学ぶことです。私の本にそのコツが書いてありますから読んでください。どうか一生のバイブルとして、身近に置いて愛読してください。何度も読んでいけば、段々と意味の深さが分かってきます。どうか明るく、元気に、何ごとも良く受け取り、日々生きてください。ご健闘を祈っております。

「自分のできることを、マイペースでやっていけばいいんだよ！ 何も他人と比べて焦ることなど無いんだから！」その通りです。マイペースでやってください。二〇一四・五・一九

汚れは実際に有るものではない！

確かに反省は必要です。でも反省して暗い気持ちになるくらいだったら、しないことです。

それより神を想うことです。壁に付けた汚れは、取る必要はないのです。なぜなら、そんな汚れは実際には無いからです。自分の迷いが付けた、迷いの汚れだからです。実際に有るものなら、削り取らなくてはなりません。そんな汚れは実際には無いのですから、放っておくことです。放っておけば自然と消えてゆきます。神の想いを上からかぶせれば、汚れは自然と消えてゆくのです。汚れを気にするのは、汚れに囚われているからです。汚れを認めているということ。認めれば、エネルギーを与えることになりますから、汚れはいつまでも消えないのです。

汚れは放っておき、神を想い続けることです。私が常に神を想いなさいというのは、神を想えば壁に付けた汚れは自然と消えてゆくからです。あなたは神なのですから、本来のあなたは汚れるわけではないのです。人間を忘れてください。自分は神である、と常に思ってください。

暗い想いを持たないでください。何事もポジティブに考えてください。心配の思いが良くないのです。恐怖の思いが良くないのです。憎しみの思いが良くないのです。怒りの思いが良くないのです。要するに、ネ

ガティブな思いは汚れなのです。心を汚すからあなたは苦しむのです。

良い思いを持ちましょう。ポジティブな思いを持ちましょう。どんなことがあっても、決して心を汚さないことです。二〇一四・六・七

あなたの席は用意されている

あなたは、この宇宙において掛け替えのない存在です。あなたには、あなたしかできない尊い役割があるのです。だからこの地球には、あなたの席がちゃんと用意されているのです。これはあなただけではありません。地球上には沢山の人類がいるわけですから、その人たちの席も用意されているのはいまでもありません。ということは、今地球上には七〇億人の人がいるわけですから、七〇億人の席が用意されているということです。その席は、その人たち一人一人に与えられた席ですから、他の人がその席に座ることはできません。だから当然自分も、人の席に座ることはできません。みなそれぞれ個性に基づいた役割が与えられているのですから、人の席を占領し役割を奪ってはならないということです。なぜなら、人の席を占領すれば、その席の人の学びの材料を奪うと同時に、自分の学びにも負担をかけてしまうからです。欲張る必要はあり

ません。与えられた自分の使命を、その席で精いっぱいこなしたらいいのです。決して背伸びをしないことです。また他人の役割の邪魔もしないことです。それが宇宙における役割分担という秩序です。こういう例えが有ります。

バスの予約をしたくて電話をかけたとします。もしその時電話が話し中なら、それは今予約してはならない時です。その時は、時間を改めてすることです。次に電話をかけて席が取れたら、それが自分に与えられた正規の席です。そのようにして得た席の周りの人たちは、当面お付き合いしなければならない縁ある人たちです。どうかその縁ある人たちと、仲睦まじくお付き合いしてください。そうすれば、間違いなくあなたの役割を果たすことができます。

この表現の世界において役割を全うするのは、容易なことではないのです。皆それぞれ立場が違うわけですから、全うできることの方が不思議なくらいです。ですから人と衝突することもあるでしょう。何が良くて何が良くないか、分からないこともあるでしょう。でもその迷いが、あなたを大きく成長させてくれるのですから、その迷いは決して悪いことではないのです。いいのです。神は全て良きように計らってくれるのですから・・・。神を信じてください。どんなことの中にも成長の種があることを知ってください。覚者でさえ、裁判沙汰を起すくらいこの世は厳しいのですから、あなたが迷うのも無理はないのです。ですから、

自分を決して卑下しないでください。二〇一四・七・一六

勇氣ある魂

真理を勉強しながら苦しんでいるあなたに同情いたします。でもそれほど苦しいのは、真理を心の底で知っていないからです。良く考えてみてください。あなたは何のために生まれてきたのですか？結婚し子供を産むためですか？この世で幸せになるためですか？本当の自分を知るためではありませんか。この世のことは、この世限りで終わってしまうのです。あなたが肉体を脱いだら、その時点で夫とも子供とも縁が切れてしまうのです。すべて肉体ある間のドラマです。ですから、夫にも、子供にも、執着を持つてはいけません。どうせ、この世限りの相手にしか過ぎないのですから……。

人生の目的は、本当の自分を知ることなのです。本当の自分を知れば、どんな苦しみも吹き飛んでしまいます。そうはいっても・・・とあなたはおっしゃるでしょう。そうです。本当の自分を知ることほど難しいことはありません。といって、今の自分の境遇に悩んでいても仕方がないではありませんか。やるしかないのです。真理を学ぶしか解決の道はないのです。どうか、私の本を最後の最後まで読んでください。それも

何度も何度も読んでください。

人生をこのように考えてください。

神はすべて良きようにしてくれています。今のあなたの苦しみは、決して無駄になっていないのです。もし幸せいっぱいの人生を歩んでいたら、私の本を読まなかったでしょう。人生に疑問を持たなかったでしょう。それであなたの魂は成長できたでしょうか？ イエス様はいわれました。「苦しむ者は幸いなり、その者は神の国を観るであろう」と・・・そうです。幸せな人は真理を探究しようなどと思いません。今生あなたがそのような苦しい人生を選んだのは、自分で計画してきたことなのです。そのような環境に自分を追い込まなければ、真理を探究しようと思わないからです。ということは、あなたは過去生において相当深い真理を勉強していたということです。

自分の勇氣ある魂に感謝してください。自分を褒めてあげてください。すべて自分の魂の成長の為である、と良いように考えることです。そう思えば、苦しみも半減するでしょう。実際そうなのですから・・・。さあ人生を前向きにとらえ、自分の魂を大きくすることにこれからの人生を使ってください。ご健闘をお祈りします。二〇一四・八・二四

魂のレベルを考え付き合うこと

私がどんなに慰めの言葉を送っても、何の解決にもなりません。それは、あなたの宇宙の管理人はあなただからです。あなたを幸せにするのは、あなたの心の管理次第なのです。どのように考えるかだけです。といっても、痛い痒い寒い暑いと感じる肉体を持っていては、そのような気持ちになれないかも知れません。それは私もよく分かります。でも、ネガティブな思いを持って一日を過ごしても、自分が惨めになるだけです。あなたを助けるのは、あなた自身です。どのように考えるかです。

あなたは、あなたの知人と比べようのないくらい、高い魂の持ち主です。なぜなら、私の本が理解できる魂だからです。そんな高い魂の持ち主が、どうして低い魂の人と競い苦しむのですか。やんちゃな子供と同じように付き合っていてどうするのですか。相手は幼い子供なのですから、許してあげることです。そんな子供と諍い起こす時間があるなら、自分を高めることに時間を使ってください。子供との付き合いは、肉体ある間だけです。でも自分の魂との付き合いは、永遠なのですよ……。利口な人は、永遠に無くならないもの為に生きようとしています。あなたの知人とのお付き合いも、この世限りのお付き合いなのですよ。

熟した魂なら、熟した魂の生き方をしてください。そのために、あなたは生まれてきたのですから……。

腹が立つのは、同じ魂の目線で相手を見るからです。浮気した夫も、相手の女性も、幼い子供達なのです。どうか許してあげてください。あなたの人生は、そんな所でかまけてはいけません。やるべきことがあるじゃありませんか・・・？ 自分の魂を成長させるといふ仕事か・・・。何だかんだと言っているも、すぐにこの世を去る時がくるのですよ。人生なんてあつという間です。どうか、逝くときに悔いを残さないよう有意義な人生を送ってください。さあ、魂のレベルを考え人と付き合ってください。

あなたがネガティブな気持ちになるのは、あなたのネガティブな波動と同じ波動が同調し増幅させるからです。それはあなたの責任です。明るくポジティブな気持ちになったら、そんな波動は同調してこなくなります。そうなるためには、常に神を想うことです。あなたの中には神がおられるのです。生命がおられるのです。あなたが神なのは間違いないのです。ただ、神だと思えないだけです。生命だと思えないだけです。想えなくても間違いなくあなたは神なのです。この世に肉体を持って学んでいる、未自覚の神なのです。もし自覚が持てたら、今の自分に大笑いすることでしょう。私は何をやっていたのかと・・・。

私の本を何度も読み返し、人生の目的をしっかりと掴んでください。あなたの心に光が差すことを祈っております。二〇一四・九・一五

過去は変えられる

神の愛に嘘はありません。この宇宙は実に平等に創られています。この宇宙に一方通行は無いのです。与えれば、与え返されます。奪えば、奪い返されます。与えなくて与え返されることはありません。奪わなくて奪い返されることはありません。ですから、決して悪い想いを発信しないことです。発信すれば苦しむのは自分自身です。出すなら、良い想いを出しましょう。

あなたのこの度の人生を、良くとらえてください。苦しい体験は、あなたの魂を成長させているのです。「禍福は糾える縄の如し」といわれるように、良い事と悪い事は交互に訪れ、それに気付いた人だけが成長できるようになっていなのです。それが神の愛の計らいなのです。どうか、あなたの人生を輝ける人生に変えてください。それは、あなたの今の生き方次第で変えられるのです。あなたは、過去は変えられないと思っているかもしれませんが、過去は変えられるのです。例えば、あなたが過去の体験から、今の自分の生き方を正したとすれば、それは過去を変えたことになるのです。なぜなら、過去の苦しい体験によって、今正しく生きられるようになったからです。ということは、その過去はもう悪い過去ではなくなったということです。つまり、自分の過ちを教えてくれた悪い過去が、自分を成長させてくれたわけですから、その過去は

良い過去に変わったということです。今まだ人を恨み憎み自分を苦しめているなら、過去から何も学んでいないわけですから、その過去は悲惨な過去で終わってしまうのです。だから、今の生き方が大切になってくるのです。

今を正しく生きてください。それは良く受け取ればできるのです。こう思ってください。あなたを苦しめた相手は、自分を成長させるために嫌な役を引き受けてくれた恩人だと・・・。一方通行は無いということは、自分も相手に悪いことをしていたということです。原因がなければ結果は無いわけですから、そのような論理が成り立つのです。ですから反省が必要になってくるのです。

私の本の中に反省について書いてありますから、ぜひ読んでください。それが納得できれば、一方通行は無いという意味も分かって頂けると思います。どうかもう一度、自分の人生を見つめ直してください。肉体はすぐに消えてしまいますが、生命の自分は永遠なのです。どちらの自分に生きれば賢いかは、あなたなら分かって頂けると思います。ぜひ真理を学び、自分を成長させてください。二〇一四・九・二八

人間の子はいない！

あなたの子供は、あなたの子供ではありません。神の子です。人間が人間を産むことは無いのです。結果体が結果体を生むことは無いからです。結果は原因が生むのです。神は原因者です。その神が、あなたの子を産んだのです。あなたの子は、神様から預かっている大切な神の子なのですから、神の子として育ててやってください。神の子「誰々ちゃん」と、呼んであげてください。

たとえ憎まれ口を言っても、決して怒らないことです。「あなたは神の子なのですよ！」と優しく言っただげてください。これは、今の地球においては、ものすごく難しいことかもしれませんが、周りの人達は、皆人間だと思って生きていますからね……。でも、今あなたのやれることを精一杯してあげてください。神は全能ですから、真剣にそのように育てていければ、神の子であるあなたの子に想いが通じると思います。前にも言ったように、すべてに意味が有るのです。あなたの目に悪く映っているどんな事も、みな進化に必要な事ばかりなのです。これはなかなか信じられないかもしれませんが、私は体験上間違いないと言えるのです。どうか神を信じてください。その成果は、向こうに帰ったとき分かるでしょう。

あなたの中におられる神に、日々このように祈ってください。「世のため、人のため、我が子のために私

を使ってください。」と……。真剣に祈れば必ず叶います。どうか、神を信じ神のために生きてください。

二〇一四・一〇・五

自分の宇宙観を変えよう！

今あなたに言えることは、どんな悩みも苦しみも、みなあなたの魂の成長の糧になっているということですよ。例え、今雷に打たれても、隕石に打たれても、みな魂の成長の糧になっているのです。完全な神が、味の無い体験をさせることは無いからです。このことは、あなたの顕在意識は知らなくても、魂は知っているのです。魂は苦しみや悲しみを通して成長しようとしているのです。だから、あなたは苦しんでも魂は喜んでいるのです。今は分からないでしょうが、必ず分かってもらえる時が来ます。どうか神を信じてください。どんな真理を語っても、頭の中で終わってしまう今のあなたには、信じてもらうしかありません。これ以上言葉が見つかりません。

強くなってください。今の環境に負けないでください。どんな苦しみも悲しみも、自分を強くするために与えられた試練だと思ってください。苦しめば苦しむほど自分が大きくなれるのだと思ってください。事実

そうなのですから……。あなたの目には見えなくても、私の目にはそれが見えるのです。

この宇宙は、何事も理解力によって進展して行くように出来ています。もしあなたが真理を深く追及し、今以上の理解力が身につけば、人生観も世界観も宇宙観も変わってきます。そうなれば、当然苦しみも少なくなってきます。このことを理解してもらうこと自体、今のあなたには難しいかも知れません。ですから、今は信じてもらうしかありません。でもいつか、私の言っていることが解る時が来ます。いずれにしても人生の目的は、本当の自分に目覚めることです。でもそれは、簡単にできるものではないのです。私たちが何万転生もしてきたのも、真理の道はイバラで細い道だからです。私の本を何度か読み返し、あなたの理解力を深めてください。そして、今の自分の境遇に振り回されない自分を確立してください。そのためには真理を深めることが必要なのです。

落ち込んだ時、何のために生まれてきたのか考えてください。「幻の世界に惑わされるために生まれてきたわけではない！」そう自分に言い聞かせてください。二〇一四・一〇・一三

自分を許し相手も許そう！

あなたが思っているほど、その青年はあなたのことを悪く思っていない。心から謝るのです。謝ったら、自分を許してください。また相手も許してください。あなたは自分を許さないという罪を犯して、今苦しんでいるのです。自分で自分を苦しめているということです。勇気を持って相手を許し自分を許しましょう。

「許し」という曲を見てください。罪は、あなたが罪を認め、心から反省した時、消えてなくなるのです。過去のことは終わったのです。今正しく生きれば、過去を正しく塗り替えられるのです。過去にとらわれている限り、罪を掴んだままでいるのですから、いつまでも罪から開放されることはありません。「二度と過ちを犯しません！」と心に誓った時点で罪は消えたのですから、もう自分を許すことです。さあ、心から青年に謝りましょう。謝ったら、スパッと忘れることです。

明るく、明るく、前向きに、決して悪く受け取らず、神を想い、光を想い、ポジティブに生きてください。あなたは神の子なのですから……。自分が神であることを思い出すために生まれてきたのですから……。ネガティブになったら、「私は負けない」の応援歌を口ずさんでください。

原因と結果の法則を知ってください。あなたが考えていることは原因です。現れた苦しいことは結果です。

あなたがネガティブなことを考えていると、必ず苦しい結果が生まれてくるのです。それは、あなたの想念が悪いからです。どうか、思いの恐ろしさを知ってください。常に神を想っていれば、悪いことを思わないですみます。神は良い原因ですから、神を想っていれば、良い結果が生まれてくるのです。自分の想念をよく管理してください。二〇一四・一一・二五

神に意識を向けよう！

あなたは、まだ神の愛の深さが分かっていないようです。今この世の幸せに酔っている人たちは、幸せだと思いませんか？ その人たちは、神の方へ意識を向けないまま一生を終えてしまうのですよ！ それでは魂は成長しないのです。あなたは、神の方へ意識を向けたのです。今この世の幸せに酔っている人たちは、神の方へ意識を向けないのです。どちらの人が幸せだと思いますか？ あなたは、今の肉体の幸せが欲しいのですか？ それとも魂の幸せが欲しいのですか？ どんなに肉体の幸せを得ても、肉体あるかぎりの幸せなのですよ。でも魂の幸せは、永遠の幸せなのです。本当のあなたは肉体ではなく、肉体に入っている魂なのですよ。まだあなたは、本当の自分が理解できていないようです。

今この世の幸せに酔っている人も、來世どんな苦しい境遇に生まれてくるか分からないのですよ。あなたは目先のことしか見えていないのです。どうか、永遠に目を向けるようにしましょう。肉体は今生限りですが、あなたの魂は永遠なのですから・・・。

今の今を正しく生きることです。今の今を正しく生きるとは、神に意識を向けることです。「吾神なり！生命なり！」と想い続けることです。良いことを思い、良いことを口にし、善い行いをするということです。決してネガティブな想いを持たないことです。そうすれば、過去のカルマは消えてゆきます。

あなたはメールにネガティブなことを書きましたが、その時点でカルマを作っているのです。そんな愚かなことは止めましょう。ネガティブなことを想えば、ネガティブなことが帰ってくるのです。良いことを想えば、良いことが帰ってくるのです。甘えないでください。自分に厳しくなってください。私にできることは、ここまでです。あとは、あなたがどこまで真剣に自分の人生を変えるかです。ぜひ、自分の人生を自分の力で変えてください。二〇一四・一一・二九

サタンに負けている人へ送る勇気づけの言葉

皆な神の子です。神の子でない人は一人もいないのです。ということは、あなたと私は兄弟姉妹だということですよ。兄弟姉妹だから、放っておけないのです。

想念は自由です。何でも想えるのです。それは私たちが神の子で、自由意志を持っているからです。その自由な想念を良く使えば幸せに、悪く使えば不幸せに・・・使い方次第なのです。今のあなたには、良く使う気分になれないかもしれませんが、あなたを惑わすニセモノの自分に負けなくてください。強い強い気持ちを持って、ネガティブな想いを退けてください。

どうか、神を想ってください。神を思い続けられ、悪い波動は入ってきません

明るく、明るく、朗らかに・・・

何事も良く受け取り・・・

神を想い、光を想い、日々生活してください。

「光のメロディー集」の中の、「私は負けない」を見てください。これは、あなたへの応援歌です。また、私の本やブログも見てください。サタンに負けないで、ぜひ見てください。

あなたは、光の世界へ帰るために、厳しい環境の中に生まれてきたのです。それは自分自身で決めてきたことです。それだけ、あなたの魂は偉大な魂だということです。

あなたは、チツポケな無能な人間ではないのです。大なる神なのです。偉大な生命なのです。偉大な宇宙なのです。偉大な魂なのです。肉体を見て、自分を小さなものにしなさい。あなたは無限大の存在なのですから……。どうか、あなたを変えられるのは、あなた自身であることを知ってください。二〇一四・一一・一一

あなたに捧げる処方箋

あなたに、苦境から抜け出す処方箋を送ります。勇気を持ってやれば、必ず苦しい境遇から抜け出すことが出来ます。

誰もあなたを助けてはくれません。なぜなら、あなたの宇宙の管理は、あなたしか出来ないからです。あなたは、あなたの宇宙の主なのです。

では、処方箋を伝えます。

一、時間の許す限り「神を想い続けること」

「吾神なり！」 「吾光なり！」

このマントラを想い続けてください。

二、少しずつで良いですから、身体を動かすことを始めてください。少し動かせるようになったら、ジョギングや早歩きを初めてください。後は、家の中を掃除するとか、窓ふきをするとか、要するに体を動かしてください。汗をかくことです。汗をかけば、体内から悪い波動が出ていきます。最終的に、マラソンするくらいになったら最高です。

三、社会に出てください。ボランティアをするのも良いでしょう。勿論、働くのが一番です。

四、前にも言ったように、よく噛んで食べることです。噛んで食べれば、余り食べなくてもお腹が膨れます。そうすれば、痩せます。脾臓が発達してきますので、宇宙エネルギーが入ってきます。そうすると、暗いエネルギーに侵されなくなります。

以上処方箋を授けます。強い意志を持って是非挑戦してみてください。何もなかったら、何も良くなりません。良い原因を作らなくて、良い結果が生まれないのは、宇宙の法則です。これはあくまでも自力で

す。強い自分になってください。あなたは神の子です。光の子です。天から降りてきた、光の天使です。光の天使には、使命があるのです。地球のため、人類のためにやる使命が・・・。

まずは、できることから初めてください。きっとできます。あなたは神の子なのですから・・・。あなたと同じ環境にある人に贈った言葉を、あなたにも贈ります。

「苦しいのは、あなただけではありません。みな、苦しい人生を乗り越えようと頑張っているのです。人間は誰もが、裏と表を体験し成長するようになっていくのです。あなたは、過去世で幸せな人生を送っていた時もあったのです。今幸せに生きている人も、過去世で辛い人生を送っていた時もあったのです。みな浮き沈みを繰り返しながら、成長してゆくのです。人間は苦楽を体験しなければ、成長できないのです。」

このような話をするのは、あなたは私であり、私はあなただからです。つまり、同じ生命の子同士だから黙って見ていられないのです。あなたと私は、同じ生命から生まれた兄弟姉妹なのです。このことはすぐに信じられないかもしれませんが、真理を追究して行けば必ず信じられる時が来ます。このようなことが言えるのも、私が体験者だからです。この度の厳しい人生は、自分が望んだものとポジティブに受け取ってください。もし楽な人生なら、何の疑問を持たず一生を過ごしてしまうでしょう。それでは成長できません。その点から言っても、あなたの今生の人生は価値ある人生です。

今のあなたが一番の敵は、あなたの心の中に巣くっているネガティブな想いです。それをサタンと呼びます。そのサタンに、打ち勝たなくてはなりません。そのためには、自分に厳しくなることです。甘えないことです。甘えても誰も助けてはくれません。神の愛は、峻厳です。厳しいからこそ、成長できるのです。

私の本を何度も読んでください。理解できなくても諦めず、何度も読み返してください。読むことで理解できるようになれば、自分の中に巣くっているネガティブな想いは去ってゆきます。現状を変えるには、真理を知ることです。真理を知れば、あなたの考えは、ネガティブな考えから、ポジティブな考えに変わります。そうなれば、気持ちが晴れやかになり、行動も積極的になります。当然、環境も変わります。その時はじめて、今までの人生に意味のあったことに気付きます。そうなれば、周りの人たちに感謝できるようになるでしょう。

繰り返します。この度の苦難の人生は、あなたを成長させるために与えられた神様からの贈り物だと、ポジティブに受け取ってください。ポジティブに受け取れば、嫌な人はいなくなります。苦しみも、苦しみで無くなります。鬱など、どこかに吹き飛んでしまいます。どうか逃げ腰にならないでください。逃げていては、また来世同じ苦しみを体験しなくてはなりません。さあ、自分を成長させて帰りましょう。

(注意)

あなたの鬱の想いは、本当のあなたの想いではありません。あなたのネガティブな想いに、周りのネガティブな波動が同調して増幅し、そのような鬱的想いになっていくだけです。鬱的な想いになるのは、これまでのあなたの人生の厳しさが原因でしょうが、でもそれを人のせいにしては、あなたは成長できません。どうか強い意志で、凶を吉に変えてください。

あなたが否定的な想いになるのは、サタンにやられていたためです。そのことに気付いてください。サタンは弱い自分の心の中に住んでいる、もう一人の自分です。そんな偽物の自分に負けてはなりません。強い自分になってください。そのためには、どんなことも良く受け取り、決して人のせいにならないことです。あなたをいじめた人も、あなたを苦しめた人も、あなたを成長させるために嫌な役を買って出してくれた恩人だと思ってください。そのように思えば感謝こそすれ、憎むことは無くなります。苦しみを単なる苦しみで終わらせるのか、それとも苦しみから学び価値ある人生にするかは、あなたの考え次第なのです。あなた心の中には、サタンもいるけれど天使もいるのです。どちらに支配されるかは、あなた次第なのです。もう一度言います。どんなことも良く受け取ってください。どうしても気が沈んだ時には、神を想ってください。光を想ってください。さらに次のような想いを持ってください。

「ありがたい！ ありがとう！ の感謝の心。 嬉しい！ 楽しい！ の喜びの心。 成せばなるぞ！ の希望の心。 やってやるぞ！ の闘志の心。 凄い！ 素晴らしい！ の感動の心。 前進！ 邁進！ のひるまぬ心。 わはは！ あはは！ の笑いの心。」 気落ちした時、この言葉を思い出してください。 きっと明るくなるでしょう。 二〇一四・一一・五

処方箋の追加

あなたはまだサタンにやられているようですから、サタンにやられないための処方箋を追加します。

- 一、身体を清潔に保つこと。
 - 二、部屋の環境を清潔に保つこと。
 - ・トイレを綺麗にすること。
 - ・お風呂を綺麗にすること。
 - ・部屋の中を綺麗にすること。
- もし、部屋が薄暗いなら、採光を取り入れ明るくしてください。太陽の光はサタンを退けてくれます。

三、私の本を身近に置いてください。(枕元に置くのも良いでしょう。)

四、できるだけ、体重を減らしてください。そのためには、運動をすることです。汗をかくことです。良
く噛んで食べることです。

五、できるだけ太陽のもとで過ごしてください。

これは物理的な方法ですが、精神的なことにも影響をあたえるので、ぜひやってみてください。でも、い
ちばん大切なのは、あなたの気持ちが悪くなることです。

強い自分になってください。あなたは神の子、天使の子なのでから・・・。

明るく、明るく、朗らかに

何事も良く受け取り

神を想い、光を想い、日々生活してください。二〇一四・一一・二六

夢から目覚めよう！

あなたはまだ、自分のことを人間だと思っているのですか？ 人間なんていないのですよ！
その証拠に、皆な消えてゆくではありませんか。あなたは永遠に無くならない生命なのですよ！ 人間と
思っている人に何を言われようと、いいではありませんか。あなたは姿形ではなく、生命なのですから……。
言いたい人には言わしておきなさい、幼い魂だからそんなことを言うのですから……。あなたは真理を
求めている偉大な魂なのですよ！ 幼い魂の言うことにいちいち腹を立てては、同じランクの魂になっ
てしまいます。何を言われても、自分の心に入れなければ、腹を立てることはないのです。聞き流すこと
です。自分の宇宙を汚さないことです。

いつも言っているように、想念は実現の母です。厭なことを思えば、厭なことが実現するのです。良い
ことを思えば、良いことが実現するのです。どうか神を想ってください。神を想えば必ず神が現れるのです
から……。その時、私の言っていたことが本当だと分かるでしょう。この世は幻なのです。今あなたは夢を

見ているのです。夢から覚めたら、あなたは大笑いすることでしょう。

私の本を読んで、目覚めてください。この世のことに費やす時間があるなら、神に、光に、意識を向けましょう。その時あなたは、本当に生きています。それは、あなたの魂に真実が打ち込まれるからです。明るく、明るく、朗らかに

何事も良く受け取り

神を想い、光を想い、日々生活してください。

この世に描かれた絵は、必ず消えるのです。でも魂に描かれた絵は、永遠に残るのです。永遠に残る絵のために生きましょう。それは、難しいことではないのです。日々神を思い続けられ良いのです。真剣に神を思い続けられ、きっと素晴らしい絵が出来上がることでしょう。二〇一五・一・二〇

もう後戻りできない！

みな神の子なのに、苦しんでいる人たちが沢山おられます。でも私は、落胆していません。苦しみから学び、みな成長しているからです。あなたもそうだと思います。あなたの守護霊は、いつも陰から見守っています。

その守護霊に報いるためにも、一日も早く立ち直ってください。

あなたは、何のために生まれてきたのですか？ 退化するためですか？ 成長するためですか？ あなたは、本当の自分に目覚めるために生まれてきたのですよ！ もう後戻りはできないのです。あなたは今後、何をして人生を送るつもりですか？ この世の中でしたいことが何か有りますか？ やり遂げたいことが有りますか？ 何もないはずですよ。あなたの人生には、真理を追求することしか残っていないはずですよ。なぜなら、あなたはそれほど熟した魂だからです。一般人は仕方ありません。この世の泥にまみれて成長してゆくのですから・・・でもあなたは違います。もう、泥にまみれて苦しむ必要の無い魂だからです。帰るときに悔いを残さぬよう、人生の目的をやり遂げて帰りましょう。

この世の何を知っても、得ても、みな置いて帰らねばなりません。でも魂の成長は永遠に持って帰れるのです。なぜなら、あなたは永遠不滅の生命だからです。永遠不滅の生命は、永遠のものを掴まなくては満足できないのです。だからあなたは、この世のものを求めようとしないのでしょうか、でもどんなに置いて帰らねばならないこの世のモノでも、得る努力することに価値があるのです。この世のモノを得るのは方便ではありませんが、方便が魂を進化させるのですから価値があるのです。

たしかに嫌な社会かも知れません。でも、嫌な社会でしか魂は磨かれないのです。どうか、社会に出て活

躍してください。あなたは後戻りできない魂なのですから……。二〇一五・二・二二

人生を無駄にしてはならない！

今の社会に嫌気をさすのは分かりますが、だからといって何もしないでは大損です。なぜなら、あなたは原子核を大きくするために生まれてきたからです。社会に背を向けて何もしない人は敗北者です。肉体を脱いで帰ったら、大泣きすることでしょう。そんな弱い自分を叱咤してください。私の真理に出会ったあなたは、そんな弱い魂ではないのですから……。さあ、果敢に挑戦して原子核を増やしましょう。原子核を増やす方法は、次の三つです。

一つは、厭なことに挑戦することです。(社会体験すること)

二つは、瞑想です。

三つは、思索です。

真理を追求するためには、肉体を維持する必要があります。そのためにはお金が必要です。お金を稼ぐためには、仕事をせねばなりません。その仕事は「労働」という言葉が使われているように、今の社会では嫌な仕事が多いのです。でも、それだからこそ原子核を増やすことができるのです。ですからこの世に生まれできた人は、少なからず原子核を増やして帰っているのです。

この宇宙は実に良く出来ているもので、肉体を持って生まれて来た人は、誰でも成長して帰れるのです。ただし、原子核を増やそうと意識してやっている人と、何も知らないでやっている人では、原子核の量の増え方が違うのです。あなたが私の本を読み、意識して原子核を増やそうと思い、嫌な仕事に挑戦すれば、間違いなく沢山原子核を増やすことが出来ます。ぜひ、何でも良いですから、仕事に就いてください。原子核を増やすためと思います。最初はボランティアでも結構です。少し慣れたら、アルバイトでも結構ですからやってください。人の嫌がる仕事なり、なお結構です。それには強い決心があると思いますが、その決心が原子核を増やすのです。後の二つの原子核の増やし方は、勉強会の時お話しします。

私がこのようなメールをするのは、毎日何もしないで過ごすことは、あなたにとって損だからです。どうか、厭なことから逃げないでください。ご健闘を祈ります。 二〇一五・二・二六

悪など無い！

あなたが世の悪を見るのは、自分の中に悪があるからです。自分の中に悪がなければ、悪を見ることはないのです。その証に、赤ちゃんはドロボーを見ても笑っているでしょう。それは赤ちゃんの中に、まだ悪がないからです。あなたが世の悪を嫌うのは、自分の中に悪があるからです。あなたは、そのことに気付いています。でも一般の人は、そのことになかなか気付かないのです。どうでしょう。気付いているなら、直したらどうでしょうか。

今人間社会に沢山の悪があるのは、魂を成長させるために必要な悪なのです。悪を体験することで、魂が成長できるからです。その意味では、悪は必要悪であるということです。そのような見方をすれば、あまり悪を責めないですみます。まだ自分も責めないですみます。

どうか、世の悪を嘆かないでください。自分の中にある悪を嘆かないでください。嘆く時間があるなら、自分の魂を成長させてください。魂を大きく育てる方法は、私の本の中に書いてあります。魂を大きくすれば、もう悪を見ることはなくなります。焦らず、時間をかけ、何度も何度も読んでください。何度も読めば、どうすれば魂を大きくできるかが分かります。どうか、魂を育てるために人生を使ってください。

そのために、あなたは生まれてきたのですから……。嘆いて一生を終わるか、頑張つて魂を大きくするかは、あなたの気持ち次第なのです。二〇一五・三・九

自我に負けてはならない！

人生の目的は、「本当の自分が神である！ 生命である！」ということを知ることです。でも知らなくても、私たちの本性が神であり、生命であることには変わりはないのです。私の願いは、想念を常に神に、生命に、向けて欲しいということです。ただ、今のあなたは体調が悪いことばかり考え、なかなか神に意識を向けることができません。それが真理を求める難しさですが、でも強い気持ちで神に意識を向けたら体調は良くなります。病気になる気持ちが悪くなりますし、悪いことばかり考えますから、なお病気を重くしてしまうのです。厳しい言い方ですが、病気をできるだけ意識しないでください。そのためには、神に意識を向けることです。神に意識を向けているときは、病気の事を考えないわけですから、それだけ悪い原因を作らないですむのです。

本当は、この宇宙に病気など無いのです。なぜなら、肉体は無いからです。無い肉体に病気が生まれるわ

けがありません。本当のあなたは肉体ではないのです。生命です。意識そのものです。あなたの肉体は、生命の乗り物です。意識の乗り物です。主導権は、生命が握っているのです。無い肉体が主導権を握れるわけがないのですから、意識を健全に保てば病気になることはないのです。自分のネガティブな意識が病気を作っているだけです。そうはいっても、一旦自覚症状が出るとますます心配の念が病状を悪化させてしまいます。そうなる結果と原因が逆転し、あたかも肉体が病気を作ったような錯覚を与えてしまうのです。

原点に帰ってください。

あなたは肉体ではありません。生命です。意識です。意識を健全に保てば、もともと病気など無いのですから、病気は消えてゆくのです。気持ちを強く持つてください。サタンに負けないでください。「お前に負けてたまるか！ サタンよ出てゆけ！」と心の中で叫んでください。あなたをネガティブにしているのは、あなたのなかに住んでいる弱いあなたです。つまり、自我です。その弱い自分がサタンなのです。そうです。あなたを病気にしているのは、弱い自分なのです。つまり、自我のサタンなのです。あなたの肉体が、病気になっているのではないのです。意識が病気になっているだけです。サタンに犯された意識が、肉体を病気の状態にしているだけです。意識が正常になれば、肉体も正常になるのです。

今のあなたの病気は、神(真理)を求めさせたくないサタンがしているのです。ですから、病気はサタンの

抵抗だと思ってください。

「そうか、そうだったのか、見破ったぞ！」

「サタンよ出てゆけ！」

「お前に負けてたまるか！」

と心の中で叫んでください。周りに人がいなかったら、大きな声で叫んでください。

病気は闇です。光のない状態です。光が現れれば、闇は退散するしか無いのです。どうか神を想ってください。生命を想ってください。光を想ってください。ネガティブな思いを払拭してください。このようにいっても、長いこと人間だ！ 肉体だ！ と思ってきたわけですから、私の話を信じてもらえないかも知れませんが、負けてはなりません。あなたは生命なのです。神なのです。生命の世界に、神の世界に、病気などないのです。あなたは昔から健全だったのです。今も健全なのです。未来永劫健全なのです。

想念を悪く使わないでください。ネガティブなことに使わないでください。そのためには、できるだけ神に意識を向けることです。瞑想することです。難しいかもしれませんが、やってみてください。内に引っ込んでいては、ますますネガティブな想いに傾きます。外に出て、体を動かしてください。あなたは、病気などになっていないのです。自分の弱い気持ち病気にしているだけです。あなたは健康なのです。もし、あ

なたが真剣に真理を求めるなら、病気で死ぬことは絶対ありません。真剣に真理を求めている人を、神が殺すわけがないからです。

真理を求める気持ちの強さが大切です。「どんな目に会おうが、私はこの人生を真理に捧げる！」と強い決意を持ってください。二〇一五・三・一八

生活環境を整える

私たちの本性は生命であり、宇宙意識であり、神であることは間違いありません。ですから私たちは、いつか必ず生命に目覚めるようになっていくのです。しかし、自分が生命だと心の底で思えるようになるには、(自覚の境界線を超えるには)社会体験し、瞑想をし、思索をし、原子核(生命核・魂)を大きくしなければなりません。そのためにはまず、真理を探求する生活環境を整えなくてはなりません。もし生活環境が整っているなら、真理の探求に人生を捧げてください。しかし整っていないなら、まず生活環境を整えることから始めてください。それから真理を探求しても遅くはありません。それまでは普段の生活をしながら、並行して真理を求め続けてください。勿論、強い求道心さえあれば、今の環境の中でもできないことはありません

が、どうしても周りの人たちに足を引っぱられてしまうのです。そこに起きるのが、現実と真実の間で起きる葛藤です。この葛藤は、求道者の誰もがぶち当たる壁で、これを克服するのは容易ではありません。この世のことも捨て切れない、かといって真理に生きることもできない、この葛藤に負け多くの人が真理の探求を諦めてしまうのです。

焦らないでください。真理は何よりも、求め続けることが大切です。求め続けていれば、神は必ず良いようにしてくれます。ですから、今の環境の中で精いっぱい真理を求めたら良いのです。必要ならちゃんと環境が整います。神は、決して真剣に真理を求める者を蹴落とすようなことはしないのですから・・・。二〇一五・四・六

自分を許そう！

あなたの中に罪悪感があるために、自分を許せないのでしょう。あなたは、幼い時から今日まで、今の環境の中で苦しむだけ苦しんできたのです。苦しんできたと言うことは、それだけ業が消えていったということです。ですから、新たな業さえ作らなければ苦しみは消えてゆくのです。でもあなたは今日まで、親を憎み、世

間を憎み、環境を憎み、自分を卑下してきました。その思いが、さらにあなたを苦しめているのです。世を恨んではなりません。自分を責めてもいけません。自分を許し、人を許し、環境を許してください。さあ、「昔の悪い自分を許します。」といって、自分を許してください。そして、「私は今、真剣に真理を求めています。守護霊様どうか私をお守りください！」と自分の心に訴えてください。その後、「私は神である！私は生命である！ 私は光である！」と瞑想してください。瞑想している時、邪魔するサタンが現れるのは、真理を求めさせたくないからです。あなたを神に帰したくないからです。もし邪魔者が現れたら、「自我よ退け！・・・サタンよ出てゆけ！」と強い気持ちで邪魔者を追い出してください。

もしあなたが真剣に神を求めるようになったら、本当のあなたが、あなたを守ってくれます。生半可では守ってくれません。どうか、人生をかけるつもりで真理を追い求めてください。この世の何を得ても、すべて消えてゆく幻なのですから・・・でも神は、永遠に失われない真実なのですから・・・。

想念は実現の母です。想念は何で実現させます。ですから、恐ろしくも有り、頼もしくも有り、希望でもあります。どうか、良い想念を持つよう心がけてください。あなたを助けるのは、誰でもありません。あなた自身です。「何を想うかです。」あなたの中におられる神は、常にあなたを見守っています。頑張ってください。二〇一五・四・一三

人の幸せを羨んではならない！

助言しますが、あなたが愚痴のメールしている時は自分の想念を悪く使っているのです。ということは、悪い原因を作っているということなのです。この癖を今すぐ直してください。私が常に神を想いなさいというのは、神を想っている時は悪い原因を作らないからです。というより、良い原因を作っているからです。良い原因を作れば良い結果が、悪い原因を作れば悪い結果が返ってくるのです。原因と結果の法則は間違いないのです。苦しくても、悪いことを想わないことです。どうか、良い原因を作ってください。良い原因を作るとは、良いことを想い続けることです。私の言うことを一年しっかり守ったら、あなたに良いことばかり起きるようになるでしょう。

あなたは、この世の幸せを得るために生まれてきたわけではないのですよ。本当の自分が神の子であることを知るために生まれてきたのです。他人の幸せを羨んではなりません。幸せそうに見えていても、あなたが考えているほど幸せじゃないのですから・・・いや、幸せに見えている人ほど、苦しみを多く抱えているのです。なぜ、結婚すれば幸せになれると思うのですか？なぜ、家庭を持てば幸せになれると思うのですか？家庭を持って幸せになれるなら、あなたのご両親は幸せなはずですよ。私の知人に結婚している人達

が沢山おりますが、一人も幸せになっていません。私の兄弟も、幸せになった人は一人もおりません。この世の幸せは、かりそめの幸です。あなたは、そんな幸せを得るために生まれてきたわけではないのです。永遠に失わない、真の幸せを得るために生まれてきたのです。その幸せは、自分が神の子であると知った時、得られるのです。どうかこの世の幸せを羨まないでください。二〇一五・五・一

自分探しの旅をしている私たち

あなたは何のために生まれてきたのですか？ 家族と暮らすためですか？ この世の幸せが欲しいためですか？ この世は幻の世界なのです。そんな世界でどんな幸せを得たって、一時満足するだけです。あなたは、本当の自分を知るために生まれてきたのですよ！ あなたは肉体ではないのです。誰の誰ベエではないのです。あなたは生命です。このことが分からないでは、いつまでたっても苦しまねばなりません。どうか、自分が何なのか、探求してみてください。どんなにお金があっても、みな死ねば置いていかねばならないのですよ！ 誰でもいつか必ず肉体を脱ぐのです。でも、本当のあなたは、生命は、永遠に生き通すのです。永遠に生き通す、自分に生きてください。生命に生きてください。

私が真理を伝えているのは、この表現宇宙(物質宇宙)のことではありません。神に帰る方法を説いているのです。私たちは神から出てきた神の子ですから、いずれ神に帰らねばならないのです。その神に帰る方法を、私は教えているのです。私たちは神でありながら、記憶を失ったために今人間として生きているのです。そのため、「生老病死」に苦しんでいるのです。

私の勉強会の目的は、神の自覚を持つてもらうためで、知識を授けるためではありません。どうか、私の本を何度も何度も読んでください。そうすれば、私の意図していることが解つていただけだと思います。もし疑問があるなら、自分に問いかけてみてください。自分の中から答えが与えられます。今あなたがやるべきことは、瞑想すること・・・。思索すること・・・。社会体験をすることです。必ず原子核が大きくなります。大きくなればなるほど、知恵が増し、気付きが与えられます。どうか焦らず、じっくりと真理と向き合ってください。一生をかけるつもりで、真理を求めてください。宇宙の仕組みが解れば、あなたの悩みは半減するでしょう。私たちは、自分探しの旅をしている求道者です。どうか、真理の旅を続けてください。二

〇一五・五・一七

人生は想念次第

あなたの言うとおり、先祖供養など不要です。私たちそのものが神ですから、神が人間を拝むなど逆さまです。あなたは神なのですよ！ ただ神の自覚がないだけです。神の自覚を持ったら、今のあなたの病気は消えるのです。第一、あなたの肉体細胞は、生命意識で満たされているのですから、病気などなりようがないのです。あなたの、憎しみ、恨み、怒り、心配、恐怖、イライラなどの想念が、細胞意識を弱め病気にしているだけです。すべての不幸がそうなのです。人生は想念次第なのです。どうか想念の偉大さを知ってください。

いつも言うことですが、良いことを思えば良いことが・・・悪いことを思えば悪いことが・・・「想念は実現の母」なのです。ですから良いことを思っていれば、業は自然と消えてゆくのです。良い想念の一番は神を思うことです。神を想っていれば悪いことは思えないのですから、業は自然と消えてゆくし、あなたの欠点も自然と無くなってゆくのです。すべて想念次第です。ですから、決してネガティブな思いを持たないことです。想念を良く使えば、(神を想えば)原子核が増え、必ず自覚の境界線が超えられます。誰でも、いつか、必ず、自覚の境界線を越えねばならないのが定めです。これだけは、逃げて、逃げられるものでは

ないので。なぜなら、人生はそのためにあるからです。ならば、早く超えたほうが気楽ではありませんか。

二〇一五・五・二四

病気など無い！

体の調子が悪いと、どうしても減入ってしまいますよね。その気持よく分かります。でも、自分を成長させるチャンスだと良く受け取ってください。あなたを苦しめているのは、誰でもありません。あなたの想念です。あなたの想念が良ければ、あなたの身体は健康なのです。なぜなら、想念は原因で身体は結果だからです。病気は結果なのです。結果が結果を生むことはないのです。原因が結果を生むのです。想念は原因です。想念を正せば、結果である病気は無くなるのです。あなたはこれまで、無意識の内にネガティブなすから、想念を正せば、結果である病気は無くなるのです。あなたはこれまで、無意識の内にネガティブな想念持っていたのです。その想念の結果として、今身体に病的症状が現れているのです。ではどうすれば治せるか？ ということですが、まず「身体が病気になっている」という思いを捨て、「想念が病気になっている」という思いに変えてください。ここが一番肝心なところです。身体が病気になっていると思うから心配し、病気を重くしているのです。想念が病んでいると思えばそう心配することはありませんから、病気

は治るのです。人間は、心配や恐怖が病気を重くしていることに気付いていないのです。

常に良いことを思うことです。どんなこともポジティブに受取り、決してネガティブな思いを持たないことです。といっても、なかなかポジティブな思いが持てません。私たちは気の遠くなる年月、か弱い人間だと思つて生きてきたのですからね。でもあなたは人間ではありません。肉体ではありません。生命です。肉体は生命の乗り物です。肉体は生きていないのです。肉体は想念の影なのです。生きていない影の肉体が、病気になるわけがないのです。光である想念が病気にしているのです。このことを知ってください。

想念は何でも作る力を持っているのです。その想念が、自我に乗っ取られていくのです。ネガティブな想いが湧いてくるのは、自我が想念を乗っ取っているからです。その自我のことを、私はサタンといっているのです。そのサタンを追い出すには、「このネガティブな想いは本当の自分の思いでない、」と気づくことです。気づいたら、「見破った！・・・自我よ出てゆけ！ ネガティブな思いよ出てゆけ！」と強く自分に言い聞かせることです。想念は実現の母です。想念の力を良く利用してください。もしあなたが、想念を良いことばかりに使うようになったら、もうあなたは病気になることはないでしょう。

この宇宙に病気など無いのです。自分の悪想念が病気にしているだけです。すべて想念の作品です。自分の想念を振り返ってみてください。多分、人を憎み、恨み、妬み、嫉妬し、怒り、心配し、恐怖するなど、

様々な悪想念を持っていたはずですが。そのために身体が悲鳴を上げているのです。身体はあなたに訴えているのです。「良い想念を持ってくださいと・・・」

さあ、今日ただ今から悪想念を持たないようにしましょう。病気は、あなたの悪想念に気づかせるためになったのですから、気づいて直せば病気は無くなるのです。もしかしたら、真理に出会いたくて病気になったのかもしれませんが。ならば、病気に感謝しなくてはなりません。二〇一五・六・一六

真理を真剣に学ぶ姿勢

真理を学ぶ上で注意してもらいたい点があります。真理をやりはじめたら、家庭内がおかしくなったと言われているわけではありません。むしろ、真理をやりはじめたら、家庭内が良くなったと言われなくてはなりません。あなたの黙々とやる姿を、家族の方に見せてやってください。体が疲れるのではないかと思われるでしょうが、一生懸命やれば魂(原子核)が大きくなりますから、かえって疲れなくなります。気持ちも晴れやかになります。沢山身体を動かすことは良いことなのです。

あなたは、神の媒体です。神が考え、神が話し、神がやっているのです。ですから何をやるにも、神がや

っていると思ってやってください。外側では一生懸命体を動かし、内側では一生懸命神を想い続けてください。原因を作れば、必ず良い結果が生まれます。ただし、結果を求めてはなりません。無心でやることです。

真理を学ぶ資格があるかないかの問題ではありません。学ぶ気力の問題です。私たちは神の子ですから、真理を学ぶ資格は誰にでもあるのです。ただ、どれほど真剣に真理に立ち向かうかです。真剣に真理を求めれば、あなたは変わります。あなたが変われば、周りの人達も変わります。ぜひ、真剣に真理を求めてください。二〇一五・七・二二

想念が病んでいる

最近私は、東京の勉強会でも、大阪の勉強会でも、想念のことについて何度も述べています。学んでいる人の中に、病で苦しんでいる人が結構いるからです。私は勉強会で、身体が病気になるのではなく、想念が病気になると言っていますが、想念が病んでいるから身体が病気になるのです。どうしても人間は、悪いことばかり想ってしまうのです。人間はこの思いグセを、なかなか直せないのです。ですから私は、思いグセを直すために、「神を想い続けなさい!」、といているのです。神を想っている時は、

ネガティブな思いは持てません。また神を想っていれば、良い原因を作っているわけですから、必ず良い結果がついてくるのです。あなたは家にいるのですから、やる気になればできるはずです。

これまで八時間この世の雑念に使っていた想念を四時間神に向けたら、往復八時間良い原因を作っていることになるのですから、間違いなく良い結果がついてくるのです。そうはいつでも、自我(サタン)が邪魔をします。これが一番厄介な点です。自分の想念だけでは、病気にならないのです。周りの悪的想いが自分の思いと同調し、ネガティブにさせるのです。だから、想念の管理が必要になるのです。

体の変調は、身体がしているのではなく、想念がしているのです。想念を神に向けたら、悪い原因を良い原因に置き換えられるわけですから、間違いなく病は好転するのです。ぜひ、神を想い続けてください。これまであなたに様々なアドバイスを送ってきましたが、残念ながらアドバイスを活かさずにおります。だから、いつまでも病気から抜け出せないのです。こればかりは、あなたがやる気にならないとどうにもなりません。

今のあなたの想いは、本当のあなたの想いではないのです。あなたに助けを求めてきている、苦しい人(幽界人)の想いなのです。あなたの想いに、その人の想いが同調して、一緒に苦しんでいるのです。その人を、助けてやりたいとは思いませんか。それは、あなたが想念を良く持つことで助けてやれるのです。もしあな

だが、今の苦しみから抜け出したいと強く決心し、神を想うようになったら、その人も助けられるでしょう。あなただけが、苦しんでいるのではないのです。あなたの中にいる人も、一緒に苦しんでいるのです。どうか、あなたの中にいるその人を助けて上げてください。それは、あなたが良い想念を持つことで出来るのです。二〇一五・七・二八

純粹な動機で真理を求めよう！

今あなたがすべきことは、黙々と家庭のすることです。何も言わず、黙々とあなたの後ろ姿を見せることです。お子さんの暴力は、今までの自分の罪の解消だと思って甘んじて受けてください。決して歯向かってはなりません。怒りの言葉を吐いてもなりません。今日までの人生を反省してください。もし過ちが見付かったら、心の中でいいですから謝ってください。

私につながったということは、「真理を求めなさい！」という神の願いですから、ぜひ真理を求めてください。「家族関係を良くしたいから真理を求めろ」、という不純な動機では神に通じません。「本当の自分を知りたいから真理を求めろ」、という純粹な動機で求めてください。真剣に真理を求めれば、自分が変

わり家族も変わるはずです。時間あるごとに神に思いを向けてください。私の本を読み、動画を見て、波動を下げないようにしてください。良い原因を作れば、必ず良い結果がついてきます。この原因と結果の法則は間違いありません。神はあなたを見ております。今後あなたがどう変わるか、どれほど真剣か、神は見えております。どうか、神を信じ、真剣に真理を求め続けてください。

大切なのは、今の今、どのような想念を持つかです。過去の終わったことを、くよくよ考えても仕方がありません。創造の時は、今の今です。その今の時を、神に想いを向けましょう。神を想い続けましょう。神を想っている時は、悪いことは思えませんから新たな業を作らないのです。新たな業を作らなければ、過去の業は断ち切れるのです。これが一番大切なのです。

もう少しです。もう少し真理が理解できれば、前途が開けてきます。今の苦しみは、決して無駄にはなっていないです。間違いなくあなたを成長させています。時々、本を読み、光のメロデー集を聴き、勉強会の動画を見て、自分を励ましてください。どうか、ネガティブ（サタン）な想いに負けないで、日々生きてください。

明るく、明るく、朗らかに・・

何事も良く受け取り・・・

神を想い、光を想い、

日々生きてください。二〇一五・八・一〇

「ありがとう！」の言葉を口にしよう

原因が深いと、結果も深く現れます。現れている結果は、過去の原因が消えている姿ですから、甘んじて受けるしかありません。でも、苦しい原因を新たに作らなければ、苦しい結果は少しずつ無くなってゆきます。ですから、苦しい原因を新たに作らないことが、一番大切なことです。そのためには、家族のためにひたすら尽くすことです。黙々と、家族のこと、家事のこと、をすることです。そして、神を想い続け、ポジティブな想念を持ち続けることです。誰かに頼るのではなく、自分を頼ってください。苦しいかもしれませんが、その苦しいことを乗り越えることで、あなたの原子核が増えるのです。

すべて科学です。科学は実践です。自分でやるのが科学なのです。結果が良くなるからといって焦らないでください。焦れば、新たな業(原因)を作ります。どうか、私が教えた原子核を増やす三つのことを実践してください。

真理の実践は、反省することから始まります。過去を振り返り、徹底的に過ちを見つけ出してください。見つけ出したら、二度と過ちを犯さない、と深く心に誓ってください。ひと通り反省し終わったら、過去の過ちは忘れてください。過去の過ちをくよくよ考えていては、新たな業を作ってしまう。今の苦しみは、過去の業の消えている姿ですから、「ああ、今業が消えていっている！消えていっている！」と良く受け取ってください。実際、今の苦しい状態は、「業」が消えている姿なのですから……。ですから苦しい度に、「今「業」が消えている！今「業」が消えている！」と思うことです。そしてその苦しみに、「ありがとうございます！」と感謝することです。

「ありがとうございます！」の言葉は、素晴らしい波動を出しています。光を放っている言葉です。ですから、「ありがとうございます」の言葉を口にするのです。それも惜しみなく、「ありがとうございます」の言葉を口にしてください。「ありがとうございます」の言葉は、家庭に光をもたらします。家を明るくします。家庭の雰囲気を変えます。ぜひ、「ありがとうございます！」の言葉を多く使ってください。

周りの人達は、みな幼い魂ばかりです。どうか寛容の心で接してあげてください。どうか許してあげてください。熟成した魂のあなたなら、それができるはず。原因を作れば、必ず結果はついてきます。でも焦らないでください。焦らず、法則を信じ、神を信じ、ぜひ真理を実践してください。必ず明るい日差し

が差し込んでくると思います。二〇一五・八・二八

相手から学んでください！

魂の差は仕方のないことです。でも、魂の差からあなたが学ぶことがあるはずですよ。どんな学びなのかは、自分の心に聞いてください。息子さんの態度も、娘さんの態度も、裏返しと考えてください。あなたの中には、見せられないのです。自分の欠点を二人の中から学んでください。欠点に気付いたら、その欠点を神の思いの中で消化してゆくことです。つまり、神を想い続け、悪想念を抱かないことです。苦しみは、業の消えてゆく姿ですから、ありがたいことなのです。

今あなたがやるべきことは、新たな業を作らないことです。神を想い続けることです。そして、やるべきことを黙々とやることです。そうすれば、あなたの原子核は増えます。必要なら、環境も変わるでしょう。時間はかかるかもしれませんが、新たな業を作らず、神を想い続けていけば、状況は必ず好転してゆきます。長い時をかけて作った業は、簡単に消えるものではありません。ですから、どうしても時間がかかるのです。でも、法則は完璧です。法則を信じ、法則に則った生き方をしましょう。そうすれば、必ず結果はついてき

ます。焦らず、怠らず、頑張りましょう。

神を信じ

明るく、明るく、朗らかに

何事も良く受け取り、

神を想い、光を想い、日々生きましょう。二〇一五・九・二

あなたの想念を変えてください！

私たちは、できるだけ外側の影響を受けないようにすべきです。なぜなら、外側の世界は幻だからです。誰が何を言おうが、外側の世界のことは放おって置いたらいいのです。本当にあるのは、あなたの世界だけです。その世界を平安にできるのは、あなたの想念をどう使うかです。外側の人達の態度や言葉に惑わされ、自分の宇宙を汚さないでください。あなたは妄想を描く癖があるようですが、妄想を描けば苦しむのはあなた自身です。人から、外から、苦しみを与えられることは絶対ないのです。苦しみを与えているのは、自分の想念です。想念の持ち方がネガティブだから、あなたは苦しんでいるのです。人に責任を押し付けてはな

りません。すべて自己責任です。なぜなら、あなたの想念はあなたしか使えないからです。どうか想念の偉大さ、凄さ、恐ろしさ、素晴らしさ、を知ってください。

今あなたがすべきことは、想念を正しく使うことです。そして、今自分がやらねばならないことを黙々とやることです。余裕のある時間を使い、神を想ってください。神を想っている時は、良い原因を作っています。どうか、良い原因を作り続けてください。良い原因は、あなたの想念によっていくらかでも作れるのですから……。

悪いことを思えば、苦しみが……良いことを思えば、幸せが……これは、原因と結果の法則の働きによるものですから間違いありません。良い原因を作っていれば、必ず良い結果が現れます。どうか焦らないでください。今あなたができることを精いっぱいやってください。神はそれ以上望んでいないのです。二〇一五・九・一一

ネガティブな想念を断ち切ろう！

あなたのことは、一日も忘れたことはありません。でも、私の力ではどうすることも出来ません。なぜな

ら、あなたの宇宙を変えるのは、あなたしか出来ないからです。あなたを変えられるのは、唯一あなたが持っている想念です。想念は自由に何でも思えます。その何でも思える想念が、あなたを苦しめているのです。それは、ネガティブなことしか思わないからです。想念を良いことに使ってください。どんなに苦しくても、ネガティブに使わないことです。一番良いのは、神を想い続けることです。神を思っている時は、ネガティブなこととは思えないので、良い原因を作っているのです。

勇気を持って今の自分の環境を変えてください。神を想い続ければ、(悪い思いを持たなければ、)環境が良い方向に変わります。体調も良くなります。体調が良くなったら、仕事に出てください。収入が得られれば、今の環境を変えることができます。人を当てにしているのは、自分を変えることは出来ません。自力で、自分の人生を変えてください。

あなたは、魂を大きくするために生まれてきたのですよ！ 人生の目的を忘れないでください。あなたの側に、あなたを導いてくれている守護霊がいることを忘れてはなりません。あなたは一人ではないのです。しかし、あなたがネガティブなことを思っている時は、守護霊が導きたくても導けないのです。神に思いを向ければ、守護霊も導きやすくなります。どうか神に想いを向けてください。

よくよく考える暇があるなら、真理を実践することです。神を想い続けることです。瞑想することです。

この世は幻です。本当にある世界ではないのです。今あなたは、幻の世界で本当の自分を知る勉強をしているのです。人生の目的は、あくまでも本当を知るためです。どうか、真理の追求を続けてください。二〇一五・九・二二

石の上にも三年

因果の法則は絶対的法則です。あなたが原因を作らなかつたら、あなたに苦しみは無いのです。その因果の法則は、家で悪いことをしていなくても、外で悪いことをしていれば、あなた自身に悪いことが返ってくるのは勿論、家族を通して悪いことが返ってくるのです。またこの因果の法則は、今生だけに働くのではありません。過去世で犯した罪も、今生結果としてやってくるのです。だからといって、過去世の自分をさげすんではなりません。記憶の無い過去世の罪のことは考えないでください。記憶のない過去世のことをよくよ考えても、どうなるものでもありません。今のあなたの苦しい状況は、過去の業の消えていつている姿ですから、「今業が消えていつている！消えていつている！」と受け流すことです。

今あなたがやるべきことは、今の今を正しく生きることです。今を正しく生きれば、新しい罪を作らない

わけですから、苦しいことは段々と無くなってゆくのです。今の今を正しく生きるとは、神に想いを向けることです。神を想っている時は、良い原因を作っていると同時に、原子核を増やしているのです。結果を急がないでください。私の言ったことをやり続ければ、必ず良い方向に人生は転換してゆきます。石の上にも三年という諺があります。どうか神を想い続けてください。

今あなたは正念場です。サタンに負けたら人生に負けず。気落ちしている時は、サタンにやられている時です。強い気持ちを持ってサタンを退けてください。そのためには、サタンを見破ってください。どうしても気落ちする時は、勉強会の動画を見るか、光のメロディー集を見るか、私の本を見るか、してください。どうか、強い気持ちを持って人生に勝ってください。二〇一五・一〇・一〇

正しい生き方を見せる

遺骨をどうするか、そんなことはどうでも良いのです。放っておいても、いつか原子に戻るのですから・・・。そんなことより肉親の皆さんが、日々どのように生きるかが大切なのです。つまり、正しく想い、正しく語り、正しい行為をすることが大切なのです。植物人間状態になっても、当人は全部ご存知です。た

だ、意志が伝えられないだけです。肉体が生きているのは、まだ必要があるからです。植物人間状態になっても、学んでいるということです。

ご先祖が、子や孫に悪さをすることはありません。先祖が子や孫に祟るなど嘘です。ただし、ご先祖も迷っているから幽界にいるのですから、今地上で生きている肉親が、正しい生き方を見せれば、彼らは迷いから覚めます。だから私は、今を正しく生きなさいと言うのです。上から下は丸見えなのです。神は難しいことを要求しているではありません。今の今、正しく生きることだけを願っているのです。生きている肉親が、迷っているご先祖に、正しい生き方を見せれば、迷っているご先祖も目覚めるのです。正しい生き方は、「身・口・意」の正しい実践です。つまり、正しいことを思い(神を想い)、正しい言葉を使い(悪いことを思わないこと)、そして正しい行いをすることです。そうすれば、すべて解決するのです。どうか、今の今を正しく生きてください。二〇一五・一一・二三

神を求め続ければ明かりが差してくる

あなたは非常に謙虚な方です。また、ある部分心の広い方です。でなかったら、奥さんを私の勉強会に出

席させなかったでしょう。魂の歴史の違いから、魂には得意不得意があります。

ですから、一概に魂の熟成度を比較してはなりません。あなたの魂には、奥さんの魂に無い素晴らしいところがあるのですから……。

この宇宙は、原因と結果の法則によって支配されています。良い原因を作れば、良い結果が……悪い原因を作れば、悪い結果が……夫婦の不和の原因の大元は、夫婦の想念です。悪い想念を持っていれば、悪いことが起きます。良い想念を持っていれば、良いことが起きます。これまでどのような悪想念を持っていたのか、夫婦で反省してみてください。原因を見つけたら、夫婦で協力して悪い原因を取り除いてください。要するに、常に良い想念を持つことです。良い想念の一番は、神を想い続けることです。神を想い続けていれば、家庭に光が射してきます。あなたの奥さんは、真理の理解力の高い方です。今奥さんは、懸命に自分を変えようと頑張っています。奥さんが変われば、子供たちも変わります。今あなたがすべきことは、奥さんに協力することです。どうか、協力してあげてください。見守ってあげてください。奥さんが成長すれば、家庭も必ず良い方向へ転換していきます。できましたらあなたも、私の本を読んで真理を学んでください。光のメロディー集を見てください。私の勉強会の動画を見てください。あなたが真理を学んだら、間違いない家庭は変わります。二〇一五・一一・二八

苦しい真理の求め方はしてはならない！

もしあなたが、真理を求めるのを止め、一般人と同じようにこの世の事に生きたいと思うならそうしてください。でも、それが苦しくてできないなら、真理を追求してください。私はあなたに、聖者のような生き方をしなさいと言っているわけではありません。この世の事にも生き、真理にも生たらいいと言っているのです。社会体験をし、瞑想をし、思索をすれば、間違いなく原子核は増えます。そうすれば、今のあなたの悩みは少なくなっただけです。ああなりたい！こうなりたい！と思う必要はありません。高望みはしないことです。ただ、三つの方法を使って、黙々と原子核を増やすことです。苦しんでどうしてもできないなら、この世の事に生きてください。でも、この世の事に生きても苦しい、真理に生きても苦しいなら、真理に生きた方が賢いでしょう。それも苦しくない程度に・・・神は苦しいことは望んでいないのです。それどころか、楽しみながら自覚の境界線を超えられるようにしてくれているのです。

私たちは、魂を大きくするために生まれてきました。人生の目的はこれに尽きるのです。息子さんの魂とあなたの魂の大きさは違うのですから、息子さんに真理の学びを望むのは無理です。また、強制してもいけません。今あなたがすべきことは、やれることを黙々とやり、あなたの後ろ姿を息子さんに見せることで

す。父の後ろ姿を見て、息子さんの生き方が変われば素晴らしいことです。何事もそうですが、続けなければ成果は上がりません。ですから、時間がかかります。

言っておきますが、私があなたを呼んだわけではありません。あなたの自由意志で私のところに来たのです。来た限りは真理を求め続けてください。肉体に生きても数十年です。魂に生きるのは永遠です。どちらが賢い生き方かよく考えて、今後の方針を決めてください。でも、決して無理はしないでください。もし苦しかったら、私の話を聞きに来ないでください。来なくても真理は追求できるのでから・・・。でも真理を追求しようと思うなら、原子核を大きくする三つの方法を実践してください。そうすれば、あなたは間違いなく強くなります。大きくなります。成長します。

あなたの中には、間違いなく神がおられます。その神が、真理を求めているのです。しかし肉の自分が抵抗します。肉の自分は偽物です。神の自分は本物です。あなたの中で肉の自分と神の自分が、戦っているのです。苦しくなったら、光のメロデー集を見てください。なぜ生まれてきたのか、自分に問うてみてください。

さい。二〇一五・一一・二

ただ神を想うだけ！

自分の欠点を直そうと苦心する必要はありません。過去世の業を消そうと苦勞する必要もありません。今の苦しい状況は、過去の業が消えていつている姿ですから、放おって置いたら良いのです。掴んで離さないから、いつまでも苦しみがやってくるのです。同じ原因を作らなければ、苦しみはひとりで消えてゆくのですから、掴まないことです。

今あなたがやるべきことは、今の今を正しく生きることです。今の今を正しく生きるとは、できるだけ神を想い続けることです。神を想っている時は、悪いことは思えませんから、良い原因を作っていることなのです。神を想い続けてください。何をやるにも、神がやっていると思いやることです。歩いている時も、掃除をしている時も、仕事をしている時も、神がやっていると思いやることです。

あなたは、間違いない神の子なのです。あなた中に、間違いない神がおられるのです。あなたの意識が神なのです。ただ、肉体に意識が引っ張られ、人間だと誤解しているだけです。外側のものは、全て現象です。幻です。本当にあるものではないのです。そんな幻に惑わされ、自分の心を汚さないでください。

どうか、三つの方法を実践し、原子核を増やしてください。これが何よりも大切なのです。

人生の目的は、原子核(魂)を成長させることです。これ以外、人生の目的はありません。増やせば、自然と良い方向に人生が転換してゆきます。どうか、弱い自分(自我・サタン)に負けないで頑張ってください。二〇一五・一二・一六

本当に生きるとは？

私が今あなたに言いたいことは、真理に生きて欲しいと言うことです。どんなに家族のために生きてても、肉体ある限りです。それよりも、永遠になくならない本当の自分のために(魂のために)生きてください。神を信じ、神を追求し、神を想い続け、神に生きる、それが真理に生きる生き方です。あなたに慰めの言葉を送っても、何にもなりません。私は、気休めの言葉を語っているのではないのです。あなたの人生を変える、真実の言葉を語っているのです。気休めの言葉が欲しいなら、いくらでも差し上げます。でも、それでは解決しないのです。どうか私の言葉を、人生を変える真理の言葉として受け取ってください。

唯一解決できるのは、真理を実践し、魂を大きくすることです。つまり、日々神に生きることです。神を想うことです。何事も神がやっていると思いきることです。そのように生きていけば、あなたの原子核は

増えます。増えれば、環境が変わります。人生が変わります。

あなたの家族も、友人も、みな肉体ある限りの縁です。そんな一時の縁のために悩み苦しむのは損です。どうか、真理に生きてください。あなたの魂を大きくしてください。

今ネガティブな思いになっているのは、先日も言ったように、自我にやられているからです。サタンにやられているからです。見破ってください。ネガティブな思いを持てば、そく悪い原因を作ります。ゴチャゴチャと悪いことばかり考えて、悪い原因を作らないでください。悪い原因を作れば、悪い結果がやってきます。もうそんな愚かなことはしないでください。自我人間に何を言われようが、いいではありませんか。どうせ幻なのですから……。そんな幻に囚われたり、惑わされたりして、心を汚してはなりません。

真理に生きている時は、あなたは本当に生きているのです。いつかこの意味の解る時が来るでしょう。二

〇一五・一二・三一

神は真剣に求めている者の前に石や岩は置かない！

心配しないでください。その異変は、好転反応です。良くなる前兆です。あまり深く考えず、ただ神を想

い続けてください。神を想い続けていけば、良い原因を作っているわけですから、段々と良い変化が現れてきます。私の言うことを信じ、神を想い続けてください。あなたの身体は、完全なる生命が支配していますから、本来病気になるはずがないのです。でも、色々な悪想念を持っていたため、生命力が歪められ体に変調が起きていたのです。しかし真理を学び、余り悪的想念を持たなくなったため、少しずつ体調が良くなってきたのです。

原因と結果の法則は完璧です。良い原因を作れば、間違いなく良い結果が生まれます。どうか因果の法則を信じ、良い原因を作り続けてください。つまり、神を想い続けてください。一番大切なのは、人生の目的をはっきりと掴みながら生きることです。人生の目的は、あくまでも本当の自分を知るためです。真剣に神を求め続けてください。真剣にです。そうすれば、今より真理の求めやすい環境が与えられます。神は、真剣に真理を求めている人の道を塞ぐようなことはしないのです。真剣さが足りないから、道に石や岩を置くのです。どうか人生を賭けるつもりで、神を求め続けてください。

今週の真言や更新集の中に想念について書いてあります。また勉強会の動画の中でも、想念のことについて語っています。何度も何度も、読み、見て、学んでください。二〇一五・一〇・六

何事も神がやっている

真我と自我の見分けを付けることは、なかなか難しいです。一番確実な見分け方は、気持ちの良さです。気持ちが悪いと思ったら、自我だと思ってください。気持ちが良いと思ったら、真我だと思ってください。イライラや落ち着かない気分も自我です。真我はゆったりしているのです。あなたは普段、どのような気分で生活していますか？ 落ち着いた気分で生活していますか、イライラした気分で生活していますか？ 殆どの人は、イライラした気分で生活しています。それは、常にこの世のことを思っているからです。そんな気持ちで幸せになれるはずがないのです。だから瞑想が必要になるのです。

神は見えません。感覚で捉えられないのが神だからです。神は私たちの意識の奥深い所におられます。だから瞑想する場合、「背中の奥の奥に意識を持ってゆきなさい！」と私は言っているのです。でも、難しく考えないでください。瞑想の基本は思うことです。ただ神を想ってください。あなたの意識が神の意識で

すから、ただ神を想えばそれが瞑想になるのです。

テレビが見たいなら、見てください。美味しいものを食べたいなら、食べてください。旅行に行きたいなら、行ってください。気分を変えるのも必要です。ただ、あまり度を過ぎないことです。どうか中庸を保ってください。今あなたがすべきことは、原子核(魂を大きくする)を増やすことです。つまり、

- ・ 日々の社会体験で原子核を増やすことです。
- ・ 瞑想で増やすことです。
- ・ 思索で増やすことです。

この三つを実践してください。詳しいことは勉強会の動画で述べていますので、何度も見て実践してください。難しく考えないでください。一番良いのは、何をやっていても神がやっていると思いつつながら生活することです。今、神が歩いている、今、神が運転している、今、神が掃除をしているというふうには、何をやっていても神がやっていると思いきるのです。座って瞑想することだけが、瞑想でないことを知ってください。

人生の目的は、本当の自分を知ることです。それも心の底で知ることです。どうか、有意義な人生にしてください。それは、神を想い続けることで出来るのです。二〇一六・一・一九

真実を知ることの大切さ

あなたの疑問は、神の意図が解ればすべて氷解します。神は全能です。その全能の神が、意味のない苦しみを与えるわけがないのです。どんな苦しいことも、悲しいことも、辛いことも、すべて意味があるのです。それは、どんな苦しみも、悲しみも、辛いことも、進化の道につながっているという意味です。

すべての生き物は、最終的に人間を通して神に帰ることになっているのです。神はなぜ人間を創られたのか？ なぜ神は、この表現の宇宙を創られたのか？ すべて私の本の中に書いてあります。また勉強会の動画でも述べています。納得するまで、読んでください。見てください。病気などないのです。人間の迷いの想念が勝手に作った病気です。病気と想念の関係を知ってください。原因と結果の関係を知ってください。進化の歩みの意味を知ってください。知れば、この世の不幸や苦しみがなぜあるのか納得できると思います。苦しみや悲しみが、進化に必要な糧であると知れば、苦しみや悲しみに顔を背けなくなるでしょう。真実を知ることの大切さを知ってください。私たちは、真実を知らないから苦しむのです。真実を知らないから迷うのです。真実を知らないから罪を犯すのです。真実を知れば、決して間違いは犯しません。どうか、真実を知る大切さを知ってください。二〇一六・一・二六

付記…人間社会に有る悪は、人の迷いの想いが生み出したご都合主義の悪くであって、本当に有る悪ではないのです。つまり、その人にとって都合が悪ければ悪になり、都合が良ければ善になる善悪です。その善悪も、どう受け取るかで、善が悪にも、悪が善にも、変わるのです。悪く見えるモノも良く受け取れば善になり、善く見えるモノも悪く受け取れば悪になる善悪なのです。それは、もともとこの宇宙に本質的な善悪がないからです。そこにあるのは、完全のみです。

完全な神が創られたこの宇宙に、本質的な善悪など有るわけがないではありませんか？ 本質的な善悪が無いのは、宇宙の根っ子が、性が、本性が、完全だからです。ですから、どんな悪的なモノも、どんな悪的な事も、すべて良く受け取ることです。この宇宙に本質的な悪が無いと知ったら、心配も恐怖も薄らぐでしょう。

自分の想いが不幸にしている

あなたに知ってほしいのは、想念が全てを握っているということです。健康も不健康も…：幸も不幸も…：すべて想念の持ち方次第です。神様は、そのことをあなたに知って欲しいのです。

あなたには思いがありますね。その思いは神の想いですから、何でも作ることができます。その何でも作れる思いを、今まで悪いことに使っていたのです。そのことに気付いてください。例えば、私の所にネガティブなメールを送っている時は、悪い想念を使っているのです。病気の事を考えている時は、悪い想念を使っているのです。人を羨んだり憎んだりしている時は、悪い想念を使っているのです。想念は実現の母です。実に恐ろしくもあり、頼もしくもあるのです。あなたが良い想いを持つようになったら、病気などは消えてゆきます。私が「神を想いなさい！」と言うのは、神を想っている時は、悪い思いを持たないからです。あなたが体のことを気遣い、食べ物に神経質になっている事自体が、病気を呼び寄せているのです。それは病気を掴んでいるからです。そのことに気付いてください。何を食べても良いのです。肉体のことは、肉体を操っている生命意識に任せましょう。もう、病気のことは思わないことです。病気などは無いのですから・・・。

この世は幻ですから、どんなモノもいつか必ず消えてゆきます。あなたのご主人も、今生限りの縁です。誰でもいつか必ず肉体を脱ぐのです。私もです。あなたもです。ご主人もです。

この世のモノに執着を持ってならないのは、この世のモノは全て消えてゆく幻だからです。でも、本当のあなたは永遠に生き通す魂です。生命です。意識です。それが本当のあなたなのです。私の本を隅から隅ま

で読んでください。私の勉強会の動画をすべて見てください。

真剣に真理を求めてください。真理を本当に理解できるようにになったら、もう病気のことは話さなくなるでしょう。気にもならなくなるでしょう。どうしたら、自分の魂(原子核)を大きく出来るかだけ考えるようになるでしょう。

あなたは、何のために生まれてきたのですか？ 良い家庭を持つためですか？ お金儲けをするためですか？ 本当の自分を知るためではありませんか？ どうか、本当の自分を発見してください。あなたは病気になることで、真理に目を向けるようになりました。病気に感謝しましょう。二〇一六・二・二六

生命の完全性を信じよう！

頭のモヤモヤも、良く眠れないのも、好転反応だと良く受け取ってください。体調が悪くて明るい気持ちになれないかも知れませんが、負けないで神を想い続けてください。想念は実現の母です。良いことを想ってれば、必ず良くなります。良いことを想っていて、悪くなることは絶対ありません。良い思いの一番は、神を想うことです。生命を想うことです。光を想うことです。

体調不良は、真理から離れさせようと自我(サタン)が邪魔をしているのです。頭のモヤモヤも、良く眠れないのも、あなたの自我がさせているのです。その自我に打ち勝つためには、真理を深めることです。私の本を読んだり、動画を見たりして、学びを深めてください。できるなら、常に神に思いを向けてください。歩いている時も、風呂に入っている時も、何をしている時も、神を(生命・光)を想いながやってください。運転している時も、神が運転していると思いながら運転することです。そうすれば、良い運転ができます。あなたは肉体ではないのです。誰の誰ベエではないのです。本当のあなたは、神です。生命です。光です。これは間違いないことなのです。でなかったら、あなたは生きていられないのですから・・・ あなたの肉体を動かし、働かしているのは、神です。生命です。光です。エネルギーです。ですから、肉体のことは生命に任せてください。悪想念を介入させるから、生命が混乱してしまうのです。生命は完全です。完全な生命が働いているのですから、病気になるわけがないのです。さあ、体のことは安心して生命に任せてください。

今あなたがやるべきことは、良い想念を持ち続けることです。「私は生命である！ 私は神である！」この良い思いを持ち続けてください。 二〇一六・三・一九

悔やまない人生を歩もう！

人は誰でも欠点を持つているものです。だから、欠点を修正するためにこの世に生まれてくるのです。しかし、自分の欠点を直そうと思っても、なかなか直せるものではありません。直そうとする必要はないのです。直そうとしなくても魂を大きくしたら、欠点は自然と無くなってゆくからです。私はその魂を大きくする方法を説いているのです。

完全な人間などいません。これは肉体を自分だと思っている限り、仕方がないことなのです。奥さんも、今魂を大きくしようと頑張っています。あなたも魂を大きくしたいと思うなら、一緒に学んでください。夫婦で学ぶことができれば、こんな素晴らしいことはありません。魂を大きくする方法は、本の中にも書いていますし、勉強会でもお話しています。ぜひ、学んでください。

誰でも日々死期が近づいているのです。なのに、魂を成長させないで帰って良いのでしょうか？ 魂を成長させて帰るか帰らないかの差は大きいです。向こうへ帰って悔やまないよう、ぜひ真理を学んでください。自分をあまり卑下しないでください。人間として生きている限り、それほど違いはないのですから……。でも生命として生きられるようになったら、まるで変わってしまうのです。

真理に巡り会えたあなたは、実に幸せです。でも、真理を実践しなかったら、有意義な人生にすることはできません。どうか、有意義な人生にしてください。それは、あなたの決断次第です。二〇一六・四・二

着実に歩もう！

あなたは、考え方のしっかりしている方です。自分の中で働いている生命力を信じているからです。あなたの肉体を生かしているのは、生命力です。その生命力は、偉大な力を持っているのです。どんなことでもできるのです。でも、その生命力を強めたり弱めたりしているのは、あなたの想念です。だから私は、ネガティブな想念を持つてはいけないと言っています。

生命力に肉体を任せましょう。委ねましょう。完全に委ねれば、生命力が強力に働き出します。そうなれば、健全な肉体になるでしょう。いいえ、もともとあなたの肉体は健全なのです。今も健全なのです。これから先も健全なのです。どうか生命力を信じてください。人生は旅です。それも目先の利かない旅です。ですから、急いではなりません。焦らず、着実に、亀のように歩みましょう。真理は何処にも逃げてゆかないのですから・・・。どんな人も、いずれは真理を求めようになるのです。なぜなら、私たちは神の子だ

からです。

あなたは幸運です。なぜなら、ホンモノの真理に出会えたからです。あなたは苦しいといいますが、苦しみや悲しみがなかったら、まだ巷をウロウロしていたかも知れませんよ。皆さんより先に行っているあなたは幸せです。

瞑想を難しく考えないでください。ただ、神を想っていればいいのです。神を想っている時は、ネガティブなことは考えられないので業を作らない、さらに原子核が増えるわけですから、二重の益になるのです。さあ、何をやっている時も、神がやっていると思ってください。歩いている時も、掃除をやっている時も、料理をやっている時も、仕事をしている時も、神がやっていると思いやることです。それが瞑想なのです。

二〇一六・四・二三

日々やるべきことをやりましょう！

私たちは、人との関わりの中で成長してゆくようにできています。だから・・・人と書くのです。あなたが居なければ、周りの人の成長はありません。また周りの人が居なければ、あなたの成長もありません。人

間社会の中で、互いに学び合って成長しているのです。その関わりは、魂の成長と共に変化してゆきます。原子核が増えて関わり合いが必要無くなれば、人が離れてゆくか、自分が離れてゆきます。これは自然にです。今人との関わり合いがあるのは、その人達と学ぶ必要があるからです。学び終われば、自然と環境が変わるのです。それまでは、今の環境で精いっぱい生きることです。

どうか深刻に考えず、日々淡々とやるべきことをやり、原子核を増やしてください。焦らないことです。あなたは時間の中に居るのですから、自覚しなくても間違いなく日々原子核を増やしているのですから……。焦る必要はありません。魂の旅は永遠に続くのです。前世もそうであったし、今世もそうであるし、来世もそうです。私もそうして歩んできたのです。何も変化が現れないからといって、諦めてはなりません。続けてください。今は苦しいかもしれませんが、原子核を集めていけば、必ず変化が現れます。騙されたと思って、魂を大きくする三つの方法を実践してください。目には見えずとも、肌で感じずとも、間違いなく魂は大きくなっているのです。

周りで起きていることは、みな現象です。ニセモノです。そんなニセモノに惑わされ自分の宇宙(心)を汚してはなりません。自分の意識だけがホンモノです。どうかホンモノのために生きてください。

今やるべきことを黙々とやってください。出来る限り瞑想してください。嫌なことに挑戦してください。

あなたなら出来ます。

明るく明るく朗らかに・・・

何事も良く受け取り・・・

神を想い・・・光を想い・・・

日々生きましょう。二〇一五・五・二二

自分を虐めてはならない！

神はどんな極悪な罪を犯した者も、心から反省した時点で許しております。なぜなら、あなたの中における神は、あなたの心中を全部ご存知だからです。神は、悔やんで苦しんでいるあなたを知っているのです。あなたが心から反省した時点で、もう過去の罪は精算されたのです。つまり、神はもう許しているのです。なのにいつまでも罪を掴んで苦しんでいるのは、また罪を作ってしまった。心から反省したのですから、もう忘れてください。昔のことは忘れ、これからの人生を正しく生きてください。正しく生きる一番が、神を想い続ける生き方です。今神を想うことが、罪の償いをしてることにもなるのです。反対に自分を卑下す

ることは、神を卑下することになるのです。それでは、また罪を作ってしまう。そんな愚かなことはしないでください。

さあ、今日から肯定的な人になってください。明るい人になってください。過去の苦しい体験あればこそ、真理を求めるようになったのですから、過去の苦しい体験は良かったのです。私の本や、勉強会の動画や、光のメロディー集を何度も何度も見てください。中でも、光のメロディー集「人生の応援歌を」見て自分を励ましてください。いつまでも過去のことを悔やんでいても仕方ありません。前向きに生きましょう。あなたが真理を学んで成長すれば、亡くなったおとうさんも喜んでくれると思います。というよりも、お父さんも成長するでしょう。あなたは自分の事を卑下していますが、あなたは成熟した魂です。私に繋がってきた事自体が、魂の高さを証明しているからです。

あなたの人生は、これからです。私のいうことを実践すれば、人生を逆転させることができます。そのためには、まずあなた自身を知ってください。本当の自分を知り、生命に生きたら、あなたの人生は逆転します。

さあ、私の本を読み、勉強会の動画を見て、真理を学んでください。二〇一六・五・二五

あなたの想念が人生を作っている

あなたはいつまで生きるつもりですか？ どうせ生きても70年足らずですよ！ 肉体は、必ず老いさらばえて死ぬのです。そんな消えて無くなる肉体のために、あなたは生きるのですか？ 本当のあなたは、生命なのです。魂なのです。その生命は、魂は、永遠に生き通すのです。その永遠に生き通す自分に生き方が利口ではありませんか。結婚し、子供を設け、幸せそうに見えている人達の人生が、本当に幸せだと思えますか？ それよりも、真理に生きた方がどれほど幸せな人生か？ あなたは未だ分かっていません。あなたは思いを持っていますね。その思いが人生を決めるのです。想念は何でも作るのです。今日まであなたは、その想念で自分の人生を作ってきたのです。大学に入ったのも、会社に就職したのも、自動車を手に入れたのも、家を手に入れたのも、嫁さんを得たのも、みなあなたの想念がしてきたのです。今苦しんでいる病気も、あなたの想念が作ったのです。良い想念を持っていたら、病気になるわけがないのです。病気は悪想念の結果なのです。病気(結果)が先にあるわけがないのです。病気の原因が先にあつて、結果の病気がやって来たのです。その原因を作ったのは、あなたの想念なのです。あなたは病気を作った覚えがないと言われるかも知れませんが、悪い想念を抱いていたから病気になったのです。これは、原因と結果の法則か

らして間違いないことなのです。

私はあなたを助けることは出来ません。あなたを助けられるのは、あなた自身です。あなたがどのような思いを持つかです。あなたを苦しめているのは、あなたのネガティブな想いなのです。良い想いを持つていれば、あなたに苦しみはないのです。たとえ今苦しくても、良い想念を持つよう心がければ、人生は好転してゆきます。愚痴を言い、悪いことばかり想っていては、不幸ばかりがやって来ます。思いは必ず実現するのです。

さあ、良い想いを持ってください。一番良い想いは神を思うことです。神を想っている時は悪いことは思えません。悪いことを想わなければ悪い原因を作らないわけですから、病気などにはならないのです。この想念のことについては、色々書いていますし言っていますから、私の本や動画を見てください。真理の学びを中途半端で止めては何もなりません。折角私の学びに出会えたのですから、一生学び続けてください。二〇

魂からの至上命令

私たちは今日まで、何万転生もの人生を送ってきました。その転生の中において、人を傷つけたり殺したり、あるいは傷つけられたり殺されたり、したこともあったでしょう。でもその体験が、私たちを成長させてくれたのです。ここに来て学んでいる人たちは、そのような学びはすでに終わっていますから、もう人を傷つけたり殺したり、また傷つけられたり殺されることもないでしょう。でも未だ学び終わっていない人は、傷つけたり殺したり傷つけられたり殺されたりしています。それは、その人たちに必要な学びですから、心を痛めないでください。私たちは、それを教訓として生きなければなりません。

魂の至上命令は、唯一自分を成長させることなのです。ですから、今あなたがやらねばならないことは、原子核を増やす三つの方法を実践することです。つまり、社会体験をして原子核を増やすこと・瞑想をして原子核を増やすこと・そして、思索をして原子核を増やすことです。人生の目的は、それをやり遂げることです。あなたは、そのために生まれてきたのです。ぜひ、三つの方法を実践して原子核を増やしてください。このことは、顕在意識では自覚できません。でも、潜在意識は間違いない自覚しているのです。だからあなたは、今日まで何かを求めて彷徨ってきたのです。でも、その何かが分からなかった・・・しかし

今日あなたは、その何かを発見したのです。

あなたは今日、人生の目的を見つけました。これ以上嬉しい発見はありません。ぜひ、人生の目的を成し遂げて帰ってください。二〇一六・六・一二

病気が自分を成長させてくれる

外から病気が来ることはありません。ですから、外から病気が治ることはありません。自分のネガティブな想いによって、自分が病気を作っているのです。ならば、自分の想念力で良くするしか無いではありませんか。そのためには、想念を与えてくれた神を信じることです。

神はこの宇宙に、完全なモノしか創られませんでした。ということは、私たちの肉体は完全であるということです。あなたの肉体の中で働いている神なる生命力は、偉大な力を持っているのです。その偉大な力を、あなたのネガティブな想念が弱めているのです。このように言っても、なかなか解って貰えないと思います。が、これは間違いないことなのです。「病は気から」といって、エネルギーを低めるから病気になるのです。エネルギーを低くしているのは、私たちの想念です。ポジティブな想念はエネルギーを高め、ネガティブな

想念はエネルギーを低めるのです。良い想念を持っている限り、病気になることはないのです。でも、なかなか良い想念を持つことができません。それは、「肉体は弱いものである！ 肉体は病気になるものである！」という人類の既成概念が、あなたの想念をネガティブにしてしまったからです。そこから抜け出すには、真理を深めるしかありません。どうか、私が述べている真理を学んでください。繰り返し繰り返し、読み、聴き、少しずつ理解を深めてください。

あなたは病気の苦しみを悪と受け取っていますが、苦しいから真理を求めようになつたのですから、病気はあなたにとって善です。もし苦しくなかつたら、この真理に出会っていなかつたでしょう。あなたは今、大変な宝物を手にとろうとしているのです。どうか、真理を求め続けてください。いずれ、自分を成長させてくれた病気に感謝できる日が来るでしょう。二〇一六・七・一五

真理の求める際の心得

私たちの学びの友の中に、あなたと同じ体験しているものがおります。その人は、**見えない物**が見えたり、聴こえないものが聞こえたりする能力が有ります。だからその人は、あなたと同じようにいつも体調が悪い

のです。あなたには、そのような能力ありませんか？ もしあったら、そういう現象から離れてください。そういうものを見ないこと、そういうものを聞かないことです。

心臓がバクバクするのは、幽体の心臓がしているのであって、肉体の心臓は正常なのです。それを勘違いして恐れるから、肉体の心臓までバクバクするようになるのです。学んでいる人は、心臓が中心になるので、痛みなどの変化が起きてきますが、これは悪いことではないので気にしないことです。何せ、神が創られた身体は完全です。それは、生命力で満ち満ちているからです。ですから身体のこととは、神に任せること、生命力に任せることです。あなたの自我の悪想念を介入させ、生命力を弱めないことです。自分が神であるという自覚が高まれば、一切病気になることはなくなります。神は、真剣に真理を求める者の前に、石や岩は絶対置きません。生半可だから、障害物を起して喚起するのです。どうか、生半可な真理の求め方をしないでください。といって、苦しい求め方も禁物です。中庸の求め方をしてください。以上、真理を求める際の心得をアドバイスします。

真理を求め続けてください。理屈も、修行も、必要ありません。大切なのは、ただ続けることだけです。

真理を求めるチャンス

あなたの心の中に私が入ることは出来ません。あなたの心は、あなたが管理するしか無いのです。管理の仕方は、悪いことを想わないようにすることです。悪いことを想わなければ、かならず前途が開けてきます。悪いことを想わないためには、神を想い続けることです。神を想っている時は、良い原因を作っているわけですから、前途が良い方向に開けてきます。考えを変えてください。

どうして子供さんは、どうしても大学に行かなければならないのですか？ 社会にて出て働くことも人生ではありませんか？ 勿論、能力が有るのでしたら、大学に進むのも良いでしょう。でも、能力がないなら無理する必要はないのです。人生の目的は、魂を大きくすることです。それは大学に行かなくてもできるのです。申し訳ありませんが、これ以上のアドバイスは出来ません。あなたの心の苦しみは、あなたが解決すべきものだからです。人頼り、占い頼りでは、迷いが深くなるばかりです。あなたが今やらねばならないのは、真理を追求することです。私のウェブサイトに繋がってきたのは、偶然ではありません。真理を求めなさいという必然です。このチャンスを無駄にしないでください。

この世は幻です。今はそう思えないでしょうが、これは間違いないことなのです。幻に心を痛めてはなり

ません。どうか、真実に思いを向けてください。真理を学び深めてゆけば、私の言っていることが分かっていただけだと思います。すべて必然です。それも、あなたの成長に必要な必然です。神は完全です。神は、決して無駄なことはさせないのです。どうか全て必然と受け取って、今あなたがやるべきことを黙々とやってください。必ず、前途が良い方向へ開けてきます。二〇一六・八・一三

一生懸命やる

Aさんの言われる通り、努力は必要です。努力なしには、何事もなしえません。真理も同じですし、この世の仕事も同じです。どうか、一生懸命努力している姿を見せてください。黙々とやっている、あなたの後ろ姿を見せてやってください。そうすれば、あなたの環境は変わってきます。当然、周りの皆さんも喜ばれます。努力してください。体を動かせば動かすほど、原子核が増えるのですから・・・。

私も市役所に務めたことがあります。民間会社に務めるよりは仕事は楽です。今の職場で黙々と働いている姿を、周りの皆さんに見せてやってください。できたら、家の中の仕事も引き受けてやってみたらどうでしょう。奥さんも、子供さんも、見直してくれるかもしれません。どうか一生懸命やっているあなたの姿

を、周りの方に見せてあげてください。何かを変えたいからやるのではなく、ただ黙々とやることです。動機が純粹であれば、必ず何かが変わるはずですよ。一生懸命やっている後ろ姿を見れば、周りの皆さんは感動するはずですよ。仕事場の空気が変わってくるかもしれません。家庭の雰囲気も変わってくるかもしれません。

辛いこと、苦しいこと、敵しいことをすることは、良いことです。なにせ、魂を大きくするのですから・・・。さあ、魂を大きくするためにも、厭なことから逃げないで頑張ってください。やれば当然、あなたの原子核も増えます。これは一挙兩得なのです。二〇一六・八・二六

悪くはない良きこと

あなたがどのように思おうと、あなたが神の子であることは間違いないのです。神の子だからこそ辛い体験をして、自分が本当に神の子なのか知ろうとしているのです。昔のことをクヨクヨ考え自分を虐めないでください。苦しい体験があったから真理に出会えたのですから、苦しかったことは良かったのです。何事も良く受け取ってください。神は意味のない苦しみは与えないのですから・・・。

気持ち落ち込んだ時には、光のメロディー集を見てください。女の人の音声の真理を聴いてください。私の勉強会の動画を見てください。体の調子が悪いなら、「病で苦しんでいる人たちの為の小冊子・・・最新版」を読んでください。決して自分を責めてはなりません。自分を苦しめては、お父さんも悲しみます。自分が成長することが、一番お父さんを喜ぶのですから、まずは自分を成長させてください。向こうへ帰った人は、心が大きくなっています。あなたの成長は願っても、あなたを責めるようなことは絶対しません。先日起こった自動車事故は、自分が出した悪的波動と、相手が出した悪的波動が同調して起きたのです。事故が、そのことを教えてくれたのです。車の修理代は、そのことを教えてくれた勉強代だと思ってください。事故によって業が消えたのですから、事故は良いことなのです。この際、自分がどのような悪想念を出していたのか、よく反省してみてください。

注意してほしいのは、相手を憎み、恨み、業の上乗せをしないことです。事故の相手は、自分の悪いところを教えてくれた先生だと思うことです。そう思えば、恨みも憎しみも持たずに済むでしょう。

一番大切なのは、自分の魂を大きくすることです。自動車事故は、その方便の一つだったのかも知れませんが、人生の目的は、魂を大きくすることですから、自動車事故は良かったのです。二〇一六・九・一五

瞑想は自分が教える

瞑想は、ただ神を想い続けることです。実に単純です。何の技術も入りません。神という言葉・・これをマントラと言いますが、「吾神なり！」と想い続けるのが瞑想なのです。瞑想の「瞑」という字は、「目を瞑」というところから来ています。目を瞑れば見えないモノが見えますが、その見えないモノとは、神のことなのです。だから瞑想とは、神を想うことなのです。

瞑想は教えられるものではありません。バタバタ泳いでいけば、いつか泳ぐコツが掴めるように、瞑想もやり続けていたら必ずコツが掴めます。ぜひ続けてください。

神を想い続ければ、原子核が増えることは確かです。原子核とは魂のことです。魂が大きくなれば、理解力が増しますので、色々なことが解ってきます。そうすれば、自分の中から色々な気付きが起きてきます。自分が自分に教えるようになるのです。

瞑想は普段の生活の中でも出来ます。たとえば、歩いている時も、神は想えます。自動車に乗っている時も、神は想えます。電車に乗っている時も、神は想えます。風呂に入っている時も、神は想えます。時間を有効に使って神を想い続けてください。

「人類の夜明2」の本の中に「第3章・自分を变える瞑想」という章があります。インターネットでも発信しています。ぜひ読んでください。二〇一六・九・二一

人生の目的は原子核を増やことである

人生の目的は、魂を大きくし神の自覚を得るためです。そのためには、どうしても肉体は必要です。ですから、肉体を維持する為に仕事をしなくてはなりません。でもその仕事は、方便ですからどんな仕事でも良いのです。ですから、職業の種類や仕事の内容に拘らないでください。あなたは、仕事をするために生まれてきたわけではないのですから・・・。今与えられている仕事は、今のあなたの魂に必要な仕事だと思ってください。あなたが、原子核を増やす三つの方法を実践し魂が成長すれば、成長に応じた必要な環境が与えられます。そうなれば、家庭の環境も、仕事の環境も、変わるでしょう。

私が原子核を増やして欲しいと願うのは、原子核が増えればいろいろな変化が起きてくるからです。それも、良くなる進化の変化です。ですから、職業に拘らないでください。あなたは良い仕事場がないといいませんが、人の嫌がる仕事ならいくらでもあるのです。楽な仕事を選んでいるから、仕事がないというのです。

原子核が増えるのは、善悪に関係ないのです。悪いことをしている人も、良いことをしている人も、みな原子核は増えているのです。それも、嫌なことであればあるほど、沢山原子核が増えるのです。なぜなら、嫌な仕事をやるには強い決心が必要です。強い決心ほど、原子核を増やすことにはないのです。決心してやろうと思った途端、原子核が増える仕組みになっています。原子核を増やすのは、決心なのです。決意なのです。体を動かす前には、必ず決心・決意が伴っているのです。だから私は、「腰軽に」なりなさいというのです。

私の勉強会の動画を全部見てください。私のウェブサイトの隅から隅まで、見て、読んで、聴いて、ください。この世の何を得ても、知っても、やっても、みな無くなってしまいます。でも、自分で増やした原子核は永遠に無くならないのです。ぜひ、永遠に無くならないモノのために人生を使ってください。二〇一六・

一〇・三

神の名に惑わされてはならない！

神も、魂も、心も、一つと考えてください。この宇宙には、神の大きな魂、大きな心、大きな意識、があ

るだけです。ですから、「吾魂なり！」でも、「吾神なり！」でも、「吾心なり！」でも、「吾意識なり！」でも良いです。言葉に惑わされなくてください。世の中には、アラーの神だとか、キリストの神だとか、ブツタの神だとか、色々な呼び名の神がありますが、神は一样しか無いのです。一樣の神が、様々な形を取っているだけです。一樣の神しか無いのですから、神の名に囚われ戦争してはならないのです。土も神です。木も神です。虫も神です。牛も神です。形あるモノすべてが神なのです。だから、あなた方が神なのは当然です。この宇宙には、たった一つの魂、神、心、意識、があるだけです。それがあなたです。私です。全てのすべてです。

一日一回は、私のウェブサイトをみてください。神に思いを向けてください。原子核を増やす三つの方法をやれば、間違いなくあなたの魂は大きくなります。魂が大きくなれば、自分の欠点・克服すべき課題・業・などが消えてしまいます。ただ私たちの中には、心を惑わす肉体という大敵がおります。その敵は、何かにつけて心を惑わしてくるのです。美味しいものをチラつかせ、心地よいもので誘い、私たちの心を乱します。その誘惑に勝つには、できるだけ身体を動かすことです。

・腰軽になってください。

・太陽の下で生活してください。

・ポジティブな言葉を使ってください。

・積極的になってください。

体を甘やかしてはなりません。あなたの体は、もの凄い潜在能力を持っているのですから・・・。

明るく明るく朗らかに・・・

何事も良く受け取り・・・

神を想い、光を想い、日々生きましょう。二〇一六・一〇・五

神を求め続けよう！

あなたが真剣に真理を求め日々原子核を増やしているなら、当然、環境が変わってくるはずです。環境が変わらないのは、真理の求め方がまだ生半可だからです。厳しい言い方ですが、それだけ熟した魂だから私は厳しく言うのです。

原因と結果の法則は、間違いないのです。苦しいことは、業の消えていつている姿です。

業の上塗りさえしなければ、苦しみは少なくなつてゆきます。どうか焦らないで、今やるべきことを精いつ

ばいやって生きてください。あなたが成長すれば、間違いなく環境が変わります。

その環境の変化は、あなたの家族が変わることかもしれません。あなたが家を出るようになるのかもしれませんが。どちらにしても、日々原子核を増やしてください。そうすれば、神は完全ですから、必ず良い方向に転換してゆきます。今の環境は、あなたが計画設定した自己完結型宇宙そのものなのです。それは自分が越えられると思い、自分が設定した環境ですから、必ず越えられます。

・今の環境で、精いっぱい生きましょう。

・今の環境で、真剣に原子核を増やしましょう。

やり続けていれば、いつか必ず明るい兆しが見えてきます。二〇一六・一〇・二三

人間の泥を取る

真実は見えないのです。現実(幻)は見えるのです。なぜ真実は見えないかと言いますと、それは意識だからです。意識は見えないのです。その見えない意識があなたなのです。その意識のことを神と呼んでいるだけです。だから私は、意識を持っている人間は神の子だということです。子は、いずれ親になるのです。親に

なれば、親と同じ能力が使えるようになるのです。今あなたは、自分が神だということに疑問を持っていませんね。それはそうです。気の遠くなる年月、人間として生きてきたのですからね・・・、今更人間と言われても、そんな気持ちになれるわけがないのです。でも、あなたは間違いなく神の子なのです。私の本を、今週の真言を、更新集を、そして動画を、隅から隅まで見てください。きつとあなたの疑問が解けると思います。

私は手短に原子核を増やす方法を教えています。それを実践すれば、誰でも原子核を大きくできます。原子核が大きくなれば、自分が神の子であるということが、少しずつ腑に落ちてきます。何事でもそうですが、やってみなければ何も生まれないのです。やれば原因を作るわけですから、間違いなく結果はやってくるのです。原因と結果の法則は絶対間違いのないのです。でも、なかなか信じてもらえない。それは目に見えず肌で感じられないからです。でも、間違いなく実践すれば原子核は大きくなります。これは、私が良い証拠だからです。私は三つの方法をやったのです。やったから神の自覚を得たのです。あなただって出来ます。それは誰もが神の子だからです。もともと神だから、神になれるのです。なれるのではなく、神そのものだという事です。ただ、神の周りに人間という泥が着いているだけです。泥を取れば、そく神に甦れるのです。

三つの方法をやって原子核を増やせば、理解力が高まります。理解力が高まれば、不明な点が分かります。

ぜひ、三つの方法を実践してください。二〇一六・一〇・二六

自分しかない！

あなたの疑問は、この宇宙に「一つのものしかない！ 自分しかない！」と一言を心の底で知るまで解けないかもしれません。今、あなたが存在するのは、紛れも無い事実ですね。ということは、自分は一つのモノである、神であるということになるのです。

これは、下の数式が証明しています。

あなたは1なのです。今あなたが存在していることが、1である証明だからです。あなたが1であるということは、この宇宙にあなただけしかないということになります。あなただけしかないならば、あなたが成長するためには、あなたが成長させてくれる物・人・環境をあなたが用意するしか無いでしょう。だから、あの人も、この人も、この物も、あの物も、今の環境も、すべてあなたが用意したのです。それどころか、憎み事のセリフさえあなたが用意したのです。これが自己完結型宇宙の仕組みの凄さなのです。このことは、知識的に解るものではありません。原子核

$$\text{無限時間} \times \frac{1(\text{今})}{\text{無限時間}} = 1(\text{今})$$

が増え、受け皿ができれば、自然と解るようになります。ですから、まずは日々原子核を増やし、受け皿を大きくしてください。

「知りたい！」その気持はわかります。でも、気持ちで原子核が大きくなるものではありません。まずは、原子核を増やすことが第一です。原子核が大きくなれば、自然と理解できるようになります。原子核そのものがエネルギーだからです。エネルギーは、神の知恵そのものですから、原子核が増えれば理解力も増すのです。

焦らないでください。真理は少しずつ身につくものです。そのことをご理解ください。

二〇一六・一一・一

相手は先生である

疎遠になる理由は、あなたの波動と、周りの人たちの波動のギャブが大きくなってきたからです。これは良いことです。ですから気にすることはありません。ただし、人に嫌な態度を見せられ嫌な気分になるのは、あなたの中に同じ嫌なものがあるからです。その嫌なものがあなたの中に無くなったら、あなたは気になら

なくなりません。嫌な人は、すべてあなたを成長させてくれる先生です。その先生がいなかったら、あなたは自分の欠点に気づかないのです。人の振り見て我が振り直せるのは、外側に教えてくれる先生がいるからです。その先生を憎んではなりません。憎むどころか感謝しなければなりません。そのような見方ができれば、もうあなたは人を憎んだり恨んだりすることはないでしょう。

そう言われても罵声を浴びせられれば、そんな気持ちになれないかも知れません。でも真理の学びが深まれば、自然とそのような気持ちになれるものです。それはあなたが変わったからです。真理を学び原子核が大きくなれば、何を言われても笑っていられる人になるし、許せる人になるのです。確かに、今急にそうなるわけではありません。結果が訪れるには、それ相当の時間が必要だからです。だから、学び続けるしかないのです。今は辛いかもしれませんが、自分が大きくなる試練だと思つて頑張ってください。

今あなたがやるべきことは、やれることを黙々とやることです。そして、できるだけ瞑想することです。瞑想している時は、悪いことは思えません。悪いことを思わなければ、悪い業の上乗りはしません。そうすれば、あなたの環境は自然と変わってゆきます。当然、あなたの周りの人も変わってゆきます。

真理の旅は細くて長いのです。焦らず、一步一步進みましょう。やれば必ず変わります。これは法則なのです。原因と結果の法則は、絶対的法則なのです。この法則が宇宙を秩序づけ、また表現宇宙を成長させて

きたのですから間違いないのです。ぜひ、法則に則った生き方をしてください。二〇一六・一一・五

助けるのはあなた自身である

あなたはまた同じことを言っていますね。そのようなネガティブなことを言っている間は、業の上乗せをしてしまうのです。今あなたは苦しいかも知れませんが、でも、その苦しみが業を消滅させているのですから良いことです。業の上乗せさえしなければ、苦しみは消えて無くなってゆくのです。私の言っていることを信じて、今悪いことに想念を使わないでください。良いことだけ想ってください。良い想いの一番は、神を想うことです。それが良い想念の最上級なのでから・・・。悪いことを思っても一生です。良いことを思っても一生です。同じ一生なら、幸せになる良い思いを持つことです。

あなたは苦しいと嘆きますが、どんな苦しいことも必ず成長に結びついているのです。悪は悪ではないのです。成長のための悪です。そのことを信じ、ひたすら良い想念を持ってください。どんなことも良く受け取れば、悪は無くなるのです。受取方次第なのです。私の動画を全て見てください。本を読んでください。何もしないで嘆いていても、一向に解決しません。まずやってみる事です。真理を実践してみることです。

毎日、私のウェブサイトを見てください。

自殺しても解決しません。苦しみが倍増するだけです。逃げて解決することではないのです。自分で苦しみを取るしか無いのです。人生をムダにしないでください。人生を良いことに使ってください。それは、良い想いを持ち続けられるのです。想念は、自由に使えます。誰も邪魔しません。想念をどう使うかだけなのです。あなたは今日まで、悪いことに想念を使ってきたのです。だから、苦しみがやって来たのです。

良く使っていれば、あなたに苦みは無かったです。想念の使い方を知らなかっただけです。でも、今日知ったのです。どうか今日から想念を正しく使ってください。そうすれば、あなたの人生は間違いなく明るい方へ転換してゆくでしょう。

ぜひ、今の大切な時間を良く思うことに使ってください。あなたを助けるのは、あなた自身です。私があるのを助けることは出来ません。あなたを助けるのは、あなたがどう想念を使うかです。

明るく明るく朗らかに・・・

何事も良く受け取り・・・

神を想い、光を想い、日々生きてください。二〇一六・一一・一五

真理の基礎づくり

今のみが実在です。今しか創造できません。その今をあなたは、どのように使っているでしょうか？ この世のことに使っているなら、その想念は無駄遣いですから、あなたは死んでいます。真理に使っているなら、その想念は創造していますから、あなたは生きています。

想念がすべてなので。人生はすべて想念が作っているのです。あなたが今日まで築き上げてきた諸々は、すべて想念がやっていたのです。つまり、お金や地位や名誉を得ることから、家庭を築き上げることまで、すべて想念がやっていたのです。勿論、幸せも不幸もみな想念が作ってきたのです。想念は良い事も悪いことも引き寄せるのです。明るいことを想えば、明るいことがやって来ます。暗いことを想えば、暗いことがやって来ます。想念は実現の母なのです。どうか、想念を正しく使ってください。今のあなたにアドバイスするとしたら、これ以上ありません。なぜなら、まだあなたには、真理の基礎づくりが出来ていないからです。

まずは、私の勉強会の動画を見てください。「人類の夜明2・3・4」を見てください。今週の真言や更新集を見てください。頭で終わっては、絵に書いたボタモチです。実践してください。何を実践したら良い

かは、動画でも述べていますし、人類の夜明や今週の真言や更新集でも述べています。真理は根気よく続けなくては定着しません。ぜひ、真理の基礎づくりをしてください。焦ることはありません。求道の旅は永遠に続くのですから……。二〇一六・一一・二二

自分を変える学びのプロセス

人を変えようと思っても、変えられるものではありません。自身で痛い体験をして変わってゆくしか無いのです。でも、人は変えられなくても、自分は変えられます。自分が変われば人も変わります。ですからまずは、自分を変えることから始めてください。ただし、自分を変えようと思っても、なかなか変えられるものではありません。自分を変えるには、いつも言うことですが、原子核(魂)を大きくすることです。原子核が大きくなれば、神の性質に近づいてゆくわけですから、自然と自分は変わります。あなたの欠点も、克服しなければならぬことも、原子核が大きくなれば無くなります。魂を大きくすれば、神の性質に近づいてゆくからです。

まずは、原子核を増やす三つの方法を実践してください。原子核を増やす三つの方法とは

- ・社会体験をすることです。
- ・瞑想をすることです。
- ・思索をすることです。

この三つを行えば、間違いなく原子核は大きくなります。詳しいことを知りたいなら、私のウェブサイトを見てください。真理に関する情報が沢山載っています。そこでまず知識を得てください。そして学びたいと思われたら、私の勉強会に参加してください。

折角私のウェブサイトにつながったのですから、ぜひ真理を学んでください。ぜひ、人生の目的を知ってください。人間の本性を知ってください。知るに従って、あなたの人生に光が差してきます。その時あなたは、きつと感涙に浸ることが出来るでしょう。折角のチャンスを無駄にしないでください。二〇一六・一二・二

自分が成長したくて自分が用意した

あなたの周りの人達は、あなたの成長に必要なだから、あなたが連れてきたのです。その人達から嫌なことをされたかも知れません。嫌なことを言われたかも知れません。でもその体験が、あなたをここまで成長さ

せてくれたのです。無駄な人生など無いのです。悪い人生など無いのです。すべて良い人生です。それは、神が完全だからです。完全な宇宙に無駄な人生など無いのです。悪い人生など無いのです。今日までのあなたの人生は、みな良かったのです。それは、あなたが成長しているからです。今のあなた方の目にそうは見えてなくても、間違いなくあなたは成長してきたのです。

今あなたがやるべきことは、真理を学び続けることです。そして自分を成長させることです。そのためには、日々原子核(魂)を増やすことです。それは、三つの方法を駆使すればできます。

一つは、社会体験をすることです。

二つは、瞑想をすることです。

三つは、思索をすることです。

これは神が、私たちの魂を大きくするために用意された三点セットです。神が用意された三点セットを使ってぜひ魂を大きくしてください。詳しくは、私のホームページを見てください。

どうか、焦らず、怠らず、原子核を増やしてください。それは、日々の生活の中で出来るのですから・・・。

二〇一六・一二・一〇

守護霊に感謝しよう！

どんな人にも守護霊はついています。でも、自我に溺れていると波動が合わないため、守護霊は導きたくても導けないのです。昔のあなたは、そうだったかも知れません。でも、そんなあなたでも守護霊は見守ってくれていたのです。どうか守護霊に感謝してください。

反省は、自分の良心に向かっているのです。その時、側で守護霊が手伝ってくれます。守護霊さんの苦勞に報いるためにも、真理を求め続けましょう。まずとりあえずは、生きるために必要な生活基盤を作ってください。肉体が維持できなくては、真理を学ぶことはできません。仕事は肉体を維持するための方便ですから、どんな仕事に就いても良いのです。生活基盤ができ、人生の半ばになってから本格的に真理の学びを始めても遅くはありません。勿論、その間にも私の勉強会に参加したり私のウェブサイトを見たりして、真理を学ぶことはできます。

人生の目的は、この世の成功者になることではありません。つまり、地位や名譽や財産を築くことはありません。本当の自分を知ることです。そして、自分が変わることです。自分が変わらなくては、何の意味もありません。あなたの宇宙の主は、あなたなのですからあなたが変わらなくては、あなたの宇宙は無きに

等しいのです。いつも言うことですが、真理は科学です。科学は必ず自分が入っているのです。ですから、あなたが変わらなくては意味が無いのです。

私のウェブサイトは、真理の宝庫です。ぜひ、何回も見て、聴いて、読んで、一体人生は何のためにあるのか心に刻んでください。焦ることはありません。まずは、生活基盤をしっかりと作り、親から独立してください。二〇一六・一一・一六

あなたは今彫像を彫っている

人の感情というものは、無くそうと思っても無くせるものではありません。社会体験をし、瞑想をし、思索をし、原子核を大きくすることによって、少しずつ無くなってゆくのです。欲望や感情に惑わされたからと言って、自分を責めないでください。今あなたは、素晴らしい彫像を作っている途中なのですから……。彫刻途中の彫像は、ギザギザでわけが分からないかも知れませんが、焦らないでください。彫り続けてゆけば、いつか必ず素晴らしい彫像が出来上がるのですから……。

日々生きていること自体が、原子核を大きくしているのです。日々時間の中にいること自体が、原子核を

大きくしているのです。息していること自体が、原子核を大きくしているのです。さあ、一步一步着実に原子核を増やしてゆきましょう。原子核を増やす三つの方法を実践していれば、間違いなくあなたの原子核は大きくなります。良い原因を作れば、必ず良い結果はやって来ます。想念は実現の母です。悪い想念を持たないことです。余計なことを考えないことです。神を想えば余計なことは考えません。さあ、神を想い続けましょう。その時あなたは、彫像を彫っているのです。頑張りましょう！ 二〇一六・一二・一八

真理を求め続けよう！

想念が全てです。常に良い想念を持っていたら、私たちに不幸はないのです。でも残念なことに、この現実世界がそうはさせないのです。なぜなら、地球の周りを厚い悪想念が取り巻いているからです。でも、それに負けてはなりません。あなたが原子核を増やしてゆけば、そんな波動に負けない強い自分になれるからです。原子核が増えれば、この世が幻だと思えるようになります。幻だと思えるようになった分、心が平安になります。原子核を増やす三つの方法を実践してください。実践すれば、必ずあなたの身に変化が訪れます。たとえば、欲望が減り、感情が薄れ、人間臭さが無くなってゆきます。胸が熱くなってきました。細胞が

振動してきます。内的光も見えてきます。

時には心が萎え、真理を求めたくなくなることがあるかも知れません。外に遊びにゆきたくなくなったり、デレビを見たくなくなったり、美味しいものを食べに行きたくなくなったり、自我があなたを誘惑するかも知れません。これは、肉体を持っている限り仕方のないことです。いいのです。楽しみたかったら楽しんでください。でも、のめり込まないようにだけはしてください。この世の楽しみは、みな幻なのですから……。もしのめり込みそうになったら、「一体私は何のために生まれてきたのか？ 人生の目的は何なのか？」考えてください。きっと奮い立つことでしょう。さあ、負けないで真理を求め続けてください。今苦しくても、希望を持ちましょう。真理を求め続けていたら、間違いなく前途は開けてきます。神は、真理を求めている者を蹴落とすことなどしないのですから……。ぜひ、サタンに負けない強い自分になってください。そのためには、一日一回は、私のウェブサイトを見てください。二〇一六・一一・一一

真心を尽くそう！

今の地球は、憑依霊に取り憑かれ苦しむ人が多くなっています。それは誰が悪いのでもない、自分が悪い

波動を出しているからです。あなたは日々、どんな想念を使って生活していますか？ 過去を悔み、未来を憂い、今を悩むなど、悪い想念を使って生活しているではありませんか？ それでは、憑依されても仕方がありません。人類の殆どが、今ネガティブな想いを放って憑依霊を呼び込み苦しんでいるのです。

人を諭すことが難しいのは、悪的波動の同調によって自分を失っているからです。これは、本人が気づかず悪的波動を出し引き寄せているわけですから、人の意見を聞くはずがないのです。では、どうするか？ それは、その人のために精いっぱい真心を尽くしてお世話することです。真心を尽くしてお世話すれば、神の光に満たされ悪的波動は離れます。それから、諭したら良いのです。勿論、人を真から諭すことはできません。あなたが、良い思いを持ち、良い言葉を使い、良い行為をして相手の目覚めを待つしかありません。つまり、自分の後ろ姿を見せることです。そうすれば、必ず相手も分かってくれます。

環境は変えようとして変わるものではありません。あなたが成長したら、あなたの環境は黙っていても良くなります。当然あなたが成長したら、相手も変わってくれます。すぐにと言うわけにはゆかないかも知れません。でも真心を持ってやれば、硬い岩も必ず崩れます。根気があるでしょう。時間もかかるかもしれませんが、諦めず真心を尽くしてやってあげたら、必ず相手も分かってくれます。

今私が言えることは、真理に目覚めたあなたが真理を実践することです。真理に人生を賭けることです。

あなた自身を成長させれば、間違いなくあなたの周りの人は変わります。このことは、自己完結型宇宙の仕組みが解れば納得してもらえるとと思います。

どうか、今あなたが出来ることを精いっぱいやってください。それ以上、難しいことを神は要求しないのですから……。二〇一六・一二・一六

今どう生きるかが大切

聖書など読む必要はありません。自分を変えたい人は、私の本を読んでください。読んですぐ理解できないかも知れませんが、何度も何度も読んでゆく内に理解できるようになります。理解できたら、方針が定まります。その方針に従って日々生きてください。ですから今あなたがやらねばならないことは、まず私の本を読み真理を知ることです。

自分の犯した罪で、自分を責めないでください。原子核が大きくなれば、罪は自然と消えてゆきます。あまり過去のことを気にしないことです。大切なのは、今をどう生きるかです。これからをどう生きるかです。あなたは、過去にも未来にも生きられないのです。生きられるのは、今だけです。人生に足跡が残せるのは、

今の今だけなのです。今だけが真実だからです。その今を、あなたは今日までどのように生きてきましたか？ネガティブな生き方をしてきたのではありませんか？ だから、今苦しい結果がやって来ているのです。原因と結果の法則は完璧です。悪いことを想えば悪いことが・・・良いことを想えば良いことが・・・この法則だけは、誰も曲げられないのです。

人生の目的が何なのか考え、真剣に真理を求めてください。真理は、真剣度が大切です。

真剣に真理を求めていれば、必ず前途は開けてきます。

・ 何度も何度も、私の本を読んでください。

・ 何度も何度も、勉強会の動画を見てください。

・ 一日一度は、私のウェブサイトに目を通してください。

真理は完全です。真理を真剣に求めていれば、神は決して悪いようにはしません。そのことを信じ、真理を求め続けてください。二〇一六・一一・三〇

おわりに

何度も何度も繰り返して学ばねば真理を掴むことができない！ と知った人は宇宙の深み、神の深みを、本当の自分の深みを知った人です。

宇宙は永遠に知ることができないのです。と言うことは、本当の自分を知ることが永遠にできないということです。なぜなら、宇宙は無限だからです。神は無限だからです。本当の自分は無限だからです。もし無限を知ることができたら、宇宙は、神は、本当の自分は、有限になってしまいます。有限とは、終わりがあると言う意味です。頭打ちがあるという意味です。そんな有限なモノを知って、あなたは満足できるでしょうか？ 私たちが有限の存在なら、有限なものを知って満足できるでしょうが、私たちは、永遠の存在なので、すから永遠のモノを知らなくては満足できないのです。と言っても、永遠のモノを知ることが出来ません。ただ、「そう言う宇宙である！」ということを知れば良いのです。

私たちは、永遠に悟ることができないのです。それは、前述したように宇宙が無限だからです。その悟り得ない宇宙を求め続ける旅をしているのが、私たちなのです。だから、私たちは、幸せなのです。この意味の深さを知ってください。今、この本を読んでいるあなたは、そのことを知った人だと私は思いたいです。